

『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換

2012年度 単位互換履修生

募集要項

岡 山 大 学

岡 山 県 立 大 学

岡 山 学 院 大 学

岡 山 商 科 大 学

岡 山 理 科 大 学

川 崎 医 科 大 学

川 崎 医 療 福 祉 大 学

環 太 平 洋 大 学

吉 備 国 際 大 学

倉 敷 芸 術 科 学 大 学

くらしき作陽大学

山 陽 学 園 大 学

就 実 大 学

中 国 学 園 大 学

ノートルダム清心女子大学

美 作 大 学

目 次

1	『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について	1
2	出願方法・履修手続	2
3	各大学の開講期間・試験期間・授業時間について	4
4	開講科目一覧	7
5	開講科目のシラバス	15
	○大学提供科目	
	岡山大学・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	岡山県立大学・・・・・・・・・・・・	49
	岡山学院大学・・・・・・・・・・・・	53
	岡山商科大学・・・・・・・・・・・・	55
	岡山理科大学・・・・・・・・・・・・	77
	川崎医科大学・・・・・・・・・・・・	99
	川崎医療福祉大学・・・・・・・・・・	101
	環太平洋大学・・・・・・・・・・・・	105
	吉備国際大学・・・・・・・・・・・・	108
	倉敷芸術科学大学・・・・・・・・・・	111
	くらしき作陽大学・・・・・・・・・・	119
	山陽学園大学・・・・・・・・・・・・	122
	就実大学・・・・・・・・・・・・・・	129
	中国学園大学・・・・・・・・・・・・	143
	ノートルダム清心女子大学・・	147
	美作大学・・・・・・・・・・・・・・	163
	○コーディネート科目	166
	ちゅうぎん『金融知力』講座	167
6	各大学の施設利用と案内図	168
7	単位互換履修生 履修願	190

『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について

1. 制度の概要

この単位互換制度は、『大学コンソーシアム岡山』参加大学間で協定を締結し、岡山県内16大学間において互いに学生の受け入れを行い、それぞれの受入大学において修得した単位を、所属大学の正規の単位として組み入れる制度です。

この制度を利用して他大学で履修する学生は、「単位互換履修生」と呼びます。

2. ねらい

ことなる専門分野をもつ大学間において、制度的・恒常的な交流を行うことを通じて、視野が広く行動力のある人材を養成することを期待しています。

3. 協定大学

- | | |
|-------------|----------------------------|
| (1)岡山大学 | (9)吉備国際大学 |
| (2)岡山県立大学 | (10)倉敷芸術科学大学 |
| (3)岡山学院大学 | (11)くらしき作陽大学 |
| (4)岡山商科大学 | (12)山陽学園大学 |
| (5)岡山理科大学 | (13)就実大学 |
| (6)川崎医科大学 | (14)中国学園大学 |
| (7)川崎医療福祉大学 | (15)ノートルダム清心女子大学(女子のみ受け入れ) |
| (8)環太平洋大学 | (16)美作大学 |

4. 履修できる科目

「開講科目一覧表」に記載されている科目（本人の所属大学の科目を除く）。

ただし、科目によっては受入大学により履修制限する場合があります。

5. 履修できる単位数

所属大学の条件。

6. 単位認定

原則的に大学設置基準第28条により、所属大学の正規の単位に認定されます。

ただし、各所属大学において規定される場合もあります。

7. 授業料について

授業料は無料。それぞれが所属大学に納付する授業料がこれに充てられる。ただし、科目によっては、実習費等を徴収することがあります。

8. 出願資格

所属大学の条件。

9. その他

履修期間中は、各受入大学の定める範囲において、図書館等の施設を利用することができます。

出願方法・履修手続

1. 申込受付期間および受付窓口（大学提供科目及びコーディネート科目）

所属大学の担当窓口で、所定の期間内に書類を提出してください。

派遣大学名	担当窓口	申 込 受 付 期 間
岡山大学	各学部教務学生担当	前期受付：2012年 3月25日(日)～ 4月 7日(土) 後期受付：2012年 7月 1日(日)～ 9月21日(金) (※所属大学の担当窓口受付時間中に限ります。) ※コーディネート科目にあつては、募集定員に満たない場合、追加募集を行うことがあります。 (大学によっては、追加受付できないことがありますので、教務課等にお問い合わせください。)
岡山県立大学	教学課教務班	
岡山学院大学	学務課教務係	
岡山商科大学	教務課	
岡山理科大学	学務部教務課	
川崎医科大学	学務課教務係	
川崎医療福祉大学	事務部教務課	
環太平洋大学	教務課	
吉備国際大学	スチューデントサポートセンター 教務課	
倉敷芸術科学大学	教務課	
くらしき作陽大学	教育支援室	
山陽学園大学	教務部教務課	
就実大学	学生支援課教務	
中国学園大学	教務課	
ノートルダム 清心女子大学	学務部教務係	
美作大学	教務課	

なお、所属大学で選考を行うことがあるので、担当窓口で指示を受けてください。

2. 出願書類

(1) 単位互換科目履修願 (協定大学共通の書式による)

(2) 写真の提出枚数は、以下のとおりです。(カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入のこと)

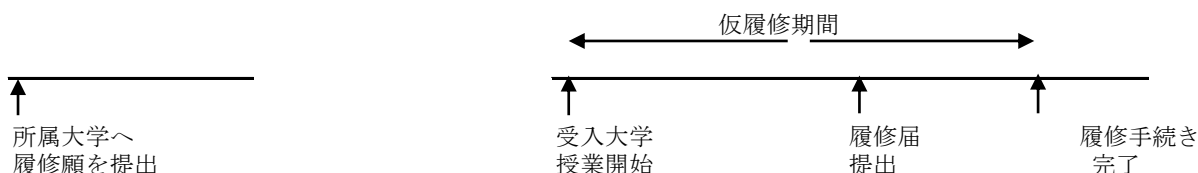
受入大学名	単位互換科目履修願用 (枚)	身分証明書用 (枚)	学生原簿用 (枚)	計
岡山大学 (コーディネート科目を含む)	0	0	0	0
岡山県立大学	0	0	0	0
岡山学院大学	1	1	1	3
岡山商科大学	1	1	0	2
岡山理科大学	1	1	1	3
川崎医科大学	1	0	0	1
川崎医療福祉大学	1	1	0	2
環太平洋大学	1	1	0	2
吉備国際大学	1	1	1	3
倉敷芸術科学大学	1	0	0	1

受入大学名	単位互換科目履修願用 (枚)	身分証明書用 (枚)	学生原簿用 (枚)	計
くらしき作陽大学	1	1	0	2
山陽学園大学	1	0	0	1
就実大学	1	0	0	1
中国学園大学	1	1	1	3
ノートルダム 清心女子大学	1	1	0	2
美作大学	1	1	0	2

(備考) 1. 単位互換科目履修願用写真は、出願時に単位互換科目履修願に貼付してください。
2. 身分証明書用写真及び学生原簿用写真は、受入大学へ直接提出してください。

3. 履修手続

- (1) 履修を許可された学生は、受入大学の担当窓口で履修手続等々の指示を受けてください。
(履修手続が完了するまでは、仮履修期間として扱われます。)



- (2) 受入大学の担当窓口

受入大学名	担当窓口	備考 (() 内は各大学のシラバス掲載アドレス)
岡山大学 (コーディネート科目を含む)	学務部学務企画課	(1)の手続きについて、前期は4月9日から、後期は10月1日から学生証(単位互換履修生証明書)等を配付します。案内図参照。 (http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html)
岡山県立大学	教学課教務班	
岡山学院大学	学務課教務係	
岡山商科大学	教務課	(https://syllabus.osu.ac.jp/perl/web/syllabus.pl)
岡山理科大学	学務部教務課	(https://portal.pub.ous.ac.jp/syllabusgaku/)
川崎医科大学	学務課教務係	(http://www.kawasaki-m.ac.jp/med/outline/08.html)
川崎医療福祉大学	事務部教務課	(https://mwnet.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/10_index.php)
環太平洋大学	教務課	(https://210.137.41.164/up/faces/up/co/Com00501B.jsp)
吉備国際大学	スチューデントサポートセンター 教務課	
倉敷芸術科学大学	教務課	
くらしき作陽大学	教育支援室	
山陽学園大学	教務部教務課	
就実大学	学生支援課教務	
中国学園大学	教務課	
ノートルダム 清心女子大学	学務部教務係	
美作大学	教務課	(http://mimasaka.jp/koukai/shigaku/02syllabusjido.pdf)

各大学の開講期間・試験期間・授業時間について

岡山大学	開講期間	前期	2012年 4月 9日 ~ 2012年 8月 8日
		後期	2012年10月 1日 ~ 2013年 2月15日
	試験期間	前期	2012年 7月20日 ~ 2012年 8月 2日
		後期	2013年 1月28日・30日 ~ 2013年 2月12日
	授業時間	1限	8 : 40 ~ 10 : 10
		2限	10 : 25 ~ 11 : 55
		3限	12 : 45 ~ 14 : 15
		4限	14 : 30 ~ 16 : 00
		5限	16 : 15 ~ 17 : 45
		6限	18 : 00 ~ 19 : 30
		7限	19 : 40 ~ 21 : 10
	医学部・歯学部 の授業時間	1限	8 : 40 ~ 10 : 10
2限		10 : 20 ~ 11 : 50	
3限		13 : 00 ~ 14 : 30	
4限		14 : 40 ~ 16 : 10	
5限		16 : 20 ~ 17 : 50	
岡山県立大学	開講期間	前期	2012年 4月10日 ~ 2012年 8月 7日
		後期	2012年 9月24日 ~ 2013年 2月 8日
	試験期間	前期	2012年 8月 1日 ~ 2012年 8月 7日
		後期	2013年 2月 4日 ~ 2013年 2月 8日
	授業時間	1限	8 : 40 ~ 10 : 10
		2限	10 : 20 ~ 11 : 50
		3限	12 : 40 ~ 14 : 10
		4限	14 : 20 ~ 15 : 50
5限		16 : 00 ~ 17 : 30	
6限		17 : 40 ~ 19 : 10	
岡山学院大学	開講期間	前期	2012年 4月 1日 ~ 2012年 9月10日
		後期	2012年 9月11日 ~ 2013年 3月31日
	試験期間	前期	2012年 8月上旬 ~ 2012年 月 日
		後期	2013年 1月下旬 ~ 2013年 月 日
	授業時間	1限	9 : 10 ~ 10 : 40
		2限	10 : 50 ~ 12 : 20
		3限	13 : 00 ~ 14 : 30
		4限	14 : 40 ~ 16 : 10
5限		16 : 20 ~ 17 : 50	
岡山商科大学	開講期間	前期	2012年 4月 6日 ~ 2012年 7月27日
		後期	2012年 9月21日 ~ 2013年 1月25日
	試験期間	前期	2012年 7月30日 ~ 2012年 8月 3日
		後期	2013年 1月28日 ~ 2013年 2月 1日
	授業時間	1限	9 : 00 ~ 10 : 30
		2限	10 : 40 ~ 12 : 10
		3限	13 : 00 ~ 14 : 30
4限		14 : 40 ~ 16 : 10	
5限		16 : 20 ~ 17 : 50	
岡山理科大学	開講期間	前期	2012年 4月10日 ~ 2012年 7月21日
		後期	2012年 9月14日 ~ 2013年 1月21日
	試験期間	前期	2012年 7月23日 ~ 2012年 8月 3日
		後期	2013年 1月22日 ~ 2013年 2月 7日
	授業時間	1・2時限	9 : 10 ~ 10 : 40
		3・4時限	10 : 55 ~ 12 : 25
		5・6時限	13 : 15 ~ 14 : 45
		7・8時限	15 : 00 ~ 16 : 30
9・10時限		16 : 45 ~ 18 : 15	

川崎医科大学	開講期間	1学期	2012年 4月 6日 ~ 2012年 6月30日
		2学期	2012年 8月28日 ~ 2012年11月30日
		3学期	
	試験期間	1学期	2012年 7月 2日 ~ 2012年 7月 5日
		2学期	2012年12月 1日 ~ 2012年12月 4日
		3学期	—
	授業時間	1限	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
2限		1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 1 0	
3限		1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	
4限		1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 0	
川崎医療福祉大学	開講期間	前期	2012年 4月 5日 ~ 2012年 7月27日
		後期	2012年 9月26日 ~ 2013年 1月29日
	試験期間	前期	2012年 7月30日 ~ 2012年 8月10日
		後期	2013年 2月 4日 ~ 2013年 2月18日
	授業時間	1限	8 : 4 5 ~ 1 0 : 1 5
		2限	1 0 : 2 5 ~ 1 1 : 5 5
		3限	1 2 : 4 5 ~ 1 4 : 1 5
4限		1 4 : 2 5 ~ 1 5 : 5 5	
5限		1 6 : 0 5 ~ 1 7 : 3 5	
環太平洋大学	開講期間	前期	2012年 4月 2日 ~ 2012年 7月20日
		後期	2012年 9月24日 ~ 2013年 1月28日
	試験期間	前期	2012年 7月24日 ~ 2012年 8月31日
		後期	2013年 2月 1日 ~ 2013年 2月 8日
	授業時間	1限	8 : 4 5 ~ 1 0 : 1 5
		2限	1 0 : 3 5 ~ 1 2 : 0 5
		3限	1 2 : 5 5 ~ 1 4 : 2 5
4限		1 4 : 4 5 ~ 1 6 : 1 5	
5限		1 6 : 3 5 ~ 1 8 : 0 5	
吉備国際大学	開講期間	春学期	2012年 4月 1日 ~ 2012年 9月19日
		秋学期	2012年 9月20日 ~ 2013年 3月31日
	試験期間	春学期	授業時間内に随時行う
		秋学期	授業時間内に随時行う
	授業時間	1限	9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0
		2限	1 1 : 1 5 ~ 1 2 : 4 5
		3限	1 3 : 2 5 ~ 1 4 : 5 5
4限		1 5 : 1 0 ~ 1 6 : 4 0	
5限		1 6 : 5 0 ~ 1 8 : 2 0	
倉敷芸術科学大学	開講期間	前期	2012年 4月 5日 ~ 2012年 9月19日
		後期	2012年 9月20日 ~ 2013年 3月31日
	試験期間	前期	2012年 8月 2日 ~ 2012年 8月 7日
		後期	2013年 2月 5日 ~ 2013年 2月 9日
	授業時間	1限	9 : 1 0 ~ 1 0 : 4 0
		2限	1 0 : 5 0 ~ 1 2 : 2 0
		3限	1 3 : 1 0 ~ 1 4 : 4 0
4限		1 4 : 5 5 ~ 1 6 : 2 5	
5限		1 6 : 4 0 ~ 1 8 : 1 0	
くらしき作陽大学	開講期間	前期	2012年 4月 9日 ~ 2012年 7月27日
		後期	2012年 9月24日 ~ 2013年 1月25日
	試験期間	前期	2012年 7月30日 ~ 2012年 8月 3日
		後期	2013年 1月26日 ~ 2013年 1月31日
	授業時間	1限	9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0
		2限	1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 4 0
		3限	1 3 : 2 5 ~ 1 4 : 5 5
4限		1 5 : 0 5 ~ 1 6 : 3 5	
5限		1 6 : 4 5 ~ 1 8 : 1 5	

山陽学園大学	開講期間	前期	2012年 4月 1日 ~ 2012年 9月20日
		後期	2012年 9月21日 ~ 2013年 3月31日
	試験期間	前期	2012年 7月27日 ~ 2012年 8月 2日
		後期	2013年 1月31日 ~ 2013年 2月 6日
	授業時間	1限	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
		2限	1 0 : 4 5 ~ 1 2 : 1 5
3限		1 3 : 0 5 ~ 1 4 : 3 5	
4限		1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0	
5限		1 6 : 3 0 ~ 1 8 : 0 0	
就実大学	開講期間	前期	2012年 4月 9日 ~ 2012年 7月30日
		後期	2012年 9月28日 ~ 2013年 1月29日
	試験期間	前期	2012年 7月31日 ~ 2012年 8月 6日
		後期	2013年 2月 4日 ~ 2013年 2月 8日
	授業時間	1限	9 : 1 0 ~ 1 0 : 4 0
		2限	1 0 : 5 0 ~ 1 2 : 2 0
3限		1 3 : 1 0 ~ 1 4 : 4 0	
4限		1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0	
5限		1 6 : 3 0 ~ 1 8 : 0 0	
中国学園大学	開講期間	前期	2012年 4月11日 ~ 2012年 8月 3日
		後期	2012年 9月21日 ~ 2013年 1月29日
	試験期間	前期①	2012年 8月 6日 ~ 2012年 8月10日
		前期②	2012年 8月20日 ~ 2012年 8月24日
		後期	2013年 1月30日 ~ 2013年 2月 6日
	授業時間	1限	9 : 2 0 ~ 1 0 : 5 0
2限		1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	
3限		1 3 : 1 0 ~ 1 4 : 4 0	
4限		1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0	
5限		1 6 : 3 0 ~ 1 8 : 0 0	
ノートルダム 清心女子大学	開講期間	第1期	2012年 4月 9日 ~ 2012年 8月 7日(補講日を含む)
		第2期	2012年 9月27日 ~ 2013年 2月12日(補講日を含む)
	試験期間	第1期	2012年 7月28日 ~ 2012年 8月 7日
		第2期	2013年 2月 2日 ~ 2013年 2月12日
	授業時間	1・2時限	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
		3・4時限	1 0 : 4 5 ~ 1 2 : 1 5
5・6時限		1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	
7・8時限		1 4 : 4 5 ~ 1 6 : 1 5	
9・10時限		1 6 : 3 0 ~ 1 8 : 0 0	
美作大学	開講期間	前期	2012年 4月 9日 ~ 2012年 7月29日
		後期	2012年 9月25日 ~ 2013年 2月 3日
	試験期間	前期	2012年 7月30日 ~ 2012年 8月 7日
		後期	2013年 2月 4日 ~ 2013年 2月13日
	授業時間	1限	8 : 4 0 ~ 1 0 : 1 0
		2限	1 0 : 2 0 ~ 1 1 : 5 0
3限		1 2 : 4 0 ~ 1 4 : 1 0	
4限		1 4 : 2 0 ~ 1 5 : 5 0	
5限		1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0	

開講科目一覽

開講科目一覧（大学提供科目）

大学名	No.	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限
岡山大学	01001	自尊感情の心理学	教養	井上 祥治	2	後期	1～4		木 2
	01002	日本語の歴史	教養	江口 泰生	2	前期	1～4		木 2
	01003	岡山関係の文学(1)	教養	山本 秀樹	2	前期	1～4		金 2
	01004	生命科学入門	教養	村田 芳行 他	2	前期	1～4		木 2
	01005	環境問題とその解決のための化学技術	教養	木村 幸敬, 加藤 嘉英	2	前期	1～4	若干名	木 2
	01006	痛みの科学	教養	北山 滋雄 他	2	前期	1～4		月 1
	01007	スポーツ実習B(正しいスノーケリングと体験ダイビング)	教養	三浦 孝仁	1	前期集中	1～4		集中
	01008	キャリア形成<総合演習>Ⅲ 専門スキルを身につける① 初級	教養	三浦 孝仁 他	2	前期集中	1～4		集中
	01009	キャリア形成<総合演習>Ⅲ 専門スキルを身につける② 中級	教養	片山 敬子 他	2	前期集中	1～4		集中
	01010	スポーツ実習B「スノーボード」	教養	山口 立雄, 杉山 貴義	1	後期集中	1～4		集中
	01011	健康・スポーツ科学	教養	鈴木 久雄	2	通年	1～4		水 18時半～
	01012	韓国語中級	教養	陳南澤	2	前期	1～4	定員各10名(履修願に韓国語学習歴を記載した文書を添えて提出してください)	水 3
	01013	韓国語中級	教養	陳南澤	2	後期	1～4		水 3
	01014	先進科学体験	教養	大嶋 孝吉 他	1	通年	1～4		夏期集中
	01015	セルビア・クロアチア語①	専門	鐸木 道剛	2	前期	1～4		木 4
	01016	セルビア・クロアチア語②	専門	鐸木 道剛	2	前期	1～4		木 5
	01017	英語科教育(第二言語習得研究)	専門	高塚 成信	2	前期	2～4		金 5
	01018	中等英語科指導法A	専門	高橋 幸子	2	後期	1～4		金 5
	01019	気象学	専門	加藤 内蔵進	2	後期	2～4		月 5
	01020	アジア法	専門	張 紅	2	前期	3～4	文化系定員10名	火 6
	01021	比較政治 I	専門	成廣 孝	2	後期	3～4	文化系定員10名	水 6
	01022	現代数学要論 I	専門	中村 博昭	2	前期	1～4	定員10名程度	金 5
	01023	基礎物理学 I	専門	村岡 祐治	2	前期	1～4	定員10名程度	月 2
	01024	基礎有機化学	専門	西原 康師	2	前期	1～4	定員10名程度	水 3
	01025	基礎生物学 I	専門	杏掛 和弘	2	前期	1～4	定員10名程度	月 1
	01026	基礎地球科学A	専門	山川 純次	2	前期	1～4	定員10名程度	金 4
	01027	環境と健康	教養	山岡 聖典 他	2	前期	1～4	若干名(場所:一般教育棟)	木 2
	01028	保健科学入門	専門	景山 甚郷 他	2	前期	1～4	若干名(場所:臨床第1講義室)	火 1
	01029	細胞生物学	専門	杉本 朋貞 他	2	後期	1～4	5名以内	火 5
	01030	生体材料学 1	専門	松本 卓也 他	1	前期前半	1～4	5名以内	火 3
	01031	生体材料学 2	専門	松本 卓也 他	1	後期前半	1～4	5名以内	火 4
	01032	口腔感染防御論	専門	高柴 正悟	1	後期前半	1～4	5名以内	火 3
	01033	口腔内科学	専門	高柴 正悟	1	前期後半	1～4	5名以内	木 2
	01034	有機化学 I	専門	竹内 靖雄	2	前期	1～4	定員10名,理工科系・生命科学系学生用	木 5
	01035	機械システム系概論	教養	瀬沼, 鈴木 他	1	前期前半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)	火 1
	01036	機械システム系概論	教養	瀬沼, 鈴木 他	1	前期前半	1～4		木 1
	01037	電気通信系概論	教養	船曳, 塚田 他	1	前期後半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)	火 1
	01038	電気通信系概論	教養	船曳, 塚田 他	1	前期後半	1～4		木 1
	01039	情報系概論	教養	名古屋 他	1	前期前半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)	火 1
	01040	情報系概論	教養	名古屋 他	1	前期前半	1～4		木 1
	01041	化学生命系概論	教養	妹尾, 高井 他	1	前期後半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)	火 1
	01042	化学生命系概論	教養	妹尾, 高井 他	1	前期後半	1～4		木 1
	01043	特殊加工学	専門	岡田 晃	2	前期	3～4	定員20名,理工系学生用	水 1
	01044	コンピュータグラフィクス	専門	金谷 健一, 新妻 弘崇	2	後期	3～4		月 2

大学名	No.	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	
岡山大学	01045	計算統計学Ⅰ	専門	垂水 共之	2	後期	3～4	定員10名 統計の基礎知識を有すること。	火	2
	01046	循環型社会システム	専門	河原 長美, 河村 雄行, 松井 康弘	2	前期	2～4	定員10名	水	2
	01047	基礎地球科学	専門	赤江 剛夫, 西村 伸一	2	後期	1～4	定員10名	月	5
	01048	環境生物学	専門	田中丸 重美, 中田 和義	2	後期	2～4	定員10名	木	5
	01049	環境と物質	専門	高口 豊, 難波 徳郎	2	前期	1～4	定員10名	火	2
	01050	食品生化学	専門	中村 宜督	2	前期	3～4	若干名	木	1
	01051	農業協同組合論	専門	小松 泰信	2	後期	3～4	若干名	火	1
	01052	食料政策学	専門	小松 泰信	2	後期	3～4	若干名	水	1
	01053	農業経営学	専門	小松 泰信	2	前期	2～4	若干名	水	1
	01054	栄養生化学	専門	坂口 英, 宮本 拓	2	前期	2～4	若干名	木	5
	01055	農場体験実習	専門	齊藤 邦行	1	前期集中	1～4	若干名	集	中
	01056	基礎遺伝学	専門	田原 誠, 国枝 哲夫, 加藤 鎌 司	2	後期	1～4	若干名	木	3
	01057	応用微生物学Ⅰ	専門	稲垣 賢二	2	前期	2～4	若干名	火	2
岡山県立大学	02001	比較文化	教養	桂 宥子	2	前期	1～4		水	5
	02002	現代の思想	教養	子野日 俊夫	2	後期	1～4		金	2
	02003	音楽の鑑賞	教養	岡崎 順子	2	後期	1～4		水	1
	02004	ヨーロッパ文学	教養	長谷川 弘基	2	後期	1～4		水	5
	02005	造形文化論Ⅰ(美学)	教養	子野日 俊夫	2	後期	1～4		水	1
	02006	造形文化論Ⅱ(近代美術)	教養	瀧本 雅志	2	前期	1～4		水	5
岡山学院大学	03001	栄養学入門	教養	竹原良記	2	前期	1	定員10名	土	2
岡山商科大学	04001	行政法Ⅰ	専門	伊藤 治彦	2	前期	2～4	定員20名	木	3
	04002	行政法Ⅱ	専門	伊藤 治彦	2	後期	2～4	定員20名	木	3
	04003	行政法Ⅲ	専門	伊藤 治彦	2	前期	2～4	定員20名	木	2
	04004	行政法Ⅳ	専門	伊藤 治彦	2	後期	2～4	定員20名	木	2
	04005	法哲学Ⅰ	専門	青井 秀夫	2	前期	2～4	定員20名	木	1
	04006	法哲学Ⅱ	専門	青井 秀夫	2	後期	2～4	定員20名	木	1
	04007	雇用社会と法Ⅰ	専門	香山 忠志	2	前期	2～4	定員20名	木	1
	04008	雇用社会と法Ⅱ	専門	香山 忠志	2	後期	2～4	定員20名	木	1
	04009	民法概説	専門	倉持 弘	2	後期	1～4	定員20名	月	4
	04010	民法総則	専門	倉持 弘	2	後期	1～4	定員20名	金	3
	04011	債権総論	専門	倉持 弘	2	前期	2～4	定員20名	金	3
	04012	物権総論	専門	下田 大介	2	前期	2～4	定員20名	水	2
	04013	契約法	専門	下田 大介	2	前期	2～4	定員20名	木	3
	04014	不法行為法	専門	下田 大介	2	後期	2～4	定員20名	木	3
	04015	労働経済学Ⅰ	専門	有利 隆一	2	前期	2～4	定員15名	月	4
	04016	労働経済学Ⅱ	専門	有利 隆一	2	後期	2～4	定員15名	月	4
	04017	マクロ経済学	専門	山下 賢二	2	前期	2～4	定員15名	火	1
	04018	中級マクロ経済学	専門	山下 賢二	2	後期	2～4	定員15名	火	1
	04019	経済政策Ⅰ	専門	喜田 栄次郎	2	前期	2～4	定員15名	水	1
	04020	経済政策Ⅱ	専門	喜田 栄次郎	2	後期	2～4	定員15名	水	1
	04021	ミクロ経済学	専門	福田 亘	2	前期	2～4	定員15名	金	2
	04022	中級ミクロ経済学	専門	福田 亘	2	後期	2～4	定員15名	金	2
	04023	地方財政論Ⅰ	専門	多田 憲一郎	2	前期	3～4	定員15名	火	2
	04024	地方財政論Ⅱ	専門	多田 憲一郎	2	後期	3～4	定員15名	火	2
	04025	市場調査論	専門	佐井 至道	2	前期	2～4	定員15名	金	2
	04026	社会保障論Ⅰ	専門	山下 隆資	2	前期	2～4	定員15名	月	3
	04027	社会保障論Ⅱ	専門	山下 隆資	2	後期	2～4	定員15名	月	3

大学名	No.	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	
岡山商科大学	04028	国際経済学Ⅰ	専門	山下 賢二	2	前期	2～4	定員15名	木	1
	04029	国際経済学Ⅱ	専門	山下 賢二	2	後期	2～4	定員15名	木	1
	04030	経営統計学Ⅰ	専門	西 敏明	2	前期	2～4	定員15名	火	4
	04031	応用情報処理Ⅰ	専門	西 敏明	2	前期	1～4	定員15名	月	1
	04032	経営学特殊講義Ⅰ	専門	大崎 紘一	2	前期	2～4	定員15名	月	4
	04033	経営学特殊講義Ⅱ	専門	大崎 紘一	2	後期	2～4	定員15名	月	4
	04034	ビジネス概論Ⅰ	専門	大城 裕二	2	前期	1～4	定員15名	火	3
	04035	ビジネス概論Ⅱ	専門	大城 裕二	2	後期	1～4	定員15名	火	3
	04036	簿記論Ⅰ	専門	長谷川 博史	2	前期	1～4	定員15名	水	2
	04037	簿記論Ⅱ	専門	長谷川 博史	2	後期	1～4	定員15名	水	2
	04038	情報処理概論Ⅱ	専門	島田 伸夫	2	後期	1～4	定員15名	水	3
	04039	社会調査実践	専門	田中 潔	4	通年	3～4	定員5名	月	4
	岡山理科大学	05001	キャリア形成講座	教養	飯田 哲司 他	2	前期	1～4	定員10名	木
05002		キャリア形成講座	教養	飯田 哲司 他	2	後期	1～4	定員10名	木	7・8
05003		情報数学Ⅰ	専門	澤江 隆一	2	前期	3～4	定員10名	火	7・8
05004		情報数学Ⅱ	専門	澤江 隆一	2	後期	3～4	定員10名	火	7・8
05005		安全化学	専門	豊田 真司	2	前期	3～4	定員10名	水	3・4
05006		物理学入門	専門	中川 益生	2	前期	1～4	定員10名	水	1・2
05007		科学・工作ボランティア入門	教養	高原 周一 他	2	前期集中	1～4	若干名		前期集中
05008		科学技術と人間	教養	若村 国夫	2	後期	1～4	定員10名	金	7・8
05009		地球科学Ⅰ	専門	山口 一裕	2	前期	1～4	定員10名	木	3・4
05010		地学基礎論Ⅰ	専門	小林 祥一	2	前期	1～4	定員10名	月	5・6
05011		地学基礎論Ⅱ	専門	小林 祥一	2	後期	1～4	定員10名	月	5・6
05012		分子遺伝学Ⅰ	専門	池田 正五	2	前期	2～4	定員10名	金	3・4
05013		環境生物化学	専門	野上 祐作	2	後期	2～4	定員10名	月	5・6
05014		食薬学	専門	松浦 信康	2	後期	3～4	定員10名	金	1・2
05015		解剖学	専門	由谷 親夫	2	前期	2～4	定員10名	水	5・6
05016		健康管理概論	専門	橋川 成美	2	後期	3～4	定員10名	月	1・2
05017		集団遺伝学	専門	浅田 伸彦	2	前期	3～4	定員10名	火	3・4
05018		ナノサイエンス	専門	富永 敏弘	2	後期	3～4	定員10名	木	1・2
05019		応用酵素学	専門	永谷 尚紀	2	後期	2～4	定員10名	月	5・6
05020		生化学Ⅰ	専門	滝澤 昇	2	前期	2～4	定員10名	金	3・4
05021		CAD/CAM	専門	田中 雅次	2	後期	3～4	定員10名	水	7・8
05022		高速ビークル	専門	金枝 敏明	2	後期	3～4	定員10名	木	3・4
05023		センサ工学	専門	河村 実生	2	後期	2～4	定員10名	木	5・6
05024		ロボット工学	専門	クルモフ バレリー	2	後期	3～4	定員10名	月	5・6
05025		コンピュータネットワーク	専門	信吉 輝己	2	後期	3～4	定員10名	木	3・4
05026		画像処理とCG	専門	島田 英之	2	後期	2～4	定員10名	水	1・2
05027		並列処理	専門	上嶋 明	2	後期	3～4	定員10名	水	5・6
05028		人間工学	専門	久野 弘明	2	前期	1～4	定員10名	金	3・4
05029		アミューズメント工学	専門	山田 訓	2	前期	3～4	定員10名	月	3・4
05030		アクチュエータ機構学	専門	堂田 周治郎	2	後期	3～4	定員10名	水	5・6
05031		ユニバーサルデザインⅡ(隔週)	専門	神谷 茂保	2	後期	3～4	定員10名	月	7・8
05032		アミューズメントコントローラ	専門	赤木 徹也	2	後期	3～4	定員10名	水	3・4
05033		データベース	専門	北川 文夫	2	前期	2～4	定員10名	火	7・8
05034		エコツーリズム技法	専門	西村 直樹 他	2	通期	1～4	若干名		夏期集中
05035		東アジア考古学	専門	亀田 修一	2	後期	3～4	定員10名	水	3・4
05036		応用地質学	専門	能美 洋介	2	前期	3～4	定員10名	水	3・4
05037		経営戦略	専門	山口 隆久	2	後期	2～4	定員10名	金	5・6
05038		マスメディア論	教養	木村 邦彦	2	前期	1～4	定員10名	金	5・6
05039		マスメディア論	教養	木村 邦彦	2	後期	1～4	定員10名	金	5・6
05040		東アジアの歴史	専門	志野 敏夫	2	前期	1～4	定員10名	月	7・8

大学名	No.	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	
川崎医科大学	06001	生命科学	専門	伏谷 建造	2.5	1,2学期	1~2	若干名	シラバスを確認のこと	
川崎医療福祉大学	07001	加齢と機能	教養	熊倉 勇美	2	前期	1~4	定員15名	水	2
	07002	ヒューマンセクシャリティー論	教養	池田 理恵	2	前期	1~4	定員15名	水	2
	07003	環境と社会	教養	近藤 芳朗	2	前期	1~4	定員15名	水	2
	07004	睡眠学	教養	保野 孝弘	2	後期	1~4	定員15名	水	2
	07005	健康と音楽	教養	田中 順子	2	後期	1~4	定員15名	水	2
環太平洋大学	08001	家庭・地域間コミュニケーション論	専門	村田 久	2	前期	3~4	若干名	木	2
	08002	子どもの心を開くコミュニケーションスキル	専門	住本 克彦	1	後期	1~4	若干名	木	2
	08003	体育社会学	専門	山本 孔一	2	前期	2~4	若干名	火	1
吉備国際大学	09001	水質環境論	専門	村本 茂樹	2	春学期	2	定員5~10名	火	4
	09002	土壌環境論	専門	村本 茂樹	2	秋学期	2	定員5~10名	火	2
	09003	文化財科学分析基礎Ⅰ	専門	高木 秀明	2	春学期	2		金	1
	09004	文化財科学分析基礎Ⅱ	専門	高木 秀明	2	秋学期	2		金	1
倉敷芸術科学大学	10001	西洋美術史Ⅰ	専門	神原 正明	2	前期	1~4	定員10名	水	3
	10002	西洋美術史Ⅱ	専門	松岡 智子	2	後期	1~4	定員10名	水	3
	10003	デザイン史	専門	近藤 研二	2	前期	1~4	定員10名	月	1
	10004	美学・芸術学概論Ⅰ	専門	森田 亜紀	2	前期	1~4	定員10名	金	1
	10005	美学・芸術学概論Ⅱ	専門	森田 亜紀	2	後期	1~4	定員10名	金	1
	10006	オリエント美術史	専門	鈴木 まどか	2	前期	2~4	定員10名	火	3
	10007	水族学	専門	大塚 雅広	2	後期	2~4	定員10名	月	1
	10008	環境保健科学	専門	浅川 富美雪	2	前期	2~4	定員10名	木	3
	10009	バイオメカニクス	専門	枝松 千尋	2	前期	3~4	定員10名	水	2
	10010	生命関連法規	専門	神田 鉄平	2	後期	1~4	定員10名	月	4
	10011	生命倫理	専門	古川 敏紀	2	前期	1~4	定員10名	火	3
	10012	岡山ビジネス研究	専門	塩飽直紀・岡野喜良	2	後期	2~4	定員10名	木	4
	10013	おかやま倉敷学	専門	濱家 輝雄	2	前期	1~4	定員10名	木	3
	10014	臨床細胞学総論Ⅰ	専門	大野 英治 他	2	後期	1~4	定員10名	月	2
くらしき作陽大学	11001	消費者心理学	専門	河村敦	2	後期	3~4		月	4
	11002	食料経済	専門	原田節也	2	後期	1~4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)	水	5
	11005	食料経済	専門	原田節也	2	後期	1~4		木	1
	11003	音響学	教養	加藤充美	2	後期	1~4		木	1
	11004	中国語Ⅰ	教養	韓雲冬	2	前期	1~4		木	3
山陽学園大学	12001	看護学概論	専門	石本 傳江	1	前期	1~4		月	2
	12002	生涯発達心理学	専門	高橋 功	2	前期	1~4		金	2
	12003	臨床心理学	専門	石原 みちる	2	後期	1~4		水	3
	12004	感情心理学	専門	松浦 美晴	2	後期	1~4		木	4
	12005	日本語教育概論	専門	山根 智恵	2	前期	1~4		月	5
	12006	服飾デザイン論	専門	隈元 美貴子	2	後期	1~4		月	2
	12007	精神保健	専門	上地 玲子	2	前期	1~4		水	1
	12008	現代中国論	専門	班 偉	2	前期	2~4		月	1
	12009	日本文学講読	専門	佐藤 雅代	2	後期	2~4		火	2
	12010	英語圏文化A	専門	ソーンリ サイモン	2	前期	2~4		火	2
	12011	日本作家作品研究	専門	高嶋 哲夫	2	前期	2~4		集中8月	
	12012	流通小売業論	専門	神戸 康弘	2	後期	3~4		木	3

大学名	No.	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限
就実大学	13001	生命機能のシステム	教養	小野 浩重	2	前期	1～4		火 1
	13002	古典文学研究 1	専門	岡部 由文	2	前期	2～4		火 2
	13003	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3～4		木 2
	13004	古典文学研究 3	専門	井上 啓治	2	後期	2～4		木 4
	13005	近現代文学講義 1	専門	加藤 美奈子	2	後期	3～4		金 3
	13006	近現代文学講義 3	専門	松尾 直昭	2	前期	3～4		火 3
	13007	異文化理解 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	2～4		木 1
	13008	異文化理解 1B	専門	J. スコット	2	前期	2～4		月 2
	13009	異文化理解 2A	専門	J. コックス	2	後期	2～4		月 2
	13010	異文化理解 2B	専門	A. スミス	2	後期	2～4		木 1
	13011	イギリス文化研究 1	専門	渡辺 浩	2	前期	3～4		木 2
	13012	イギリス文化研究 2	専門	進藤 秀彦	2	前期	3～4		火 2
	13013	イギリス文化研究 3	専門	進藤 秀彦	2	後期	3～4		火 2
	13014	アメリカ文化研究 1	専門	有木 恭子	2	前期	3～4		火 2
	13015	アメリカ文化研究 2	専門	有木 恭子	2	後期	3～4		火 2
	13016	アメリカ文化研究 3	専門	長瀬 恵美	2	前期	3～4		木 2
	13017	日本史講義 1A	専門	曾根 正人	2	後期	3～4		火 4
	13018	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3～4		木 4
	13019	日本史講義 3C	専門	山田 芳則	2	前期	3～4		火 4
	13020	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専門	福田 誠	2	前期	3～4		月 4
	13021	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2B	専門	福田 誠	2	後期	3～4		月 4
	13022	アジア史講義 1A	専門	李 開元	2	後期	3～4		木 2
	13023	アジア史講義 2A	専門	井上 あえか	2	前期	3～4		火 4
	13024	歴史遺産講義 1C	専門	賈 鍾壽	2	前期	3～4		水 2
	13025	歴史遺産講義 2C	専門	U本 勇	2	後期	3～4		水 2
	13026	薬学海外研修	専門	須藤 鎮世	2	前期	5～6		集中
中国学園大学	14001	生物学	教養	金澤 浩	2	前期	1～4	定員10名	木 3
	14002	基礎化学	教養	中尾 安男	2	前期	1～4	定員10名	木 2
	14003	微生物学	専門	岡部 昭延	2	前期	2～4	定員10名	月 3
	14004	食品学 I	専門	太田 義雄	2	後期	1～4	定員10名	木 3
	14005	衛生学	専門	嶋田 義弘	2	前期	3～4	定員10名	金 1
	14006	栄養教育論 I	専門	村上 淳	2	後期	2～4	定員10名	金 3
ノートルダム清心女子大学	15001	キリスト教学 II	教養	山根 道公	2	第 1 期	1～4	女子のみ	水 5・6
	15002	キリスト教学 III	教養	山根 道公	2	第 2 期	1～4	女子のみ	水 5・6
	15003	キリスト教学 VII	教養	原田 豊己	2	第 2 期	1～4	女子のみ	木 5・6
	15004	身体科学	教養	保江 邦夫他 1 名	2	第 2 期	1～4	女子のみ	木 7・8
	15005	英語学概論 I	専門	山部 順治	2	第 1 期	1～4	女子のみ	火 3・4
	15006	日本語文法論 I	専門	星野 佳之	2	第 1 期	1～4	女子のみ	火 7・8
	15007	古代文学特講 III	専門	新美 哲彦	2	第 1 期	2～4	女子のみ	火 5・6
	15008	古代文学特講 IV	専門	新美 哲彦	2	第 2 期	2～4	女子のみ	火 5・6
	15009	近世文学特講 I	専門	藤川 玲満	2	第 1 期	2～4	女子のみ	火 7・8
	15010	近代文学特講 I	専門	山根 知子	2	第 1 期	2～4	女子のみ	水 5・6
	15011	近代文学特講 III	専門	綾目 広治	2	第 1 期	2～4	女子のみ	水 5・6
	15012	近代文学特講 IV	専門	綾目 広治	2	第 2 期	2～4	女子のみ	水 5・6
	15013	日本語学特講 II	専門	尾崎 喜光	2	第 1 期	2～4	女子のみ	火 9・10
	15014	日本語表現法 I	専門	大滝 一登	2	第 1 期	3～4	女子のみ。但し、受け入れ人数を若干名とする。	水 3・4
	15015	社会心理学	専門	中山 ちなみ	2	第 1 期	2～4	女子のみ	水 1・2
	15016	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	第 1 期	2～4	女子のみ	木 7・8

大学名	No.	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	
ノートルダム清心女子大学	15017	地域社会学	専門	二階堂 裕子	2	第1期	2～4	女子のみ	木	1・2
	15018	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	第1期	2～4	女子のみ	金	5・6
	15019	アジア社会史 I	専門	鈴木 真	2	第1期	2～4	女子のみ	水	1・2
	15020	ヨーロッパ社会史 II	専門	轟木 広太郎	2	第2期	2～4	女子のみ	木	5・6
	15021	考古学 I	専門	紺谷 亮一	2	第1期	2～4	女子のみ	火	5・6
	15022	民俗学 I	専門	小嶋 博巳	2	第1期	2～4	女子のみ	木	9・10
	15023	社会史特講 I	専門	八重樫 直比古	2	第2期	2～4	女子のみ	金	5・6
	15024	社会史特講 II	専門	藤實 久美子	2	第1期	2～4	女子のみ	月	5・6
	15025	文化と人間形成 I	専門	小林 修典	2	第1期	2～4	女子のみ	月	7・8
	15026	地誌学 II	専門	河合 保生	2	第2期	1～4	女子のみ	水	3・4
	15027	社会倫理学 I	専門	葛生 栄二郎	2	第2期	1～4	女子のみ	月	7・8
	15028	社会倫理学 II	専門	葛生 栄二郎	2	第1期	2～4	女子のみ	月	7・8
	15029	生活文化史 I	専門	横山 學	2	第1期	1～4	女子のみ	月	5・6
	15030	生活文化史 II	専門	横山 學	2	第2期	1～4	女子のみ	月	5・6
美作大学	16001	心理学概論 I	教養	妻藤 真彦	2	前期	1～4年		水	5
	16002	心理学概論 II	教養	妻藤 真彦	2	後期	1～4年		水	5
	16003	家族心理学	専門	渡邊 義雄	2	前期	1～4年		金	4

開講科目一覧（コーディネート科目）

大学名	No.	授業科目		単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	
岡山大学	20001	ちゅうぎん『金融知力』講座	コーディネータ 三浦 孝仁	2	後期	1～4	ちゅうぎん岡山駅前ビル	火	17:30～ 19:00

開講科目のシラバス

岡 山 大 学
(シ ラ バ ス)

自尊感情の心理学				井上 祥治
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 自尊感情および自己概念とはどのようなものであるかを理解する。またそれらが我々の行動にどのような指図をしているのかを理解する。				
【授業内容】 1. なぜ自尊感情をとりあげるのか(1回) 2. 自尊感情とはどのようなものか(2回) 3. 自尊感情の要因と形成過程(4回) 4. 自尊感情と自己概念(1回) 5. 自尊感情と動機づけ(2回) 6. 自尊感情と対人行動, 人間関係, 社会的行動, 精神的健康(5回) 7. 試験 途中で1回, 中間テストを行います。				
【テキスト】 使用しない。主要な資料・参考文献などは適宜紹介する。				
【参考図書】 遠藤辰雄・井上祥治・蘭千寿編著 セルフ・エスティームの心理学 ナカニシヤ出版ISBN4-88848-168-7(岡大生協)				
【成績評価の方法】 期末試験70%, 中間テスト20%, 受講態度10%				

日本語の歴史				江口 泰生
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 文献によって古い時代の日本語を明らかにする方法について述べる 上代日本語について、万葉集などの用例を利用しながら講義する。日本語研究の方法や問題点にも触れる。 日本語の歴史に関する知識や日本語文献の資料論などの知識を得て、レポートにまとめたり、知識の習得をおこなう。				
【授業内容】 上代語研究の資料、方法など 奈良時代の日本語 上代特殊仮名遣い 母音交替 助動詞各説 モーラとシラブル—和歌の字あまり— 語種分別とその意味—オノマトペ、エ列音— 形態音韻—濁音、P音など分布と意味				
【テキスト】 プリントを用意する。課題レポートで課題図書を指定する場合もある				
【参考図書】 授業中に指示します。古語辞典や高校時代に用いた文法書、便覧などを持参して、不明な言葉はその場で調べましょう。万葉集のテキストがあると便利です。 中西進『万葉集 1』講談社文庫、伊藤博『万葉集 上巻』角川日本古典文庫、伊藤博『万葉集釋注1』集英社文庫など。 特に指定しないが、「日本語要説」(ひつじ)や高校時代使用した古語辞典、などを参照すると良いでしょう				
【成績評価の方法】 課題レポート、小テスト、質疑応答(随時)、期末テストなどによって総合的に評価する。課題レポート(20%)、小テスト(20%)、質疑応答(30%)、期末テスト(20%)、その他出欠など(10%)を加味するが、欠席が多い場合は評価不能。				

岡山関係の文学(1)				山本 秀樹
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
吉備津神社の由来を記した吉備津宮縁起を実例に、テキスト研究の基本的方法を適用して見せて、テキストの確定・理解・分析の見本とする。				
【授業内容】				
1. 「吉備津宮縁起」概説		9. 問題の整理		
2. 「諸本」という概念		10. 必要に応じた調査の方法・結果(1)		
3. 本文比較校訂		11. 必要に応じた調査の方法・結果(2)		
4. 「系統」と「古態」		12. 必要に応じた調査の方法・結果(3)		
5. 「底本」と「異本」		13. 異本の内容把握(1)		
6. 本文内容の把握(1)		14. 異本の内容把握(2)		
7. 本文内容の把握(2)		15. 異本の内容把握(3)		
8. 本文内容の把握(3)				
【テキスト】				
特になし。				
【参考図書】				
藤井駿『吉備津神社』岡山文庫52(日本文教出版 1973)				
藤井駿『吉備地方史の研究』(法蔵館 1971)(別出版社の再版あり)				
『神道大系』神社編38 美作・備前・備中・備後国(神道大系編纂会 1986)				
【成績評価の方法】				
諸本の比較について記すレポート30点				
吉備津宮縁起本文の内容を記すレポート30点				
授業概要を記すレポート40点				

生命科学入門				村田 芳行 他
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
生体に含まれる低分子及び高分子化合物の構造と性質, 生体内で起こっている化学反応の原理, 動植物・微生物の生理現象と化学物質の関係, さらにそれらを利用したバイオテクノロジー等について, 生物や化学を初めて学ぶ者でも興味を持って習得できるように概説する。生体成分の化学特性を理解し, 生体内で起こっている生理現象を化学的に理解するための基礎概念, および生物の機能を利用するための基礎概念を習得する。				
【授業内容】				
第1回: 概要説明				
第2回: 生物間の情報と化学物質(1)				
第3回: 生物間の情報と化学物質(2)				
第4回: 生物に作用する物質				
第5回: 生命に作用する物質の有効性と危険性(1)				
第6回: 生命に作用する物質の有効性と危険性(2)				
第7回: 糖にまつわる生体高分子(1)				
第8回: 糖にまつわる生体高分子(2)				
第9回: 食品に含まれる化学成分とその機能(1)				
第10回: 食品に含まれる化学成分とその機能(2)				
第11回: 微生物の世界				
第12回: 地球環境と微生物				
第13回: 組み換えDNA技術				
第14回: バイオテクノロジーの最先端				
第15回: 生命科学入門まとめ				
【テキスト】				
テキストは授業に応じて資料プリントなどを配布する。授業内容によっては, ビデオ, スライド, OHPなども使用する。				
【参考図書】				
各担当教官が提示する事がある。				
【成績評価の方法】				
出席を含む平常点70点, 最終試験で30点で総合的に評価する。				

環境問題とその解決のための化学技術				木村 幸敬, 加藤 嘉英																	
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ																	
【授業の目的】																					
環境問題解決のための化学技術の現状を概略的に理解した上で、化学技術の果たす役割と限界を認識させ、人間活動と環境との係わり合いおよび環境調和型の社会のあり方を考える糸口を与える。具体的には、地球環境問題、公害問題に関して、化学技術的な側面から問題点や将来の展望について述べる。現代社会においては様々な環境問題があるが、技術的な問題点や可能性を理解した上で議論する必要がある。本講義では、1)公害問題、2)地球環境問題の2点について、歴史・現状をまず認識して、解決方法を議論できるための基礎知識を身につけることを目標とする。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1 公害の歴史(1)</td> <td>9 エネルギーについて</td> </tr> <tr> <td>2 公害の歴史(2)</td> <td>10 新エネルギー</td> </tr> <tr> <td>3 大気汚染物質除去技術</td> <td>11 身近なCO2問題</td> </tr> <tr> <td>4 自動車排ガス浄化技術</td> <td>12 CO2排出抑制への世界の取り組み</td> </tr> <tr> <td>5 焼却炉排ガス浄化技術</td> <td>13 環境影響評価</td> </tr> <tr> <td>6 地球環境問題の発生</td> <td>14 CO2の分離・回収・貯留</td> </tr> <tr> <td>7 大気中の二酸化炭素はなぜ増えるか</td> <td>15 他の地球温室効果ガスの発生状況</td> </tr> <tr> <td>8 討論会(小テストを含む)</td> <td>16 最終小テスト</td> </tr> </table>						1 公害の歴史(1)	9 エネルギーについて	2 公害の歴史(2)	10 新エネルギー	3 大気汚染物質除去技術	11 身近なCO2問題	4 自動車排ガス浄化技術	12 CO2排出抑制への世界の取り組み	5 焼却炉排ガス浄化技術	13 環境影響評価	6 地球環境問題の発生	14 CO2の分離・回収・貯留	7 大気中の二酸化炭素はなぜ増えるか	15 他の地球温室効果ガスの発生状況	8 討論会(小テストを含む)	16 最終小テスト
1 公害の歴史(1)	9 エネルギーについて																				
2 公害の歴史(2)	10 新エネルギー																				
3 大気汚染物質除去技術	11 身近なCO2問題																				
4 自動車排ガス浄化技術	12 CO2排出抑制への世界の取り組み																				
5 焼却炉排ガス浄化技術	13 環境影響評価																				
6 地球環境問題の発生	14 CO2の分離・回収・貯留																				
7 大気中の二酸化炭素はなぜ増えるか	15 他の地球温室効果ガスの発生状況																				
8 討論会(小テストを含む)	16 最終小テスト																				
【テキスト】																					
講義において資料を適宜配布する。																					
【参考図書】																					
小宮山宏「地球持続の技術」岩波新書 小島紀徳 シリーズ地球と人間の環境を考える05「エネルギー」日本評論社																					
【成績評価の方法】																					
出席と小テスト(2回予定)、レポートによる総合評価																					

痛みの科学				北山 滋雄 他																			
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ																			
【授業の目的】																							
痛みは生体に対する初期警告信号であり、誰もが日常で経験するが、過剰で持続すれば生活を困難にする。痛みの種類とその発生機序、様々な病態、最新の臨床に基づいた治療法について概説する。痛みを多面的に学習することにより生体機能の恒常性に果たすその役割を理解し、日常の健康維持について考えることを目的とする。																							
【授業内容】																							
<table border="0"> <tr> <td>1 4月9日(月)オリエンテーション</td> <td>10 6月11日(月)痛みの臨床1(1)</td> </tr> <tr> <td>2 4月16日(月)痛みの神経解剖学1(1)</td> <td>11 6月18日(月)痛みの臨床1(2)</td> </tr> <tr> <td>3 4月23日(月)痛みの神経解剖学1(2)</td> <td>12 6月25日(月)痛みの臨床2(1)</td> </tr> <tr> <td>4 5月1日(火)痛みの神経解剖学2(1)</td> <td>13 7月2日(月)痛みの臨床2(2)</td> </tr> <tr> <td>5 5月7日(月)痛みの神経解剖学2(2)</td> <td>14 7月9日(月)痛みの臨床3(1)</td> </tr> <tr> <td>6 5月14日(月)痛みの神経生理学(1)</td> <td>15 7月23日(月)痛みの臨床3(2)</td> </tr> <tr> <td>7 5月21日(月)痛みの神経生理学(2)</td> <td>16 7月30日(月)総括</td> </tr> <tr> <td>8 5月28日(月)痛みの神経薬理学(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 6月4日(月)痛みの神経薬理学(2)</td> <td></td> </tr> </table>						1 4月9日(月)オリエンテーション	10 6月11日(月)痛みの臨床1(1)	2 4月16日(月)痛みの神経解剖学1(1)	11 6月18日(月)痛みの臨床1(2)	3 4月23日(月)痛みの神経解剖学1(2)	12 6月25日(月)痛みの臨床2(1)	4 5月1日(火)痛みの神経解剖学2(1)	13 7月2日(月)痛みの臨床2(2)	5 5月7日(月)痛みの神経解剖学2(2)	14 7月9日(月)痛みの臨床3(1)	6 5月14日(月)痛みの神経生理学(1)	15 7月23日(月)痛みの臨床3(2)	7 5月21日(月)痛みの神経生理学(2)	16 7月30日(月)総括	8 5月28日(月)痛みの神経薬理学(1)		9 6月4日(月)痛みの神経薬理学(2)	
1 4月9日(月)オリエンテーション	10 6月11日(月)痛みの臨床1(1)																						
2 4月16日(月)痛みの神経解剖学1(1)	11 6月18日(月)痛みの臨床1(2)																						
3 4月23日(月)痛みの神経解剖学1(2)	12 6月25日(月)痛みの臨床2(1)																						
4 5月1日(火)痛みの神経解剖学2(1)	13 7月2日(月)痛みの臨床2(2)																						
5 5月7日(月)痛みの神経解剖学2(2)	14 7月9日(月)痛みの臨床3(1)																						
6 5月14日(月)痛みの神経生理学(1)	15 7月23日(月)痛みの臨床3(2)																						
7 5月21日(月)痛みの神経生理学(2)	16 7月30日(月)総括																						
8 5月28日(月)痛みの神経薬理学(1)																							
9 6月4日(月)痛みの神経薬理学(2)																							
【テキスト】																							
特に指定しない。																							
【参考図書】																							
授業のなかで適宜配布又は紹介する。																							
【成績評価の方法】																							
出席並びにレポート(あるいは小テスト)による各教員ごとの成績評価を総合して評価する。																							

スポーツ実習B(正しいスノーケリングと体験ダイビング)				三浦 孝仁
履修年次 1～4	1単位	前期集中	1コマ	
<p>【授業の目的】 スノーケリングは、海中世界を覗く最も手軽な方法である。スノーケリング、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングは、ネイチャー・ダイビングとも呼ばれ、自然とふれあうスポーツとして、自然観察の手段として人気が高い。授業では、スノーケリングやスキン・ダイビングを安全に実施するための理論と実践を行う。理論は教室、実技は倉敷児島マリンプールを利用する。スノーケリングは水面でスノーケルを用いて呼吸するが、スキン・ダイビングは息を止めて水中へ潜水する。スクーバ・ダイビングは、自給式呼吸器を付けて潜水するため水中で呼吸が可能になっている。スクーバ・ダイビングを海洋で楽しむためには、専門講習により認定を受ける必要があり、この授業ではプールで体験ダイビングを実施する。 スクーバ・ダイビングの資格認定を希望する学生は、次年度「キャリア形成総合演習Ⅲ(専門スキルを身につける)」の受講を勧める。</p>				
<p>【授業内容】 ○オリエンテーション 4月25日(水)14:30-16:00キャリア開発センター 履修希望者には事前に申込用紙を配付します。 ○授業 6月20日(水)14:30-16:00 講義 キャリア開発センター 7月14日(土)8:40-17:15 講義 キャリア開発センター 7月15日(日)8:40-17:45 実技 児島マリンプール 7月16日(月)8:40-17:45 実技 児島マリンプール 日本スノーケリング協会公認のスノーケリング・インストラクターが指導します。 受講要件:健康であること、喘息、心疾患などを有する学生は、医師の許可が必要です。 スノーケラー認定料3150円が必要です。プール使用料は、大学が負担しますが、器材レンタル代はタンク代として1000円徴収します。 オリエンテーションに参加できない岡山大学以外の学生はメールにて連絡下さい。 三浦孝仁:komiura@cc.okayama-u.ac.jp</p>				
<p>【テキスト】 日本スノーケリング協会テキスト(1000円)</p>				
<p>【参考図書】 スノーケリング関連図書</p>				
<p>【成績評価の方法】 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。</p>				

キャリア形成<総合演習>Ⅲ(専門スキルを身につける①初級)				三浦 孝仁, 大八木 彰, 屋良 洋子	
履修年次	1～4	2単位	前期集中	1コマ	
【授業の目的】					
スクーバ・ダイビング(SCUBA DIVING)は、ネイチャー・ダイビングとも呼ばれ、自然観察の手段として人気が高だけでなく、美しい自然とのふれあいは、心を豊かにし、趣味や人生の価値観に対する視野を広げます。この授業では、専門的講習によりSCUBA DIVINGのCカード取得を目的とします。したがって、安全潜水の理論、プール実習、海洋実習を実施します。理論は教室、海洋実習は透明度の高い沖縄を予定しています。海洋実習修了者のみCカードが認定されます。観光業、インストラクターという職業を知る機会にもなります。					
【授業内容】					
◆オリエンテーション 4月25日(水) 14:30～16:00 キャリア開発センター 履修希望者には事前に申込用紙を配付します。					
◆講義 第1回 5月23日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第2回 6月20日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第3回 7月15日・16日(日・月) 8:40～17:45 キャリア開発センター					
◆沖縄海洋実習 8月20日(月) 岡山発 夜:講義および最終試験 8月21日(火) 海洋実習1日目 8月22日(水) 海洋実習2日目 8月23日(木) 岡山着					
◆認定式 Cカード発行後					
受講要件:健康であること、喘息、心疾患などを有する学生は、医師の許可が必要です。実習費は実費が必要となります。詳細はオリエンテーションで説明します。この授業を終了、合格した学生には、SCUBA DIVINGの初級認定にあたるオープン・ウォーター・ダイバーの認定証が発行されます。					
費用等詳細はオリエンテーションで説明します。 オリエンテーションに参加できない岡山大学以外の学生はメールにて連絡下さい。 三浦孝仁:komiura@cc.okayama-u.ac.jp					
【テキスト】					
JULIAのテキストを扱います。					
【参考図書】					
ダイビング関連図書					
【成績評価の方法】					
出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。					

キャリア形成<総合演習>Ⅲ(専門スキルを身につける②中級)				片山 敬子 他 kei-kata@cc.okayama-u.ac.jp	
履修年次	1～4	2単位	前期集中	1コマ	
【授業の目的】 スクーバ・ダイビング(SCUBA DIVING)の初級認定であるオープン・ウォーターダイバー(O/W)のためのスキルアップとして、アドバンスド・ダイバーCカード取得目的とします。したがって、O/Wより高度な安全潜水の理論、コンパスで位置を確認したり、O/Wより深い深度をとったりする海洋実習を実施します。理論は教室、海洋実習は透明度の高い沖縄を予定しています。海洋実習修了者のみCカードが認定されます。海洋実習先の沖縄では、観光業、インストラクターという職業を知る機会にもなり、ダイビングのスキルアップと共に、心豊かな人生のための知識も習得することが可能です。					
【授業内容】 ◆オリエンテーション 4月25日(水) 14:30～16:00 キャリア開発センター 履修希望者には事前に申込用紙を配付します。 ◆講義 第1回 5月23日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第2回 6月20日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第3回 7月15日・16日(日・月) 8:40～17:45 キャリア開発センター ◆沖縄海洋実習 8月20日(月) 岡山発 夜:講義および最終試験 8月21日(火) 海洋実習1日目 8月22日(水) 海洋実習2日目 8月23日(木) 岡山着 ◆認定式 Cカード発行後 この授業を終了、合格した学生には、SCUBA DIVING のアドバンスド・ダイバーの認定書が発行されます。 受講要件: オープン・ウォーターダイバーのCカードを取得していること。健康であること、喘息、心疾患などを有する学生は、医師の許可が必要です。実習費は実費が必要です。詳細はオリエンテーションで説明します。 オリエンテーションに参加できない岡山大学以外の学生はメールにて連絡下さい。					
【テキスト】 CMASのテキストを用います。					
【参考図書】 ダイビング関連図書					
【成績評価の方法】 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。					

スポーツ実習B「スノーボード」				山口 立雄・杉山 貴義
履修年次 1～4	1単位	後期集中	1コマ	会場には県外のスキー場を予定しています。
【授業の目的】 スノーボードの操作に習熟し、斜面において、安全に滑走、停止ができるようになる。				
【授業内容】				
	午前	午後	夜	
第一日	集合移動, 実習1	実習2	講義	
第二日	実習3	実習4	講義(含筆記試験)	
第三日	実習5	実技試験, 移動	解散	
<p>実習1: 用具に関する知識と着脱, 平地技術(移動技術, 方向変換, 転倒起立) 実習2: 緩斜面での登行法と直滑降自然停止 実習3: 直滑降からの方向変換と停止 実習4: 斜滑降から先落としによる直滑降と山回り停止 実習5: 斜滑降から先落としによる谷回り停止。連続ターン</p>				
【テキスト】 基本レッスン スノーボード: 山口・木村・浅山著, 大修館(1,400+税)を使用する。				
【参考図書】 SAJスノーボード教程DVD版: スキージャーナル, 2009.				
【成績評価の方法】 出席点60点, 技能テスト20点, 知識テスト20点の100点満点で評価する。				

健康・スポーツ科学				鈴木 久雄
履修年次 1～4	2単位	通年	1コマ	4月11日、12月12日は必ず出席すること。 水曜日18時30分より授業を開始するので要注意。
【授業の目的】 運動やスポーツ、健康について、科学的な取り組み方、留意点を学び、スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また、個々人が自ら設定した課題を探求し、理論と実践の融合をはかる。				
【授業内容】				
1 4月11日(水) オリエンテーション				
2～14 以下の16回より13回受講する				
1) 5月23日(水) スポーツと水分補給		2) 5月30日(水) スポーツを哲学する		
3) 6月6日(水) スポーツ障害		4) 6月13日(水) スポーツと不整脈		
5) 6月20日(水) 運動・スポーツと骨		6) 6月27日(水) スポーツと膝痛		
7) 7月4日(水) スポーツ歯科		8) 7月11日(水) 痛みの仕組み		
9) 7月18日(水) スポーツによるからだの変化		10) 10月17日(水) スポーツメンタルトレーニング		
11) 10月24日(水) 競技力を高める		12) 10月31日(水) 食べ物でコンディションをコントロールしましょう		
13) 11月7日(水) スポーツと紛争		14) 11月14日(水) 上肢スポーツ傷害		
15) 11月28日(水) 応急処置		16) 12月5日(水) 本番で実力を発揮する方法		
15 12月12日(水) 課題発表, 討論				
【テキスト】 使用しない。毎回、資料を配付する。				
【参考図書】 特になし				
【成績評価の方法】 13回分の授業レポート78点(6点×13回)と、まとめ・ディスカッション12点、感想レポート10点より評価する。				

韓国語中級				陳南澤
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。希望者は単位互換履修科目履修願に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません)を添えて提出してください。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
【授業内容】 第1回:オリエンテーション 第2～15回:教科書とプリントによる韓国語の文型や単語の習得:各課ごとに単語テストを行なう。 第16回:最終試験				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

韓国語中級				陳南澤
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。希望者は単位互換履修科目履修願に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません)を添えて提出してください。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。				
【授業内容】 第1回:前期で学んだ文法事項、重要表現を新規受講生に紹介する 第2～15回:教科書とプリントによる韓国語の文型や単語の習得:各課ごとに単語テストを行なう。 第16回:最終試験				
【テキスト】 Beautiful Korean 1-2 (EKO Language Center) 及び プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

先進科学体験				大嶋 孝吉 他	
履修年次 1~4	1単位	通年	1コマ	夏休み等に集中講義で行う。	
【授業の目的】					
選択した分野の体験学習から先進科学における基本的知識・考え方を理解する。そのことにより、科学のありかたとその将来像を自分自身で考え、ものの見方の転換を体験し、将来への広い視野を獲得する。					
【授業内容】					
1 4月4日(水)13:30, 岡大理学部コラボ棟3階コラボ室で、テーマや単位に関する説明会を行う。他大学参加者には別					
2 SEM/EDX実習(担当:大嶋孝吉, 味野道信, 稲田佳彦)8月中旬 1日 先進科学体験に必要な科学(主に物理学, 工学):講義 初日 1,2時限 SEM操作実習 初日 3,4時限 EDX操作実習 初日 4,5時限 終了前討論会					
3 HiSOR体験(担当:横谷尚睦, 村岡祐治, 脇田高德)8月下旬 1.5日 先進科学体験に必要な科学(主に物理学): 講義 初日 4,5時限 HiSOR体験に必要な予備知識 バス移動と講義 2日目 1,2時限 HiSOR実験体験 2日目 3-4時限 実験体験討論とバス移動 2日目 5時限					
4 臨海生物体験(担当:坂本竜哉, 坂本浩隆, 秋山 貞)8月中旬, 2.5日 生物試料採取 初日 実習 4,5時限 先進学体験に必要な科学(主に生物学): 2日目 講義 1,2時限 生物試料観察, 細胞分裂体験 2日目 実習 3,4時限 宿泊と実習体験討論会 1,2日夕食後 3テーマの実験ごとに討論会を開催。課題に関する結果の発表と討論を行う。各課題レポート提出を行う。 SEMは走査型電子顕微鏡で光学顕微鏡では体験できない世界を見る。EDXはX線により物質構成元素を調べる。 HiSORは加速器を用いた軟X線源による物質表面観察。臨海生物体験はプランクトン採取観察, 受精卵細胞分裂観察など。 それぞれが興味深い体験で所属分野が違っていても将来役に立つ体験ができる。学部生, 単位を必要としない学生でも参加可。					
※ 4月4日(水)の説明会に参加できないときは、以下の連絡先へご連絡ください。 【連絡先】 大学院自然科学研究科 教授 大嶋孝吉 メールアドレス: oshima@cc.okayama-u.ac.jp 電話番号: 086-251-7827					
【テキスト】					
配布					
【参考図書】					
理化学辞典, 生物学辞典(岩波) 理科年表(丸善)					
【成績評価の方法】					
実習課題・発表・レポート・討論への参加状況を考慮し、総合的に判定する。希望により 2つ以上の体験に参加すること。					

セルビア・クロアチア語①				鐸木 道剛
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ
【授業の目的】 言葉を知ることによって、異文化を知る。 辞書を引きながら読める段階まで至るとともに、セルビア語を通してセルビア文化の一端に触れる。文法学習を中心とする。				
【授業内容】 1授業計画 全20課の内容を、毎回2課ずつ終える。 11回目の授業からは、実際のテキストを読んでみる。ハプスブルグ帝国のはずれのセルビアの歴史と文化が彷彿する。				
【テキスト】 中島由美/野町素己『ニューエクスプレス セルビア語クロアチア語』白水社、2010年。 必要な部分をコピーして配布する。				
【参考図書】 Morton Benson, Srpskohrvatsko-Engleski Recnik, 1974 (図書館にある。新版が入手可能) その次の段階では、セルビア語の6巻本の辞書がある。Recnik srpskohrvatskoga književnog jezika, 6 knjige, Matica Srpska i Matica Hrvatska, Novi Sad, 1967-76. また文法書としては次が最適。Javarek/Sudjic, Serbo-Croat, Teach Yourself Books, London, 1975. 関連部分を適宜コピーして配布する。				
【成績評価の方法】 出席点4割、平常点6割				

セルビア・クロアチア語②				鐸木 道剛
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ
【授業の目的】 言葉を知ることによって、異文化を知る。 セルビア語を実際に発音することを通してセルビア文化に触れる。発音練習を中心とする。				
【授業内容】 1授業計画 全20課の内容を、毎回2課ずつ、発音練習を行う。 11回目の授業からは、実際のテキストを読んで、発音してみる。ハプスブルグ帝国のはずれのセルビアの歴史と文化が彷彿する。				
【テキスト】 中島由美/野町素己『ニューエクスプレス セルビア語クロアチア語』白水社、2010年。 必要な部分をコピーして配布する。				
【参考図書】 Morton Benson, Srpskohrvatsko-Engleski Recnik, 1974 (図書館にある。新版が入手可能) その次の段階では、セルビア語の6巻本の辞書がある。Recnik srpskohrvatskoga književnog jezika, 6 knjige, Matica Srpska i Matica Hrvatska, Novi Sad, 1967-76. また文法書としては次が最適。Javarek/Sudjic, Serbo-Croat, Teach Yourself Books, London, 1975. 関連部分を適宜コピーして配布する。				
【成績評価の方法】 出席点4割、平常点6割				

英語科教育(第二言語習得研究)				高塚 成信
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 英語を2つ目の言語(外国語)として習得することに関わる、社会的要因、談話的要因、心理言語学的要因、及び言語学的要因について考察し、より効果的な英語指導のあり方を検討します。				
【授業内容】 1 イントロダクション:第2言語習得研究とは何か 2 学習者言語の特質(1):誤りと誤りの分析 3 学習者言語の特質(2):発達のパターン 4 学習者言語の特性(3):変異性(小テスト) 5 中間言語:行動主義と理性主義 6 中間言語の社会的要因 7 中間言語の談話的要因(1):インプットとインターアクション(小テスト) 8 中間言語の談話的要因(2):アウトプット 9 中間言語の心理言語学的要因(1):第1言語の転移 10 中間言語の心理言語学的要因(2):意識の役割(小テスト) 11 中間言語の心理言語学的要因(3):コミュニケーション方略 12 中間言語の言語学的要因(1):言語類型学と普遍文法理論 13 中間言語の言語学的要因(2):学習可能性と臨界期仮説 14 言語適性と動機付け 15 復習 16 試験				
【テキスト】 テキストは使用しません。必要なものは、印刷して配布します。				
【参考図書】 特に必要ありませんが、以下のものは比較的読みやすく非常に参考になります。 Ellis, R.(1997). <i>Second Language Acquisition</i> . Oxford: Oxford University Press. 山岡俊比古(1997).『第2言語習得研究』(新装改訂版)東京:桐原ユニ。 村野井仁(2007).『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』東京:大修館書店。				
【成績評価の方法】 期末に行う試験と、途中に行う小テスト、授業中の意欲・態度に基づき総合的に評価します。それぞれの配点は、60点、30点、10点です。				

中等英語科指導法A				高橋 幸子
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
学校教育における英語指導の在り方を考える上で必須と思われる基本的問題について、学生自らが自分自身の学習・被教授体験を回顧したり、実際の授業を観察することによって、分析的・批判的に検討することを支援することを通して、英語を教えることへの動機付けを図るとともに、英語指導の基礎力を培うことを目的とします。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨン: 自分はどのように英語を学習してきたのか、指導されてきたのか 2 今、日本の英語教育で問題になっていることは何か 3 なぜ日本人は英語ができないのか 4 英語教育の目標: 学習指導要領(1) 目標、小テスト 5 英語教育の内容: 学習指導要領(2) 内容(言語活動、言語活動の取扱い、言語材料) 6 英語教育の方法: 学習指導要領(3) 内容の取扱い 7 小学校英語教育は救世主か: 臨界期仮説、小テスト 8 英語は日本語とどのように異なっているのか: 日英対照分析 9 第2言語はどのように学習されるのか: 第2言語習得研究 10 日本人英語学習者は何につまずくのか: 誤答分析、小テスト 11 英語力はどのように測定できるのか: 言語テスト 12 英語が使える日本人育成のための指導法(1): 聞くことを重視した活動 13 英語が使える日本人育成のための指導法(2): 話すことを重視した活動 14 英語が使える日本人育成のための指導法(3): 英語の学習からコミュニケーションの学習へ 15 復習 16 試験 				
【テキスト】				
テキストは使用しません。必要なものは、印刷して配布します。				
【参考図書】				
特に必要ありませんが、以下のものが読みやすく非常におもしろいです。 鈴木 孝夫 1999.『日本人はなぜ英語ができないのか』岩波新書。鈴木 孝夫 2001.『英語はいらない』PHP新書。 山田雄一郎 2005.『英語教育はなぜ間違っているのか』ちくま新書。山田雄一郎 2005.『日本の英語教育』岩波新書。				
【成績評価の方法】				
期末に行う試験と、途中に行う3回の小テスト、授業中の意欲・態度に基づき総合的に評価します。それぞれの配点は、60点、30点、10点です。				

気象学				加藤 内藏進
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 地球上のエネルギー・水循環の実態と仕組みについて、アジアモンスーン等に注目して解説するとともに、地球規模の視点で見た地域規模の現象の位置づけや変動への応答過程について日本付近の現象などを例に考察し、複雑な因子の絡み合う総合地球システムへの系統的理解を深める。そのような理解を通して、気象分野に関連した理科教育や環境教育、気象の専門知識を生かした仕事などを行うための、地学的専門性を高めることを目的とする。				
【授業内容】 1 地球規模の視点で見た東アジアの気候システムの概要 2 地球大気の大気熱収支や大気力学過程の基礎 3 大気や海洋の運動におけるコリオリ力の役割 4 中緯度の気候大循環と温帯低気圧活動をめぐって 5 北半球夏のアジアモンスーンと水循環 6 北半球冬のアジアモンスーンと東アジアの寒気吹き出し 7 中国乾燥気候の形成と東アジアの気候への影響 8 豪雨をもたらす梅雨・秋雨前線帯 9 台風のメカニズムと日本の降水環境への影響 10 梅雨・盛夏・秋雨の季節遷移とモンスーン 11 日本海側の雪と太平洋側の雪(日本海上の気団変質vs南岸低気圧) 12 集中豪雨と集中豪雪(メソスケール降水系のダイナミクス) 13 細かいステップで遷移する東アジアの季節(『中間の季節』に注目して) 14 モンスーンや偏西風システムの変動と異常気象(暖候期) 15 モンスーンや偏西風システムの変動と異常気象(寒候期)				
【テキスト】 特になし(適宜, プリントを配布)				
【参考図書】 「一般気象学」(第2版)(小倉義光著, 東大出版会), 「気象学のプロムナード(第Ⅰ期, 第Ⅱ期)」の各巻(東京堂出版), 「豪雨と降水システム」(二宮洗三, 東京堂出版)。また, より詳しく勉強したい人は, 「気象がわかる数式入門」, 「気象がわかる数と式」, 「気象予報の物理学」(何れも, 二宮洗三著, オーム社)などを独学して, 数式も用いた理解のしかたに慣れながら受講するとよい。その他, 適宜紹介する。				
【成績評価の方法】 受講時の興味・関心や理解度(小レポート等を含む)(概ね20点), 中間レポートあるいは筆記試験(概ね40点), 最終レポートあるいは筆記試験(概ね40点)で総合的に評価する。				

アジア法				張 紅
履修年次 3～4	2単位	前期	1コマ	文化系定員10名
【授業の目的】 新中国会社法を理解し、日中ビジネスにおける特色や経営上陥りやすいトラブル並びに実務上の判例分析を通じて、現実問題に対する分析力、その防止策を探る能力を養成し、積極的な発言、情報収集能力を育てることを目標とする。				
【授業内容】 1 中国新会社法の改正概要 2 企業形態に関する日中の比較(事例を含む) 3 会社の総則 4 会社設立に関する日中の比較(判例を含む) 5 株主総会に関する日中の比較(判例を含む) 6 取締役会に関する日中の比較(判例を含む) 7 監査役会に関する日中の比較(判例を含む) 8 株式発行と譲渡に関する日中の比較(判例を含む) 9 社債に関する日中の比較(判例を含む) 10 財務・会計に関する日中の比較(判例を含む) 11 会社の合併・分割と増資・減資に関する日中の比較(判例を含む) 12 会社の解散・清算に関する日中の比較(判例を含む) 13 外国会社の支店に関する日中の比較 14 法律責任に関する日中の比較(判例を含む) 15 日中ビジネス展開における法問題リスクマネジメント(事例を含む) 16 まとめ				
【テキスト】 『現代中国法講義(第3版)』(西村幸次郎編) 張紅分担執筆:第六章「会社法」法律文化社, 2008年。 なお、その他の教科書等については初日開講時に指示する。各回講義資料としてレジュメをWEB(岡山大学法学部)に載せる。				
【参考図書】 張紅著『中国法における会社管理機構』大学教育出版				
【成績評価の方法】 成績はレポート期末試験の成績、出席状況、受講態度、質疑応答など総合して評価する。				

比較政治 I				成廣 孝
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	文化系定員10名
【授業の目的】 比較政治学の諸理論を、それに対応する事例を説明しながら説明する。対象は主に非民主主義国。				
【授業内容】 1 ガイダンス 2～15 比較政治学の諸理論と事例 レジーム論, デモクラシー, 非デモクラシー体制 諸地域の政治体制・民主化(歴史上の権威主義体制, 中国・韓国・北朝鮮・ロシア・東南アジア・中東諸国・ラテンアメリカ) 16 試験 そのときの政治的状況や進度に応じて扱う国や順番が変化することがある。				
【テキスト】 指定しない。				
【参考図書】 適宜指示する。				
【成績評価の方法】 期末試験に加え、アンケートを実施して出席点とする。				

現代数学要論 I					中村 博昭
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度	
【授業の目的】 将来、必要となる数学は専攻によって様々であるが、どの分野を学ぶにしても必要となる基本的な素養を身につける。					
【授業内容】 原則として以下の順序で進めるが、学生諸君の理解の状況を見て変更の可能性がある。 第1回～第5回:集合と写像 学問としての現代数学の成り立ち(公理, 定義, 定理, 証明など)を概観したあと, 具体例を交えながら集合と写像の概念の使い方を講義する. 余裕があれば, 無限集合の濃度や順序数について簡単に紹介する. 第6回～第10回: 論理 数学における基本的な論理演算(「かつ」「または」「ならば」「でない」「すべて」「ある」)の扱いについて講義し, 具体的な問題への適用例を検証する. 第11回～第15回: 初等整数論 ユークリッドの互除法に代表される除法原理を基礎に, 合同式の初歩を講義する. 第 16 回: 最終試験					
【テキスト】 佐藤文広「数学ビギナーズマニュアル」日本評論社					
【参考図書】 松坂和夫「集合・位相入門」岩波書店					
【成績評価の方法】 出席・レポート(60点), 期末試験(40点)					

基礎物理学 I					村岡 祐治
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度	
【授業の目的】 力学の考え方を把握し、身近に生じている現象を運動の法則から数式を使用して説明できるとこと目標にする。					
【授業内容】 力, 運動の表し方, 運動の法則, 等速円運動, 振動, 仕事とエネルギー, 運動量, 慣性力, 回転運動について順次講義する。 授業は理解の様子を見ながら進める。試験を含め16回の授業を行う。					
【テキスト】 原 康夫 著 第3版基礎物理学 学術図書出版社 ISBN4-87361-681-6					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 出席(20%), レポート(20%), 期末試験(60%), 2/3以上の出席者に対し単位可否の認定をする。					

基礎有機化学				西原 康師
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度
【授業の目的】 高分子化学という分野を取り巻く他分野との関連を巨視的に眺めることにより自然科学全体を広く理解できるようにすることが重要である。用いるテキストに記載させている専門用語の意味や内容を理解できるようになることが第一義の目標である。				
【授業内容】				
1 高分子概論	2 身の回りの高分子	3 原子から低分子へ	4 低分子から高分子へ	5 高分子の力学的性質
6 高分子	7 高分子の光と電気特性	8 中間試験および解説	9 連鎖反応	10 逐次反応
			11 高分子の反応	12 高分子材料
			13 機能性高分子	14 高分子と環境問題
			15 最終試験および解説	16 まとめ
【テキスト】 「絶対わかる高分子化学」斎藤勝裕, 山下啓司 著講談社 (2005-07-15出版) ¥2,520(税込) (生協で購入可)				
【参考図書】				
1)「高分子合成化学」遠藤 剛, 三田文雄 著 ¥2,940 (税込)				
2)「物質工学講座 高分子合成化学」山下雄也監修/青木俊樹他共著 ¥4,725(税込)				
【成績評価の方法】 中間試験(50点)および最終試験(50点)により評価する。(但し, 毎回の出席点を最大10点で加点することがある)				

基礎生物学 I				沓掛 和弘
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度
【授業の目的】 生物を構成する細胞、エネルギー代謝、遺伝子の発現、動物の行動と環境への適応など、生命活動を支える仕組みを理解する。				
【授業内容】				
1 イントロダクション	2 細胞	3 細胞分裂	4 生体を構成する物質	5 エネルギー代謝:呼吸
6 エネルギー代謝:エネルギーの消費	7 遺伝子	8 動物の行動	9 神経系とニューロン	10 感覚:ものが見えるしくみ
11 行動の制御	12 環境への適応:生物リズム	13 体内時計	14 季節への適応	15 環境と人間活動
16 期末試験				
【テキスト】 現代生物学入門 岡山大学生物学教科書作成グループ編・岡山大学出版会				
【参考図書】 イントロダクションで紹介する。				
【成績評価の方法】 レポート、小試験と期末試験で総合的に評価する。				

基礎地球科学A					山川 純次																
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度																	
【授業の目的】																					
1. 地球の構造と構成要素の理解 2. 惑星規模の現象を支配する要因と法則の理解 3. 地球科学の研究に必要な知識の習得																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 地球システム科学</td> <td>9. 地殻の進化</td> </tr> <tr> <td>2. 地球温暖化に関する解説</td> <td>10. 化石</td> </tr> <tr> <td>3. 地球の大きさや重さ</td> <td>11. 変成岩と鉱物</td> </tr> <tr> <td>4. 地球の内部構造</td> <td>12. 鉱物の結晶構造</td> </tr> <tr> <td>5. リソスフェア, アセノスフェアとメソスフェア</td> <td>13. 同位体を使った年代推定</td> </tr> <tr> <td>6. プレートテクトニクスとプレュームテクトニクス</td> <td>14. 地球の初期形成</td> </tr> <tr> <td>7. 火山と岩石</td> <td>15. 大陸の成長</td> </tr> <tr> <td>8. マグマの化学組成</td> <td>16. 期末試験</td> </tr> </table>						1. 地球システム科学	9. 地殻の進化	2. 地球温暖化に関する解説	10. 化石	3. 地球の大きさや重さ	11. 変成岩と鉱物	4. 地球の内部構造	12. 鉱物の結晶構造	5. リソスフェア, アセノスフェアとメソスフェア	13. 同位体を使った年代推定	6. プレートテクトニクスとプレュームテクトニクス	14. 地球の初期形成	7. 火山と岩石	15. 大陸の成長	8. マグマの化学組成	16. 期末試験
1. 地球システム科学	9. 地殻の進化																				
2. 地球温暖化に関する解説	10. 化石																				
3. 地球の大きさや重さ	11. 変成岩と鉱物																				
4. 地球の内部構造	12. 鉱物の結晶構造																				
5. リソスフェア, アセノスフェアとメソスフェア	13. 同位体を使った年代推定																				
6. プレートテクトニクスとプレュームテクトニクス	14. 地球の初期形成																				
7. 火山と岩石	15. 大陸の成長																				
8. マグマの化学組成	16. 期末試験																				
【テキスト】																					
教科書 教科書は使用しない。講義に必要な資料は理学部e-Learnigサーバ http://mdl-sci.desc.okayama-u.ac.jp/moodle/ にて配付する。																					
【参考図書】																					
図説地球科学(杉村新・中村保夫・井田喜明 編, 岩波書店, 1988) 理科年表(国立天文台 編, 丸善株式会社, 2007) 別冊宝島443 地球50億年の謎(別冊宝島編集部, 宝島社, 1999)																					
【成績評価の方法】																					
毎時間の小テスト40点, 期末試験30点, 最終レポート30点																					

環境と健康					山岡 聖典 他
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】					
生活環境が健康に及ぼす影響の実態を理解し, 健康長寿社会の実現のための望ましい生活環境と生活スタイルの創出能力を習得することが授業の目的である。このため, 講義の内容をよく理解し, 健康で長寿な毎日を過ごすために, 実際の生活環境においてどんな問題があり, これに対してどう解決していくべきかを具体的に考えてもらう。さらに, 得られた知識を一般の人に対して啓蒙することができるかが到達目標となる。					
【授業内容】					
第1回: 環境と健康とは(山岡聖典教授)					
第2回: 健康長寿で生活するには(山岡聖典教授)					
第3回: 生活習慣病・成人病(1) 肥満とダイエット(上者郁夫教授)					
第4回: 生活習慣病・成人病(2) 高血圧, 高脂血症, 痛風(上者郁夫教授)					
第5回: 生活習慣病・成人病(3) 糖尿病, がん(上者郁夫教授)					
第6回: 生活習慣病・成人病(4) 虚血性心疾患, 脳血管障害, 胃・十二指腸潰瘍, 肝機能障害(上者郁夫教授)					
第7回: 生活習慣病・成人病(5) 健康維持のための日常生活(上者郁夫教授)					
第8回: 社会環境と健康(伊藤武彦教授)					
第9回: 生活環境と健康(伊藤武彦教授)					
第10回: 職業と健康(1)(伊藤武彦教授)					
第11回: 職業と健康(2)(伊藤武彦教授)					
第12回: 生体と電気(中村隆夫准教授)					
第13回: 生体電気現象(中村隆夫准教授)					
第14回: 健康リスクと生体防御機構(野村崇治非常勤講師)					
第15回: 環境と健康のまとめ(山岡聖典教授)					
第16回: 最終試験(山岡聖典教授)					
【テキスト】					
必要に応じて資料などを配付する。					
【参考図書】					
適宜, 講義の中で紹介する。					
【成績評価の方法】					
最終試験を60点, 出席点・授業態度などを40点とし, 総合的に評価する。					

保健科学入門					景山 甚郷、岡本 基、大西 勝、草地 省藏、池田 敏、安田 和弘、小田 慈、上者 郁夫、片岡 幹男、谷垣 静子、品川 克至
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ	若干名
【授業の目的】 将来異なる医療職に従事したとき、共通の基礎知識にたつて相互理解と協力が図れるようになる。					
【授業内容】					
・ 医学概論(1)		景山甚郷先生			
・ 医学概論(2)		〃			
・ 大学生生活とメンタルヘルス		大西 勝先生			
・ 動脈硬化		草地省藏先生			
・ 飲酒と健康		池田 敏先生			
・ 臓器移植		財団法人岡山県臓器バンク移植コーディネーター			安田和広先生
・ 心の健康の保ち方		岡本 基先生			
・ 痴呆		岡本 基先生			
・ 医療放射線被曝		上者郁夫先生			
・ 造血幹細胞移植		品川克至先生			
・ 在宅看護		谷垣静子先生			
・ 院内感染症		片岡幹男先生			
・ 肥満と健康		景山甚郷先生			
・ HIV感染症		小田 慈先生			
・ トピックス		景山甚郷先生			
【テキスト】 特に指定しない。必要があれば授業の中で資料を配布する。					
【参考図書】 適宜, 講義の中で紹介する。					
【成績評価の方法】 評価方法は試験、ミニレポート、出欠状況など。教員によって異なる。					

細胞生物学					杉本 朋貞(責任者)
履修年次	1～4	2単位	後期	1コマ	5名以内
【授業の目的】 ヒトの細胞の構造と機能を理解する。					
【授業内容】					
1 細胞の構造：タンパク合成と分泌（杉本教授）					
2 細胞の構造：細胞による消化（杉本教授）					
3 細胞の構造：細胞の骨格（杉本教授）					
4 細胞の機能：生体の構成物質（滝川教授）					
5 細胞の機能：物質代謝 エネルギーの獲得と利用（滝川教授）					
6 細胞の機能：細胞の増殖と分化の分子機構（滝川教授）					
7 細胞の構造：組織・器官の構成（寺山准教授）					
8 細胞の構造：組織・器官の構成（寺山准教授）					
9 細胞の構造：組織・器官の構成（寺山准教授）					
10 細胞の機能：生理学と神経系（小橋准教授）					
11 細胞の機能：神経細胞の電気的特徴（小橋准教授）					
12 細胞の機能：簡単な神経回路の働き（小橋准教授）					
13 細胞の機能：身近な薬を科学する 受容体と情報伝達機構（十川准教授）					
14 細胞の機能：身近な薬を科学する 薬物と酵素活性（十川准教授）					
15 細胞の機能：身近な薬を科学する 薬物相互作用（十川准教授）					
16					
【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 学期末にレポートを提出させ、可否を判定し、出席点と併せて総合評価する。					

生体材料学1					松本卓也(責任者)
履修年次 1～4	1単位	前期前半	1コマ	5名以内	
【授業の目的】					
<p>歯科医療は、口腔の健康維持ならびに口腔機能不全症の回復を主体としているが、治療を行う上で生体材料は必要不可欠であり、かつ、人体の中で生体材料が最も応用されている領域でもある。本講義では、総論として歯科医学で応用されている生体材料について、その意義、目的、種類、性質など基礎的事項を理解するとともに、各論として印象用材料、模型用材料、歯科用セラミックスの基礎と臨床を学習する。</p>					
【授業内容】					
1 4月 10日(火) 生体材料学概説					
2 4月 17日(火) 生体材料の種類と性質1					
3 4月 24日(火) 生体材料の種類と性質2					
4 5月 1日(火) 印象用材料					
5 5月 8日(火) 模型用材料					
6 5月 15日(火) 歯科用セラミックス1					
7 5月 22日(火) 歯科用セラミックス2					
8 5月 29日(火) 試験					
9					
10					
【テキスト】					
スタンダード歯科理工学(学建書院)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
本講義を担当する教員がそれぞれ期末試験を行い、試験結果の平均点で成績評価を行う。					

生体材料学2					松本卓也(責任者)
履修年次 1～4	1単位	後期前半	1コマ	5名以内	
【授業の目的】					
<p>歯科医療は、口腔の健康維持ならびに口腔機能不全症の回復を主体としているが、治療を行う上で生体材料は必要不可欠であり、かつ、人体の中で生体材料が最も応用されている領域でもある。本講義では、合着・接着用材料、人工歯根、切削・研磨材料、歯科用器械・器具の基礎と臨床、組織再建、再生材料、組織工学を学習する。</p>					
【授業内容】					
1 10月 2日(火) 合着・接着用材料					
2 10月 9日(火) 材料表面修飾					
3 10月 16日(火) 切削、研磨材料					
4 10月 23日(火) 歯科用器械、器具、人工歯根					
5 10月 30日(火) 材料と安全性					
6 11月 6日(火) 組織再建、再生用材料					
7 11月 13日(火) 組織工学					
8 11月 20日(火) 試験					
9					
10					
【テキスト】					
スタンダード歯科理工学(学建書院)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
本講義を担当する教員がそれぞれ期末試験を行い、試験結果の平均点で成績評価を行う。					

口腔感染防御論				高柴 正悟	
履修年次 1～4	1単位	後期前半	1コマ	5名以内	
【授業の目的】 口腔感染症の病態とその全身への影響を理解するために、歯周組織に関する生物学的な基礎知識および辺縁性歯周疾患と歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病態とそれに基づく治療法について理解する。					
【授業内容】 1 第1回 10月 2日 インTRODクシヨN:本講義の位置付け 2 第2回 10月 9日 感染症学 3 第3回 10月16日 感染症学 4 第4回 10月23日 臨床免疫学 5 第5回 10月30日 臨床免疫学 6 第6回 11月 6日 臨床炎症学 7 第7回 11月13日 院内感染 8 第8回 11月20日 試験:感染・免疫学のまとめ					
【テキスト】 講義中に適宜紹介する。					
【参考図書】 講義中に適宜紹介する。図書館とInternetを利用して検索を行い、情報収集することも必要になる。 以下も講義の合間に参考にどうぞ 1. 感染症から身を守る本—見えない敵の正体と脅威、これだけは知りなさい(KAWADE夢新書)(単行本(ソフトカバー)) 岡部信彦(著) 2. 図解 感染恐怖マニュアル(文春文庫PLUS)(文庫) 病原体との共存を考える会(著) 3. 人類vs感染症(岩波ジュニア新書)(新書) 岡田晴恵(著) 4. 人体常在菌のはなし—美人は菌で作られる(集英社新書)(新書) 青木阜(著)					
【成績評価の方法】 毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また、講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験60点、レポート30点、出席10点					

口腔内科学				高柴 正悟	
履修年次	1～4	1単位	前期後半	1コマ	5名以内
【授業の目的】					
種々の疾患は個体毎に異なる病態を持つことを診断して治療・管理を行う，すなわち，“個体医療”の概念に基づいて治療を実践するために，口腔科学と全身の科学との関係を，主に感染症，慢性炎症，および免疫疾患の観点から捉え，「口腔内科」の発展的・学際的な考え方を理解する。					
【授業内容】					
1	第1回	6月 7日	口腔治療学：口腔科学の視点から		
2	第2回	6月14日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：これらからの歯科医療が目指すべき		
3	第3回	6月28日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：病院内の歯科のありかた		
4	第4回	7月 5日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：易感染性宿主や有病者との関係		
5	第5回	7月12日	特別講義：口腔科学から隣接科学への貢献と影響		
6	第6回	7月12日	特別講義：口腔科学から隣接科学への貢献と影響		
7	第7回	7月19日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：糖尿病外来と妊婦外来		
8	第8回	7月26日	試験：口腔内科学のまとめ		
9					
【テキスト】					
講義中に適宜紹介する。					
事前に， http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind2/cn11/pg60.html にある口腔内科学 Oral Medicineの資料を予習しておくこと。					
選択すべき教科書群；					
1. ペリオドンタルメディスン Louis F.Rose・Robert J.Genco ほか編著／宮田隆 監訳 医歯薬出版 定価 10,500円					
2. 歯周病と7つの病気 — 8つのnews 吉江弘正，高柴正悟 編著 永末書店 定価(本体価格8,000円＋税)					
3. 歯科医師・歯科衛生士のための唾液検査ハンドブック 鴨井久一，花田信弘 監修 ヒョーロン 定価 4,725円					
4. 内科医に必要な口腔疾患の知識 (日本臨床内科医会叢書) (単行本) 藤田 浄秀 (編集) ¥3,150					
5. 口腔内科学シークレット 島原政司，勝健一 監訳 メディカルサイエンスインターナショナル 定価 5,460円					
6. 糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン (PDF: http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp2/pub/file/guideline_diabetes.pdf)					
【参考図書】					
講義中に適宜紹介する。図書館とInternetを利用して検索を行い、情報収集することも必要になる。					
【成績評価の方法】					
毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また，講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験60点、レポート30点、出席10点					

有機化学I				竹内 靖雄	
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名, 理工科系・生命科学系学生用	
【授業の目的】 高校化学との連携を意識しつつ, 薬学教育で必須となる有機化学の基礎を概説する。					
【授業内容】 第 1 回 概説・薬学の有機化学とは 第2～4回 基本事項 第5～7回 有機化合物の立体構造 第 8 回 第1～7回演習・中間試験 第9～11回 アルカン 第12～14回 アルケン, アルキン 第 15 回 第9～14回演習 第 16 回 期末試験					
【テキスト】 スタンダード薬学シリーズ3 化学系薬学 I. 化学物質の性質と反応 (第2版)(東京化学同人)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 ・記述試験と出席状況の結果から評価する。 ・記述試験の評価は, 第1～4回の試験結果の合計点とする。 ・出席状況の評価は, 出席点を加点するのではなく, 2点(届出有)～5点(届出無)の欠席点を減じる。 ・双方向性授業を目指すため, シヤトルカードを使用し, 出席の確認と小テストも兼ねる。					

機械システム系概論				瀬沼 武秀, 鈴木 和彦 他	
履修年次 1～4	1単位	前期前半	1コマ		
【授業の目的】 機械ならびにシステムに関する概要を工学系の学生に分かりやすく紹介する。 ①工学系の学生としての修学姿勢を修得する。②実際の研究開発における機械ならびにシステムの役割を修得する。③各研究室の研究活動について紹介する。なお, この授業はクラス分けを行います。					
【授業内容】 機械系・システム系概論をそれぞれ4回の講義(合計8回)を実施する。機械系・システム系の講義はクラスにより順番が変わる場合がある。 機械系概論 1. 社会から期待されるエンジニアになるための自己育成法 2. 岡山大学機械システム工学科(機械系)の主な研究の紹介 3. 機械工学の役割(環境技術を例に) 4. 機械工学の役割(自動車産業を例に) システム系概論 1. システム工学とは(システムズアプローチ) 2. システムとは 3. システム工学の役割 4. 岡山大学機械システム工学科(システム系)の主な研究の紹介					
【テキスト】 必要に応じて資料を配布する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 レポート100% (授業内に指示する)					

電気通信系概論				船曳 信生, 塚田 啓二 他	
履修年次 1～4	1単位	前期後半	1コマ		
【授業の目的】 この講義では、電気通信系工学の学問的基礎の導入とこの分野への広い興味を喚起する。具体的には、電気通信系工学に関する基礎的概念とそれに根ざした先端の話題の紹介を通じて、電気通信系工学の重要性を多面的、多角的に学ぶ。					
【授業内容】 下記8回の講義を実施するが、講義の順序はクラスによって異なる。 1. 電子デバイスのしくみ 2. 脳機能型デバイスを目指して 3. 磁気の知識が省エネに役立つ 4. 再生可能エネルギーの利用を目指して 5. モバイル通信の現状と動向 6. 公開鍵暗号(RSA暗号)とその原理 7. インターネットのしくみ 8. Webシステムのしくみ					
【テキスト】 講義内容に関連する資料は、必要に応じて、プリント等を配付する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 レポート100%（授業内に指示する）					

情報系概論				名古屋 彰 他	
履修年次 1～4	1単位	前期前半	1コマ		
【授業の目的】 工学部で学ぶ者が理解しておくべき情報系の技術の基礎知識を学ぶとともに、各研究分野における先端的な話題を聞いて情報系の学問を習得する意義と目的を理解する。					
【授業内容】 下記の8回の講義を実施するが、講義の順序はクラスによって異なる。 1. コンピュータの基本構成と動作原理 2. 高性能、低コストのコンピュータを実現する技術 3. 計算機の電源ONから立ち上がるまでの動き 4. 大きなプログラムを動かす仕組み 5. 使い易いコンピュータとは？ ヒューマンインタフェースへの誘い 6. 人間は如何に喋っているか？ 信号処理の一応用 7. 処理対象の拡大と情報革命の進展 8. 情報処理の最前線と将来展望 — コンピュータビジョンを例に取って					
【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 レポート100%（授業内に指示する）					

化学生命系概論				妹尾昌治, 高井和彦 他	
履修年次 1～4	1単位	前期後半	1コマ		
【授業の目的】 身のまわりの多種多様な有機・無機化合物や生命現象を題材に、その性質やしくみおよびその利用について化学の視点から理解し、工学の中における重要性を学ぶ。さらに生命工学とはどのような境界領域と考えればよいのかを学ぶと同時に最新の研究の意義と重要性を学ぶ。					
【授業内容】 下記の8回の講義を実施するが、講義の順序はクラスによって異なる。 1. 鉄さび(酸化鉄)の多彩な化学 2. 化学結合から考えるセラミックス 3. 材料製造プロセスの工学と化学 4. 石油と身の回りの高分子をつなぐ化学 5. 人工生体材料の分子化学 6. 半熟卵は消化がいい 7. 天然にないアミノ酸をタンパク質に組み入れる 8. タンパク質を”工学”すると、何ができるか？					
【テキスト】 講義内容に関連する資料は、必要に応じて、プリント等を配付する。					
【参考図書】 適宜、授業中に参考図書を紹介する。					
【成績評価の方法】 レポート100%（授業内に指示する）					

特殊加工学				岡田 晃	
履修年次 3～4	2単位	前期	1コマ	定員20名, 理工系学生用	
【授業の目的】 工業材料の加工法において特殊加工として位置付けられている放電加工, レーザ加工, 電子ビーム加工, 超音波加工, 電解加工, 電鍍加工等の原理, 特徴, 応用等について学習する。					
【授業内容】 1. 特殊加工法の必要性和発展の経緯, 特殊加工法の分類 2. 放電加工(1) 3. 放電加工(2) 4. 電子ビーム加工(1) 5. 電子ビーム加工(2) 6. イオンビーム加工 7. レーザ加工(1) 8. レーザ加工(2) 9. 超音波加工 10. 電解加工 11. エッチング・めっき 12. 電鍍加工 13. PVD 14. CVD 15. 特殊加工法の将来展望 16. 期末試験					
【テキスト】 教科書:「特殊加工」佐藤敏一 著 (株)養賢堂 参考書:「加工技術データファイル」機械振興協会技術研究所					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 点数による評価:1. 期末試験(100点満点)の結果に加え, 欠席点(1回あたり2点減点)を含めて評価する。					

コンピュータグラフィクス				金谷健一・新妻弘崇	
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 コンピュータグラフィクスの原理とそれに関連する数学的事項を習得するとともに、英語の技術用語や技術表現に慣れる。					
【授業内容】					
1. コンピュータグラフィクスとは		9. シェーディング			
2. デジタル画像		10. テクスチャマッピング			
3. 3次元形状のモデリング		11. レイトレーシング			
4. 自由曲線の生成		12. 色の表現			
5. 自由曲面の生成		13. ボリュームレンダリング			
6. 3次元形状の2次元投影		14. アニメーション			
7. 3次元形状の変形と移動		15. コンピュータグラフィクスの応用			
8. 隠れ面の消去		16. 試験			
【テキスト】 教科書: 前川佳徳 編著「コンピュータグラフィクス」 オーム社					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 期末試験による。					

計算統計学I				垂水 共之	
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	定員10名	統計の基礎知識を有すること。
【授業の目的】 1. 実際のデータを使って分析を行う手順を覚える。 2. Rが使えるようになる。 3. Rの結果を読み、結論を導くことができる技術を身に付ける。 4. 種々の実際のデータを使って、習得した知識をもとに分析を行う					
【授業内容】					
第 1回 SPSS, S, Lisp-Stat, R等の統計解析言語, ソフトウェアの特徴, 機能について					
第 2回 Rの操作法復習(基礎集計, 散布図行列, スピンプロット)					
第 3回 検定					
第 4回 重回帰分析					
第 5回 重回帰分析(重相関係数)					
第 6回 重回帰分析(変数選択)					
第 7回 データ分析1					
第 8回 主成分分析					
第 9回 主成分得点					
第10回 データ分析2					
第11回 判別分析					
第12回 判別分析(変数選択)					
第13回 データ分析3					
第14回 クラスタ分析					
第15回 総合分析					
【テキスト】 田中・垂水他「Rによる多変量解析(共立出版)」					
【参考図書】 「竹内俊彦著 はじめてのS-PLUS/R言語プログラミング(オーム社)」 「U.リゲス著石田基広訳 Rの基礎とプログラミング技法(シュプリンガー・ジャパン)」					
【成績評価の方法】 講義期間中にレポートを10回程度と演習2回程度を予定している。					

循環型社会システム					河原 長美, 河村 雄行, 松井 康弘
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】 21世紀の望ましい社会が循環型社会と呼ばれており、その構築が喫緊の課題である。循環型社会の概念の整理及びその構築方法を、生産者側、消費者側、消費後の静脈側からのアプローチを解説する。また循環型社会の構築を各主体(事業者, 市民, 行政)が製造, 流通, 消費の動脈と, 回収, 処理・処分といった静脈において, 資源保全, 費用負担, 環境保全等の制約条件下で, 資源保全や環境負荷の低減のための手法や技術の選択について講述する。さらに水の大循環と水利用, 物質循環と地球環境保全の課題について, 循環型社会の構築の視点から考察する。					
【授業内容】 1 循環型社会とその必要性 2 循環型社会と経済 3 求められる生活様式の変革 4 循環型社会への廃棄物マネジメント 5 循環型社会の評価指標, 資源効率, 環境効率 6 自然における水の大循環と循環型社会 7 洪水, 渇水問題と水環境の課題 8 水質の現状と水環境の課題 9 生態系の保全と水環境の課題 10 水の利用と水の浄化のシステム構成と課題 11 循環型社会における環境影響・リスク評価 12 環境における物質循環と環境容量 13 循環型社会と環境の酸性化問題 14 循環型社会と地球温暖化・エネルギー問題 15 試験 16 試験の解説と講義総括					
【テキスト】 講義時に適時資料を配付する。					
【参考図書】 授業時に関連する参考書を紹介する。					
【成績評価の方法】 演習課題(20%), 試験(80%)で合計点の6割以上を合格とする。なお, 2/3以上の出席を単位取得条件とする。					

基礎地球科学					赤江 剛夫, 西村 伸一
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】 人間活動・地域環境と関連の深い地球科学に関する事項のうち、特に地殻、地盤、岩石、土壌に関する問題について基礎的知識を講述する。地表環境を構成する地殻・地盤、岩石、土壌に関する基礎的知識を身につけることを目的とする。1. 地球の外観、プレート移動、火山活動、2. 地盤災害の機構、3. 岩石と土壌の生成過程を説明できることを目標とする。					
【授業内容】 1 太陽系の中の地球（位置、形、大きさ、測定法、地図） 2 地震（震源モデル、活断層、震度、マグニチュード、地震予知） 3 プレートテクトニクス（大陸移動説、プレートの移動、海嶺、衝突） 4 火成・火山活動（マグマ、鉱物、火成岩、火山構造、噴火） 5 地球の進化（地質年代、風化、造山活動、変成作用） 6 大気とその運動 / 中間試験① 7 土の性質と地盤沈下 8 地盤災害（1）地すべり 9 地盤災害（2）地震 10 地盤災害（3）降雨 / 中間試験② 11 造岩鉱物と岩石の生成 12 岩石の変成、風化と続成作用 13 水循環と土壌の生成 14 土壌の分類と分布 15 地球の物質循環と土壌の機能 / 最終試験					
【テキスト】 1回～10回:テキスト使用「地球科学ハンドブック」(力武常次著, 聖文社)1000円, 書店・生協注文。					
【参考図書】 11回～15回:参考書「環境土壌学」(岩田, 赤江他, 農業土木学会)3200円, 生協注文。					
【成績評価の方法】 担当教員ごとの試験(中間試験①②, 最終試験)の合計100%として評価する。中間試験①, 中間試験②, 最終試験の重みを各1/3とする。					

環境生物学					田中丸 重美, 中田 和義
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】 生物の環境への適応と反応について基礎的な知識を習得する。 不良環境への生物反応を理解することにより、人為的環境変化による生態系の破壊などについて予測する能力を養う。					
【授業内容】 第1回 生物と環境 ー進化と環境の相互作用ー, 光と植物(1)光合成と物質生産 光エネルギーの利用 第2回 光と植物(2)光形態形成, 光ストレス 第3回 温度と植物(1)生長反応と温度 第4回 温度と植物(2)温度ストレス 第5回 水と植物(1)植物を通る水の流れ 第6回 水と植物(2)乾燥ストレス 第7回 風と植物 第8回 大気汚染と植物 第9回 環境と動物の生態 第10回 環境と動物の分布 第11回 動物の生活史 第12回 動物の繁殖戦略 第13回 動物間の相互関係 第14回 環境の人為的変化が動物に与える影響 第15回 地球温暖化と動物					
【テキスト】 使用しない。					
【参考図書】 講義中に適宜紹介。					
【成績評価の方法】 各セッションごとに行う小テストおよびレポート, 出席等で評価する。					

環境と物質					高口 豊, 難波徳郎
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】					
1:身近な物質が, どのような化学構造を持つかを説明できる。 2:物質の化学構造と物質の性質の関係を説明できる。 3:化学工業がどのように現代社会を支えているかを説明できる。 4:物質やエネルギーの循環について説明できる。 5:化学の観点から, 環境と物質のかかわりについて正しく説明できる。					
【授業内容】					
担当:高口					
第1回 ガイダンス					
第2回 身近な物質の化学(1)何でも溶かす水					
第3回 身近な物質の化学(2)食べ物を考える:タンパク質, 糖, 油					
第4回 身近な物質の化学(3)料理の味を引き立てる香りとは色					
第5回 身近な物質の化学(4)台所に入り込んでくる化学薬品					
第6回 身近な物質の化学(5)繊維の化学					
第7回 身近な物質の化学(6)染色の化学, 筆筒に潜む化学薬品					
第8回 課題レポートの作成					
担当:難波					
第9回 人類の贅沢を化学する(1)地球はつりあったシーソーの上に					
第10回 人類の贅沢を化学する(2)物質を使い捨てる贅沢					
第11回 人類の贅沢を化学する(3)二酸化炭素を出す贅沢					
第12回 人類の贅沢を化学する(4)二酸化硫黄を出す贅沢					
第13回 人類の贅沢を化学する(5)苛性ソーダを浪費する贅沢					
第14回 人類の贅沢を化学する(6)エネルギーをむやみやたらにつかう贅沢					
第15回 人類の贅沢を化学する(7)まとめ, 人類の贅沢について考える					
第16回 期末試験と講評					
【テキスト】 なし。適宜, 資料を配布します。					
【参考図書】 鹿島長次 化学するシリーズ(http://www.geocities.jp/choji_kashima/index.html からダウンロードできます)					
【成績評価の方法】 試験, レポート及び小テストによって評価します。					

食品生化学					中村 宜督
履修年次 3~4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】					
脂質を中心とした食品の栄養成分の構造、生合成、代謝、生理的意義を生化学の知識をベースにして理解する。					
【授業内容】					
1. 脂質の生理的意義					
2. 脂質の構造と機能(1)脂肪酸					
3. 脂質の構造と機能(2)中性脂肪					
4. 脂質の構造と機能(3)リン脂質					
5. 脂質の構造と機能(4)その他の脂質					
6. 生体膜(1)リン脂質二重層					
7. 生体膜(2)膜タンパク質					
8. 膜輸送(1)単純拡散とチャネル					
9. 膜輸送(2)受動輸送と能動輸送					
10. 細胞内情報伝達					
11. 脂質の消化とリポタンパク質					
12. 脂質の代謝とダイエットの生化学(1)					
13. 脂質の代謝とダイエットの生化学(2)					
14. 窒素化合物の代謝(1)アミノ酸					
15. 窒素化合物の代謝(2)核酸					
16. 最終試験					
【テキスト】					
ホートン「生化学」, 適宜資料プリントの配布					
【参考図書】					
「食品化学」(文永堂出版)					
【成績評価の方法】					
授業の復習及び出席態度(課題:授業復習プリントの提出状況など)40点, 最終試験60点で評価する。					

農業協同組合論					小松 泰信
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 農業協同組合の歴史と組織運営原理を学ぶとともに、現状に関する分析能力と、農業協同組合に関する戦略構築能力を習得する。					
【授業内容】 1. 協同組合の基礎知識(その1) 2. 協同組合の基礎知識(その2) 3. 協同組合の誕生と世界の協同組合 4. 日本における農業協同組合の歴史(その1) 5. 日本における農業協同組合の歴史(その2) 6. 運営理念と機関(その1) 7. 運営理念と機関(その2) 8. 運営理念と機関(その3) 9. 経営の特徴 10. 組合員組織の機能・現状・課題 11. 事業と活動の概説 12. 指導事業と経済(販売・購買)事業 13. 信用・共済事業 14. 利用・厚生・高齢者福祉事業 15. 日本経済・農業の動向と農業協同組合のあり方					
【テキスト】 副読本「私たちとJA」を無料で配布する。小松泰信「非敗の思想と農ある世界」大学教育出版、必携。					
【参考図書】 必要に応じて紹介する。					
【成績評価の方法】 出席点とレポートなどにより総合的に評価する。					

食料政策学					小松 泰信
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 わが国の食料政策に関する分析能力と、政策立案能力を習得する。					
【授業内容】 1. 世界の食料事情と農産物貿易交渉の動向 2. 食料自給力・自給率の向上に向けた取り組み 3. 食の安全と消費者の信頼の確保 4. 農業経済の現状 5. 農地・農業用水の確保と農地の有効利用の促進 6. 農業労働力の現状 7. 担い手の育成・確保に向けた取り組み 8. 農業の体質強化と高付加価値化に向けた多様な取り組み 9. 資源・環境対策の推進状況 10. 農村地域の現状 11. 農村の資源等の保全・向上に向けた取り組み 12. 農商工連携等を通じた農村地域の活性化 13. 農村における雇用対策の推進状況 14. 共生・対流の促進を通じた農村地域の活性化 15. 国産農産物の消費の拡大と需要に応じた生産の展開					
【テキスト】 当該年度の「食料・農業・農村白書」と参考資料を配布する。					
【参考図書】 必要に応じて紹介する。					
【成績評価の方法】 出席点とレポートなどにより総合的に評価する。					

農業経営学					小松 泰信
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 わが国における農業経営が置かれている状況に関する分析能力と、農業経営に関する戦略構築能力を習得する。					
【授業内容】 1. 農業の動向と食料需給 2. 農業経営のかたちの収益目標 3. 農業経営の要素とその利用 4. 農業経営組織 5. 農業経営の運営と合理化 6. 農業経営の診断 7. 農業経営の設計 8. 農業市場のしくみ 9. 農産物の流通 10. 生産資材の購入と資金の調達 11. 農業経営と農家生活 12. 農村社会と集団活動 13. 農業協同組合 14. 農業政策と関係法規 15. 新しい農業経営をめざして					
【テキスト】 実教出版「農業経営」					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 出席点とレポートなどにより総合的に評価する。					

栄養生化学					坂口 英・宮本 拓
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 生命を維持している様々な仕組みのなかで、栄養素とその代謝が担う部分を理解することができる。食生活の理解と健康管理、また家畜の科学的な飼養にとって重要な栄養学の基礎が身に付く。					
【授業内容】 1. 個体と細胞の栄養、栄養素の種類 2. タンパク質の化学、消化・吸収 3. タンパク質の代謝 4. タンパク質の代謝 5. タンパク質の栄養 6. タンパク質の栄養・試験 7. 糖質の種類と化学 8. 糖質の消化と吸収、代謝 9. 糖質の代謝と調節 10. 糖質の栄養とエネルギー代謝・試験 11. 脂質の種類と化学 12. 脂質の消化、吸収、代謝 13. 脂質の機能 14. 脂質の栄養 15. 脂質の栄養・試験 16. 最終試験					
【テキスト】 現代の栄養化学(柳田晃良・福田亘博・池田郁男 編著, 三共出版 ISBN 4-7827-0522-0)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 授業時間内の3回程度の試験成績(合計90点)および出席状況(10点)に基づいて評価する。授業内容の理解度を主な評価基準とする。					

農場体験実習				齊藤 邦行																												
履修年次 1～4	1単位	前期集中	1コマ	若干名																												
【授業の目的】 農学部附属山陽圏フィールド科学センターに宿泊して、実際の農場運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の重要性を理解する。																																
【授業内容】 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員（ksaitoh@（以下はcc.okayama-u.ac.jp））に直接メールにて問い合わせ、8月6日（月）17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。 2. 実習経費として、宿泊費、食費（7食）、交流会費用、生活用品費として5,000円を徴収します。 3. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間（9月26, 27, 28日）、以下のような要領で実習を行います。 1) 野菜部門（岡山農場）、果樹部門（岡山農場）、水田部門（岡山農場）、畜産部門（津高牧場）の運営をそれぞれ体験す 2) 教員・技術職員とともに作業を行い、その必要性、合理性ならびに農業技術の体系を習得する。 3) 実習日程（詳細および変更のある場合は、オリエンテーションの際に説明する） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>9月26日（水）</td> <td>9月27日（木）</td> <td>9月28日（金）</td> </tr> <tr> <td>10:30-12:00 センター紹介</td> <td>6:45-7:30 牧場管理</td> <td>6:45-7:30 牧場管理</td> </tr> <tr> <td>13:00-15:00 稲刈り</td> <td>7:30-8:30 朝食</td> <td>7:30-8:30 朝食</td> </tr> <tr> <td>15:15-15:45 移動（津高牧場）</td> <td>9:00-9:30 移動（岡山農場）</td> <td>9:00-11:00 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>16:00-17:00 牛舎実習</td> <td>9:30-12:00 果樹の管理</td> <td>11:30-12:00 移動（岡山農場）</td> </tr> <tr> <td>18:30-19:30 夕食</td> <td>13:00-15:00 野菜の管理</td> <td>13:00-15:00 収穫実習</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15:15-15:45 移動（津高牧場）</td> <td>15:00-15:30 レポート作成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00-17:00 牛舎実習</td> <td>16:00 解散</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18:30-19:30 夕食</td> <td></td> </tr> </table>						9月26日（水）	9月27日（木）	9月28日（金）	10:30-12:00 センター紹介	6:45-7:30 牧場管理	6:45-7:30 牧場管理	13:00-15:00 稲刈り	7:30-8:30 朝食	7:30-8:30 朝食	15:15-15:45 移動（津高牧場）	9:00-9:30 移動（岡山農場）	9:00-11:00 草地の管理	16:00-17:00 牛舎実習	9:30-12:00 果樹の管理	11:30-12:00 移動（岡山農場）	18:30-19:30 夕食	13:00-15:00 野菜の管理	13:00-15:00 収穫実習		15:15-15:45 移動（津高牧場）	15:00-15:30 レポート作成		16:00-17:00 牛舎実習	16:00 解散		18:30-19:30 夕食	
9月26日（水）	9月27日（木）	9月28日（金）																														
10:30-12:00 センター紹介	6:45-7:30 牧場管理	6:45-7:30 牧場管理																														
13:00-15:00 稲刈り	7:30-8:30 朝食	7:30-8:30 朝食																														
15:15-15:45 移動（津高牧場）	9:00-9:30 移動（岡山農場）	9:00-11:00 草地の管理																														
16:00-17:00 牛舎実習	9:30-12:00 果樹の管理	11:30-12:00 移動（岡山農場）																														
18:30-19:30 夕食	13:00-15:00 野菜の管理	13:00-15:00 収穫実習																														
	15:15-15:45 移動（津高牧場）	15:00-15:30 レポート作成																														
	16:00-17:00 牛舎実習	16:00 解散																														
	18:30-19:30 夕食																															
【テキスト】 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。																																
【参考図書】 応用植物科学栽培実習マニュアル、森源治郎ほか監修、養賢堂、東京（2000）ISBN4-8425-0058-1																																
【成績評価の方法】 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。																																

基礎遺伝学				田原 誠・国枝 哲夫・加藤 鎌司																	
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	若干名																	
【授業の目的】 農学、生物学の基礎である遺伝学について概説する。遺伝学の基礎としてのメンデル遺伝学から、近年の細胞遺伝学、分子遺伝学にわたる範囲について広く解説する。また、集団遺伝学や量的形質の遺伝についても解説する。																					
【授業内容】 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>第1回 メンデル性遺伝</td> <td>第9回 遺伝暗号とタンパク質合成</td> </tr> <tr> <td>第2回 染色体の行動と遺伝</td> <td>第10回 原核生物における遺伝子作用の調節</td> </tr> <tr> <td>第3回 性染色体と伴性</td> <td>第11回 免疫遺伝学</td> </tr> <tr> <td>第4回 家系分析</td> <td>第12回 染色体の変化と突然変異</td> </tr> <tr> <td>第5回 連鎖と染色体地図の作成</td> <td>第13回 集団遺伝学</td> </tr> <tr> <td>第6回 細菌およびウイルス遺伝学</td> <td>第14回 量的形質の遺伝</td> </tr> <tr> <td>第7回 複対立遺伝子と遺伝的微小構造</td> <td>第15回 遺伝と進化</td> </tr> <tr> <td>第8回 DNAの複製と組換え</td> <td></td> </tr> </table>						第1回 メンデル性遺伝	第9回 遺伝暗号とタンパク質合成	第2回 染色体の行動と遺伝	第10回 原核生物における遺伝子作用の調節	第3回 性染色体と伴性	第11回 免疫遺伝学	第4回 家系分析	第12回 染色体の変化と突然変異	第5回 連鎖と染色体地図の作成	第13回 集団遺伝学	第6回 細菌およびウイルス遺伝学	第14回 量的形質の遺伝	第7回 複対立遺伝子と遺伝的微小構造	第15回 遺伝と進化	第8回 DNAの複製と組換え	
第1回 メンデル性遺伝	第9回 遺伝暗号とタンパク質合成																				
第2回 染色体の行動と遺伝	第10回 原核生物における遺伝子作用の調節																				
第3回 性染色体と伴性	第11回 免疫遺伝学																				
第4回 家系分析	第12回 染色体の変化と突然変異																				
第5回 連鎖と染色体地図の作成	第13回 集団遺伝学																				
第6回 細菌およびウイルス遺伝学	第14回 量的形質の遺伝																				
第7回 複対立遺伝子と遺伝的微小構造	第15回 遺伝と進化																				
第8回 DNAの複製と組換え																					
【テキスト】 山口彦之著、大学の生物学 遺伝学（改訂版）裳華房、3600円																					
【参考図書】																					
【成績評価の方法】 2回の期間内試験と最終試験の成績に基づいて評価する。配点は期間内試験がそれぞれ33点、最終試験が34点とする。期間内試験はレポートに変更することがある																					

応用微生物学Ⅰ				稲垣 賢二	
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 生命化学やバイオテクノロジー、バイオサイエンスを理解するために必要不可欠な応用微生物学に関する基礎知識を習得する。					
【授業内容】 1. 微生物学の発展と歴史 2. 生物界における微生物の位置 3. 微生物の種類と特徴 (1)原核微生物(細菌, 放線菌, 古細菌) 4. (2)真核微生物(真菌類) 5. (3)ウイルス, バクテリオファージ, 藻類 6. 微生物の生育と栄養 7. 微生物の分離, 培養, 保存 8. 中間まとめ 9. 微生物の食品製造への利用 (1)ワイン, ビール 10. (2)清酒, ウイスキーその他の蒸留酒 11. (3)味噌, 醤油, 納豆, その他の発酵食品 12. 応用微生物工業 (1)アルコール製造 13. (2)アミノ酸発酵, 核酸発酵 14. (3)抗生物質, 生理活性物質の生産 15. 総まとめ					
【テキスト】 「応用微生物学 改訂版」(培風館), 村尾澤夫・荒井基夫 共著, 2900円。生協扱い。					
【参考図書】 「バイオのための基礎微生物学」(講談社サイエンティフィック), 「応用微生物学」(文永堂出版), 「微生物学」(化学同人), 「ホートン 生化学 第3版」(東京化学同人), 「生化学 基礎の基礎」(化学同人)					
【成績評価の方法】 平常点30点, 中間試験30点, 期末試験40点。必要に応じて, レポートや小テストを課すことがある。					

岡山県立大学
(シラバス)

比較文化				桂 宥子
履修年次:1~4	2単位	前期	1コマ	課題が多いので、それを覚悟して受講すること。
【授業の目的】				
伝承童謡、児童文学、及び絵本の重要な作品をとりあげ、個性的な作品の背後にある文化的伝承の違いを明らかにする。さらに、同一作品が異なる文化圏においてどのように受容されているかを見ることにより、多文化社会実現の可能性について考察する。				
【授業内容】				
1 インTRODクシヨン				
2 異文化の受容 I 日本におけるマザーグースの受容				
3 同上 II 英国におけるマザーグースの文化的背景				
4 同上 III 日本における『赤毛のアン』の受容				
5 同上 IV 『赤毛のアン』の作者モンゴメリの実像				
6 まとめ				
7 児童文学からみた英語圏諸国の比較文化論 I 英国				
8 同上 II 米国				
9 同上 III カナダ				
10 同上 IV オーストラリア・ニュージーランド				
11 絵本からみた比較文化論 I 英国の絵本				
12 同上 II 米国の絵本				
13 同上 III 『不思議の国のアリス』の挿絵論				
14 同上 IV 命をみつめる絵本考				
15 比較文化論のまとめ				
【テキスト】				
『英米児童文学史』(桂 宥子・牟田おりえ編著、ミネルヴァ書房、2004)				
【参考図書】				
『英米の絵本』(桂 宥子編著、ミネルヴァ書房、2006)				
その他は授業中にリストを配付する。				
【成績評価の方法】				
随時レポート課題を課す。学期末に期末試験を行う。 期末試験(50%)、レポート(30%)、学習態度(20%)により総合的に評価する。 なお、出席率2/3以上を期末試験の受験資格とする。				

現代の思想				子野日 俊夫
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
1.西洋近世哲学の誕生から現代までの大きな流れをとらえる。 2.二十世紀のさまざまな哲学的思想への理解を深める。 3.今後の世界が必要とする思想の方向性を見通す。				
1 デカルトによる近代哲学の始まり				
2 スピノザやライプニッツによる合理主義の展開				
3 ベーコンによるイギリス経験論の始まりとロック、ヒュームによる展開				
4 ホッブズ、ロックにおける個人と国家				
5 フランス啓蒙思想				
6 カントのコペルニクス的転回と近代的人間観				
7 近代哲学の集大成としてのヘーゲル				
8 ドイツ以外での19世紀の代表的思想(ベンサム、コント、キルケゴール)				
9 「価値の大転換」を告げるニーチェと現象学の創始者フッサール				
10 ハイデガーによる現象学の展開と「存在」への新たな問い				
11 分析哲学の誕生とウイットゲンシュタインの言語哲学				
12 レヴィ=ストロースにおける構造主義				
13 フーコーによる歴史や社会の新しい見方				
14 フランスのポストモダンの思想家たち				
15 現代の社会哲学				
【テキスト】				
【参考図書】				
授業中に適宜指示する。				
【成績評価の方法】				
平常点 30% 期末試験 70%				

音楽の鑑賞				岡崎 順子
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
1. 音楽の歴史と音楽様式の変遷をたどりながらさまざまな表現力を持つ音楽を鑑賞し、その発信するものを感じし言い表そうとするものを探求する。 2. 異なった時代や社会における音楽を通して、人間理解や共感を深める。 3. 音楽を愛する心情を養う。				
【授業内容】				
1 人間と音楽 2 古代ギリシャから中世の音楽 3 ルネサンスの音楽 4 バロックの器楽「四季」 5 バロックの声楽「マタイ受難曲」 6 古典派の音楽 7 古典派のオペラ「フィガロの結婚」 8 ロマン派の音楽(1) 9 ロマン派の音楽(2) 10 ロマン派のオペラ「ラ・ボエーム」 11 20世紀の音楽(1) 12 20世紀の音楽(2) 13 日本の伝統音楽 14 日本の歌謡史 15 現代の商業音楽				
【テキスト】				
『はじめての音楽史』(片桐 功他著、音楽之友社)				
【参考図書】				
『よくわかるクラシックの基本』(西村 理監修、西東社)				
【成績評価の方法】				
毎回のレポート				

ヨーロッパ文学				長谷川 弘基
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
ヨーロッパ文学をそれぞれの時代ごとに代表する数点の作品を読み、ヨーロッパ文学・文化の特徴について学ぶと同時に、文学鑑賞の方法についても学ぶ。特に映画との比較において、文学の特徴を確認する。				
【授業内容】				
1 イントロダクション 2 『十二夜』1(近代文学の誕生=ルネサンス) 3 『十二夜』2(自己=内面の発見) 4 『十二夜』3(登場人物=性格について) 5 『罪と罰』1(小説の発展) 6 『罪と罰』2(無意識の発見) 7 『罪と罰』3(形式・構造の意義) 8 前半のまとめ 9 『刑務所のリタ・ヘイワース』1(文学の拡大) 10 『刑務所のリタ・ヘイワース』2(文学の拡大2) 11 『刑務所のリタ・ヘイワース』3(文学の拡大3) 12 『刑務所のリタ・ヘイワース』4(解釈・読解とは何か?) 13 まとめー文学的体験の特徴 14 まとめー新しいメディアと文学 15 まとめー外国語文学の受容				
【テキスト】				
『十二夜』 シェイクスピア、岩波文庫、新潮文庫など 『罪と罰(上・中・下)』ドストエフスキー、岩波文庫(江川卓訳) 『刑務所のリタ・ヘイワース』スティーブン・キング、(『ゴールデンボーイー恐怖の四季 春夏編』収録(新潮文庫)				
【参考図書】				
多岐に渡るので、授業内に折にふれて紹介する。				
【成績評価の方法】				
中間レポート50%、 期末レポート 50%				

造形文化論Ⅰ(美学)				子野日 俊夫
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
1美について、さまざまな局面から理解を深める。2西洋の芸術観の変遷を知る。3日本独自の美意識についての理解を深める。 4デザインを含めた現代の美の新たな可能性を考える				
【授業内容】				
1 総論:感性の学としての美学		9 主観の側からの美の定義		
2 西洋の芸術観の変遷の概略		10 カントにおける近代美学の確立		
3 西洋の伝統的な美の基準(1)プロポーション		11 類美的な諸概念		
4 西洋の伝統的な美の基準(2)根源的光としての美		12 近代デザインの美学		
5 西洋古代の芸術観		13 自然の美		
6 ルネサンスにおける美		14 日本的美意識の伝統		
7 ルネサンスの芸術観		15 現代における美の新たな可能性		
8 西洋近代の芸術観の展開				
【テキスト】				
【参考図書】				
授業中に随時指示する。				
【成績評価の方法】				
平常点 30% 期末試験 70%				

造形文化論Ⅱ(現代美術)				瀧本 雅志
履修年次:1~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
1960年代に出現したポップなイメージの波をサーフしてゆく授業。ファッション、映画、写真、建築、ロック、アート、等々の様々なジャンルを横断しながら、イメージが60年代にどのような曲折を経たかをトレースする。イメージにおける60年代とは、そしてイメージにおけるポップとは何であったのか(そして、何であり続けるのか)? ポップの可能性の検討へ向けてテイクオフすることを目指しつつ、まずは60年代のイメージの海でパドリングしてみよう。イメージの海に溺れないために(溺れるのも快樂だが…)、諸ジャンルの波を横断する際には、そのジャンルの簡単な歴史も押さえてゆく。いわゆるサブ・カルチャーの基礎知識も獲得しよう。				
【授業内容】				
1 イントロダクション:ヤングの爆発				
2 ミニ革命とモッズ(ファッション)				
3 クールの誕生(写真)				
4 アイドルとイエイエ(音楽)				
5 サウンドの壁とビーチ(音楽)				
6 スパイ、セックス、バイオレンス(映画)				
7 ポップ&オブ(アート)				
8 オフ・ミュージアム(アート)				
9 ミッドセンチュリー以降(デザイン)				
10 アンビルトとドローイング(建築)				
11 ヌーバル・ヴァーグ1(映画)				
12 ヌーバル・ヴァーグ2(映画)				
13 サイケデリックへのトリップ(音楽)				
14 エンドレス・サマーとしての60年代				
15 まとめ				
【テキスト】				
なし				
【参考図書】				
授業時に随時指示する				
【成績評価の方法】				
期末テストあるいはレポート				

岡山学院大学
(シラバス)

授業科目名:栄養学入門				担当教員氏名:竹原良記	
履修年次:1年生	2単位	前期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)	
【授業の目的】					
食に関連した様々な生活習慣病の脅威や食環境変化にさらされている現在、私たちが健康に生きていくためには科学的根拠に基づいた栄養に関する正しい知識を身につける必要があります。本講義では、初学者のために栄養学の基礎知識を、最近の情報も加えて分かりやすく解説します。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と栄養 2. 食事と栄養:食に含まれる栄養物質(糖質、脂質) 3. 食事と栄養:食に含まれる栄養物質(たんぱく質) 4. 食事と栄養:食に含まれる栄養物質(ミネラル、ビタミン、水分) 5. 食事と栄養:食後の体の働き 6. 食事と健康:栄養状態の判定 7. 食事と健康:食事摂取基準 8. 食品の機能性と栄養:食物繊維 9. 食品の機能性と栄養:抗酸化物質 10. 健康とダイエット 11. ライフステージと栄養:乳児期と成長期 12. ライフステージと栄養:成人期と高齢期 13. 生活習慣病と栄養 14. 遺伝と栄養 15. 栄養情報と健康 16. 試験 					
【テキスト】					
日本フードスペシャリスト協会 編「栄養と健康」建帛社					
【参考図書】					
江指隆年ら 編「ネオエスカ 基礎栄養学」同文書院					
江指隆年ら 編「ネオエスカ 応用栄養学」同文書院					
【成績評価の方法】					
授業中の質問および課題(30%)、授業の最後に行う小テスト(20%)、および期末試験(50%)の全てを合計し、60%以上を取得した者に対して単位を認定します。					

岡山商科大学
(シラバス)

授業科目名 行政法Ⅰ				担当教員氏名 伊藤 治彦	
履修年次:2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】行政法を学んでいく上で、最低限必要な基礎概念の習得と行政法的な思考方法を養成する。					
【到達目標】本講義は、行政法入門の意味を持つものでもある。したがって本講義の到達目標は、行政法2以下の科目をよりよく理解するための知識の習得及び、国の行政組織のしくみや公務員制度の基本を理解するところにある。					
【授業内容】					
行政法の基本原理					
(1) 行政の概念					
(2) 行政法の体系					
(3) 法律による行政の原理					
(4) 行政法の法源					
(5) 行政上の法律関係					
行政組織法					
(6) 行政組織改革概説					
(7) 行政主体・行政機関・行政庁					
(8) 内閣、内閣官房、内閣府					
(9) 内閣の統轄下にある行政組織					
公務員法					
(10) 概説					
(11) 種類					
(12) 公務員の権利とその制限					
(13) 公務員の義務					
(14) 不利益処分とその救済					
(15) まとめ					
【テキスト】横山・廣瀬編『事例で考える行政法』嵯峨野書院					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】筆記試験による。六法は毎回持ってくること。					

授業科目名 行政法Ⅱ				担当教員氏名 伊藤 治彦	
履修年次:2～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】本講義においては、行政作用法の中でも行政計画、行政立法、行政行為、行政強制、行政罰について、考察するものである。これらの作用は公益を実現するために行われるものであるが、憲法が保障する国民の権利自由との関係から、どうあるべきかということを検討していく。					
【到達目標】基本的な行政作用制度の内容を理解した上で、学説や判例の展開を把握する。					
【授業内容】					
1 行政作用法概説 行政計画		9 行政行為の付款			
2 行政計画の種類		10 瑕疵ある行政行為			
3 計画策定手続 行政立法		11 行政行為の取消と撤回 行政強制			
4 法規命令		12 代執行・執行罰・直接強制			
5 訓令・通達 行政行為		13 即時強制と行政調査 行政罰			
6 概念、効力		14 行政刑罰、秩序罰、その他の制裁			
7 行政行為の種類		15 まとめ			
8 行政裁量					
【テキスト】横山・廣瀬編『事例で考える行政法』嵯峨野書院					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】筆記試験による。六法は毎回持ってくること。					

授業科目名 行政法Ⅲ				担当教員氏名 伊藤治彦	
履修年次:2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】本講義は行政契約、行政指導、行政手続について考察していくものである。憲法が保障する国民の権利利益が行政作用の中で、実体的または手続的にどのように保護されているのかあるいはされなければならないのかということを検討していく。					
【到達目標】行政契約、行政指導、行政手続についての基礎的事項を理解し、関連する主要な学説と判例の展開を把握する。					
【授業内容】					
1 行政契約					
2 行政指導(1) 特質と種類					
3 行政指導(2) 問題点と克服					
4 行政手続概説					
5 憲法と行政手続					
6 行政手続法概説					
7 申請に対する処分(1) 審査基準、標準処理期間					
8 申請に対する処分(2) 補正、情報の提供、理由の提示					
9 不利益処分(1) 処分基準、不利益処分の手続					
10 不利益処分(2) 聴聞の通知、審理方式					
11 不利益処分(3) 聴聞の終結及び再開、弁明の機会の付与					
12 行政指導に関する一般原則					
13 行政指導と行政手続					
14 意見公募手続等					
15 まとめ					
【テキスト】横山・廣瀬編『事例で考える行政法』嵯峨野書院					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】筆記試験による。原則として行政法1、2を履修していない者は受講できない。					

授業科目名 行政法Ⅳ				担当教員氏名 伊藤 治彦	
履修年次:2～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】本講義は行政救済法を中心に考察していく。行政作用によって違法あるいは不当に国民の権利・自由が侵害された場合それをどのように救済していくべきか検討していく。					
【到達目標】行政救済制度の基本的な事項を理解し、関連する主要な学説と判例の展開を把握する。					
【授業内容】					
1 行政救済法概説					
2 行政上の苦情処理					
3 行政争訟制度概説					
4 行政不服申立て(1)					
5 行政不服申立て(2)					
6 行政事件訴訟法概説					
7 行政訴訟の種類					
8 取消訴訟の訴訟要件(1)					
9 取消訴訟の訴訟要件(2)					
10 取消訴訟の審理手続					
11 損失補償					
12 国家賠償法(1)					
13 国家賠償法(2)					
14 国家賠償法(3)					
15 まとめ					
【テキスト】横山・廣瀬編『事例で考える行政法』嵯峨野書院					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】筆記試験による。原則として行政法1、2、3を履修していない者は受講できない					

授業科目名 法哲学Ⅰ				担当教員氏名 青井 秀夫	
履修年次:2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】テーマ:「法の適用・解釈とはどのようなことかー法適用から法解釈へ」 法適用とは、国家の法秩序全体を1つの具体的事案に対して適用することである。この操作を正確に理解することは、かなり困難である。裁判官による法適用をモデルとしつつ、法適用を全面的に解剖し、法解釈という思考のメカニズムを、わかりやすく解説する。 【到達目標】法的なものの考え方の中核にある解釈や適用は、いかなる思考法であるか。法思考の構造についての基礎知識を獲得することによって、法の賢慮を身につけてもらいたいというのが、講義の狙いである。とりわけ、欠缺補充や制定法の訂正に関しては法哲学的考察との連携が不可欠となること、判例法がいかなる法的効力を有しているかという現代最先端の問題についても、法哲学による解決が必要であること、の説明に力点をおく予定。					
【授業内容】					
1. 第1章 序論ー法哲学はいかなる学問か 2. 第2章 法命題の構造 3. 第3章 法命題のシステムーその1 4. 第4章 法命題のシステムーその2 5. 第5章 法命題のミクロ的概念 6. 第6章 法適用の三段論法 7. 第7章 大前提の作成 8. 第8章 小前提の作成ーその1 9. 第9章 小前提の作成ーその2 10. 第10章 結論の基礎づけ 11. 第11章 解釈の手段ーその1 12. 第12章 解釈の手段ーその2 13. 第13章 解釈の目標ーその1 14. 第14章 解釈の目標ーその2 15. 第15章 解釈と法哲学					
【テキスト】					
青井 秀夫「法理学概説」有斐閣(2007年)					
【参考図書】					
適宜指示する。					
【成績評価の方法】					
普段の学習状況、確認テスト、最終の筆記試験の成績などを総合的に評価する。 とりわけ出席を重視する(3回以上無断欠席の場合、単位不可の方針)。					

授業科目名 法哲学Ⅱ				担当教員氏名 青井 秀夫	
履修年次:2～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】テーマ:「法の適用・解釈とはどのようなことかー法解釈から法哲学へ」 法適用とは、国家の法秩序全体を1つの具体的事案に対して適用することである。この操作を正確に理解することは、かなり困難である。裁判官による法適用をモデルとしつつ、法解釈から発展的法形成法適用へと移行する思考の展開を、わかりやすく解説する。 【到達目標】法的なものの考え方の中核にある解釈や適用は、いかなる思考法であるか。法思考の構造についての基礎知識を獲得することによって、法の賢慮を身につけてもらいたいというのが、講義の狙いである。とりわけ、欠缺補充や制定法の訂正に関しては法哲学的考察との連携が不可欠となること、判例法がいかなる法的効力を有しているかという現代最先端の問題についても、法哲学による解決が必要であること、の説明に力点をおく予定。					
【授業内容】					
1. 第1章 序論ー法哲学と法律学方法論 2. 第2章 法曹法の形成 3. 第3章 規範的概念 4. 第4章 裁量条項 5. 第5章 一般条項 6. 第6章 欠缺の概念 7. 第7章 類推による欠缺補充 8. 第8章 立法計画を超える欠缺補充 9. 第9章 条理 10. 第10章 法律の誤謬 11. 第11章 法秩序内部の矛盾とその除去 12. 第12章 法命題システムの表層誤謬 13. 第13章 法命題システムの深層誤謬 14. 第14章 法理念からみて不正な法律への反抗 15. 第15章 法律の解釈から法哲学へ					
【テキスト】					
青井 秀夫「法理学概説」有斐閣(2007年)					
【参考図書】					
適宜指示する。					
【成績評価の方法】					
普段の学習状況、確認テスト、最終の筆記試験の成績などを総合的に評価する。 とりわけ出席を重視する(3回以上無断欠席の場合、単位不可の方針)。					

授業科目名 雇用社会と法Ⅰ				担当教員氏名 香山 忠志	
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】雇用社会の実情に即して、労働法の精神と現実とがどのように調和されているか、あるいはどのような問題と課題があるかを授業のなかで明らかにします。</p> <p>【到達目標】雇用社会の中で企業の経済活動の自由と労働者の諸権利とがどのように調和し規制されているかを理解することです。具体的な到達目標として、次の点が説明できるようになる。</p>					
<ol style="list-style-type: none"> 1 憲法, 労働基準法, 労働組合法の役割分担が説明できる。 2 労働協約, 就業規則, 労働契約の意義, 効力が説明できる。 3 配転, 出向, 転籍, 人事考課などの用語の意味, その法的問題点が説明できる。 4 賃金支払の諸原則についての説明ができる。 5 労働時間の法規制, その理念と実態との違いが説明できる。 					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 労働法の基本構造と憲法27条, 28条(第1回) 2 労働基準法の効力(第2回) 3 労働基準法上の労働者・使用者概念(第3,4回) 4 労働契約上の主たる義務と附随義務, 競争禁止義務, 秘密保持義務(第5,6回) 5 採用の自由, 採用内定, 試用期間, 労働憲章(第7,8回) 6 就業規則の意義と効力(第9回) 7 就業規則の不利益変更(第10回) 8 懲戒処分の意義, 手続, 効力, 公益通報者保護法(第11回) 9 人事考課, 昇進, 昇格, 降格(第12回) 10 配転, 出向, 転籍(第13回) 11 賃金, 休業手当, 退職金, 賞与(第14回) 12 賃金支払いに関する4原則(第15回) 					
【テキスト】					
小畑史子「よくわかる労働法」ミネルヴァ書房					
【参考図書】					
使用しない。					
【成績評価の方法】					
定期試験の結果と授業への取り組みを総合して評価する。定期試験は、例年、記述式問題を出題している。					

授業科目名 雇用社会と法Ⅱ				担当教員氏名 香山 忠志	
履修年次:2~4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】雇用社会の実情に即して、労働法の精神と現実とがどのように調和されているか、あるいはどのような問題と課題があるかを授業のなかで明らかにします。</p> <p>【到達目標】現実の雇用社会の中で企業の経済活動の自由と労働者の諸権利とがどのように調和し、規制されているかを理解することです。具体的な到達目標として、次の点が説明できるようになること。</p>					
<ol style="list-style-type: none"> 1 労働時間規制の概要を説明できる。 2 年次有給休暇の内容と仕組みが説明できる。 3 労災保険制度, 労災補償制度, 損害賠償制度の内容と相違点が説明できる。 4 解雇に関する法規制とその限界が説明できる。 					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 労働時間規制の原則と例外, 労働時間概念(第1, 2回) 2 時間外労働義務・休日労働義務, 三六協定, 割増賃金(第3, 4回) 3 変形労働時間制, フレックスタイム制(第5回) 4 年次有給休暇の意義, 時季変更権, 不利益取扱い(第6, 7回) 5 男女同一賃金, 雇用機会均等法, セクハラ, 女性保護規定, 育児介護休業(第8, 9回) 6 労災保険制度と災害補償制度, 損害賠償制度(第10回) 7 業務災害と通勤災害(第11, 12回) 8 過労死・過労自殺と労災保険(第13回) 9 安全配慮義務と労災・損害賠償(第14回) 10 解雇の自由とその規制, 解雇無効と解雇期間中の賃金(第15回) 					
【テキスト】					
小畑史子「よくわかる労働法」ミネルヴァ書房					
【参考図書】					
使用しない。					
【成績評価の方法】					
試験結果, 授業中の質問に対する回答を総合して評価する。試験は、例年、記述式問題を出題している。					

授業科目名 民法概説				担当教員氏名 倉持 弘	
履修年次:1～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 【授業目標】 本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献すること。民法(財産法)の入門講義として、民法(財産法)の全体像をおおまかに講義する。 【到達目標】 受講生が受講後に次のようなことができるようになること。 1. 契約の交渉、締結、履行の流れをおおまかに理解し、また契約が履行されなかった場合の法的処理についてもおおまかに理解できている。 2. 未成年者のような判断能力が不十分な者の契約締結についての法的規制について例をあげて説明できる。 3. 代理人による契約締結について例をあげて説明できる。 4. 不動産登記制度について例をあげて説明できる。 5. 過失責任の原則をはじめとする一般的不法行為の要件について例をあげて説明できる。					
【授業内容】 1. オリエンテーション、民法とはどのような法律か 2. さまざまな法律と民法 3. 人と財産、プレイヤーと道具に関するルール 4. 売買契約とはどのようなものか 5. 契約締結時の問題(詐欺、強迫など) 6. 契約を締結する人に関する問題(未成年者、成年被後見人など) 7. 代理人による契約の締結 8. 中間試験、いろいろな契約 9. 売主・買主の義務とその履行 10. 所有権の移転、不動産登記 11. 契約が履行されないとき 12. 金銭の貸借契約、義務の履行について 13. 担保 14. 物の賃貸借契約 15. 事故の場合の損害賠償(不法行為) *講義の際にプリントを配布する。ホームページに昨年度の講義プリント、参考スライドなどを載せているので、予習などに役立てて欲しい。					
【テキスト】 学習六法[第7版] 日本評論社					
【参考図書】 適宜指示する。					
【成績評価の方法】 基本的に講義の初めに前回の講義の復習テストを行い、講義終了後3日以内に講義内容のまとめレポートの提出を義務づける。成績評価は、中間試験・定期試験の得点を5割、復習テストの得点を4割、まとめレポートを1割の割合で合計したものである。					

授業科目名 民法総則				担当教員氏名 倉持 弘	
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献すること。					
【到達目標】受講生が受講後に次のようなことができるようになること。					
1. 法律行為とはどのようなものか、例をあげて説明できる。					
2. 行為能力の制限の制度について例をあげて説明できる。					
3. 代理について例をあげて説明できる。					
4. 時効制度について例をあげて説明できる。					
【授業内容】					
この講義は民法総則編を解説するものであるが、学生の理解しやすさを考えて、権利義務の主体としての人について解説した後に法律行為について解説し、その後に制限行為能力者を扱うという順番を採っている。そして、その後に代理、時効の解説が続く。なお、法人については『会社法概説』の講義で、取得時効については『物権総論』の講義で扱われる。					
1. オリエンテーション、民法総則の位置づけ					
2. 人の出生と死亡、失踪宣告 p.45					
3. 法律行為と意思表示 p.105					
4. 法律行為の自由と制約、法律行為の解釈 p.129					
5. 問題のある意思表示 p.116					
6. 法律行為の主体としての人、未成年者 p.52					
7. 成年の制限行為能力者 p.59					
8. 中間試験、無効と取消し p.141					
9. 代理の概略 p.163					
10. 代理行為 p.173					
11. 無権代理、表見代理 p.177					
12. 期間、条件・期限ほか p.189、p.158					
13. 時効の概略 p.193					
14. 消滅時効 p.199					
15. 取得時効・消滅時効に共通する原則 p.203					
* 各回のタイトルの後ろにあるのは教科書(『民法入門・総則』)の該当ページである。					
* 講義の際にプリントを配布する。ホームページに昨年度の講義プリント、参考スライドなどを載せているので、予習などに役立てて					
【テキスト】永田・松本・松岡 民法入門・総則 エッセンシャル民法*1 [第4版] 有斐閣、 学習六法[第7版] 日本評論社					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】基本的に講義の初めに前回の講義の復習テストを行い、講義終了後3日以内に講義内容のまとめレポートの提出を義務づける。成績評価は、中間試験・定期試験の得点を5割、復習テストの得点を4割、まとめレポートを1割の割合で合計したものである。					

授業科目名 債権総論				担当教員氏名 倉持 弘	
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献すること。					
【到達目標】受講生が受講後に次のようなことができるようになること。					
1. 強制履行、債務不履行について例をあげて説明できる。					
2. 債権者代位権、詐害行為取消権について例をあげて説明できる。					
3. 保証について例をあげて説明できる。					
4. さまざまな弁済方法について例をあげて説明できる。					
【授業内容】					
1. オリエンテーション、債権の回収					
2. 債権の目的 p.167					
3. 強制履行 p.179					
4. 債務不履行、損害賠償 p.184					
5. 受領遅滞、債権の対外的効力 p.199					
6. 債権者代位権 p.204					
7. 詐害行為取消権 p.215					
8. 中間試験、多数当事者の債権関係 p.226					
9. 連帯債務1 p.239					
10. 連帯債務2、保証債務1 p.248					
11. 保証債務2					
12. 債権譲渡 p.261					
13. 債務引受、契約上の地位の移転 p.278					
14. 弁済 p.289					
15. 代物弁済、供託、相殺ほか p.301					
* 各回のタイトルの後ろにあるのは教科書(『スタートライン債権法』)の該当ページである。					
【テキスト】池田真朗 スタートライン債権法[第5版] 日本評論社、学習六法[第7版] 日本評論社					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】基本的に講義の初めに前回の講義の復習テストを行い、講義終了後3日以内に講義内容のまとめレポートの提出を義務づける。成績評価は、中間試験・定期試験の得点を5割、復習テストの得点を4割、まとめレポートを1割の割合で合計したものである。					

授業科目名 物件総論				担当教員氏名 下田 大介	
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】所有権という聞き慣れた用語の意味について、取引の流れをイメージさせながら、裁判においてこの概念が機能する局面を正確に理解できるような講義を行いたい。					
【到達目標】					
1) 財産法の全体像の中に「物件総論」の領域を適切に位置づけることができるようになること。					
2) 物権の代表格である「所有権」(およびその特殊な形態としての共有)の内容、それに対する制約、および侵害された場合の救済枠組みについて理解できるようになること。					
3) 物権変動とその公示について、取引の流れに沿って理解できるようになること。					
【授業内容】					
1. 財産法の全体像と物件総論の位置づけ		9. 不動産物権変動と登記 / 不動産登記の手続			
2. 所有権の客体 / 物権の種類		10. 民法177条の「第三者」の範囲			
3. 所有と占有のちがいが / 所有権の意義		11. 登記なくして対抗できない物権変動			
4. 物権が侵害された場合の救済 / 占有の効力-その1		12. 動産の物権変動 / 即時取得制度			
5. 共同所有の諸形態		13. 用益物権 / 特別法による土地賃借権の保護			
6. 占有の効力(その2)とそれが主張できる者の範囲		14. まとめ			
7. 物権変動を生じる原因 / 所有権の原始取得		15. 復習のポイント			
8. 公示の原則・公信の原則 / 物権変動の時期					
【テキスト】淡路剛久・鎌田薫・原田純孝・生熊長幸『有斐閣Sシリーズ・民法II-物権〔第3版補訂〕』有斐閣					
【参考図書】星野英一ほか編『民法判例百選I(別冊ジュリスト)総則・物権〔第五版 新法対応補正版〕』有斐閣					
【成績評価の方法】定期試験、レポート課題、コメントペーパーおよび出席状況を総合的に判断して評価する。					
【注意】講義には六法を必ず持参すること。					

授業科目名 契約法				担当教員氏名 下田 大介	
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】民法総則の対象である意思表示理論との関わりも理解できるよう配慮しつつ、財産法の全体像の中に、適切に契約法の領域を位置づけ、理解できるような講義を目指す。					
【到達目標】					
1) 財産法の全体の中に、契約法を適切に位置づけることができるようになること。					
2) 契約の成立前、成立後・履行前、履行段階、契約の終了の各プロセスの中で、どのようなルールが関係するかについて、整理ができるようになること。					
3) 典型的な契約類型についての個別的な効力に関するルールとその趣旨を理解することができるようになること。					
【授業内容】					
1. 財産法の全体像と契約法の位置づけ					
2. 契約の意義と拘束力					
3. 契約自由の原則とその修正 / 契約の種類・分類					
4. 契約締結前の責任 / 契約の成立					
5. 契約の効力(同時履行の抗弁権 / 危険負担)					
6. 契約の終了 / 法定解除					
7. 贈与					
8. 売買					
9. 売主の担保責任					
10. 特殊の売買 / 消費者契約法					
11. 消費貸借 / 使用貸借					
12. 賃貸借					
13. 特別法による不動産賃借権の保護					
14. サービス提供のための契約類型					
15. その他の典型契約					
【テキスト】藤岡康宏・磯村保・浦川道太郎・松本恒夫『有斐閣Sシリーズ・民法IV-債権各論〔第3版補訂〕』有斐閣					
【参考図書】星野英一ほか編『民法判例百選II(別冊ジュリスト)債権〔第五版 新法対応補正版〕』有斐閣					
【成績評価の方法】定期試験、レポート課題、コメントペーパーおよび出席状況を総合的に判断して評価する。					
【注意】講義には六法を必ず持参すること。					

授業科目名 不法行為法				担当教員氏名 下田 大介	
履修年次:2~4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】不法行為法について、事案類型ごとに応用することのできる力を身につけられるよう、具体的な事例を示しつつ、利益衡量のあり方について考えさせる講義を行いたい。					
【到達目標】1) 財産法の全体像の中に、不法行為法の領域を適切に位置づけることができるようになること。					
2) 不法行為の一般法理を理解した上で、責任の成否にあつては各種の侵害類型ごとに検討することができるようになること。					
3) 侵害類型ごとに展開されている妥当な損害の分配についてのバランス感覚を身につけること。					
【授業内容】					
1. 財産法の全体像と不法行為法の位置づけ		9. 損害の金銭的評価・賠償額の算定			
2. 不法行為と損害填補のための諸制度		10. 賠償額の調整 / 損害賠償責任の主体			
3. 故意・過失		11. 差止め / 不法行為責任の消滅時効・除期間			
4. 無過失責任論		12. 特殊の不法行為－その1			
5. 権利ないし法益侵害 / 過失と違法性との交錯		13. 特殊の不法行為－その2			
6. 権利ないし法益侵害の具体例		14. 不法行為特別法			
7. 因果関係(事実的因果関係 / 保護範囲)		15. まとめと復習のポイント			
8. 不法行為の成立を阻却する事由					
【テキスト】藤岡康宏・磯村保・浦川道太郎・松本恒夫 『有斐閣Sシリーズ・民法IV－債権各論〔第三版補訂〕』 有斐閣					
【参考図書】星野英一ほか編 『民法判例百選II(別冊ジュリスト)債権〔第五版 新法対応補正版〕』 有斐閣					
【成績評価の方法】定期試験、レポート課題、コメントペーパーおよび出席状況を総合的に判断して評価する。					
【注意】講義には六法を必ず持参すること。					

授業科目名 労働経済学Ⅰ				担当教員氏名 有利 隆一	
履修年次:2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】「働くこと」は、経済活動の二つの面、つまり生産活動および消費活動の両面を支える基本であり、同時にわれわれのキャリアを伸ばし、社会に係わり合いを持つうえで重要な役割をもっている。労働経済論Ⅰでは、「雇用と失業」を中心に、その基本的な考え方と目下の主要な課題や問題、さらに、我々の生涯の段階に生ずる問題と制度や慣行、政策に関する理解を深める。【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体として、労働経済についての基本的な理論を説明可能 2. 現実を生じる労働経済問題について、どういう資料や統計を使って、どういう視点で考えて行けばよいか、ができるようにする。 3. 次の点について、とりまとめ、説明できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○データに基づく日本の労働事情 ○労働需給の原理と実情 ○失業の要因と経済との関係 					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1.わが国の雇用失業の現状(1) 最新の状況、関連する統計データを活用して理解する。 労働力率、失業率、求人倍率、所定外労働時間、雇用調整、学卒就職率など 2.わが国の雇用失業の現状(2) 最新の状況、関連する統計データを活用して理解する。 労働力率、失業率、求人倍率、所定外労働時間、雇用調整、学卒就職率など 3.わが国の雇用失業の現状(3) 就業形態多様化の実態と働き方の変貌 4.労働力の供給(1):働くことと余暇活動の選択の仕方 労働供給を理論的に考える。 5.労働力の供給(2):働くことと余暇活動の選択の仕方 労働供給を理論的に考える。 6.労働力の供給(3):その実態と変動 労働者の属性(女性、若者、高齢者など)に応じた労働供給の実態と変化 7.労働力の供給(4):その実態と変動 労働者の属性(女性、若者、高齢者など)に応じた労働供給の実態と変化 8.労働力の需要(1):企業の生産活動と労働への需要(求人)の関係 労働需要を理論的に考える。 9.労働力の需要(2):企業の生産活動と労働への需要(求人)の関係 労働需要を理論的に考える。 10.労働力の需要(3):企業の生産活動と労働への需要(求人)の関係 就業構造変化の実態と変化 11.労働力の需要(4):就業構造変化の実態と変化及び企業の雇用調整 雇用の創出と失業予防 12.失業と労働市場(1):需要と供給の調整 失業の理論をマクロ、ミクロ両面から理論的に考える 13.失業と労働市場(2):需要と供給の調整 失業の実態と変動、及びその背景を考える。 14.失業と労働市場(3):需要と供給の調整 市場における需給調整と労働移動を考える。 15.失業と労働市場(4):需要と供給の調整 職業紹介機能と失業者対 <p>その時々を生ずる具体的な動向や関連する政策も、できる限り教材として活用し、講義を行う。 なお、理論的な側面については、経済理論の初歩的な知識を活用するので、とくに2回生は同時に開講されている経済原論(マクロ、ミクロ)をよく勉強することを希望する。</p> <p>毎回、授業内容について教行のワンポイント・レポートを提出。また、2回程度、中間レポートの提出を予定。</p>					
【テキスト】小野 旭 労働経済学(第2版) 東洋経済新報社					
【参考図書】厚生労働省 労働(経済)白書 厚生労働省ホームページ, 労働政策研究・研修機構 『Business Labor Trend』 (月刊雑誌、同機構のホームページに掲載)					
【成績評価の方法】期末定期試験を受けた者のみ評価。 期末定期試験を基本に、ワンポイント・レポート(内容で評価)、中間レポート(内容で評価)と受講態度(基礎点数40点)を加味。					

授業科目名 労働経済学Ⅱ				担当教員氏名 有利 隆一	
履修年次:2～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】「働くこと」は、経済活動の二つの面、つまり生産活動および消費活動の両面を支える基本であり、同時にわれわれのキャリアを伸ばし、社会に係わり合いを持つうえで重要な役割をもっている。労働経済学Ⅱは、「賃金等の労働条件、人事・労使関係」を中心に、賃金制度や労働時間など働くことに関する制度や慣行、政策の見直し、実態としてどの程度生じていて、どのような結果を起こしつつあるのかについて理解を深める。【到達目標】1. 全体として、労働経済についての基本的な理論を説明可能</p> <p>2. 全体として、現実が生じる労働経済問題について、どのような資料や統計を使って、どのような視点で考えて行けばよいか、ができるようにする。</p> <p>3. 次の点について、とりまとめ、説明できるようにする。</p> <p>○「終身雇用慣行」とその実態 ○能力開発の理論と現状 ○賃金決定の仕組みと近年の賃金制度の概況 ○労使関係の歴史と課題 ○労働時間の制度や働き方の多様化の実態と課題</p>					
【授業内容】					
<p>1.日本の賃金労働時間事情の概観(1) 9.賃金(3):賃金の格差(年齢別・男女別など)の実情と背景</p> <p>2.日本の賃金労働時間事情の概観(2) 10.賃金(4):企業の賃金制度:職能資格制度、成果主義など賃金制度の変化と問題</p> <p>3.『日本の雇用慣行』と企業の人事制度(1):「終身雇用慣行」とその実態 11.労使関係(1):団体交渉と賃金の理論:労働組合と賃金決定、労使関係</p> <p>4.『日本の雇用慣行』と企業の人事制度(2):「終身雇用慣行」とその実態 12.労使関係(2):労働組合と賃金決定</p> <p>5.能力開発(1):教育と訓練、OJTやOFF-JTの実際 13.労働時間:動向と制度:労働時間の実態、問題</p> <p>6.能力開発(2):能力開発の理論 14.所得分配:所得格差の実態と背景</p> <p>7.賃金(1):賃金決定の理論 15.外国人労働者問題</p> <p>8.賃金(2):賃金決定の実情と背景</p>					
<p>その時々を生ずる具体的な動向や関連する政策も、できる限り教材として活用し、講義を行う。</p> <p>なお、理論的な側面については、経済理論の初歩的な知識を活用するので、とくに2回生は同時に開講されている経済原論(マクロ、ミクロ)をよく勉強することを希望する。</p> <p>毎回、授業内容について数行のワンポイント・レポートを提出。また、2回程度、中間レポートの提出を予定。</p>					
【テキスト】小野 旭 労働経済学(第2版) 東洋経済新報社					
【参考図書】厚生労働省 労働(経済)白書 厚生労働省ホームページ、労働政策研究・研修機構『Business Labor Trend』(月刊雑誌、同機構のホームページに掲載)					
【成績評価の方法】 期末定期試験を受けた者のみ評価。					
期末定期試験を基本に、ワンポイント・レポート(内容で評価)、中間レポート(内容で評価)と受講態度(基礎点数40点)を加味。					

授業科目名 マクロ経済学				担当教員氏名 山下 賢二	
履修年次:2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】マクロ経済学の基本的な部分を講義し、以下の到達目標の実現を目指す。</p> <p>【到達目標】1.マクロ経済学の基本的な部分の習得</p> <p>2.現実のマクロ経済を観察するにあたって、理論的な視点に立って思考できること</p> <p>3.経済学のその他応用分野を学習するための基礎の確立</p>					
【授業内容】					
<p>1.マクロ経済学とは何か?</p> <p>2.マクロ経済学のデータ(1)</p> <p>3.マクロ経済学のデータ(2)</p> <p>4.長期の理論(1)～財市場と労働市場～</p> <p>5.長期の理論(2)～財市場と労働市場～</p> <p>6.長期の理論(3)～金融市場～</p> <p>7.長期の理論(4)～金融市場～</p> <p>8.短期の理論(1)～財市場と労働市場・IS-LM分析～</p> <p>9.短期の理論(2)～金融市場・IS-LM分析～</p> <p>10.短期の理論(3)～IS-LM分析(政策分析)～</p> <p>11.短期の理論(4)～IS-LM分析(政策分析)～</p> <p>12.短期の理論(5)～失業とインフレーション・総供給曲線の導出～</p> <p>13.短期の理論(6)～失業とインフレーション・総供給曲線の導出～</p> <p>14.総復習(1)</p> <p>15.総復習(2)</p>					
【テキスト】N・グレゴリー・マンキュー マンキュー マクロ経済学1～入門編～ 東洋経済新報社					
【参考図書】 適宜指示する					
【成績評価の方法】 定期試験(100%)					

授業科目名 中級マクロ経済学				担当教員氏名 山下 賢二	
履修年次:2~4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】前期の「マクロ経済学」の講義を踏まえて、マクロ経済学の応用的な部分を講義し、以下の到達目標の実現を目指す。					
【到達目標】1.学部レベルのマクロ経済学の習得					
2.現実のマクロ経済を観察するにあたって、理論的な視点に立って思考できること					
3.経済学のその他応用分野を学習するための基礎の確立					
【授業内容】					
1.前期の復習～マクロ経済学における長期と短期・失業とインフレーション 9.マクロ経済学のミクロ的基礎(3)～消費～					
2.マクロ経済政策論争(1) 10.マクロ経済学のミクロ的基礎(4)～投資～					
3.マクロ経済政策論争(2) 11.マクロ経済学のミクロ的基礎(5)～投資～					
4.マクロ経済政策論争(3) 12.マクロ経済学のミクロ的基礎(6)～貨幣供給と貨幣需要～					
5.マクロ経済政策論争(4) 13.マクロ経済学のミクロ的基礎(7)～貨幣供給と貨幣需要～					
6.マクロ経済政策論争(5) 14.総復習(1)					
7.マクロ経済学のミクロ的基礎(1)～労働市場～ 15.総復習(2)					
8.マクロ経済学のミクロ的基礎(2)～消費～					
※「国際マクロ経済学」に関しては、「国際経済学2」で取り扱う。					
※「経済変動の理論」に関しては、「経済成長論1・2」で取り扱う。					
【テキスト】N・グレゴリー・マンキュー マンキュー マクロ経済学1～入門編～ 東洋経済新報社					
N・グレゴリー・マンキュー マンキュー マクロ経済21～応用編～ 東洋経済新報社					
【参考図書】適宜指示する					
【成績評価の方法】定期試験(100%)					

授業科目名 経済政策 I				担当教員氏名 喜田 栄次郎	
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
【授業目標】経済学部経済学科の専門科目として本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献すること。					
【到達目標】受講後に、経済政策の原理や理論にもとづいて、現実の経済の動きを把握して、問題点を示し、何らかの解決方法を示すことが出来る能力が身につくこと。					
1 これまでの日本経済の展開過程を知り、現在の日本経済の状況を分析することができる。					
2 日本経済の現実状況を知り、経済理論からみて、現在の問題点を指摘することができる。					
3 これまでの日本政府の経済政策を知り、現在の問題解決の方策を示すことができる。					
【授業内容】					
1 経済学の成立および経済政策論の性格と地位					
2 経済政策論の諸部門					
3 経済政策の主体－近代以降の国家の変遷－(1)					
4 経済政策の主体－近代以降の国家の変遷－(2)					
5 経済政策の目的(1)－基本目的－					
6 経済政策の目的(2)－現実目的－					
7 経済政策の手段－手段の分類と現実の政策手段－(1)					
8 経済政策の手段－手段の分類と現実の政策手段－(2)					
9 経済政策の目的と手段との関係					
10 日本経済の展開－第2次世界大戦後から現代まで－(1)					
11 日本経済の展開－第2次世界大戦後から現代まで－(2)					
12 日本経済の展開－第2次世界大戦後から現代まで－(3)					
13 現代日本経済の主要な政策問題					
14 政策問題の解決方向と諸施策					
15 日本経済の将来に向けて					
【テキスト】 山口・足立・丸谷・三谷編 『経済政策基礎論』 有斐閣					
【参考図書】適宜指示する					
【成績評価の方法】 出席は毎講義ごとにとりますが、成績は試験を中心に評価します。出席回数により評価基準を変えますので、受講者は自律的に行動してください。出席回数が基準以下の場合、受験資格を失うことがあります。特に4年次生は出席についての自覚が必要です。					
履修上の注意:経済政策論Iの受講者は後期の経済政策論IIを受講することが望ましい。					

授業科目名 経済政策Ⅱ				担当教員氏名 喜田 栄次郎	
履修年次:2~4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】経済学部経済学科の専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献すること。</p> <p>【到達目標】受講後に、経済政策の原理や理論にもとづいて、現実の経済の動きを把握して、問題点を示し、何らかの解決方法を示すことが出来る能力がつくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの日本経済の展開過程を知り、現在の日本経済の状況を分析することができる。 2 日本経済の現実状況を知ることにより、現在の問題点を指摘することができる。 3 これまでの日本政府の経済政策を知り、現在の問題を解決する方策を示すことができる。 <p>この講義では、一般的な経済政策思想や経済政策構想に関する基本的な事柄を把握し、これを基に、日本の経済政策とその展開について体系的な知識を得ることができるように努めます。経済政策は現実の生活とかがかわるので、具体的な問題を取り上げて受講者の関心を深めたい。</p> <p>履修上の注意:経済政策論Ⅱの受講者は前期の経済政策論Ⅰを受講することが望ましい。</p>					
【授業内容】					
1 自由主義の経済政策思想－旧自由主義と新自由主義	9 日本的市場経済の形成－第2次世界大戦後の基本的特徴－(1)				
2 社会主義の経済政策思想－集権社会主義と新社会主義	10 日本的市場経済の形成－第2次世界大戦後の基本的特徴－(2)				
3 現代の経済政策思想－第三の道とは。	11 日本経済の展開と経済政策の役割－(1)				
4 経済体制と経済体系	12 日本経済の展開と経済政策の役割－(2)				
5 自由市場経済の経済体系(1)－その構成と機能－	13 日本経済の展開と経済政策の役割－(3)				
6 自由市場経済の経済体系(2)－現実の展開－	14 日本経済の現状分析				
7 中央管理経済の経済体系(1)－その構成と機能－	15 今後の政策方向				
8 中央管理経済の経済体系(2)－現実の展開－					
【テキスト】 山口・足立・丸谷・三谷編 『経済政策基礎論』有斐閣					
【参考図書】 適宜指示する					
【成績評価の方法】 出席は毎講義ごとにとりますが、成績は試験を中心に評価する予定です。出席回数により評価基準を変えますので、受講者は自立的に行動してください。出席回数が基準以下の場合、受験資格を失うことがあります。特に4年次生は出席への自覚が必要です。					

授業科目名 ミクロ経済学				担当教員氏名 福田 亘	
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ	※経済学を履修していることが望ましい。	
【授業の目的】					
<p>マクロ経済学と並んで、現代経済理論の二本柱の一つであるミクロ経済学について、その根幹となる基本的考え方をしっかりと理解してもらおうとともに、それをもって経済学関連諸科目を学ぶ上での基礎知識を身につけること。</p> <p>また、中級ミクロ経済学の学習と併せて、公務員試験や経済学検定試験など各種資格試験において、経済原論ないし経済理論の科目で及第点を取れるようになること。</p>					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 経済学の対象と課題:ミクロ経済学とマクロ経済学 2 ミクロ経済学の基本構造とその特徴 3 ミクロ経済学の基本的概念:需要曲線、供給曲線、弾力性 4 家計の行動(1):限界効用分析 5 家計の行動(2):無差別曲線分析 6 家計の行動(3):与件の変化(1)所得消費曲線と財の分類 7 家計の行動(4):与件の変化(2)価格消費曲線 8 家計の行動(5):生産要素の供給 9 企業の行動(1):費用の最小化 10 企業の行動(2):利潤の最大化 11 企業の行動(3):生産要素の需要 12 市場均衡と経済厚生(1):均衡の存在と安定 13 市場均衡と経済厚生(2):余剰分析 14 市場均衡と経済厚生(3):一般均衡分析 15 まとめ 					
【テキスト】					
プリントを配布する。					
【参考図書】					
井堀利宏 『入門ミクロ経済学(第2版)』新生社					
嶋村紘輝他著 『入門ミクロ経済学』中央経済社					
芦谷政浩 『ミクロ経済学』有斐閣					
【成績評価の方法】					
講義中に理解度を確かめるためにほぼ毎回実施する簡単な小テストの結果と期末試験の成績を合わせて、総合的に評価します。					

授業科目名 中級ミクロ経済学				担当教員氏名 福田 亘
履修年次:2~4	2単位	後期	1コマ	※ミクロ経済学の履修が不可欠の他、経済学を履修していることが望ましい。
【授業の目的】				
<p>マクロ経済学と並んで、現代経済理論の二本柱の一つであるミクロ経済学について、前期のミクロ経済学ではその根幹を主に学んだが、この講義ではそれを踏まえて、ミクロ経済学の枝葉に当たる後半の議論の説明を行い、ミクロ経済学の講義を完結させるとともに、それをもって経済学関連諸科目を学ぶ上での基礎知識を身につけること。</p> <p>また、この講義の前段としてのミクロ経済学の学習と併せて、公務員試験や経済学検定試験など各種資格試験において、経済原論ないし経済理論の科目で及第点を取れるようになること。</p>				
【授業内容】				
<p>1 市場均衡と経済厚生:前期ミクロ経済学での既習内容の復習 9 ゲームの理論(2):ナッシュ均衡、動学[展開型]ゲーム</p> <p>2 不完全競争市場(1):市場構造の分類と独占 10 市場の失敗(1):外部性</p> <p>3 不完全競争市場(2):差別独占 11 市場の失敗(1):外部性(続き:その対策をめぐって)</p> <p>4 不完全競争市場(3):需要独占、独占の規制 12 市場の失敗(2):公共財</p> <p>5 不完全競争市場(4):独占的競争、寡占(クールノー複占) 13 市場の失敗(3):費用通減産業</p> <p>6 不完全競争市場(5):シュタッケルベルク複占、ベルトラン複占 14 市場の失敗(4):不完全情報</p> <p>7 不完全競争市場(6):寡占価格の硬直性と主要な寡占モデル 15 まとめ</p> <p>8 ゲームの理論(1):基本的概念と支配戦略均衡</p>				
【テキスト】				
プリントを配布する。				
【参考図書】				
<p>井堀利宏 『入門ミクロ経済学(第2版)』新生社</p> <p>嶋村紘輝他著 『入門ミクロ経済学』中央経済社</p> <p>芦谷政浩 『ミクロ経済学』有斐閣</p>				
【成績評価の方法】				
講義中に理解度を確かめるためにほぼ毎回実施する簡単な小テストの結果と期末試験の成績を合わせて、総合的に評価します。				

授業科目名 地方財政論 I				担当教員氏名 多田 憲一郎
履修年次:3~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
<p>受講生が受講後に次のようなことができるようになること。</p> <p>1. 現代社会経済システムにおける地方財政制度の意義を説明できる。2. 地方税、補助金、地方債、地方財政調整制度等の現代地方財政の仕組みについて説明できる。3. 地方税、補助金、地方債、地方財政調整制度等の現代地方財政の現状や課題について説明できる。4. 福祉分野や産業振興分野などにおける現代地方財政の仕組みについて説明できる。5. 福祉分野や産業振興分野などにおける現代地方財政の現状や課題について説明できる。</p>				
【授業内容】				
<p>1.国家財政と地方財政の関係(1)</p> <p>2.国家財政と地方財政の関係(2)</p> <p>3.地方税の仕組み(1)</p> <p>4.地方税の仕組み(2)</p> <p>5.地方交付税の仕組み(1)</p> <p>6.地方交付税の仕組み(2)</p> <p>7.補助金の仕組み</p> <p>8.地方債の仕組み</p> <p>9.地域開発と地方財政</p> <p>10.地域産業と地方財政</p> <p>11.地域福祉と地方財政(1)</p> <p>12.地域福祉と地方財政(2)</p> <p>13.地方公営企業等の仕組み</p> <p>14.地域政策と地方財政</p> <p>15.今後の地方財政制度の展望</p>				
【テキスト】				
<p>重森暁・田中重博編 『構造改革と地方財政』自治体研究社</p> <p>多田憲一郎『地域再生のブランド戦略』イマジン出版</p>				
【参考図書】 適宜指示する。				
【成績評価の方法】				
<p>1. 期末試験は、上掲目標をどの程度達成したかを確認する目的で実施する。</p> <p>2. 随時、地方財政に関連するビデオを鑑賞し、ビデオレポートを提出させる。</p> <p>3. 成績評価は、期末試験とビデオレポートなどにより、総合的に行う。</p>				

授業科目名 地方財政論Ⅱ				担当教員氏名 多田 憲一郎
履修年次:3~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 受講生が受講後に次のようなことができるようになること。 1. 現代社会経済システムにおける地方財政制度の意義を説明できる。2. 日本の地方財政制度の形成過程について説明できる。 3. 都市財政や農村財政の現状や課題について説明できる。4. 各国の地方財政制度の概要について説明できる。				
【授業内容】				
1. 地方財政史を学ぶ意義		9. 高度成長と地方財政		
2. 戦前の地方財政(1)		10. 過疎地域の地方財政構造		
3. 戦前の地方財政(2)		11. 都市地域の地方財政構造		
4. 戦前の地方財政(3)		12. 地域計画と予算制度		
5. 戦後改革と地方財政(1)		13. 地方財政の国際比較(1)		
6. 戦後改革と地方財政(2)		14. 地方財政の国際比較(2)		
7. シャウブ勧告と地方財政		15. 地方分権の展望		
8. 地方財政危機と変革				
【テキスト】 重森暁・田中重博編 『構造改革と地方財政』自治体研究社 多田憲一郎『地域再生のブランド戦略』イマジン出版				
【参考図書】適宜指示する。				
【成績評価の方法】				
1. 期末試験は、上掲目標をどの程度達成したかを確認する目的で実施する。 2. 随時、地方財政に関連するビデオを鑑賞し、ビデオレポートを提出させる。 3. 成績評価は、期末試験とビデオレポートなどにより、総合的に行う。				

授業科目名 市場調査論				担当教員氏名 佐井 至道
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 【授業目標】市場調査(マーケティング・リサーチ)という言葉が使われ始めてから、およそ1世紀の月日が流れた。その間に市場調査の定義も目的も変化し、それに応じて多様なテクニックが開発されてきた。市場調査論では本学の教育理念に沿って、調査という手法を用いて社会事象を捉え、分析し、解決する能力を備えた人材の育成を目指す。 【到達目標】1) 市場調査や社会調査の歴史と概要を理解する。2) 調査の企画方法や実施方法という一連の流れを理解する。3) 得られたデータの要約方法や簡単な推定方法についても理解する。				
【授業内容】				
1. 市場調査や社会調査の歴史・概論と統計との関係について[教科書 第1章]				
2. データの要約方法について(量的データと質的データ)[教科書 第2章]				
3. 調査の目的について[教科書 第1章, 第5章]				
4. 調査方法について[教科書 第3章]				
5. 調査の手順について(企画・実施・分析と報告)[教科書 第5章]				
6. 調査票設計の注意点と回答形式の種類[教科書 第4章]				
7. 特殊な質問法について(語句連想法など)[教科書 第3章]				
8. 母集団と標本との関係(国勢調査など)[教科書 第6章]				
9. 無作為抽出と有意抽出について(平均株価など)[教科書 第6章]				
10. 乱数表・疑似乱数とその応用について[教科書 第6章]				
11. 重複抽出と不重複抽出[教科書 第6章]				
12. サンプルング実験[教科書 第6章]				
13. 調査データのチェックについて[教科書 第5章]				
14. 調査データの整理について[教科書 第5章]				
15. 調査データの分析方法について[教科書 第8章]				
【テキスト】 佐井至道著『例解調査論』大学教育出版				
【参考図書】 適宜指示する。				
【成績評価の方法】 基本的には、レポートを50%、テストを50%とするが、講義内の提出物に関する点数を加算・減算して評価する。				

授業科目名 社会保障論Ⅰ				担当教員氏名 山下 隆資	
履修年次:2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
社会保障論Ⅰでは、社会保障の概念、社会保障の目的と機能、日本の社会保障の歴史、日本の社会保障の体系、社会保障を取り巻く環境の変化等について講義する。なお、「到達目標」は、受講生が、(1)社会保障の目的、機能、体系について理解し説明ができること。(2)社会保障の歴史や、社会保障を取り巻く環境の変化等について理解し説明すること。					
【授業内容】					
1. 社会保障の概念(1～2回) 2. 社会保障の目的と機能(3～4回) 3. 社会保障と国民生活(5～6回) 4. 日本の社会保障の歴史(戦前)(7～8回) 5. 日本の社会保障の歴史(戦後)(9～10回) 6. 日本の社会保障の体系(11～12回) 7. 日本の社会保障の行財政(13～14回) 8. 社会保障を取り巻く環境の変化(15回)					
【テキスト】					
プリントを配布する。					
【参考図書】					
適宜指示する。					
【成績評価の方法】					
試験は、到達目標にどの程度到達したかを、選択穴埋め方式と記述方式で行う。 成績評価は期末試験を重視する。出欠は、5回以上とる予定である。					

授業科目名 社会保障論Ⅱ				担当教員氏名 山下 隆資	
履修年次:2～4	2単位	後期	1コマ	※「社会保障論Ⅰ」の受講後が望ましい。	
【授業の目的】					
社会保障論Ⅱでは、我が国の年金制度、医療保険制度、介護保険制度などの社会保険制度、また、生活保護や児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉などの社会福祉制度などをとりあげ、各制度が成立した社会的背景、各制度の内容や仕組み、現状と課題等について講義する。なお、「到達目標」は、受講生が、我が国の各種社会保障制度について、基本的なことを理解し説明ができること。					
【授業内容】					
1. 年金保障(1～2回) 2. 医療保障(3～4回) 3. 介護保障(5～6回) 4. 生活保護(7～8回) 5. 児童福祉(9～10回) 6. 高齢者福祉(11～12回) 7. 障害者福祉(13～14回) 8. 社会保障の課題と将来(15回)					
【テキスト】					
プリントを配布する。					
【参考図書】					
適宜指示する。					
【成績評価の方法】					
試験は、到達目標にどの程度到達したかを、選択穴埋め方式と記述方式で行う。 成績評価は期末試験を重視する。出欠は、5回以上とる予定である。					

授業科目名 国際経済学Ⅰ				担当教員氏名 山下 賢二	
履修年次:2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】本講義では、国際経済のうち、国際貿易の問題をとりあげる。我々の生活が貿易なしには成り立たないことは諸君もすでに知っているだろう。その国際貿易は、多くのメディアでもとりあげられているように現在、大きな変革期の最中にある。本講義は、受講生諸君が国際貿易の問題の基本的なところを理解することを目的としており、実例を交えながら講義を進めていく。</p> <p>【到達目標】自由貿易のメリットを理解すること。</p>					
【授業内容】					
1.国際経済学とは何か？		9.国際貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル～(1)			
2.国際貿易体制の変遷と現在(1)		10.国際貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル～(2)			
3.国際貿易体制の変遷と現在(2)		11.国際貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル～(3)			
4.国際貿易の理論～リカード・モデル～(1)		12.国際貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル～(4)			
5.国際貿易の理論～リカード・モデル～(2)		13.国際貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル～(5)			
6.国際貿易の理論～リカード・モデル～(3)		14.国際貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル～(6)			
7.国際貿易の理論～リカード・モデル～(4)		15.まとめ～総復習～			
8.国際貿易の理論～リカード・モデル～(5)					
【テキスト】					
竹森俊平『国際経済学』東洋経済新報社					
【参考図書】					
若杉隆平『国際経済学 第3版(現代経済学入門)』岩波書店					
【成績評価の方法】					
主に期末試験の成績によって評価する。					

授業科目名 国際経済学Ⅱ				担当教員氏名 山下 賢二	
履修年次:2～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
<p>【授業目標】本講義では、国際経済のうち、国際マクロ経済学の分野をとりあげる。ここでは、国際マクロ経済の現状と変遷、外国為替市場、国際マクロ経済政策、国際金融市場についてみていく。</p> <p>【到達目標】国際収支表、為替レート、国際マクロ経済政策について理解することを目標とする。</p> <p>国際マクロ経済の問題を諸君は自分たちからは遠い問題だと思うかもしれない。しかし、これらの問題は、常にメディアを騒がせており、経済のグローバル化が進む昨今では社会常識のひとつとさえなっている。本講義は、受講生諸君がこれらの問題を自分の頭でとらえることができるようになることを目的としており、実例を交えながら講義を進める。</p>					
【授業内容】					
1.国際マクロ経済体制の変遷と日本(1)					
2.国際マクロ経済体制の変遷と日本(2)					
3.国際収支表(1)					
4.国際収支表(2)					
5.為替レートとは何か？					
6.為替レートの決定理論(1)～購買力平価説～					
7.為替レートの決定理論(2)～マンデル・フレミングモデル～					
8.為替レートの決定理論(3)～マンデル・フレミングモデル～					
9.為替レートの決定理論(4)～マンデル・フレミングモデル～					
10.為替レートの決定理論(5)～アセット・アプローチ～					
11.国際マクロ経済政策(1)～IS-LM-BP分析～					
12.国際マクロ経済政策(2)～IS-LM-BP分析～					
13.国際マクロ経済政策(3)～IS-LM-BP分析～					
14.国際マクロ経済政策(4)～IS-LM-BP分析～					
15.まとめ～総復習～					
【テキスト】					
ポール・クルーグマン他著『クルーグマンの国際経済学 下 金融編』ピアソン桐原					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
主に期末試験の成績によって評価する。					

授業科目名 経営統計学 I				担当教員氏名 西 敏明
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
受講生が,受講後につきのようなことができるようになること。				
1. 経営の分野・立場から得られたデータを統計解析できるようになること。				
2. 昨今のコンピュータの高性能・普及により,顧客管理,購買状況等の大量な業務データを容易に解析でき,それぞれのお客様に 対応する時代になって来ている。そのため,多くのデータの視覚化・要約・集約ができるようになること。				
3. さらにその周辺として,経済を含めた状況についても統計データから把握できるようになること。				
4. 実際的な見方・考え方や使い方について適用例を中心として理解が出来るようになること。				
【授業内容】				
1.経営学と統計学				
2.統計的なものの見方・考え方				
3.データのまとめ方 (1)一母集団とデータ,そしてグラフ				
4.データのまとめ方 (2)一母数と統計量,そしてグラフ				
5.データのまとめ方 (3)一ヒストグラム・はらつき				
6.官庁統計データから見える経済動向とビジネス(統計調査報告を読み解く)				
7.ビジネスデータの解析(1)・・・因果関係と相関関係,相関係数・2変量グラフの見方				
8.期待値と各種保険の考え方				
10.データと確率分布 (1) 正規分布と計量値データ				
11.データと確率分布 (2) 計数値データとクロス集計				
12.検定と推定の考え方 (1) 仮説と検証の考え方,第1種の過誤,第2種の過誤とその判断				
13.検定と推定の考え方 (2) 推定について				
14.計量値に関する検定・推定(1)一母集団				
15.ビジネスデータの解析(2)・・・総合演習				
【テキスト】				
西 敏明『ビジネスのための経営統計学入門』日科技連出版				
【参考図書】				
適宜指示する。				
【成績評価の方法】				
上記の到達目標にどの程度達したかを時間内演習課題(50%),定期試験(50%)により総合評価を行う。				

授業科目名 応用情報処理 I				担当教員氏名 西 敏明
履修年次:1~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
講義では,Excelで用いられる基本的手法と,統計的方法の基礎とその適用について学んでいく。				
受講生が,受講後につきのようなことができるようになること。				
1. 私たちの身近にあるデータを整理し,グラフ表現ができる。2. データから得られる情報を観る考え方ができ,適用する手法を適切 に選ぶことができる。3. 統計解析の基本が出来る。4. 統計解析の概念を把握するとともにデータ分析(適切な統計処理)をおこない, 要約化することができる。5. 上記各項目について,実践的な力をつけることをねらいとする。				
【授業内容】				
基礎的統計学の知識の構築				
1.Excel操作(統計関数の概要)とデータ処理概論				
2.確率論の基本と基本統計量				
3.確率分布とその性質,ヒストグラム				
4.検定と推定(1) 第1種の誤りと第2種の誤り				
5.検定と推定(2) 平均値問題・・・ σ 未知と既知の場合について				
抽出法の理論と分割表の検定・独立性の検定				
6.抽出の考え方とその利用 (条件付合計式ウィザードとLookupウィザード)				
7.ワークシート分析,循環参照の解消・ユーザー独自関数の作成				
8.抽出法理論の考え方とデータベース機能の活用				
9.ピボットグラフの作成・編集とクロス集計 (クロス表の統計量,独立性の検定,分割表の検定)				
10.複数のワークシートからのピボットテーブルの作成 (複数アンケート項目の抽出・調査の観点から)				
検定・推定理論の応用のための各種関数利用と分析ツールの活用				
11.基本的な統計関数(各種分布を含む)の紹介と活用				
12.分析ツールと散布図・相関係数				
13.分析ツールと検定・推定(平均・比率の差の検定)				
14.分析ツールと単回帰分析の基本				
15.データ,関数処理の結果およびグラフ化による表現の総合演習				
【テキスト】 プリントを配布する。				
【参考図書】 適宜指示する。				
【成績評価の方法】 上記の到達目標にどの程度達したかを時間内演習課題(50%),定期試験(50%)により総合評価を行う。				

授業科目名 経営学特殊講義Ⅰ				担当教員氏名 大崎 紘一
履修年次:2~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
産業分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。				
経営理論と経営手法の習得				
(1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。(2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。(3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。(4)人材育成について、具体的に説明できるようにする。				
【授業内容】				
(社)岡山経済同友会とタイアップした「経営人材育成プログラム」				
本講座は、ボランティアプロフェッサー、オープンカンパニーとして1996年から実施されており、17年目を迎えます。平成24年度前期は、「岡山経済界における若手・中堅経営者の経営」をテーマとして、主として(社)岡山経済同友会の会員企業の経営者の方々に、連続2回講義をしていただきます。				
受講学生諸君は、本講座を通して経営理論や経営手法を習得できます。				
講義をしていただく「岡山経済界における若手・中堅経営者の経営」の企業及び講師(予定)				
講義日程	講義企業名 及び 講師名			
4月9日(月)	岡山商科大学 大崎 紘一			
4月16日(月)	開講式			
4月16日(月), 23日(月)	(株)日産サテオ岡山	代表取締役社長 若林 信吾 様		
5月7日(月), 14日(月)	(株)サンヨープレジャー	代表取締役社長 高谷 昌宏 様		
5月21日(月), 28日(月)	(株)フアジアノ岡山スポーツクラブ	代表取締役社長 木村 正明 様		
6月4日(月), 11日(月)	(株)ミツバファクトリー	代表取締役社長 江見 慎之介 様		
6月18日(月), 25日(月)	カーツ(株)	代表取締役社長 勝矢 雅一 様		
7月2日(月), 9日(月)	岡山湯郷Belle	ゼネラルマネージャー 黒田 和則 様		
7月20日(金), 23日(月)	岡山商科大学 大崎 紘一			
※各企業には、上記のテーマで連続2回の講義をしていただきます。講義時間はいずれも14時40分～16時10分の90分間です。				
【テキスト】 講義資料は、各講義の最初に配布します。				
【参考図書】				
【成績評価の方法】				
講義資料に基づき、毎回の講義内容についてまとめを提出する。提出内容をチェックし毎回評価する。そして、15回の提出内容の評価から、成績評価を行う。合計点100点。出席は、毎回学生証のバーコードを使用して行うので、忘れないように持参すること。				

授業科目名 経営学特殊講義Ⅱ				担当教員氏名 大崎 紘一
履修年次:2~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
産業分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。				
経営理論と経営手法の習得				
(1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。(2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。(3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。(4)人材育成について、具体的に説明できるようにする。				
【授業内容】				
本講座は、ボランティアプロフェッサー、オープンカンパニーとして1996年から実施されており、17年目を迎えます。				
平成24年度後期は、岡山県内の地方自治体における「地域への取組み施策」をテーマとして、主として岡山県内の若手・中堅市長の方々に、連続2回講義をしていただきます。				
受講学生諸君は、本講座を通して経営理論や経営手法を習得できます。				
「若手・中堅市長の地域への取組み施策」で講義をしていただく地方自治体及び講師(予定)				
講義日程	講義地方自治体名 及び 講師名			
1	9月24日(月)	岡山商科大学 大崎 紘一		
2, 3	10月1日(月)、9日(火)	総社市	市長	片岡 聡一 様
4, 5	10月15日(月)、22日(月)	浅口市	市長	栗山 康彦 様
6, 7	11月5日(月)、12日(月)	瀬戸内市	市長	武久 顕也 様
8, 9	11月19日(月)、26日(月)	玉野市	市長	黒田 晋 様
10, 14	12月3日(月)、1月16日(水)	笠岡市	市長	三島 紀元 様
12, 13	12月17日(月)、1月7日(月)	新庄村	村長	笹野 寛 様
11, 15	12月10日(月)、1月21日(月)	岡山商科大学 大崎 紘一		
*10月9日(火)、1月16日(水)は振替講義日				
※各自治体には、上記のテーマで連続2回の講義をしていただきます。				
※講義時間はいずれも14時40分～16時10分の90分間です。				
【テキスト】 講義資料は、講義の最初に配布します。				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】				
講義資料に基づき、毎回の講義内容についてまとめを提出する。提出内容をチェックし評価する。そして、15回の提出内容の評価から、成績評価を行う。合計点100点。出席は、毎回学生証のバーコードを使用して行うので、忘れないように持参すること。				

授業科目名 ビジネス概論Ⅰ				担当教員氏名 大城 裕二	
履修年次:1~4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
以下のことが理解できるように講義します。 1. 現代におけるビジネス研究の意義とその方法論 2. 経済発展段階を辿り商業がどのように発展し、ビジネス論へと変貌してきているのか、3. 商業理論に加え、ビジネス論の役割は、どのような広がりを見せてきているのか、4. 資本主義的生産過程の構造とその成果拡大への図式は、どのような要点を持っているのか、5. 「利潤」の源泉に関する諸理論と不確実性社会における「リスク負担報酬説」の意味合い、6. 情報化、グローバル化を中心とする変化要因がビジネス展開に及ぼす影響は、					
【授業内容】					
第1回:ビジネス概論1の開講に当たって 注意事項、評価方法、講義の進め方等 「ビジネスの意義」概説					
第2回:ビジネス研究アプローチ(商業経済学的・商業経営学的・商業法規的・商業教養学的)から産業経済学的・産業経営学的・産業開発論的・産業社会学的)ビジネス研究視点(商業本質論:経済学的、経済体制論的、個別経済学的)(ビジネス運営主体(企業):経営学的、実践論的総合学)					
第3回:ビジネスの本質 商業の発展、商業資本・産業資本、産業資本主義の確立、商業の目的(商業とビジネスの広がり)、産業化の進展、企業経営の展開					
第4回:経済発展段階と商業(ビジネス)社会					
第5回:ビジネス環境諸要因と変化					
第6回:ビジネスの役割 (商業機能と企業組織) 売買					
第7回: " (") 保管と輸送					
第8回: " (") 金融と危険負担(保険)					
第9回: " (") 情報と広告					
第10回:ビジネスの形態 (生産機構・流通機構と企業経営)					
第11回:ビジネス取引の基本条件 商品開発、売買条件、信用の利用、売買契約					
第12回:ビジネス成果把握と報告(経済諸力と財務尺度、意思決定と業績統制)					
第13回:情報化とビジネス取引の展開					
第14回:グローバル化とビジネス取引の推進					
第15回:ビジネス概論1閉講に当たって ビジネス概論1の要約、ビジネス概論2の予告、前期試験ヒント					
【テキスト】毎回、プリントを配布して授業を進めます。配布プリントは、定期試験等、ポイントの把握に役立てるため、各自で大切に保管してください。					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】					
試験80%、質疑応答等、平常の学習姿勢20%(優れた質問・提案には相応の評価を与えます。)受講席を指定することがありますので、不都合な場合には事前に申し出てください。					

授業科目名 ビジネス概論Ⅱ				担当教員氏名 大城 裕二	
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
以下のことが理解できるように指導するよう努めます。 1. 現代におけるビジネス研究の意義とその方法論 2. 経済発展段階を経て商業がどのように発展し、ビジネス論の観点へと変貌してきているのか、3. 商業理論によるものに加え、ビジネスの役割は、どのような広がりを見せているのか、4. 資本主義的生産過程の構造と商業過程(流通過程)の果たす役割について、5. 「利潤」の源泉に関する諸理論と不確実性社会における「リスク負担報酬説」の意味合い、6. 情報化、グローバル化を中心とする不確実要因のビジネスへの影響は、					
【授業内容】					
第1回:ビジネス概論2の開講に当たって [注意事項、評価方法、講義の進め方等]					
第2回:ビジネス環境の形成と発展 [情報処理技術の進展、生活様式・生産様式の変化、ニーズの多様化]					
第3回:経済生産の構造とビジネス活動の目的 [産業資本主義的生産循環過程とビジネスの課題]					
第4回:環境変化の不確実性とビジネス利潤 [売買差益説、労働搾取説、資本・労働力合理的結合説、経済的改善の初期果実説リスク負担報酬説]					
第5回:サービス産業化と新しい経済構造 [脱産業化社会と観光化社会の問題点]					
第6回:企業経営形態と企業組織構造の変革 [経営目的と経営管理論及び経営組織論]					
第7回:市場競争と規制緩和 [市場の恩恵と市場の失敗]					
第8回:信用経済の発展と金融統合 [市場経済と経済政策]					
第9回:ビジネスと経営管理 [経営学・情報各論紹介]					
第10回:ビジネス実践と商業各論 [マーケティング、商業各論の紹介]					
第11回:企業経営と財務管理(ファイナンシャル・プランニング) [経営管理論とマネジメント・プロセス]					
第12回:企業経営と人的資源管理(労務管理) [企業経営と組織論、環境適合と戦略論]					
第13回:企業活動の成果計算と業績統制 [『会社法』の成果計算規定、業績報告・監査規定、内部統制と財務収斂]					
第14回:経営の社会的責任とコーポレートガバナンス [情報化、グローバル化、デレギュレーション、企業の自己統治、CSR、コンプライアンス]					
第15回:ビジネス概論Ⅱ閉講に当たって [要約、後期試験のヒント等]					
【テキスト】プリントを配布する。					
【参考図書】適宜指示する。					
【成績評価の方法】					
試験80%、授業中の積極性10%(優れた質問・提案, Quiz回答は相応の評価をします。)場合によっては、受講席を指定いたしますので、不都合な場合には申し出てください。					

授業科目名 簿記論 I				担当教員氏名 長谷川 博史	
履修年次:1~4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。					
1. 複式簿記の基礎を理解する。					
2. 取引と勘定を理解する。					
3. 仕訳と転記を理解する。					
4. 決算手続きを理解する。					
【授業内容】					
1.簿記の意味と目的		9.決算			
2.貸借対照表		10.財務諸表の作成			
3.損益計算書		11.現金・預金			
4.取引と勘定記入		12.当座預金			
5.仕訳と転記		13.当座預金出納帳・小口現金			
6.仕訳帳と総勘定元帳・合計試算表		14.練習問題			
7.残高試算表・合計残高試算表		15.前期試験のための模擬試験と解説			
8.精算表					
【テキスト】					
加古宜士・穠山幹夫『段階式日商簿記3級商業簿記』税務経理協会					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
成績評価:前期試験と出席点とを総合して判定する。					
注意事項:ほぼ毎回出席をとり、小テストおよび模擬試験(前期試験の参考になる)を実施する。					

授業科目名 簿記論 II				担当教員氏名 長谷川 博史	
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。					
1. 簿記論Iの内容を理解した上で、その発展を理解する。					
2. 商品売買や債権・債務取引および資産項目等の会計手続きを理解する。					
3. 決算整理や財務諸表の作成を理解する。					
【授業内容】					
1.商品売買・3分法		9.減価償却			
2.商品有高帳		10.費用・収益			
3.売掛金と買掛金		11.決純資産(資本)と税金			
4.その他の債権債務		12.試算表の作成			
5.約束手形・為替手形		13.決算整理・精算表			
6.手形の裏書きと割引		14.帳簿決算			
7.貸倒損失と貸倒引当金		15.財務諸表の作成・模擬試験と解説			
8.売買目的有価証券					
【テキスト】					
加古宜士・穠山幹夫『段階式日商簿記3級商業簿記』税務経理					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
成績評価:後期試験と出席点とを総合して判定する。					
注意事項:ほぼ毎回出席をとり、小テストおよび模擬試験(後期試験の参考になる)を実施する。					

授業科目名 情報処理概論Ⅱ				担当教員氏名 島田 伸夫
履修年次:1~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 受講生が受講後つぎのようなことができるようになること。 1.社会調査の意味を知り、社会調査の意味を概説できる。 2.社会調査の統計的基礎について、正しく利用できる。 3.簡単なクロス集計ができ、具体的な例で説明できる。 4.調査票の作成ができる。 5.簡単な社会調査が実施できる。				
【授業内容】 1.オリエンテーション 2.情報処理と社会調査 3.社会調査の意義や歴史 4.社会調査の用途や倫理 5.社会調査に用いる統計の基礎(データの測定尺度) 6.社会調査に用いる統計の基礎(データを1つにまとめた表現) 7.量的データと質的データ 8.クロス集計 9.社会調査の種類 10.国勢調査 11.世論調査 12.マーケティング調査 13.調査票の作成方法 14.社会調査の実習(本調査の準備と実施) 15.社会調査の実習(調査データの解析)				
【テキスト】				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 上掲の到達目標にどの程度達したかを毎回授業終了後簡単なレポートを書いてもらい、その内容で評価する。定期試験は行わない。				

授業科目名 社会調査実践				担当教員氏名 田中 潔
履修年次:3~4	4単位	通年	1コマ	
【授業の目的】 【授業目標】 調査の企画から報告書の作成まで社会調査の全過程を実習を通じて実践学習することを目的としています。調査実施のすべての段階を経験し、より良い社会調査を実施できる人材を育成することを目標とします。 【到達目標】 この授業では、街区における社会調査を企画し実施、集計、発表を必ず行わなければなりません。これらの学習や経験を通じて、以下のことができるようになります。 1.調査一連の流れを理解し実践することができる。 2.社会調査士資格のカリキュラムG科目(実習)を取得できる。 社会調査協会の認定科目に基づき評価され、社会調査士(見込みや正規)資格取得のための最終科目(ハードル)と位置付けられます。知識修得よりも実践が要求されます。				
【授業内容】 1.社会調査の目的と調査の種類 2.仮説に基づく調査の立案 3.質問紙の設計、配布、回収 4.調査対象を考える 5.母集団と標本集団 6.標本抽出調査と悉皆調査 7.標本の選定と標本数の決定 8.設問の配列と記述の注意 9.調査用紙レイアウト 10.調査用紙とエクセルシート 11.回収データの入力とエディティング 12.集計のためのシート利用 13.基礎等計量と度数集計 14.集計表とグラフによる視覚化 15.度数集計からクロス集計へ 16.プレゼン資料との連携 17.実データによる入力演習 18.実データによるデータチェック 19.実データによる集計作業 20.実データによるプレゼン資料作成 21.実査実施の概要と課題 22.実査の計画と調査用紙立案 23.実査調査用紙の作成 24.実査の実施 25.回収票の整理、データチェック 26.実査データの集計と視覚化 27.実査データのクロス分析 28.プレゼン資料の製作 29.実施した調査報告会 30.社会調査士資格取得のために				
【テキスト】 酒井 隆『アンケート調査の進め方』日本経済新聞社、日経文庫				
【参考図書】 適宜指示する。				
【成績評価の方法】 社会調査士認定科目(G)です。人数制限30人程度を行う。人数オーバーの場合、調査士認定科目の取得状況などにより優先する場合もある。毎回の出席を必要とするので単位取得の保険的科目にはなり得ない。 社会調査の知識10、実査の設計20、用紙作成20、実査実施30、プレゼン20				

岡山理科大学
(シラバス)

キャリア形成講座 (Career Design)				飯田 哲司 他
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ
【授業の目的】				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会で必要とされる力(コミュニケーション力・課題解決力・チーム力・自己表現力)を実践的な演習を通じて習得す ・実践的ワークを通じて、主張力・傾聴力・展開力を徹底強化する。 ・就活対策のみならず、社会人となった以降に役立つ生涯キャリア形成の意識と実践力について学ぶ。 				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション ～キャリア形成とは～ 2. 自分を知る ～自己分析・自己診断チェック～ 3. コミュニケーションの強化① ～「話すこと」の基本と応用技術～ 4. コミュニケーションの強化② ～「聴くこと」の基本とスキルアップトレーニング～ 5. セルフ・コントロール ～ビジネスマインド養成ワーク～ 6. 社会が求める人材とは ～求められる能力とその活かし方～ 7. キャリア形成新理論 ～キャリアプランニングの変化とこれから～ 8. 実践的表現力強化演習 ～ブレインストーミング～ 9. 発想力強化トレーニング ～発想を生み出し広げるためには～ 10. ビジネス心理学の基礎演習 ～行動経済学～ 11. 実践的ビジネスマナー養成 ～現場で活かすマナーの考え方と意味～ 12. チーム強化演習 ～模擬グループ面接(就活対策演習)～ 13. チームワーク力強化演習 ～サバイバルゲーム～ 14. 社会人基礎力の応用演習 ～報告・連絡・相談～ 15. 就活対策特別講義～就活を制する重要キーワード～ 				
【テキスト】				
プリント配布				
【参考図書】				
なし。				
【成績評価の方法】				
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレポート 60% ・課題ワークへの取り組み姿勢 20% ・最終レポート 20% 				

キャリア形成講座 (Career Design)				飯田 哲司 他
履修年次	1～4	2単位	後期	1コマ
【授業の目的】				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会で必要とされる力(コミュニケーション力・課題解決力・チーム力・自己表現力)を実践的な演習を通じて習得す ・実践的ワークを通じて、主張力・傾聴力・展開力を徹底強化する。 ・就活対策のみならず、社会人となった以降に役立つ生涯キャリア形成の意識と実践力について学ぶ。 				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション ～キャリア形成とは～ 2. 自分を知る ～自己分析・自己診断チェック～ 3. コミュニケーションの強化① ～「話すこと」の基本と応用技術～ 4. コミュニケーションの強化② ～「聴くこと」の基本とスキルアップトレーニング～ 5. セルフ・コントロール ～ビジネスマインド養成ワーク～ 6. 社会が求める人材とは ～求められる能力とその活かし方～ 7. キャリア形成新理論 ～キャリアプランニングの変化とこれから～ 8. 実践的表現力強化演習 ～ブレインストーミング～ 9. 発想力強化トレーニング ～発想を生み出し広げるためには～ 10. ビジネス心理学の基礎演習 ～行動経済学～ 11. 実践的ビジネスマナー養成 ～現場で活かすマナーの考え方と意味～ 12. チーム強化演習 ～模擬グループ面接(就活対策演習)～ 13. チームワーク力強化演習 ～サバイバルゲーム～ 14. 社会人基礎力の応用演習 ～報告・連絡・相談～ 15. 就活対策特別講義～就活を制する重要キーワード～ 				
【テキスト】				
プリント配布				
【参考図書】				
なし。				
【成績評価の方法】				
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレポート 60% ・課題ワークへの取り組み姿勢 20% ・最終レポート 20% 				

情報数学 I (Information Mathematics I)				澤江 隆一
履修年次:	3~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
情報システムを理解し、管理運営に必要な知識の基礎的な修得を目的とする。その為に、講義内容は、離散数学の基礎的な講義、グラフ理論を学習することによって情報システム(OSも含めて)についての導入を目的とする。更に、ネットワークシステムのグラフの構造に関しても言及をする。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. この講義で重要な数学的基礎 2. 情報数学と離散数学 3. グラフについて I 4. グラフについて II 5. グラフの同形について 6. 連結性、道、閉路、グラフに関する操作 7. オイラーグラフと一筆書き 8. さまざまなグラフの例 9. 前半の纏めおよび中間テスト 10. 木の性質とn分木 I 11. 木の性質とn分木 II 12. グラフ理論と情報システム(サービス方式) 13. グラフ理論と情報システム(ファイルシステム) 14. グラフ理論と情報システム(プロセスの状態遷移と管理) 15. グラフ理論と情報システム(ネットワーク) 				
【テキスト】				
R.J.ウィルソン著 原書第4版「グラフ理論入門」 近代科学社				
【参考図書】				
小倉 久和著 「離散数学への入門」 近代科学社				
【成績評価の方法】				
中間テスト(20%)、定期試験(80%)として評価を行う。				

情報数学 II (Information Mathematics II)				澤江 隆一
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
情報通信が発達して、そのセキュリティが重要な課題となっている。本講義では、情報交換を安全に行うのに必要とされる符号化(暗号化)を行う為の基礎となる数学的理論を、数学と情報の係わりを入れつつ、講義を行う。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報数学の数学的基礎 2. グラフ理論概説 3. 木と符号化 4. 有限体上の線型符号と符号化理論 5. さまざまな線型符号と代数拡大 6. デジタル情報と誤り訂正符号 7. グラフと線型符号 I 8. グラフと線型符号 II 9. 前半の纏めおよび中間テスト 10. グラフ理論でのオイラーの公式 11. 平面的グラフと平面グラフ 12. グラフの点彩色と彩色問題 13. 暗号理論について 14. 3彩色問題と暗号理論 15. 符号化、グラフ、暗号についての整理・まとめ 				
【テキスト】				
R.J.ウィルソン著 原書第4版「グラフ理論入門」 近代科学社				
【参考図書】				
小倉 久和著 「離散数学への入門」 近代科学社				
【成績評価の方法】				
中間テスト(20%)、定期試験(80%)として評価を行う。				

安全化学 (Chemical Safety)				豊田 真司
履修年次:	3~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
3年次以降の専門的な実験を安全に行うために、化学物質の取り扱い方や実験操作の基本を学ぶ。化学物質に関連したいくつかの法律を解説し、環境との関わりを社会的な面から考えていく。環境に関連した法律も概説する。講義の内容は、「危険物取扱者」や「毒物・劇物取扱責任者」などの資格に関連している。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 序論 資格の概要 (危険物取扱者願書配布) 2. 危険な化学物質 毒物劇物(1) 3. 危険な化学物質 毒物劇物(2) 4. 危険な化学物質 危険物(1) 法律・分類 5. 危険な化学物質 危険物(2) 各類の危険物 6. 危険な化学物質 危険物(3) 各類の危険物 7. 緊急対処法 8. 「危険物取扱者」と「毒物・劇物取扱責任者」模擬試験と解説 9. 危険な化学物質 環境汚染物質等(1) 発がん性物質など 10. 危険な化学物質 環境汚染物質等(2) オゾン層破壊物質など 11. 危険な化学物質 環境汚染物質等(3) PRTRなど 12. 危険な化学物質 環境汚染物質等(4) ダイオキシン類 温室効果ガスなど 13. 実験装置と実験操作(1) ガラス器具の扱い方など 14. 実験装置と実験操作(2) 蒸留、再結晶など 15. 実験装置と実験操作(3) 事故の実例と対策 まとめ 				
【テキスト】				
祖徠 他著 「学生のための化学実験安全ガイド」 東京化学同人				
【参考図書】				
山口 和也・山本 仁著 「基礎化学実験安全オリエンテーション」 東京化学同人 その他は講義において指示する。				
【成績評価の方法】				
定期試験(60%)、宿題およびレポート(40%)の結果から評価する。数回レポートの課題を出す。				

物理学入門 (A Physics Primer)				中川 益生
履修年次:	1~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
物理公式の暗記と算術計算を主体とする高校物理から、実証と論証を重視する大学物理への橋渡しを担う。演示実験やビデオによる現象の観察から出発して、物理法則を導出する過程を体験する。また、物理法則の記述に必要な種々の物理量の定義と相互関係を理解する。先端物理のトピックスにも触れる。さらに、生体の電気・熱・光学的特性を理解するための物理的基礎を学ぶ。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 力学の成立(速度・加速度・慣性の実験) 3. 運動(運動方程式、空中衝突の実験) 4. 力と運動量(力の定義、玉子の落下実験) 5. 仕事とエネルギー(力学的エネルギー保存則の実験) 6. 流体の力学(パスカルの原理とベルヌイの定理の実験) 7. 温度と熱(比熱と熱容量の実験) 8. 熱力学(熱と仕事、分子運動の実験) 9. これまでの講義のまとめと中間テスト 10. 静電気(2種類の電気、摩擦帯電の実験) 11. 電流と磁気(電池と磁場の実験) 12. 電磁誘導と電磁波(誘導電流と電磁波の実験) 13. 波と音波(水面波と音波の観測) 14. 光の性質(レーザーの屈折・回折・干渉実験) 15. 量子現象と原子の構造(光電効果と蛍光の実験) 				
【テキスト】				
後藤憲一著 「新しい物理へのアプローチ」 共立出版				
【参考図書】				
使用しない				
【成績評価の方法】				
「科学的とはどういうことか」板倉聖宣/著・仮説社、「仮説実験授業のABC 楽しい授業への招待」板倉聖宣/著・仮説社、「サイエンスシアターシリーズ」板倉聖宣ほか/著・仮説社、「ものづくりハンドブック1~7」たのしい授業編集委員会/編・仮説社、「おもしろ実験・ものづくり事典」左巻健男・内村浩/編著・東京書籍、「小学生の100円ショップ大実験」学研、「大人もハマる週末面白実験」左巻健男・滝川洋二・こうのにしき/編著・講談社				
【成績評価の方法】				
レポートの内容(50%)、発表会の内容(50%)によって評価する。発表会の評価には、受講生相互の評価も加味する。				

科学・工作ボランティア入門 (Introduction to Volunteer Activity for Science and Technology Education)		高原 周一 他	
履修年次: 1~4年次	2単位	前期集中	1コマ
【授業目的】			
近年、理工系離れが問題になっているが、その対策のひとつとして科学・工作教室等を行う科学ボランティア活動が注目されている。本講義では、地域で活躍している外部講師を招いて科学ボランティア活動を実践的に紹介する。また、グループを組んで、自分たちで選んだ楽しい実験・工作(基本的に身近な材料を使ってできるもの)を準備し、発表会で披露してもらう。これらを通じて、受講生自身が科学・技術をおおいに楽しみながら、科学・技術に対する関心を深め、科学ボランティア活動で活躍できる力を身につける。この講義を通じて得られる「他者とながら力」などは、就職時および社会人になった時に役立つであろう。			
【授業内容】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(講義内容と進め方の説明) ※第1回と第2回は同一日に連続して行う。(全教員) 理科離れの現状、科学ボランティア活動の意義、地域で行われている活動の紹介、科学ボランティアリーダー認定制度の説明 2. たのしい科学実験の体験(本講義の過去の受講生などが準備した科学実験を体験する)(全教員) 3. 科学ボランティアセンターコーディネーターによる講習 ※第3回と第4回は同一日に連続して行う。(全教員) 4. 発表会準備(1)グループ分け、グループごとに発表会内容を検討(全教員) 5. 外部講師による講習 講師:三木淳男先生(岡山市立芳泉中学校教諭)※第5回と第6回は同一日に連続して行う。(三木淳男) 6. 発表会準備(2)発表会内容確定(全教員) 7. 発表会準備(3)実験器具およびプレゼンテーションなどの準備 ※第7回と第8回は同一日に連続して行う。(全教員) 8. 発表会準備(3)実験器具およびプレゼンテーションなどの準備(全教員) 9. 発表会準備(4)実験器具およびプレゼンテーションなどの準備 ※第9回と第10回は同一日に連続して行う。(全教員) 10. 発表会準備(4)実験器具およびプレゼンテーションなどの準備(全教員) 11. 発表会準備(5)発表会予行演習 ※第11回と第12回は同一日に連続して行う。(全教員) 12. 発表会準備(5)発表会予行演習(全教員) 13. 発表会、発表会の反省、レポート作成 ※第13回~第15回は同一日に連続して行う。(全教員) 14. 発表会、発表会の反省、レポート作成(全教員) 15. 発表会、発表会の反省、レポート作成(全教員) 			
【テキスト】			
使用しない。			
【参考図書】			
「科学的とはどういうことか」板倉聖宣/著・仮説社、「仮説実験授業のABC 楽しい授業への招待」板倉聖宣/著・仮説社、「サイエンスシアターシリーズ」板倉聖宣ほか/著・仮説社、「ものづくりハンドブック1~7」たのしい授業編集委員会/編・仮説社、「おもしろ実験・ものづくり事典」左巻健男・内村浩/編著・東京書籍、「小学生の100円ショップ大実験」学研、「大人もハマる週末面白実験」左巻健男・滝川洋二・こうのにしき/編著・講談社			
【成績評価の方法】			
レポートの内容(50%)、発表会の内容(50%)によって評価する。発表会の評価には、受講生相互の評価も加味する。			
【注意・備考】			
講義は基本的に土曜日の午後に行う予定。受講者が多数の場合は受講制限をすることがあるので、初回の講義(別途掲示)は必ず出席すること。発表会の材料費は受講生の自己負担とする。開講日時の情報は以下のサイトに掲載されるので、受講者は必ず見ること。 http://www.chem.ous.ac.jp/~takahara/vst/			
なお、本講義は卒業時に「科学ボランティアリーダー」の認定を受けたい場合は必修の講義である。科学ボランティアリーダー認定制度については、以下のサイトに説明がある。 http://ridai-svc.org			

科学技術と人間 (Science and Technology in Human Society)	若村 国夫
履修年次: 1~4年次 2単位	後期 1コマ
【授業目的】	
科学技術が人間や社会に与えてきた影響、文化との密接な関係、目先にとられない多様な技術アイデアの重要性などを、技術の歴史や固有性、風土などを通して認識する。最近の環境問題も視野に入れ、科学技術と自然との関係を考える。歴史的装置のデモンストレーションも取り入れ、授業に変化を持たせる。	
【授業内容】	
<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 技術と文化・風土1 3. 技術と文化・風土2 4. 日本・中国の技術の歴史 5. 西洋の技術の歴史 6. 西洋の技術移転 7. 日欧技術比較論1 8. 日欧技術比較論2 9. 日欧技術比較論3 10. 科学技術の発展と社会経済構造1 11. 科学技術の発展と社会経済構造2 12. 科学技術の発展と人間疎外 13. 科学技術の発展と戦争 14. 科学技術の発展と負の遺産 15. 21世紀の科学技術とは 	
【テキスト】	
プリント配布	
【参考図書】	
特になし	
【成績評価の方法】	
定期試験の得点による。	

地球科学 I (Earth Science I)	山口 一裕
履修年次: 1~4年次 2単位	前期 1コマ
【授業目的】	
温暖化や酸性雨など地球規模で起こる環境問題や人類に災害をもたらす地震や火山活動を正しく理解するためには、基本となる「地球の姿」を知る必要がある。地球科学 I では、地球の概観、内部構造、プレートテクトニクス、地震、火山、地球の歴史について講義する。できるだけ実践的な地球科学を習得するために、具体的な事例や演習を取り入れたい。標本の観察や演習問題には積極的に取り組むことを心がけてほしい。	
【授業内容】	
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 地球の岩石 火成岩・堆積岩・変成岩 復習問題 2. 地球科学の考え方 地球の歴史性 復習問題 3. 固体地球を構成する物質 鉱物と岩石 復習問題 4. 火成岩のでき方 復習問題 5. 火山活動と災害 復習問題 6. 地球の形と大きさ 復習問題 7. 重力を使って地球を調べる 復習問題 課題実験 自宅で重力を測ろう! 8. 地磁気 地磁気は地球を救う 9. 地震と災害 演習問題があるので各自しっかりまとめること。 10. 海底の地形と特徴 11. 地震波と地球の内部構造 演習問題があるので各自しっかりまとめること。 12. 移動する大陸、拡大する海底 13. プレート・テクトニクス 14. 地球の歴史 I 15. 地球の歴史 II 	
【テキスト】	
「ニューステージ地学図表」 浜島書店 毎回、講義プリントを配付する。	
【参考図書】	
適宜指示する。	
【成績評価の方法】	
講義中の小テスト(15%)、課題レポート(10%)と定期試験(75%)により評価する。	

地学基礎論Ⅰ (Earth Science1)				小林 祥一
履修年次: 1~4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業目的】				
太陽系のメンバーである地球について、地表付近および地球内部はどんな構造をしていて、どのような環境で、どのような物質でできているかを解説し、地球自身の基礎的な概念を理解する。これらをもとに地球の地殻およびマントルを構成する岩石・鉱物の生成のメカニズム、産状、分類およびこれらの物理化学的性質について概説する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 太陽系はどんなところ 3. 地球はどんなところ 4. 地球の表面温度を決める因子 5. 水と二酸化炭素の循環 6. 地球の内部構造を知る手がかり 7. 地球の環境についてのまとめ 8. 地球を構成する物質 鉱物1 9. 地球を構成する物質 鉱物2 10. 地球を構成する物質 鉱物3 11. 宝石鉱物 12. 地球を構成する物質 岩石2 (火成岩の分類) 13. 地球を構成する物質 岩石1 (火成岩の組織) 14. 地球を構成する物質 岩石3 (マグマの発生と火成岩の生成) 15. 岩石の風化と土壌の形成 				
【テキスト】				
酒井治孝著「地球学入門 惑星地球と大気・海洋のシステム」東海大学出版会				
【参考図書】				
プリントで補足				
【成績評価の方法】				
課題提出などの平常点(20%)と定期試験(80%)で評価する。				

地学基礎論Ⅱ (Earth Science2)				小林 祥一
履修年次: 1~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業目的】				
地球内部の動きと、これが原因で起こるさまざまな現象について解説する。地球の誕生から今日に至る過程で、生命の誕生、古環境に生きた古生物の進化・絶滅について理解する。更に、現在の地表付近の環境とその変化についても言及し、これらを通して人々の生活とその変化についても言及し、これらを通して人々の生活と地学との関わり合いを理解する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(地学と私たちの生活) 2. 大陸移動説と海洋底拡大説 3. プレートテクトニクス1 4. プレートテクトニクス2 5. いま海底では 6. さまざまな地質現象 7. プレート運動のまとめと日本列島の成り立ち 8. 酸素の起源と生物の起源 9. 生命の誕生と進化 10. 生物の時代(先カンブリア時代から古生代) 11. 生物の時代(古生代から中生代へ) 12. 生物の時代(中生代から新生代へ) 13. 生物の時代(地球環境の変化と生物の進化) 14. 地球環境を考える 15. まとめ(私たちの生活と地球科学との関わりを考える) 				
【テキスト】				
酒井治孝著「地球学入門 惑星地球と大気・海洋のシステム」東海大学出版会				
【参考図書】				
プリントで補足				
【成績評価の方法】				
課題提出などの平常点(20%)と定期試験(80%)で評価する。				

分子遺伝学 I (Molecular Genetics I)				池田 正五
履修年次:	2~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
遺伝現象とそれを司る物質を分子のレベルで理解するために、分子遺伝学の基礎と現状を説明する。特にどのような実験を通じてそれらの現象が解明されて来たのかを、できるだけわかりやすく解説する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 遺伝学と分子生物学の起源 2. 遺伝子はDNAである 3. DNAの構造:ヌクレオチド 4. DNAの構造:二重らせん 5. 遺伝子と生物学的情報 6. 転写 7. RNA分子の種類:rRNAとtRNA 8. RNA分子の種類:mRNA 9. 遺伝暗号 10. 翻訳:tRNAの役割 11. 翻訳:タンパク質合成のしくみ 12. 遺伝子発現の調節 13. 遺伝子発現の調節:細菌における遺伝子発現の調節 14. 遺伝子発現の調節:真核生物における遺伝子発現の調節 15. 分子遺伝学 I のまとめ 				
【テキスト】				
T.A.Brown著 西郷薫監訳 「分子遺伝学(第3版)」 東京化学同人				
【参考図書】				
B.Lewin著 菊池ら訳 「エッセンシャル 遺伝子」 東京化学同人				
J. D. Watsonら著 中村監訳 「ワトソン 遺伝子の分子生物学(第5版)」 東京電機大学出版局				
【成績評価の方法】				
定期試験の成績(90%)に小テストなどの評価(10%)を加味して行う。				

環境生物化学(Environmental Biochemistry)				野上 祐作
履修年次:	2~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
人間が環境中に放出する様々な化学物質によって引き起こされる環境問題にスポットを当て、その問題の構図を明らかにし、「文明の進歩」とは何かを考えさせる。そして新しい価値観を構築する一助としたい。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ホモサピエンスの異常増殖 2. 大気汚染 3. 地球温暖化 4. オゾン層の危機 5. 酸性降下物 6. 閉鎖性水域の富栄養化 7. 油汚染の生態系への影響 8. 土壌汚染 9. 化学物質と環境汚染 10. 重金属による環境汚染 11. 有機塩素化合物による環境汚染 12. 変異原・発ガン物質 13. アスベスト汚染問題 14. 環境ホルモン 15. 総括 				
【テキスト】				
山下・坂本(博)・若村・野上・坂本(尚)・安藤著:環境科学概論、大学教育出版				
【参考図書】				
講義中に指示する。				
【成績評価の方法】				
主に定期試験の成績で評価する。				

食薬学(Pharmacositology)				松浦 信康
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
野菜や果物等食として摂取している、主として植物二次代謝産物を栄養学的見地から解説し、食の持つ潜在的な三次機能の意味を把握する。「食」と「薬」の共通性と相違点を明らかにし、各々が本来持っている特性について説明すると共に、適正な利用法についての基礎的な知識と考え方を後述する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 食薬学序論 2. 生態科学と「食」、「薬」との関わり 3. 植物一次代謝産物と食の一次機能 4. 香辛料と食の二次機能 5. ハーブと食の二次機能 6. 食の三次機能 7. 医食同源と疾病予防 8. 天然味呈成分とその化学 9. 天然色素と生物活性 10. 匂いとその化学 11. 抗酸化活性成分 12. 食と腸内フローラ 13. 薬膳、食養膳 14. 食薬区分と健康食品 15. これまでの内容の総復習と確認 				
【テキスト】				
プリントを配布する。				
【参考図書】				
特に無し				
【成績評価の方法】				
レポートおよび定期試験結果により評価する。				

解剖学(Anatomy)				由谷 親夫
履修年次:	2~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
解剖学は臨床医学、基礎医学を問わず、もつとも基礎になる学問である。人体を構成する正常な諸臓器の位置や形状および内部構造について解説する。肉眼解剖学、光学顕微鏡による組織学、電子顕微鏡による超微形態学などとの関連を解説する。各臓器における解剖学的事実を示しながら、その生理学的意義を各論的に説明し、それに伴う臨床診断や治療の現実を考える。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. からだの構造と機能の概論・細胞 2. 遺伝とゲノム・組織 3. 骨・筋 4. 体液と血液 5. 免疫系 6. 循環系 7. 中間テストおよびその解説 8. 呼吸器系・代謝、栄養、体温 9. 消化器系 10. 神経系 11. 感覚系 12. 内分泌系 13. 泌尿器系 14. 生殖と発生 15. 各臓器の解剖と機能について、演習形式でまとめる。 				
【テキスト】				
「シンプル解剖生理学」(河出光博・樋口隆著、南江堂)				
【参考図書】				
「入門人体解剖学」(藤田恒夫、南江堂)				
【成績評価の方法】				
得点配分を毎回演習レポート提出(40%)、中間テスト(25%)、定期試験(35%)とし、100点満点中60点以上を合格とする。				

健康管理概論(Health Management View)				橋川 成美
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
健康管理概論では、我が国の保健衛生の現状を学ぶと共に、健康管理を考えるに当たって必要な医学的背景を概説する。内容は公衆衛生的に沿うが、特に食生活が重要な意味を持つ生活習慣病と健康増進施策について説明に重点を置く。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 2. 疫学とは 3. 人口統計について 4. 保健統計について 5. 健康づくり施策その1 6. 健康づくり施策その2 7. 健康日本21 8. 健康管理の方法その1 9. 健康管理の方法その2 10. 生活習慣と健康その1 11. 生活習慣と健康その2 12. 生活習慣病の疫学、予防その1 13. 生活習慣病の疫学、予防その2 14. 地域の健康管理 15. 老人・成人の健康管理 				
【テキスト】				
基礎から学ぶ 健康管理概論 柳川 洋(編) 南江堂				
【参考図書】				
国民衛生の動向 (2009年度版) (財) 厚生統計協会				
【成績評価の方法】				
ミニレポート(20%)、試験(80%)により行う。				

集団遺伝学(Population Genetics)				浅田 伸彦
履修年次:	3~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
共通性と多様性を示す生物種の進化について、ゲノムに刻まれた遺伝子の動態を表現型と分子レベルで解説します。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 集団遺伝子とは? 2. メンデルの因子と遺伝子 3. 遺伝子プール 4. 近親交配の推移 5. 2座位の問題 6. 遺伝子頻度の機会的浮動 7. 隔離と移住 8. 突然変異 9. 自然選択と人為選択 10. 量的形質 11. 集団の変異性 12. 集団の罹病性 13. 分子進化 14. 進化速度 15. 集団遺伝子とヒト社会の関わり 				
【テキスト】				
「初歩からの集団遺伝学」 安田 徳一 著				
【参考図書】				
随時紹介します。				
【成績評価の方法】				
レポートなどの提出、随時のテスト(20%)、定期試験(80%)で評価します。				

ナノサイエンス (Nanoscience)				富永 敏弘
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
ナノメートルスケールの超微粒子は、肉眼や一般の光学顕微鏡で見えるサイズの物質とは異なるユニークな性質を示す。有機物、無機物、無機・有機複合体から成るナノ粒子/ナノ組織体について、単独分子にはない新しい機能が発現されることを理解し、近年発展の著しいこの分野の内容について理解を深める。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 両親媒性物質 2. ミセル、ベシクル、平面二分子層 3. 逆ミセル、マイクロエマルジョン 4. 自己組織化単分子膜 5. 半導体の性質 6. 半導体ナノ粒子の性質 7. 金属ナノ粒子の合成法 8. 金属ナノ粒子のサイズ・形と光学的性質 9. 金属ナノ粒子の配列による性質の変化 10. 金属ナノ粒子のバイオ分野への応用 11. フラーレンの発見 12. フラーレンの性質 13. カーボンナノチューブの発見 14. カーボンナノチューブの性質 15. ナノプロービング 				
【テキスト】				
プリントを配布する。				
【参考図書】				
日本化学会編「コロイド科学Ⅱ 会合コロイドと薄膜」東京化学同人 篠田 耕三「溶液と溶解度」第3版 丸善 J.N.Israelachvili著,近藤保/大島広行訳「分子間力と表面力」マグロウヒル 都甲潔他「自己組織化とは何か」第2版、講談社ブルーバックス 2009年 志村 史男「そこが知りたい半導体」(講談社ブルーバックス 1994年) G.Schmio編集,岩村、廣瀬訳「ナノ粒子科学」NTS(2007年) 篠原久典「ナノカーボンの科学」(講談社ブルーバックス 2007年) 篠原久典、齋藤 弥八「フラーレンの化学と物理」(名古屋大学出版会 1997年) 産業技術総合研究所ナノカーボン研究センター編「ナノカーボン材料」(丸善 2004年)				
【成績評価の方法】				
定期試験(70%)、課題(30%)				

応用酵素学 (Applied Enzymology)				永谷 尚紀
履修年次:	2~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
酵素は、産業や日用品、医薬品など幅広い分野で利用されている。例えば、日常生活で使用する洗剤、ハミガキにも入っている商品も販売されている。酵素は、バイオ領域だけに限りがあるのではなく、物理学、化学、工学にも関わりがある領域である。それゆえ、生化学の基礎知識のあまりない受講生のために、タンパク質・アミノ酸、遺伝子などについての子備知識を講義すると共に、酵素に関する基本的概念を学ぶ。なるべく多くの受講生が興味をもって学べるように、酵素と病気との関連や、産業への利用など具体例をあげ、酵素に興味を感じ、酵素のことを知りたくなるような講義をする。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 酵素とは何か 3. 酵素反応の定量的扱い1 4. 酵素反応の定量的扱い2 5. 酵素の性質と分類 6. 酵素の構造 7. 酵素の抽出と精製 8. 酵素の触媒作用の機構1 9. 酵素の触媒作用の機構2 10. 酵素の合成と調節1 11. 酵素の合成と調節2 12. 酵素と病気 13. 酵素の利用1 14. 酵素の利用2 15. 酵素の応用 				
【テキスト】				
藤本大三郎「酵素の科学」裳華房				
【参考図書】				
市川監修、福岡監訳 マッキー生化学 第3版 化学同人				
【成績評価の方法】				
小レポート9~12回(40%)、定期試験(60%)				

生化学 I (Molecular Biology)				滝澤 昇
履修年次:	2~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
生化学とは、20世紀初めまでブラックボックスとして扱われてきた生命や生命現象を分子や原子のレベルから化学の目で理解しようとする学問であり、近年急激に発展している分子生物学も、この範疇に入る。本講義を修得することで、生体を構成する物質のうち、水、アミノ酸、タンパク質および酵素について、それらの構造と化学的特性について理解することができる。またプレゼンテーションすることで、自ら調査する方法、態度ならびに異なった価値観を持つ人の意見を聴き、それらをまとめてプレゼンテーションすることを体得することができる。				
【授業内容】				
1. 受講に際しての諸注意・留意点 プレゼンテーションのグループ分けのための調査 序論:生物と生化学				
2. 細胞:生命の基本単位 プレゼンテーションのグループ分けと分担部分の決定				
3. 水:生命の媒体、その化学的理解・その1				
4. 水:生命の媒体、その化学的理解・その2				
5. 「細胞」と「水」に関する演習問題の解説				
6. 第1回試験/範囲は「細胞」と「水」 生体を構成する物質:アミノ酸とタンパク質(教師による概説)				
7. 第1回試験の答案返却と、講評、解説 生体を構成する物質:アミノ酸・その1(受講生によるプレゼンテーション)				
8. 生体を構成する物質:アミノ酸・その2(受講生によるプレゼンテーション)				
9. 生体を構成する物質:タンパク質・その1(受講生によるプレゼンテーション)				
10. 生体を構成する物質:タンパク質・その2(受講生によるプレゼンテーション)				
11. 生体を構成する物質:アミノ酸とタンパク質(教師によるまとめ)				
12. 酵素・その1(受講生によるプレゼンテーション)				
13. 生体を構成する物質:アミノ酸とタンパク質(教師によるまとめ)				
14. 「アミノ酸とタンパク質」と「酵素」に関する演習問題の解説 第2回試験/範囲は「アミノ酸とタンパク質」と「酵素」				
15. 第2回試験の答案返却、講評、解説、および講義の総括				
【テキスト】				
マクマリー生物有機化学 滝澤のWEBサイトに上げているプリント				
【参考図書】				
中村 著 生化学(バイオテクノロジーシリーズ) IBS出版 市川 他 訳 マッキー生化学 第3版 化学同人 鈴木 他 訳 ホートン生化学 第3版 東京化学同人 田宮 他 訳 ヴォート基礎生化学 東京化学同人 山科・川崎 共訳 レーニンジャーの新生化学(上・下) 第3版 廣川書店 田宮・八木 共訳 コーン・スタンプ生化学 第5版 東京化学同人				
【成績評価の方法】				
グループプレゼンテーション(20%)、コミュニケーションシート(課題)(20%)、試験(60%)				

CAD/CAM(CAD/CAM)				田中 雅次
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
CAD/CAMの技術は、主に図形処理を基礎としている。本講義では、CADについては、モニタ上での直線分の描画方法から、ソリッドモデルの作成・表示方法、及び、CADデータの軽量化方法などについて学習する。また、CAMについては、生産システムの歴史から、JIT、セル、改善、VRの導入など、その最適化に関する様々な方法を学習し、最後に、生産された製品がもたらす環境問題や安全性など、生産システムの今後の課題について学習する。				
【授業内容】				
1. CAD/CAMの概要				
2. 図形処理の基礎数学				
3. 線分の描画方法				
4. トリム操作の方法				
5. ワイヤフレームモデルの作成				
6. サーフェスモデルの作成				
7. ソリッドモデルとシェーディング				
8. 2次元アフィン変換				
9. 3次元アフィン変換				
10. VRML、XVLの概説				
11. 中間試験およびその解説				
12. 生産システムの概要				
13. 生産システムの最適化				
14. 生産システムの課題				
15. 試験およびその解説				
【テキスト】				
講義中に適宜配布する。				
【参考図書】				
講義中に適宜紹介する。				
【成績評価の方法】				
試験(60%)、中間試験(40%)、小テスト(0%)、レポート(0%)、ノート(0%)				

高速ビークル(Vehicle for Higher Speeds)				金枝 敏明
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
現代の工業製品の代表である交通機械、中でも自動車(エンジン)と航空機の構造、動作原理ならびにその製造方法などを、材料学的、トライボロジ的、材料力学的、精密加工学的に解説する科目である。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車開発の歴史 自動車の発展と日常生活の変化 2. 自動車用エンジンの形式、エンジン性能と特性 3. オットーサイクルエンジン、ディーゼルエンジン 4. ロータリーエンジン、トルクと出力 5. エンジンの構造と製作方法:シリンダブロック 6. ピストン 7. ピストンリング 8. ピストンピン、各種表面処理技術 9. コンロッド 10. 中間テストとその解説を行う。 11. クランクシャフト 12. バルブ、バルブシート、バルブスプリング 13. F1の科学・技術 14. 航空機開発の歴史とその構造 15. 航空機の各種技術、運行方法 				
【テキスト】				
竹花 有也:自動車工学概論、理工学社 他、配付プリント多数				
【参考図書】				
山懸 裕:現代の錬金術 エンジン用材料の科学と技術、山海堂 芹野 洋一:自動車の生産技術、朝倉書店 熊野 学:クルマのキーテクノロジー、グランプリ出版 熊野 学:自動車のメカはどうなっているか、グランプリ出版				
【成績評価の方法】				
定期試験(45%)、中間試験(45%)、ノート(5%)、小テスト(0%)、レポート(5%) 定期試験での得点とレポート、ノートで評価する。機械工学の多くの分野の知識を利用してエンジンや飛行機をどのように理解しているかを評価し、60点以上を合格とする。				

センサ工学(Sensor Engineering)				河村 実生
履修年次:	2~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
センサは機械の感覚器官を担うもので、自動車、ロボット、家電製品などに多種多様なセンサが使われており、その重要度はますます高まっています。本講義ではセンサ技術の全体像を把握し各種センサの構造および計測原理を学び、これらのセンサの特質を踏まえながら実際にどのように利用されているか、具体例を探りながら、センサに関する知識を習得します。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. センサとは何か、SI単位、センサの信号検出回路 2. 光センサ(外部・内部光電効果形) 3. 光センサ(イメージセンサ) 4. 温度センサ(電気抵抗形) 5. 温度センサ(ゼーベック効果形) 6. 化学センサ(ガス、湿度) 7. 化学センサ(イオン、バイオ) 8. 機械量センサ(圧力・ひずみ) 9. 機械量センサ(変位・加速度・真空計) 10. 磁気センサ(常伝導形) 11. 磁気センサ(超伝導形) 12. 超音波センサ 13. 流速・流量センサ 14. センシング技術(MRIなど) 15. 試験およびその解説 				
【テキスト】				
塩山 忠義著「センサの原理と応用」森北出版				
【参考図書】				
南任 靖雄「センサと基礎技術」工学図書				
【成績評価の方法】				
試験(80%)、小テスト(20%)により評価する。				

ロボット工学(Robotics)				クルモフ バレリー
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
本講義では、ロボットの構成、機構、設計、制御についてわかりやすく述べる。主の産業用ロボットを対象とするが、現在大きい課題である移動ロボット、ヒューマノイドロボット、ロボットの知能化についてソフトおよびハード的な面からも解説する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ロボット工学の概要 I 2. ロボット工学の概要 II 3. ロボットシステムの分類と構成 4. ロボットのセンサ 5. マニピュレータの運動学 I 6. マニピュレータの運動学 II 7. 中間テスト、軌跡計画 8. ロボットの関節のフィードバック制御 I 9. ロボットの関節のフィードバック制御 II 10. ロボットの関節のフィードバック制御 III 11. ロボット運動制御 12. 移動ロボットの分類と構成 13. 移動ロボットの知能化 I 14. 移動ロボットの知能化 II 15. まとめ 				
【テキスト】				
松日葉信人、大明準治共著「ロボットシステム入門」オーム社				
【参考図書】				
講義で指示する。				
【成績評価の方法】				
定期試験(60%)、中間試験(30%)、小テスト・宿題(10%)				

コンピュータネットワーク(Computer Networks)				信吉 輝己
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
近年、通信ネットワーク(インターネット)に関して新しい方式の実用化が急速に進み通信ネットワークサービスの多様化が進展している。これらは、個々の要素技術の発展とそのシステム化によるものである。本講義では、個々の要素技術(IP)の基本的事項を理解した後、応用的観点より種々のコンピュータネットワークシステムについて習得する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報通信ネットワークの基礎 2. デジタル通信の基礎 3. LAN 4. WAN 5. 交換方式とルーティング 6. 加入者系と中継系 7. インターネット 8. TCP/IP 9. ATMネットワーク 10. ネットワークサービス 11. 光通信ネットワーク 12. 移動体・衛星通信ネットワーク 13. マルチメディアアプリケーション 14. 情報セキュリティと暗号技術 15. ネットワークアプリケーション 				
【テキスト】				
森本 喜一郎著:”通信とネットワークの基礎知識” 昭晃堂				
【参考図書】				
松下 温著:”通信ネットワークの基礎” 昭晃堂				
水野 忠則他 著:”コンピュータネットワークの運用と管理” ピアソン出版				
【成績評価の方法】				
定期試験(80%)、レポート(20%)				

画像処理とCG (Image Processing and Computer Graphics)				島田 英之
履修年次:	2~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
本講義では、コンピュータ応用分野である画像処理とCGに関する専門知識を習得し、現実の問題に対して応用するための手法を身に付けることを目的とする。前半では画像を処理するための理論と手法、後半ではCGを生成するための理論と手法について講義する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 画像処理の目的、CGの目的、画像処理とCGの融合 2. 画像処理について、濃淡画像処理(1):画像処理の歴史、人間の視覚、色彩の表現、画像のデジタル表現、濃淡情報の変換 3. 濃淡画像処理(2)平滑化処理、鮮鋭化処理 4. 濃淡画像処理(3)幾何学的変換処理 5. 濃淡画像処理(4)エッジ検出処理、テンプレート・マッチング処理(1) 6. 濃淡画像処理(5)テンプレート・マッチング処理(2) 7. 2値画像処理:2値化処理、連結成分処理、画像の形状解析、データ圧縮 8. 線図形処理、画像の保存方式、画像処理のためのソフトウェア 9. 前半のまとめ(第8回までの内容に対する中間試験を実施する。) 10. 2次元画像生成:デジタル線分の発生法、デジタル円弧の発生法、自由曲線について 11. モデリング:右手系と左手系、立体の表現法、人工物の表現法、自然物の表現法 12. 3次元座標変換:3次元アフィン変換、座標系について、透視変換 13. レンダリング(1):隠面・隠線消去 14. レンダリング(2):シェーディング、シャドウイング、マッピング、グラフィックス基本機能の標準化、CG制作のためのソフトウェア 15. 最新の技術動向の紹介、演習 				
【テキスト】				
初回の講義にて講義ノートを配布する。				
【参考図書】				
なし				
【成績評価の方法】				
中間試験(40%)、定期試験(50%)、演習レポート(10%)、60%以上を合格とする。				

並列処理 (Parallel Processing)				上嶋 明
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
並列計算機は複数の演算器やプロセッサを同時に動かして処理能力を高めるものである。高性能マイクロプロセッサの中では命令レベルの並列処理が行われ、スーパーコンピュータでは多数のプロセッサによる並列処理が行われている。本講義では、ハードウェア、ソフトウェアについて、各種並列処理技術の基礎を学ぶ。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 並列処理概要(必要性、応用分野、並列計算機) 2. 前提知識・用語、並列処理方式の分類(SISD、SIMD、MIMD、細粒度、粗粒度)、並列処理ソフトウェア 3. 並列処理方式1(命令パイプライン、スーパースカラ、VLIW)、データ依存関係 4. 並列処理方式2(プロセッサアレイ、演算パイプライン)、非ノイマン型コンピュータ 5. マルチプロセッサ(共有メモリ、分散メモリ、分散共有メモリ、並列キャッシュメモリ) 6. 結合ネットワーク(バス、スタティックネットワーク、ダイナミックネットワーク、中継方式、ルーティング、デッドロック) 7. 自動並列化(自動ベクトル化、データ依存解析、プログラムリストラクチャリング、スケジューリング) 8. これまでの講義内容のまとめ、中間試験 9. 中間試験の解説、並列プログラミング概要(メモリモデル、並列化アルゴリズム、データ分割方法) 10. 共有メモリ型並列プログラミング1(Pスレッド) 11. 共有メモリ型並列プログラミング2(OpenMP) 12. 分散メモリ型並列プログラミング(MPI) 13. 並列プログラミング演習 14. 並列処理の実例と新技術 15. 総合復習・演習 				
【テキスト】				
資料を配布する。				
【参考図書】				
笠原 博徳著「並列処理技術」 コロナ社 小畑 正貴著「たのしくできる並列処理コンピュータ」 東京電機大学出版局				
【成績評価の方法】				
定期試験(70%)、中間試験(20%)、小テスト(10%)				
【注意・備考】				
適宜小テストを実施する。 ※研究室Webページにて講義に関する情報やサンプルプログラムの公開を行う。Web検索により講義に関連する情報を収集する。スライドをプロジェクターで掲示する。				

人間工学(Human factors and Ergonomics)				久野 弘明
履修年次:	1~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
機械設計に関する人間工学として、高齢者・障害者までを含めた人間の特性を機械システムの中で捉えて、その特性に関する基礎的な知識を習得する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間工学とは 2. 人間工学の考え方 3. マンマシンシステムと人間工学 4. 人間の仕組みと特性 5. 表示器(視覚) 6. 表示器(聴覚) 7. 表示器(触覚) 8. 問題演習と中間試験 9. 操作器 10. マンマシンシステムと人間との空間的位置関係 11. スピード・ソフトウェア 12. 漏洩物 13. 物理的環境 14. 信頼性設計 15. 人間工学の技法 				
【テキスト】				
横溝 克己・小松原明哲著 「エンジニアのための人間工学」 日本出版サービス				
【参考図書】				
小原二郎著 「暮らしの中の人間工学」 実教出版				
【成績評価の方法】				
中間試験(50%)、定期試験(50%)				

アミューズメント工学(Amusement Engineering)				山田 訓
履修年次:	3~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
アミューズメント関連ビジネスの概要と歴史を理解し、アミューズメント分野の技術者となるために必要な工学技術(ヒューマンインターフェース、人体計測技術、シミュレーション技術等)の基礎とアミューズメント分野での応用を学習する。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. アミューズメント産業の概要 2. ゲームビジネスの概要 3. アミューズメント産業の歴史 4. テレビゲームの歴史 5. テレビゲームにおけるヒューマンインターフェースの重要性(ゲームニクス理論の基礎) 6. アミューズメント機器の特性とヒューマンインターフェース 7. 計測技術(1)人体形状の計測法 8. 計測技術(2)動き計測 1 加速度センサの原理と応用 9. 計測技術(3)動き計測 2 モーションキャプチャの原理と応用 10. 計測技術(4)圧力・接触センサの原理と応用 11. 計測技術(5)光センサ、イメージセンサ 12. シミュレーション技術(1)テレビゲームプログラミングの概要 13. シミュレーション技術(2)物理シミュレーション 14. シミュレーション技術(3)シューティングゲーム、RPG 15. アミューズメント工学技術の他産業への波及効果 				
【テキスト】				
ノートおよびプリント講義				
【参考図書】				
講義中に指示する。				
【成績評価の方法】				
講義中の小テスト(20%)とレポート(10%)と定期試験(70%)を統合して評価する。				

アクチュエータ機構学 (Mechanism of Actuator)				堂田 周治郎
履修年次: 3~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業目的】				
制御システムに必要な機器として、センサ、コントローラ(コンピュータ)、アクチュエータ、インターフェースがある。この講義ではモータなどのアクチュエータとサーボ弁などの駆動器に重点を置きメカトロニクス制御に必要な制御機器や機構について学ぶことを目的とする。講義の後半で時々演習問題を行う。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. メカトロニクスとその特徴 2. サーボシステムとアクチュエータ 3. アクチュエータ概論 4. 各種アクチュエータの基本動作原理と基礎式1 5. 各種アクチュエータの基本動作原理と基礎式2 6. 機械伝達機構1(歯車、歯車減速機構、ボールねじ機構) 7. 機械伝達機構2(プーリ・ベルト機構、その他) 8. 機械系のインピーダンスマッチング 9. 電気アクチュエータ1(微小駆動アクチュエータ) 10. 電気アクチュエータ2(DCサーボモータの原理と基礎式) 11. 電気アクチュエータ3(DCサーボモータの駆動回路) 12. 電気アクチュエータ4(ACサーボモータとステップモータ) 13. 油圧システムと油圧アクチュエータ・制御弁 14. 油圧アクチュエータの特性解析 15. 空気圧システムと空気圧制御機器 				
【テキスト】				
高森 年編 「新世代工学シリーズ メカトロニクス」 オーム社				
【参考図書】				
武藤 高義著 「アクチュエータの駆動と制御」 コロナ社				
【成績評価の方法】				
中間試験(70%)、レポート(30%)				

ユニバーサルデザインⅡ(隔週)(Universal DesignⅡ)				神谷 茂保
履修年次: 3~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業目的】				
ユニバーサルデザインの基礎概念とその応用について学ぶ。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. ユニバーサルデザインの基礎概念1 3. ユニバーサルデザインの基礎概念2 4. ユニバーサルデザインの実践例1 5. ユニバーサルデザインの実践例1 6. ユニバーサルデザインの実践例2 7. ユニバーサルデザインの実践例2 8. ユニバーサルデザインの実践例3 9. ユニバーサルデザインの実践例3 10. ユニバーサルデザインの実践例4 11. ユニバーサルデザインの実践例4 12. ユニバーサルデザインの実践例5 13. ユニバーサルデザインの実践例5 14. ユニバーサルデザイン(まとめ1) 15. ユニバーサルデザイン(まとめ2) 				
【テキスト】				
講義中に指示する。				
【参考図書】				
講義中に指示する。				
【成績評価の方法】				
課題の提出(40%)、定期試験の成績(60%)				

アミューズメントコントローラ (Amusement Controller)				赤木 徹也
履修年次:	3~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
現在、工業分野において組込み技術が重要な役割を果たしている。本講義では、この組込み技術の習得のため、(株)Renesasのコントローラ系のマイクロコンピュータ(H8/3664およびSH2/7125)を題材にし、C言語による開発環境(株Best Technology: GCC Developer Lite)による、組込み技術の基礎と応用について実習を含む講義を行う。特に、岡山理科大学工学部知能機械工学科の1, 2, 3年生の実践的ものづくり科目(ロボットを製作してコンテストを行う講義)に使用されているマイクロコンピュータについてより理解を深めるとともに、マイクロコンピュータの機種が変わっても対応できる組込み技術者の育成を図る。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義概要とマイクロコンピュータの基礎 2. 開発環境の操作説明(GCC Developer Lite) 3. ヘッドファイルとメモリマップの構成(C言語) 4. 構造体、共有体について(C言語) 5. シリアル通信の基礎 6. シリアル通信の応用 7. デジタルI/Oの基礎 8. デジタルI/Oの応用 9. Timer機能の基礎 10. Timer機能の応用 11. PWM機能の基礎 12. PWM機能の応用 13. A/D変換の基礎 14. A/D変換の応用 15. 総合演習 				
【テキスト】				
H8/3664 グループハードウェアマニュアル (株Renesas) 【講義中にPDFファイルで配布】				
【参考図書】				
大須賀威彦著:c言語による組込み制御入門講座, H8マイコンで学ぶプログラムデバッグ技法, 電波新聞社 SH7125 グループ, SH7124 グループ ハードウェアマニュアル (株Renesas) 【講義中にPDFファイルで配布】				
【成績評価の方法】				
実習で行うプログラムおよび定期試験(課題レポート)から総合的に判断する。				

データベース(Database)				北川 文夫
履修年次:	2~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
コンピュータは大量の情報処理を高速に行えるので、計算機としての役割の他、情報処理機器としての役割も非常に大きい。ここではコンピュータを用いた情報処理の中核技術であるデータベースシステムについて学ぶ。まず、ファイルとデータベースの違いについて学び、その後リレーショナルデータベースのデータモデルとリレーショナル代数、更に操作言語SQLとリレーショナルDBMSについて学ぶ。次に再びリレーショナル代数に戻り、正規化の意味と方法に関して学ぶ。最後に、データベースの同時実行制御等の技術的背景、データベースの応用、そしてPHPからのDBアクセスを学ぶ。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. データベースとは何か 2. リレーショナルモデル 3. 集合演算とリレーショナル代数 4. リレーショナル代数(射影、選択) 5. リレーショナル代数(結合、商) 6. SQL(単純質問) 7. SQL(より高度な質問) 8. SQL(データの更新とテーブル定義) 9. 第一正規形と更新時異状 10. 関数従属性と第二正規形 11. 第三正規形、ボイス・コッド正規形 12. 第四正規形、第五正規形 13. データベースの技術背景 14. データベースの応用 15. DBMSをWeb(PHP)から利用する。 				
【テキスト】				
サイバーキャンパスに毎回のテキストを置いておくので、各自ダウンロードして利用する。				
【参考図書】				
増永 良文著「リレーショナルデータベース入門[新訂版]」サイエンス社				
【成績評価の方法】				
毎回の小テストの合計30%、定期試験70%で評価する。				

エコツアーリズム技法 (Ecotourism field practice)		西村 直樹 他	
履修年次:	1～4年次	2単位	1コマ
【授業目的】			
屋久島での4日間のエコツアーを通して、屋久島の自然に関する自然科学的理解を深めるとともに、フィールドでの安全な活動技術を学ぶ。			
【授業内容】			
<ol style="list-style-type: none"> 事前指導:エコツアーの実際と必要装備(全教員) 事前指導:環境測定・自然観察機器の使用法(全教員) 屋久島の地質と地形、読図とコンパス使用法(全教員) 屋久島の気象(全教員) 屋久島の植物の垂直分布(全教員) フォレストウォーク:亜熱帯植生(全教員) フォレストウォーク:常緑樹林と動物(全教員) フォレストウォーク:シダ・コケ植物(全教員) 登山:読図、ロープワーク(全教員) 登山:緊急避難法(全教員) 沢登り:三点確保(全教員) 磯の生物観察(1)藻類(全教員) 磯の生物観察(2)無脊椎動物(全教員) 磯の生物観察(3)脊椎動物(全教員) 野外での記録とレポート作成法(全教員) 			
【テキスト】			
なし(適宜プリントを配布する)			
【参考図書】			
小泉武栄著「山の自然学」岩波新書 広島二郎著「山が楽しくなる地形と地学」ヤマケイ山岳選書 平塚晶人著「地図の読み方」BE-PAL BOOKS、小学館			
【成績評価の方法】			
レポート(100%)により評価する。			
【注意・備考】			
本実習は、屋久島において、夏休み(9月初旬を予定)に5泊6日の日程で、屋久島野外活動総合センター所属のエコツアーガイドを講師として実施する。実習前に、適宜、説明会や事前指導を行う。希望者多数の場合は、履修届の提出期限前に抽選を行う。このため、受講希望者は前期オリエンテーションでの説明や掲示に十分注意するとともに、履修届提出前に担当者(西村)に受講希望の連絡をすること。なお、参加経費(滞在費と往復交通費)は自己負担、現地集合・現地解散である。事前・事後の連絡は電子メールで行う。レポート提出はメール添付が望ましい。			

東アジア考古学 (East Asian Archaeology)		亀田 修一	
履修年次:	3～4年次	2単位	1コマ
【授業目的】			
東アジア考古学では、日本に古代国家が形成されていく時代である古墳時代から飛鳥時代にかけて、倭国とその倭国にいろいろな影響を与えた朝鮮半島の考古学について講義する。古代の日本がどのように国家を作ったのか、朝鮮半との関わりの中で理解していただければ幸いである。			
【授業内容】			
<ol style="list-style-type: none"> 講義概要 古墳時代日本の概観(1) 古墳時代日本の概観(2) 朝鮮半島の風土と自然・旧石器時代～原三国時代 朝鮮半島の旧石器時代～原三国時代・三国時代[高句麗] 朝鮮半島の三国時代[高句麗]・[百済:漢城時代] 朝鮮半島の三国時代[百済:漢城時代・熊津時代] 朝鮮半島の三国時代[百済:熊津時代] 朝鮮半島の三国時代[百済:シヒ時代] 朝鮮半島の三国時代[百済と倭の関係] 朝鮮半島の三国時代[新羅] 朝鮮半島の三国時代[伽耶] 日本の古墳時代 日本の古墳時代 日本の飛鳥時代 			
【テキスト】			
適宜、プリントを配布する。			
【参考図書】			
武田幸男編「古代を考える 日本と朝鮮」吉川弘文館			
【成績評価の方法】			
レポート点(10点)、定期試験の点数(90点)。これらをあわせて判断。			

応用地質学 (Engineering Geology)		能美 洋介	
履修年次:	3~4年次	2単位	前期 1コマ
【授業目的】 我々の文明は大地を切り開くことで成り立っている。しかし、無理な開発が各種の地質災害の引き金になっていることも珍しくない。地域を開発し、持続的な利用を計っていくためには、地盤・岩盤に対する地質学的な情報収集や考察が必要である。本講義では人間の生活と地質学との関係を具体的な例をあげて眺めながら、地盤・岩盤を理解するために必要な事柄について理解することを目的とする。			
【授業内容】 1. オリエンテーション(講義目的、講義内容等の説明) 2. 岩石の物理「比重」、「間隙率」、「透水性」 3. 岩盤の力学 4. 岩盤の風化 5. 土の性質「粒度」、「コンシステンシー」 6. 地質調査と地盤・岩盤の評価 7. 斜面の安定性① 地すべりと斜面崩壊 8. 斜面の安定性② 斜面上の物質の力のつり合い 9. 斜面の安定性③ 地すべりの形態と地すべり地形 10. 斜面の安定性④ 地すべり調査と対策 11. 火山防災① マグマと火山と火山地形 12. 火山防災② 火山活動と火山災害 13. 地下水利用と地盤沈下 14. 地質調査と室内試験① 物理試験 15. 地質調査と室内試験② 力学試験			
【テキスト】 指定しません。プリントを用意します。			
【参考図書】 適宜指示します。			
【成績評価の方法】 中間試験の成績(30点)と期末試験の成績(70点)によって評価する。			

経営戦略 (Management Strategy)		山口 隆久	
履修年次:	2~4年次	2単位	後期 1コマ
【授業目的】 本講義では、企業経営の重要な柱である経営戦略の基礎理論を中心に学習し、その理論的枠組みを考察していくことを狙いとする。このため、事業戦略の策定・実行・評価のプロセスに従い、戦略の基礎理論とケーススタディを組み合わせ講義を進める。これにより、伝統的理論からどのようにして現代の新しい戦略論が抽出・形成されてきたのかを理解する。また、基礎をしっかりと学んだ上で、最後の4回の講義では、ワークショップを開催し、ビジネスプランの策定、発表			
【授業内容】 1. 経営戦略概論 2. 企業戦略(経営戦略、マーケティング戦略)策定の要件 3. 全社戦略(経営理念、ビジョン、ミッション) 4. 事業ポートフォリオ、多角化戦略、情報戦略 5. 事業戦略(戦略分析)、競争優位理論 6. 外部環境分析、内部環境分析 7. 基本戦略と戦略パターン 8. グローバル戦略(M&A、アライアンス、衰退戦略、新規事業戦略) 9. 企業戦略の策定と実行プロセス、戦略と組織の変革 10. 戦略と財務(経営成果、コーポレート・ガバナンス、企業価値) 11. 企業戦略のまとめと展望 12. ワークショップ①(外的・内的環境分析、SWOT分析、ポジショニング分析など) 13. ワークショップ②(外的・内的環境分析、SWOT分析、ポジショニング分析など) 14. ワークショップ③(外的・内的環境分析、SWOT分析、ポジショニング分析など) 15. ワークショップ 発表			
【テキスト】 MBA 経営戦略(ダイヤモンド社 2007年第15刷)			
【参考図書】 適宜指示します。			
【成績評価の方法】 中間試験、ワークショップ発表(50%)、定期試験(50%)			

マスメディア論 (Mass Media-Theory and Practice)				木村 邦彦
履修年次:	1~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業目的】				
「情報」を伝える「マスメディア」には、活字メディアの「新聞」「出版」、電波メディアの「電信」「放送(ラジオ、テレビ)」、映像メディアには「写真」「映画」があり、他に「広告」が加わる。近年登場した「インターネット」も「ニューメディア」として、大きな役割を持ち始めている。いわば、マルチメディアの時代だが、同時に、いくつかの問題が噴出し始めている。講義では、マスメディアを理解するために、それぞれの特徴、役割、流れを学びながら、課題を探る。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. マスメディアの概略と社会における役割についての説明 2. 新聞① 現状と課題 3. 新聞② 役割(権力の監視とジャーナリズム) 4. 新聞③ 変革(通信との融合) 5. 新聞④ 活字離れ(販売と広告) 6. 出版 役割と変革 7. 映像 役割と変革 8. 中間まとめ メディアの挑戦 9. 放送① 役割と課題 10. 放送② 変革(通信との融合) 11. 広告 マスメディアとしての役割と課題 12. インターネット マスメディアとしての役割と課題 13. マスメディアと“第4の権力” 14. マスメディアと“世論” 15. マスメディアと“規制”・まとめ 				
【テキスト】				
特になし。適宜、コピーなどを配布する。				
【参考図書】				
適宜、紹介する。 マスメディア論で引用するのは、日々の社会の動き。参考資料として、日々の新聞を閲読、またテレビなどを含めてニュースに接し、関心を持つことが大事。				
【成績評価の方法】				
課題(レポートなど)30%、試験70%によって評価する。				

マスメディア論 (Mass Media-Theory and Practice)				木村 邦彦
履修年次:	1~4年次	2単位	後期	1コマ
【授業目的】				
「情報」を伝える「マスメディア」には、活字メディアの「新聞」「出版」、電波メディアの「電信」「放送(ラジオ、テレビ)」、映像メディアには「写真」「映画」があり、他に「広告」が加わる。近年登場した「インターネット」も「ニューメディア」として、大きな役割を持ち始めている。いわば、マルチメディアの時代だが、同時に、いくつかの問題が噴出し始めている。講義では、マスメディアを理解するために、それぞれの特徴、役割、流れを学びながら、課題を探る。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. マスメディアの概略と社会における役割についての説明 2. 新聞① 現状と課題 3. 新聞② 役割(権力の監視とジャーナリズム) 4. 新聞③ 変革(通信との融合) 5. 新聞④ 活字離れ(販売と広告) 6. 出版 役割と変革 7. 映像 役割と変革 8. 中間まとめ メディアの挑戦 9. 放送① 役割と課題 10. 放送② 変革(通信との融合) 11. 広告 マスメディアとしての役割と課題 12. インターネット マスメディアとしての役割と課題 13. マスメディアと“第4の権力” 14. マスメディアと“世論” 15. マスメディアと“規制”・まとめ 				
【テキスト】				
特になし。適宜、コピーなどを配布する。				
【参考図書】				
適宜、紹介する。 マスメディア論で引用するのは、日々の社会の動き。参考資料として、日々の新聞を閲読、またテレビなどを含めてニュースに接し、関心を持つことが大事。				
【成績評価の方法】				
課題(レポートなど)30%、試験70%によって評価する。				

東アジアの歴史(History of East Asia)				志野 敏夫
履修年次: 1~4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業目的】				
1. 「東アジア」とはどのような概念であるかを理解させる。				
2. 「中国」の多様性を理解させる。				
3. 現代世界における東アジアの位置について考察する材料を提供する。				
【授業内容】				
1. オリエンテーション				
2. 東アジアという地域とはどのようなものかについて講義する。				
3. 東アジアにある様々な文化圏を講義する。				
4. 4大文明の一つ黄河文明と、近年発見されつつある長江文明を紹介する。				
5. 中国の都市国家について講義する。				
6. 中国史上最初の帝国である、秦と漢王朝について講義する。				
7. 帝国の崩壊と周辺地域の変化について講義する。				
8. 周辺民族の流入によって、新しい世界帝国と東アジア世界が形成されたことを講義する。				
9. 新しい文明の移入によりいわゆる中華文明が形成されたことを講義する。				
10. いわゆる異民族が中華帝国の主人公となる様子を講義する。				
11. 今までにはないタイプの文明との接触と、中華世界の反応について講義する。				
12. 「近代」化とはどのようなことかを講義する。				
13. 清朝がどのような近代化改革を行ったかを講義する。				
14. 日本がどのように近代化しようとしたかについて講義する。				
15. テストを実施し、解説を行い、本講義の学習内容を確認する。				
【テキスト】				
講義中に適宜紹介する。				
【参考図書】				
講義中に適宜紹介する。				
【成績評価の方法】				
臨時試験(100%)				

川 崎 医 科 大 学
(シ ラ バ ス)

授業科目名 生命科学		担当教員氏名 伏谷 建造		
1～2年	2.5単位	1・2学期	22コマ	講義担当者はテーマにより異なる。
【授業の目的】				
G.I.O(一般学習目標)				
1. 細胞が生命活動の最小単位であり、成長と分裂を繰り返して生命をつないでいることを知る。				
2. 細胞の生命維持の仕組みを理解する。				
3. 細胞の生命現象は物理化学の言葉と法則で説明できることを理解する。				
4. 細胞を理解することが医学・医療の基本になっていることを知る。				
S.B.O(個別的行動目標)				
1. 細胞の構造と機能を説明できる。				
2. 生体内の低分子物質の種類と性質を説明できる。				
3. 生体高分子の基本的な構造と機能を説明できる。				
4. 酵素の基本的な構造と機能を説明できる。				
5. 細胞内の代謝と細胞呼吸を説明できる。				
6. 細胞周期について説明できる。				
7. 体細胞分裂と減数分裂を説明できる。				
8. 遺伝の仕組みを説明できる。				
9. DNAの複製と修復が説明できる。				
10. 遺伝子からタンパク質が作られる仕組みを説明できる。				
【授業内容】				
		開講日	時限	
1.細胞の構造と機能(1)		4/21 (土)	2	
2.細胞の構造と機能(2)		4/24 (火)	2	
3.生体内低分子の種類と性質(1)		4/26 (木)	2	
4.生体内低分子の種類と性質(2)		5/8 (火)	2	
5.生体内低分子の種類と性質(3)		5/15 (火)	2	
6. 生体高分子の構造と機能		5/22 (火)	2	
7.遺伝情報の発現:DNAとタンパク質(1)		5/29 (火)	4	
8.遺伝情報の発現:DNAとタンパク質(2)		6/6 (水)	2	
9.遺伝情報の発現:DNAとタンパク質(3)		6/12 (火)	2	
10.遺伝情報の発現:DNAとタンパク質(4)		6/19 (火)	2	
11.遺伝情報の発現:DNAとタンパク質(5)		6/26 (火)	2	
12.タンパク質と酵素(1)		9/3 (月)	1	
13.タンパク質と酵素(2)		9/10 (月)	1	
14.栄養素の消化・吸収		9/24 (月)	1	
15.細胞がエネルギーを得る仕組み(1) 自然界における変化の方向		10/1 (月)	1	
16.細胞がエネルギーを得る仕組み(2) 解糖系		10/15 (月)	1	
17.細胞がエネルギーを得る仕組み(3) TCA回路		10/22 (月)	1	
18.細胞がエネルギーを得る仕組み(4) 酸化的リン酸化		11/2 (金)	3	
19.細胞がエネルギーを得る仕組み(5) 酸化的リン酸化		11/5 (月)	1	
20.メンデルの遺伝の法則		11/12 (月)	1	
21.染色体と減数分裂		11/20 (火)	1	
22.連鎖と組換え		11/22 (木)	1	
【テキスト】				
「Essential 細胞生物学」 原書第2版 監訳 中村桂子・松原謙一 南江堂 ISBN4-524-23927-8				
【参考図書】				
高校の教科書や受験参考書、その他各自のレベルに見合ったテキストが推奨される。				
【成績評価の方法】				
定期試験(筆記)[95%]、レポート・小テスト[5%]				

川崎医療福祉大学
(シラバス)

加齢と機能				熊倉 勇美
履修年次:1~4	2単位	春学期(前期)	1コマ	
【授業の目的】 医療福祉に関わる専門職として、発達を含めて「加齢」に関するさまざまな専門領域の基礎的知識を学ぶ。				
【授業内容】				
1解剖学的加齢変化		9生理学的加齢変化		
2咀嚼機能の発達と老化		10小児の構音・嚥下機能の発達		
3加齢と栄養		11聴覚機能の加齢変化		
4聴覚障害とそのリハビリテーション		12運動機能の加齢への対応		
5小児の心身発達		13高齢者のQOL		
6加齢と神経心理学		14筋力の加齢変化		
7音声・構音機能の加齢変化		15摂食・嚥下機能の加齢変化		
8高齢者の視覚障害とそのリハビリテーション				
【テキスト】 プリントを配布する。				
【参考図書】 講義中に適宜紹介する。				
【成績評価の方法】 受講態度(出席状況を含む)・その他：100%(リアクションペーパーの提出を出席点と見なす。) 評価方法コメント：リアクションペーパーの内容も、吟味されるので、ペーパーを提出さえすれば良いと考えること。無断の遅刻、早退は3回で欠席1回と見なす。				

ヒューマンセクシャリティー論				池田 理恵
履修年次:1~4	2単位	春学期(前期)	1コマ	
【授業の目的】 人間の性について多角的な視点から捉える。本講義を通じて、個々の性と生のありかたを尊重する意識を育てる。				
【授業内容】				
1母乳育児支援		9性の多様性ー同性愛ー		
2障害者の性と性		10性の多様性ー性同一性障害(MTF)ー		
3自分を知るーキャリア形成とコミュニケーション能力		11性の多様性ー性同一性障害(FTM)ー		
4女性のメンタルヘルスと相談活動		12老人の性		
5思春期の性教育		13男性の性		
6精神障害と性差		14犯罪学とセクシャリティー		
7性の多様性ー性分化疾患ー		15避妊と性感染症予防		
8低出生体重児の増加とその要因				
【テキスト】 なし				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 定期試験：60% 受講態度(出席状況を含む)・その他：40%(毎回リアクションペーパーを課します) 評価方法コメント：外部講師が多いので、受講マナーには十分気をつけてください。私語、携帯の使用など、退出させる場合もあります。30分以上の遅刻は欠席とします。				

環境と社会				近藤 芳朗
履修年次:1~4	2単位	春学期(前期)	1コマ	
【授業の目的】				
(1)グローバルな地球環境問題についての認識を深めること。 (2)日常身の医学的環境問題についても認識を深めること。				
【授業内容】				
1「ガイダンス」および「地球環境の歴史」				
2「現代文明社会と犯罪」毒と薬のかかわり				
3「情報社会とコンピュータ」情報化社会とネットワーク, コンピュータウイルスとハッカー, セキュリティーと暗号				
4「国際化社会および光社会と体内時計」時差ボケ				
5「現代社会と寄生虫」新興感染症と再興感染症				
6「アレルギーと寄生虫」花粉症の増加と寄生虫症の因果関係				
7「社会生活における放射線」放射線の基礎知識				
8「現代の科学・技術」アポロ計画と月面着陸				
9「地震と災害」スマトラ島大津波・東北地方太平洋沖地震				
10「核と社会」核兵器・原子力発電				
11「バイカル湖から見た環境と社会」バイカル湖の生態				
12「遺伝子技術と社会」				
13「現代の地球環境問題1」温暖化、エルニーニョ				
14「現代の地球環境問題2」フロン、オゾン				
15「ガリレオの宗教裁判と米国の科学教育論争」				
【テキスト】				
プリントを配布する。				
【参考図書】				
なし				
【成績評価の方法】				
定期試験：50%				
受講態度(出席状況を含む)・その他：50%(感想文の量と質により評価する)				
評価方法コメント：毎回提出する感想文の内容と筆記試験を総合して成績の評価を行う。				

睡眠学				保野 孝弘
履修年次:1~4	2単位	秋学期(後期)	1コマ	
【授業の目的】				
(1)ヒトの睡眠・覚醒リズム及び睡眠の基礎的な特徴を説明できる。 (2)快適な睡眠を得るための科学的方法を理解し、日常生活で活用できる。 (3)高齢者、心身障害者や、医療従事者(夜勤など)の睡眠の特徴や問題点を理解し、その対処方法を考える。				
【授業内容】				
1睡眠研究の歴史と研究法				
2睡眠の解剖と生理				
3睡眠と夢見				
4睡眠と学習・記憶				
5睡眠の個人差				
6睡眠と生体リズムの発達				
7眠気と昼寝				
8睡眠障害				
9子どもの睡眠とその問題				
10中・高齢者の睡眠とその問題				
11心身障害と睡眠				
12施設生活者の睡眠健康				
13労働現場の睡眠健康				
14快眠法と睡眠健康教育				
15寝室・寝具デザインと睡眠				
【テキスト】				
なし				
【参考図書】				
HP上に参考図書や資料などをご紹介します。				
【成績評価の方法】				
定期試験：70%(レポート課題です。)				
受講態度(出席状況を含む)・その他：30%(リアクション・ペーパーの提出、及びその内容を出席点とします。)				
評価方法コメント：毎回のリアクション・ペーパー、及びレポート課題の結果を総合して評価します。原則として、受験資格は、大学の規定に従います。				

健康と音楽				田中 順子
履修年次:1~4	2単位	秋学期(後期)	1コマ	
【授業の目的】				
音楽療法の基礎と各分野での音楽療法について知識を深め、さらに、自分が進む分野での治療的応用を考えることができる。また、実際の音楽体験を通して音楽の持つ力を感じ、人と音楽との関係を考えることができる。				
【授業内容】				
1音楽療法 総論 音楽療法とは				9西洋音楽と音楽療法
2地域社会における音楽療法				10緩和ケアと音楽
3創造的音楽療法				11音楽ゲストを迎えて
4精神障害領域の音楽療法				12感覚と音楽, 言語と音楽
5コミュニティ音楽療法				13音楽療法場面の実際
6音楽療法の評価				14集団での音楽療法 実践
7高齢者における音楽療法				15音楽療法の課題と将来
8集団での音楽療法 理論				
【テキスト】				
資料を配布する。				
【参考図書】				
篠田 知璋; 米倉 裕子; 松井 紀和; 岸本 寿男; 岡崎 香奈; 日野原 重明; 青 拓美; 板東 浩『新しい音楽療法—実践現場よりの提言』(音楽之友社)(2001)				
日野原重明監修, 篠田知璋, 加藤美知子編『標準音楽療法入門(上)理論編』(春秋社)(1999)				
日野原重明監修, 篠田知璋, 加藤美知子編『標準音楽療法入門(下)実践編』(春秋社)(1999)				
【成績評価の方法】				
受講態度(出席状況を含む)・その他:100%(リアクションペーパーの提出をもって出席とする。)				
評価方法コメント:10分以上の遅刻・早退は3回で欠席1回と見なす。				

環太平洋大学

(シラバス)

授業科目名:家庭・地域間コミュニケーション論				担当教員氏名:村田 久	
履修年次:3~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1		
【授業の目的】					
<p>今日の課題の1つは、子どもを育成する家庭・地域間のコミュニケーションの質が低下してきていることである。 次世代教育を担う教育者・保育者は、学校や園内のコミュニケーションの量や質を高めるだけでなく、学校や園を取り囲む家庭や地域コミュニティに属する人々との人間関係を密にする能力が切実に求められている。 保護者や子ども・教師や保育者が体験する人間関係のトラブルの例を紹介しながら、家庭・地域間コミュニケーションを考えてみる。</p>					
【授業内容】					
(テ ー マ)			(授 業 内 容)		
1オリエンテーション			授業の意義と学ぶ内容についての概論		
2地域社会とは何だろう			地域あるいは地域社会という言葉の定義を確認し、その意味内容を確定する		
3地域に生きる集団とネットワーク			地域を空間的に枠づけている制度について考える		
4地域における家族という視点			地域の中の子育て支援システムを考える		
5地域の子育て力の現状と課題			コミュニティ崩壊と再生への取り組みについて、「児童虐待」、「発達障害」の事例等から考える		
6小括			事例についてのディスカッション		
7子どもの育成環境としての地域			地域の多様性と子どもの人間形成		
8学校と地域			就学期の子どもを持つ家庭にとっての学校と地域という問題を取り上げる		
9高齢化と地域社会			高齢者のライフスタイルの変容と地域社会のあり方の変化		
10エスニック集団と地域社会			同じ地域社会で暮らす日本人と外国人はどのような関係を築くことができるのかを考える		
11小括			事例についてのディスカッション		
12家庭の中のコミュニケーション			虐待、DVなどの家族間の問題とコミュニケーションを考える		
13家庭と地域のコミュニケーション			家庭と地域のコミュニケーションの現状とこれからの課題・展望		
14 家庭と地域をつなぐ制度と組織			既存のコミュニティ行政の限界と新しいコミュニティ形成		
15まとめ			まとめ		
【テキスト】					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
授業態度 40%、定期試験 50%、レポート 10%					

授業科目名:子どもの心を開くコミュニケーションスキル				担当教員氏名:住本克彦	
履修年次:1~4	単位数:1	開講期:後期	コマ数:1		
【授業の目的】					
<p>本講義では、将来教師になる学生に、子どもと向き合えるコミュニケーションの技術や、子どものコミュニケーションを援助する方法などに関する基礎的知識を理解することを目的とする。</p>					
【授業内容】					
(テ ー マ)			(授 業 内 容)		
1 コミュニケーションスキルとは			授業の全体を概観し、コミュニケーションスキルについて理解する。		
2 カウンセリング概論			開発的カウンセリングについて理解する。		
3 構成的グループエンカウンター(1)			構成的グループエンカウンターを体験から学ぶ(1)。		
4 構成的グループエンカウンター(2)			構成的グループエンカウンターを体験から学ぶ(2)。		
5 構成的グループエンカウンター(3)			構成的グループエンカウンターを体験から学ぶ(3)。		
6 ピアヘルピングの技法(1)			ピアヘルピングを体験から学ぶ(1)。		
7 ピアヘルピングの技法(2)			ピアヘルピングを体験から学ぶ(2)。		
8 ピアヘルピングの技法(3)			ピアヘルピングを体験から学ぶ(3)。		
9 自己開示トレーニング(1)			自己開示トレーニングから学ぶ(1)。		
10 自己開示トレーニング(2)			自己開示トレーニングから学ぶ(2)。		
11 自己開示トレーニング(3)			自己開示トレーニングから学ぶ(3)。		
12 アサーショントレーニング(1)			アサーショントレーニングから学ぶ(1)。		
13 アサーショントレーニング(2)			アサーショントレーニングから学ぶ(2)。		
14 実践する際の課題と留意点			実践する際の課題と留意点について理解する。		
15 到達度確認とまとめ			授業の総括をする。		
【テキスト】					
「ピアヘルパーハンドブック」 日本教育カウンセラー協会(2001) 図書文化社 1,500円					
【参考図書】					
必要に応じて授業中に紹介する。					
【成績評価の方法】					
出席状況、課題提出、授業態度等で「関心・意欲・態度」30%、レポート内容、到達度評価等で「知識・理解」70%、両方を総括し、評価する。					

授業科目名: 体育社会学		担当教員氏名: 山本 孔一		
履修年次: 2~4	単位数: 2	開講期: 前期	コマ数: 1	
【授業の目的】				
<p>現在、スポーツは多様な場面で展開され、もはやその存在しない社会や文化が考えられないほど、強大な社会現象となっている。こうした現代におけるスポーツのあり方やそこから派生する諸問題などについて、どのように捉え、どのように理解するかは、種々のスポーツ指導者を目指す者にとって、専門性にかかわる基礎的教養として重要な意味をもっている。本講義では現代スポーツの文化的側面を主として社会学的な視点から検討する。</p>				
【授業内容】				
(テ ー マ)		(授 業 内 容)		
1スポーツ社会学の必要性		スポーツ指導の専門性とスポーツ社会学の必要性		
2スポーツの社会学的理解		スポーツをどのようにとらえ、考えるか		
3スポーツの文化システム		スポーツに対する文化的偏見		
4スポーツの社会システム		スポーツ集団の社会システム		
5スポーツと政治・経済		スポーツは誰のものか		
6日本人のスポーツ観		スポーツ観の分析の四つのアプローチ		
7日本的スポーツ集団の形成とその性格		多様な地域のスポーツ集団の状況と問題		
8日本的スポーツ組織の歴史的・社会的性格		スポーツ組織について		
9生涯スポーツ、コミュニティスポーツを考える		社会教育からコミュニティスポーツへ		
10日本のスポーツ政策		日本のスポーツ政策の問題点		
11スポーツとコマーシャルイズム		選手は走る広告塔なのか		
12スポーツと社会化		スポーツ的役割を学んでいくとはどういうことか		
13体育の社会的構造と機能		体育はなぜ存在するか		
14体育の学習指導過程		体育の学習はどのように進められるか		
15スポーツ社会学の課題		身近な旬な話題から課題発見		
【テキスト】				
なし				
【参考図書】				
「スポーツ社会学講義」 森川・佐伯編著(大修館書店)				
「講座・スポーツの社会学」池田勝・守能信次編(杏林書院)				
【成績評価の方法】				
出席と受講態度、小テスト・レポート・定期試験で総合的に評価				

吉 備 国 際 大 学

(シ ラ バ ス)

授業科目名 水質環境論				担当教員氏名 村本茂樹
履修年次:2年	2単位	春学期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
【授業の目的】				
水に関する量的・質的な基礎知識を把握するとともに、水質変化の原因の解析および生態環境への作用様式を学ぶ。特に降水、地下水、海水など生態系に重要な影響を及ぼす水質は人間の健康にも大きく影響している。人間活動がもたらす水質変化と生物圏での様々な作用例を解説するとともに、水質調査、処理、汚染対策などの手法を学び、望ましい水環境を創造するための課題に対する考え方を習得する。				
【授業内容】				
1 水資源としての水質の意義				
2 天然の水質 (1) 淡水、降水、海水				
3 ” (2) 日本と世界の河川水				
4 水の調査法と測定技術 (1) 一般成分				
5 ” (2) 有害成分				
6 水と生態環境 (1) 水量と水質、水利権				
7 ” (2) 有機汚濁と生物				
8 ” (3) 有害無機成分と生物				
9 ” (4) 有害有機成分と生物				
10 水と健康 (1) 飲用水中成分と健康				
11 ” (2) 水のおいしさと安全性				
12 水の管理 (1) 物理的・化学的管理				
13 ” (2) 生物的・植物利用				
14 新たな水の創造と保全 (1) 海水の淡水化				
15 ” (2) 超純水の製造				
16 最終試験 (*ただし、授業の進度に応じてシラバスの順序変更がある)				
【テキスト】				
適宜資料配布を行う。				
【参考図書】				
1. 水環境工学、松本順一郎(朝倉書店)				
2. 公害防止の技術と法規 水質編 (社)産業環境管理協会				
【成績評価の方法】				
試験(60%)、レポートおよび小試験(40%)で評価する。				

授業科目名 土壌環境論				担当教員氏名 村本茂樹
履修年次:2年	2単位	秋学期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
【授業の目的】				
21世紀の課題である人口と食糧の課題にも繋がる土壌環境問題を具体的な事例を挙げながら、人間活動と汚染の関係の実態把握、汚染調査方法並びに土壌汚染対策法が対象とする種類別の汚染対策のみならずそれらの処理、修復技術を学ぶ。また諸外国の実例なども紹介して、土壌汚染の問題と解決の糸口についても学ぶ。これらを通じて総合的な土壌環境論の基礎的理解を深める。				
【授業内容】				
1 土壌環境とは (1) 土壌の構成組成と役割				
2 ” (2) 土壌環境と健康				
3 人間活動と土壌環境 (1) 土壌の砂漠化(乾燥と塩類化)				
4 ” (2) 自然汚染と人為汚染				
5 土壌の汚染状況調査 (1) 土壌汚染の特徴				
6 ” (2) 汚染物質(重金属、揮発性有機化合物、農薬類他)の汚染調査方法				
7 ” (3) 汚染物質(重金属、揮発性有機化合物、農薬類他)の土壌汚染の事例				
8 土壌汚染の対策 (1) 土壌汚染の実態と対策手段				
9 ” (2) 市街地、農用地の事例				
10 土壌汚染の処理と修復 (1) 汚染物質別(重金属、揮発性有機化合物、農薬類他)土壌汚染の浄化				
11 ” (2) 汚染物質別(重金属、揮発性有機化合物、農薬類他)土壌汚染の修復				
12 ” (3) 植物利用の土壌汚染の修復(ファイトレメディエーション)				
13 諸外国の土壌汚染と対策 (1) 土壌汚染の事例(日本はじめ先進国)				
14 ” (2) 土壌汚染の事例(中国はじめ開発途上国)				
15 総合討論 (*ただし、授業の進度に応じてシラバスは変更することがある。)				
16 期末試験				
【テキスト】				
適宜資料を配布する。				
【参考図書】				
1. 環境土壌学、松井 健、岡崎正規(朝倉書店)				
2. 土壌と地下水のリスクマネジメント、株式会社インタリス・アジア航測(工業調査会)				
【成績評価の方法】 試験(60%)、レポートおよび小試験(40%)などで評価				

授業科目名 文化財科学分析基礎Ⅰ				担当教員氏名 高木秀明
履修年次:2年	2単位	春学期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
【授業の目的】				
文化財科学調査における基本事項と光学調査の方法について修得するをテーマとする。基本的な事項(倫理的な面)を理解し、適切な様々場面や文化財に適切な方法とは何かを認識し行なえるようになる。また、文化財科学調査の中でも初歩的な光学調査の方法論を理解し、調査結果が読み取れるようになる。				
【授業内容】				
1 文化財保存修復における科学分析の意義 2 文化財を科学の目で見る 3 材料を観察するー繊維・紙の顕微鏡観察 4 X線の歴史と物質との相互作用 5 軟X線透過画像解析 6 紫外線を照射する観察法 7 赤外線を照射する観察法 8 蛍光X線分析 9 文化財の彩色に用いられた顔料 10 分析事例ー彩色衣装 11 分析事例ー板絵・油彩画 12 分析事例ー彩色絵図 13 分析事例ー彩色衣装 14 様々な蛍光X線分析装置 15 放射性炭素年代測定法 16 定期試験				
【テキスト】				
毎回資料を配布する。				
【参考図書】				
【成績評価の方法】				
成績評価基準:定期試験(100%)				

授業科目名 文化財科学分析基礎Ⅱ				担当教員氏名 高木秀明
履修年次:2年	2単位	秋学期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
【授業の目的】				
文化財科学調査における素材調査の方法について修得するをテーマとする。文化財に使用されている素材(材料)を知ること、その情報を保存修復に利用するだけでなく、歴史的・地理的条件から文化財の制作にかかわる知見や素材の伝播についての知見が得ることができるということが理解できるようになる。				
【授業内容】				
1 文化財科学調査の目的と現場 2 文化財の素材ー金属・装飾品・顔料・ガラス 3 文化財の素材ー木材・紙・繊維・漆・染料 4 有機化合物の電子軌道と結合 5 有機化合物の構造、共役二重結合 6 蛍光スペクトル分析法 7 三次元蛍光スペクトル分析法 8 三次元蛍光スペクトル分析法と蛍光X線分析法 9 有機化合物と蛍光X線 10 可視ー近赤外反射スペクトル分析法 11 紫外ー可視分光吸収スペクトル法 12 赤外分光分析法 13 ラマン分光分析法 14 クロマトグラフィー 15 薄層クロマトグラフィーの実際 16 定期試験				
【テキスト】				
毎回資料を配布する。				
【参考図書】				
【成績評価の方法】				
成績評価基準:定期試験(100%)				

倉敷芸術科学大学

(シラバス)

授業科目名：西洋美術史Ⅰ				担当教員氏名：神原 正明																	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1	(留意事項がある場合は記入)																	
【授業の目的】 西洋美術の歩みを原始時代から近代の始まりまでをたどっていきます。時代はそれぞれの形の特性を持っています。たとえばエジプトとギリシャではまったく異なった美意識によって、それぞれの形が生まれてきました。両者には優劣の差はないのですが、わたしたちはしばしば現代の美意識で時代の優劣をつけてしまいがちです。ここではそれぞれの時代が生み出した形の誕生の物語を、グローバルな視点から追いかけてみたいと考えています。細かなデータはできるだけ切り捨て、現在文化遺産として残されている視覚的資料を見ながら、本質的な形の歴史をたどりたいと思っています。美術作品を通してその背後にある人類の精神文化の普遍性と多様性を理解すること。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. イタリア盛期ルネサンス</td> </tr> <tr> <td>2. 原始の造形</td> <td>10. イタリア・スペインのバロック美術</td> </tr> <tr> <td>3. 古代エジプト美術</td> <td>11. 17世紀オランダ・フランドル美術</td> </tr> <tr> <td>4. 古代ギリシャ美術</td> <td>12. 17世紀フランス美術</td> </tr> <tr> <td>5. 古代ローマ美術</td> <td>13. ロココ美術</td> </tr> <tr> <td>6. 中世ヨーロッパ美術</td> <td>14. 近代美術のはじまり</td> </tr> <tr> <td>7. イタリア初期ルネサンス</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 北方ルネサンス</td> <td></td> </tr> </table>						1. オリエンテーション	9. イタリア盛期ルネサンス	2. 原始の造形	10. イタリア・スペインのバロック美術	3. 古代エジプト美術	11. 17世紀オランダ・フランドル美術	4. 古代ギリシャ美術	12. 17世紀フランス美術	5. 古代ローマ美術	13. ロココ美術	6. 中世ヨーロッパ美術	14. 近代美術のはじまり	7. イタリア初期ルネサンス	15. まとめ	8. 北方ルネサンス	
1. オリエンテーション	9. イタリア盛期ルネサンス																				
2. 原始の造形	10. イタリア・スペインのバロック美術																				
3. 古代エジプト美術	11. 17世紀オランダ・フランドル美術																				
4. 古代ギリシャ美術	12. 17世紀フランス美術																				
5. 古代ローマ美術	13. ロココ美術																				
6. 中世ヨーロッパ美術	14. 近代美術のはじまり																				
7. イタリア初期ルネサンス	15. まとめ																				
8. 北方ルネサンス																					
【テキスト】 『快読・西洋の美術』神原 正明著(勁草書房)																					
【参考図書】 『世界美術大全集・西洋編』全28巻(小学館)																					
【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢(40%)、レポート(60%)で評価する。																					

授業科目名：西洋美術史Ⅱ				担当教員氏名：松岡 智子																	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:後期	コマ数:1	大原美術館をはじめとする美術館見学を実施する。																	
【授業の目的】 スライド等で各時代を代表する作品を紹介しながら、18世紀後半から20世紀初頭にかけての近・現代の西洋美術史の概説を行う。 近・現代の西洋美術史を理解するための基本的な知識を身につける。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. 象徴主義</td> </tr> <tr> <td>2. 新古典主義／ロマン主義</td> <td>10. フォーヴィスム／エコール・ド・パリ</td> </tr> <tr> <td>3. レアリスム／アカデミスム</td> <td>11. 表現主義</td> </tr> <tr> <td>4. 印象主義(1)</td> <td>12. ダダ／シュルレアリスム</td> </tr> <tr> <td>5. 印象主義(2)</td> <td>13. キュビスム／抽象</td> </tr> <tr> <td>6. 後期印象主義</td> <td>14. 総まとめ(1)</td> </tr> <tr> <td>7. 新印象主義</td> <td>15. 総まとめ(2)</td> </tr> <tr> <td>8. 世紀末／アールヌーボー</td> <td></td> </tr> </table>						1. オリエンテーション	9. 象徴主義	2. 新古典主義／ロマン主義	10. フォーヴィスム／エコール・ド・パリ	3. レアリスム／アカデミスム	11. 表現主義	4. 印象主義(1)	12. ダダ／シュルレアリスム	5. 印象主義(2)	13. キュビスム／抽象	6. 後期印象主義	14. 総まとめ(1)	7. 新印象主義	15. 総まとめ(2)	8. 世紀末／アールヌーボー	
1. オリエンテーション	9. 象徴主義																				
2. 新古典主義／ロマン主義	10. フォーヴィスム／エコール・ド・パリ																				
3. レアリスム／アカデミスム	11. 表現主義																				
4. 印象主義(1)	12. ダダ／シュルレアリスム																				
5. 印象主義(2)	13. キュビスム／抽象																				
6. 後期印象主義	14. 総まとめ(1)																				
7. 新印象主義	15. 総まとめ(2)																				
8. 世紀末／アールヌーボー																					
【テキスト】 監修 高階秀爾『西洋美術史』(美術出版社)2002年																					
【参考図書】 適宜紹介する。																					
【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢、小テストなどの平常点と定期試験で評価を行う。評価は、受講態度(40%)、定期試験(60%)の割合で評価する。																					

授業科目名 : デザイン史				担当教員氏名 : 近藤 研二	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1	(留意事項がある場合は記入)	
【授業の目的】					
産業革命以降におけるデザインが真の現代的意味をそなえるまでの経過を、美術の歴史的な流れや社会的背景を踏まえながら考察する。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 19世紀前期の建築・工芸 3. 近代グラフィックの始まり 4. ウイリアム・モリスの美術工芸運動 5. アールヌーボー運動とその意義 6. 新しい材料と工学の発展 7. ドイツ工作連盟とその周辺 8. バウハウス確立までのヨーロッパとアメリカ 9. バウハウスの理念(1) 10. バウハウスの理念(2) 11. アメリカ大陸のデザイン動向 12. 第二次大戦後のモダンデザインと美術 13. 第二次大戦後のグラフィックデザイン 14. 1970年以降のポストモダンデザインと美術 15. まとめ 					
【テキスト】					
使用しない					
【参考図書】					
適宜紹介する					
【成績評価の方法】					
授業に取り組む姿勢等の平常点とレポート(50%)、学期末の試験(50%)によって評価を行う。					

授業科目名 : 美学・芸術学概論 I				担当教員氏名 : 森田 亜紀	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1	(留意事項がある場合は記入)	
【授業の目的】					
古代ギリシアから現代にいたるまで、美や芸術をめぐるさまざまな展開されてきた先人の思索を概観する。そこで取り上げられてきた諸問題を整理し、美学や芸術学の基本となる諸概念を説明する。 学生ひとりひとりが、美学、芸術学の抽象的理論を、自分自身の美や芸術に関わる体験とむすびつけて理解し、自分に必要な問題を自分で考えることを目標とする。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 科目の紹介、受講生に対する美や芸術に関わる体験についてのアンケート実施 2. さまざまな問題:アンケート結果から、美学や芸術学の領域の諸問題を抽出 3. 「感性的認識の学」としての美学 4. 18世紀における美学の成立と、その契機たる「芸術」概念の成立 5. 「芸術」概念成立以前:VTR「レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯」を資料として 6. 美的判断の主観性と普遍性 7. 美のさまざまな様相:機能美、感覚美ほか 8. 日常の感覚と「純粹感覚」 9. 美とかたち 10. 美とアイデア 11. 再現描写と自己表出 12. 感情移入と抽象 13. 制作と受容 14. 複製技術と芸術 15. まとめ 					
【テキスト】					
浅沼 圭司 『ゼロからの美学』(勁草書房)					
【参考図書】					
適宜紹介する。					
【成績評価の方法】					
授業に取り組む姿勢、課題レポート、期末の定期試験(レポート)によって評価する。課題レポート(40%)、定期試験(60%)の重み。所定の提出物が一つでも欠けた場合は、E判定。					

授業科目名 : 美学・芸術学概論Ⅱ				担当教員氏名 : 森田 亜紀	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:後期	コマ数:1	(留意事項がある場合は記入)	
【授業の目的】 美学・芸術学における先人の思索に加え、認知科学等、身体運動学、社会学、文化人類学、言語学、心理学、精神分析学など、自然科学・人文科学諸領域の所見を視野に入れながら、美的体験、芸術体験の基盤となる人間のはたらきを考察していく。 知覚、身体、技術、想像力、無意識、言語、文化などが、美や芸術に関わる人間の活動どのような位置を占め、どのようなにはたらいているのか、学生自身の体験と結びつけて理解させる。					
【授業内容】 1. 科目紹介、学生に対するアンケート実施 2. さまざまな問題:アンケートの結果から、当該科目の領域における諸問題を抽出 3. 自己の身体(1) 4. 自己の身体(2) 5. 自己の身体(3) 6. 知覚(1) 7. 知覚(2) 8. 知覚(3) 9. 共通感覚 10. 想像力(1) 11. 想像力(2) 12. 無意識 13. 言語 14. 文化 15. まとめ					
【テキスト】 使用しない。					
【参考図書】 適宜紹介する。					
【成績評価の方法】 課題レポートおよび期末の定期試験(レポート)によって評価を行う。課題レポート(40%)、定期試験(60%)の重みで判定。所定の提出物が一つでも欠けた場合は、E判定。					

授業科目名 : オリент美術史				担当教員氏名 : 鈴木 まどか	
履修年次:2~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1	歴史学・文化の歴史の受講生には、継続講義となるよう用意されている。また、はじめての受講生にも十分配慮し、最初の2~3回の講義中に資料プリントなどを配布して簡潔な概説を行う	
【授業の目的】 オリент美術史といっても古代エジプト美術を取り上げるので、前もって明確に本主題を受講生に提示する。3000年以上に及ぶ美術の流れの中で、講義は中王国時代の美術を考察する。王を神と信じたことのできた古王国時代の崇高で巨大性を誇る美術と異なり、中王国時代の美術は人間的な性格で貫かれている。ファラオの彫像ですら武力と外交とで地位を得た雄々しい男性的力を持つ姿で表された。文学の時代とも言われる古典期の建築、彫刻、絵画、工芸を通してエジプト美術の真髄に迫る。					
【授業内容】 1. エジプト美術史とは? 講義目的、概要について 2. 史的・文化的背景 3. テーベの新興王家の国家再統一 4. デール・エル・バハリ遺跡と第11王朝 5. メンチュウヘテプ大王葬祭殿(1)建築 6. メンチュウヘテプ大王葬祭殿(2)彫刻・浮彫 7. 第11王朝一般人の美術~メケトラア墓出土遺物など 8. 第12王朝の樹立とファイユーム地方への遷都 9. ピラミッド・コンプレックス復活 10. 迷宮と遺跡 11. 王像の変遷 12. 第12王朝一般人の彫像・ブロンズ像の出現 13. 絵画・浮彫のリアリズム 14. 工芸とクレタ・東地中海との交易 15. 総まとめ					
【テキスト】 使用しない。					
【参考図書】 必要に応じて指示する。					
【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢と平常点を重視する。課題レポートもしくは定期試験で評価する。出席と授業態度(30%)、レポート・試験(70%)で評価する。					

授業科目名：水族栄養学				担当教員氏名：大塚 雅広	
履修年次:2~4	単位数:2	開講期:後期	コマ数:1		
【授業の目的】					
<p>近年、魚類飼育による自家汚染の問題や省資源の問題から、最少の餌料で最大の成長が求められるようになってきた。</p> <p>また、生物種によって、必要とする栄養素が異なっていて、水中に生息する水族は、水中という特殊な環境の中、餌料の栄養組成が陸上と大きく異なっている。要求に答えるためには、栄養学の知識が不可欠になる。</p> <p>魚類の栄養要求が他生物と異なることを理解するとともに、その原因が生物種によるものだけではなく、環境の影響があることを理解する。</p>					
【授業内容】					
1. 水族の摂餌と消化		9. 脂質の働きと要求量			
2. 五大栄養素と水族の栄養学的要求		10. ビタミンの定義と分類			
3. 糖質		11. 魚類の水溶性ビタミン①			
4. タンパク質		12. 魚類の水溶性ビタミン②			
5. タンパク質とアミノ酸		13. 魚類の脂溶性ビタミン			
6. アミノ酸要求量		14. 海水中のミネラルと魚類の要求ミネラル			
7. 小テスト		15. 魚類の微量ミネラル			
8. 脂質の構造と種類					
【テキスト】					
なし。必要に応じてプリントを配布する。					
【参考図書】					
渡邊武編「改訂 魚類の栄養と餌料」(恒星社厚生閣)、日本ビタミン学会編「ビタミンの辞典」(朝倉書店)					
【成績評価の方法】					
小テスト(60%)、定期試験(40%)。					

授業科目名：環境保健科学				担当教員氏名：浅川 富美雪	
履修年次:2~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1	(留意事項がある場合は記入)	
【授業の目的】					
<p>人間の行動が環境に及ぼす影響並びに各種環境が生活に及ぼす影響について、基礎的知識を習得するとともに対策の立案、評価に必要な基礎的知識と技術を学習させる。とくに重視する事項は人間と環境の相互作用の理解ならびに地域社会におけるその行動である。</p> <p>Think Globally, Act Locallyの意味を理解し、行動することができるように、知識と技術および考え方を習得する。</p>					
【授業内容】					
1. 環境の概念、人間－環境系、生態系、量－影響(反応)関係					
2. 公害、発生要因、影響、対策、環境影響評価、環境基本法					
3. 空気(大気)環境と健康、物理的要因(気象)・化学的成分					
4. 大気汚染(物質)、影響、現状、環境基準、対策					
5. 水環境と健康、水質指標、上水道、水質基準					
6. 水質汚濁、汚水処理、下水道、排水基準、環境基準					
7. 廃棄物、処理、土壌汚染、化学物質汚染、騒音、振動、悪臭					
8. 居住・生活環境、室内空気汚染、温熱指数、至適条件					
9. 働く環境と健康、歴史、労働基準法、労働安全衛生法					
10. 職業性因子による健康障害、物理的要因、じん肺					
11. 有機溶剤、重金属、中毒、発がん、生物学的モニタリング					
12. 健康管理、作業管理、作業環境管理、Total Health Promotion Plan					
13. 地球環境問題、地球温暖化、オゾン層の破壊・熱帯雨林の減少 etc					
14. Think Globally, Act Locally.					
15. 総まとめ					
【テキスト】					
プリントを配布する					
【参考図書】					
国民衛生の動向(厚生統計協会)、環境白書(環境省)等					
【成績評価の方法】					
授業に取り組む姿勢・小テスト(20%)と定期試験(80%)で評価を行う。					

授業科目名 : バイオメカニクス				担当教員氏名 : 枝松 千尋	
履修年次:3~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1	・電卓を持参すること。	
【授業の目的】					
安全に効率的にスポーツのパフォーマンスを向上させるためには、スポーツ技術の裏側にあるものを理解し、分析し、そして新たなものを創造することが必要である。本講義では、力学・人体解剖学・運動生理学の複合領域であるバイオメカニクスを学び、科学的な視点からスポーツ技術を理解することを目指す。					
<ul style="list-style-type: none"> ・力学の基礎を身につける。 ・スポーツ技術をバイオメカニクスの観点から考察できる能力を身につける 					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 身体のバイオメカニクスの特性と動作解析へのアプローチ法 3. 身体重心(慣性質量と慣性モーメント) 4. 加速度・速度・変位 5. 力 6. 運動量と力積 7. 投射体の運動 8. 力学的エネルギー・仕事・パワー 9. 力のモーメントと角運動量 10. 関節トルク 11. 流体力学(空気・水の力とスポーツ) 12. スキルのバイオメカニクス(1) 13. スキルのバイオメカニクス(2) 14. スキルのバイオメカニクス(3) 15. まとめ 					
【テキスト】					
阿江 通良・藤井 範久 著「スポーツバイオメカニクス20項」(朝倉書店)					
【参考図書】					
プリント等配布					
【成績評価の方法】					
授業に取り組む姿勢と小テスト(40%)、定期試験(60%)により評価する。					

授業科目名 : 生命関連法規				担当教員氏名 : 神田 鉄平	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:後期	コマ数:1		
【授業の目的】					
動物に関連する様々な法律について、その概要を知るとともに、特に動物の愛護及び管理に関する法律を理解することで社会における動物と、「動物に関係した職業」の立場を考える。出来るだけ具体事例と法律の条文を照らし合わせることで、法律が縁遠いものではなく、仕事を進めるにあたってその理解が必要不可欠であることを学ぶ。					
日々、目にする報道やニュースの中で関連する法律や制度が出てきた際に、それに気付くことができること、さらに一般市民よりもう一段深く理解できることを目標とする。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ「生命関連法規」を学ぶのか 2. 動物の愛護及び管理に関する法律(1) 3. 動物の愛護及び管理に関する法律(2) 4. 動物の愛護及び管理に関する法律(3) 5. 動物の愛護及び管理に関する法律(4) 6. 動物の愛護及び管理に関する法律(5) 7. 動物の愛護及び管理に関する法律(6) 8. 獣医師法 9. 獣医療法(1) 10. 獣医療法(2) 11. 愛がん動物用飼料の安全の確保に関する法律 12. 身体障害者補助犬法 13. 薬事法(1) 14. 薬事法(2) 15. グループディスカッション 					
【テキスト】					
使用しない。					
【参考図書】					
授業の中で適宜紹介する。					
【成績評価の方法】					
授業に取り組む姿勢(10%)、試験(90%)により総合的に評価する。					

授業科目名 : 生命倫理				担当教員氏名 : 古川 敏紀
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1	生命倫理教育においては各人の持つ意見について具体的事例を挙げながら、周囲に分かりやすく説明させる能力を求める。
【授業の目的】				
生命をいたわる事がなぜ必要なのか、そのために倫理を持たなければいけないとはどういう事なのかについて学び、法律との関係や動物飼育者を指導出来る基本的な素養を学ぶ。 生命とは何かを学び、何故それを大事にする必要があるかを学ぶ。				
【授業内容】				
1. 生命倫理とは何か？(1)アウトライン 2. 生命倫理とは何か？(2)歴史 3. 生命倫理とは何か？(3)歴史 4. 具体的な事例に基づいて(1)グループディスカッション 5. 具体的な事例に基づいて(1)ヒトの医療の例 6. 具体的な事例に基づいて(2)ヒトの医療の例 7. 具体的な事例に基づいて(3)ヒトの医療の例 8. 小テストと解説 9. 具体的な事例に基づいて(4)我が国での例 10. 具体的な事例に基づいて(5)我が国での例 11. 具体的な事例に基づいて(6)我が国での例 12. 具体的な事例に基づいて(2)グループディスカッション 13. 小テストと解説 14. 具体的な事例に基づいて(3)グループディスカッション 15. 総まとめ				
【テキスト】				
なし				
【参考図書】				
授業の中で適宜紹介する。				
【成績評価の方法】				
グループディスカッションにおける積極的な発言(40%)と試験(60%)により評価する。				

授業科目名 : 岡山ビジネス研究				担当教員氏名 : 塩飽直紀・岡野喜良
履修年次:2~4	単位数:2	開講期:後期	コマ数:1	
【授業の目的】				
岡山地域を中心に企業経営の現場で日々奮闘されている経営者や業界リーダーの方々を週替わりで招聘し、起業のいきさつや企業経営のポイントを、それぞれ独自の切り口で語っていただき、経営情報学科生の起業・企業経営上の意識向上を図る。企業見学も2回程度入れるつもりである。 経営情報学科生としてのモチベーション向上と経営的センスの育成を図る。				
【授業内容】				
1. オリエンテーション(スケジュール説明、受講マナーについて) 2. 第1回外部講師講演 3. 第2回外部講師講演 4. 第3回外部講師講演 5. 第1回企業見学 6. 第4回外部講師講演 7. 第5回外部講師講演 8. 第6回外部講師講演 9. 第7回外部講師講演 10. 第2回企業見学 11. 第8回外部講師講演 12. 第9回外部講師講演 13. 第10回外部講師講演 14. 第11回外部講師講演 15. 第12回外部講師講演				
【テキスト】				
使用しない。				
【参考図書】				
特になし。				
【成績評価の方法】				
レポート及び受講態度をそれぞれ7対3の割合で点数化して評価する。				

授業科目名 : おかやま倉敷学				担当教員氏名 : 濱家 輝雄	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:前期	コマ数:1		
【授業の目的】 本講義では、大学が位置する倉敷地域において、観光事業に取り組んでいる方や芸術・文化を専門とする方から、過去及び現在の倉敷の地域性を総合的に学ぶものである。「倉敷で学ぶ・倉敷に学ぶ」をモットーに、古きものを大事にししながら新たな価値を生み出していく芸術文化都市である倉敷の営みを、くらし、産業、文化、芸術などの多面的かつ複眼的な視点から学ぶ。 芸術文化都市「倉敷」の地域性を総合的に理解する。					
【授業内容】 1. オリエンテーション おかやま倉敷学とは 2. 倉敷市の観光行政 3. 倉敷村の町並みの歴史 4. 大原美術館の誕生秘話 5. 倉敷民芸館 6. 我ガイド人生 7. これからの岡山観光振興について 8. 倉敷の自然について 9. 国産ジーンズ発祥の地倉敷 10. 岡山弁再発見 11. く・ら・し・きになる暮らし直し 12. 倉敷アイビースクエアの取り組み 13. 岡山は水の国 14. 「備中倉敷学」を通しての町おこし 15. 大原孫三郎について					
【テキスト】 なし					
【参考図書】 担当者が必要に応じて資料を配布する。					
【成績評価の方法】 受講態度(50%)、授業の要点整理・課題(50%)で総合評価する。					

授業科目名 : 臨床細胞学総論 I				担当教員氏名 : 大野 英治・ 三宅 康之・宮本 朋幸	
履修年次:1~4	単位数:2	開講期:後期	コマ数:1	私語、遅刻は厳禁。 講義はup-to-dateなものとするため、講義日程を変更する場合もある。	
【授業の目的】 講義では、特に子宮頸部病変に関する総合的知識と出現する細胞の形態的特徴を学ぶ。 臨床細胞学の序論として、まず細胞診断学総論を学び、正確な診断のために重要な課題である標本作製のための知識も習得させる。					
【授業内容】 1. ガイダンス 2. 細胞診断学総論①:細胞診の目的・腫瘍について・細胞診の発達史 3. 細胞診断学総論②:細胞診の適応範囲・標本作製手技・パパニコロウ分類 4. 細胞診断学総論③:癌細胞の判定基準・用語の説明・細胞診の長短所 5. 標本作製の実際と理論的背景①:検体採取から塗沫・固定・封入に必要な技術 6. 標本作製の実際と理論的背景②:各種染色法と理論 7. 子宮:子宮の解剖学、組織学、細胞採取法 8. 子宮頸部の細胞診①:正常細胞の細胞診 9. 子宮頸部の細胞診②:良性変化の細胞診① 10. 子宮頸部の細胞診③:良性変化の細胞診② 11. 鏡検実習:顕微鏡で実際の標本見る 12. 子宮頸部の細胞診④: ホルモン細胞診 13. 細胞診に必要な発生学・細胞学・組織学①:発生学 14. 細胞診に必要な発生学・細胞学・組織学②:細胞学 15. 細胞診まとめ					
【テキスト】 「臨床検査講座(別巻):細胞診」医歯薬出版					
【参考図書】 「～基礎から学ぶ～ 細胞診のすすめ方」(近代出版)など					
【成績評価の方法】 講義に取り組む姿勢(10%)と定期試験(90%)で評価を行う。					

くらしき作陽大学

(シラバス)

消費者心理学				河村敦																
3～4	2単位	後期	1コマ																	
【授業の目的】 消費行動を消費者の立場から心理学的に検討し、将来的にサービスや商品などを提供する立場になったときに、消費者を理解した対応ができる力を身に付ける。																				
【授業内】																				
<table border="0"> <tr> <td>1 ガイダンス</td> <td>9 消費行動への集団やサブカルチャーの影響</td> </tr> <tr> <td>2 消費者行動への心理学的接近</td> <td>10 実践研究(販売企画1)</td> </tr> <tr> <td>3 消費者の知覚</td> <td>11 実践研究(販売企画2)</td> </tr> <tr> <td>4 消費者の学習</td> <td>12 実践研究(販売準備)</td> </tr> <tr> <td>5 消費行動へのパーソナリティやライフスタイルの影響</td> <td>13 実践研究(販売・サービス提供1)</td> </tr> <tr> <td>6 消費者の態度形成と変容</td> <td>14 実践研究(販売・サービス提供2)</td> </tr> <tr> <td>7 消費行動への環境の影響</td> <td>15 実践研究(反省・まとめ)</td> </tr> <tr> <td>8 消費行動への他者の影響</td> <td></td> </tr> </table>					1 ガイダンス	9 消費行動への集団やサブカルチャーの影響	2 消費者行動への心理学的接近	10 実践研究(販売企画1)	3 消費者の知覚	11 実践研究(販売企画2)	4 消費者の学習	12 実践研究(販売準備)	5 消費行動へのパーソナリティやライフスタイルの影響	13 実践研究(販売・サービス提供1)	6 消費者の態度形成と変容	14 実践研究(販売・サービス提供2)	7 消費行動への環境の影響	15 実践研究(反省・まとめ)	8 消費行動への他者の影響	
1 ガイダンス	9 消費行動への集団やサブカルチャーの影響																			
2 消費者行動への心理学的接近	10 実践研究(販売企画1)																			
3 消費者の知覚	11 実践研究(販売企画2)																			
4 消費者の学習	12 実践研究(販売準備)																			
5 消費行動へのパーソナリティやライフスタイルの影響	13 実践研究(販売・サービス提供1)																			
6 消費者の態度形成と変容	14 実践研究(販売・サービス提供2)																			
7 消費行動への環境の影響	15 実践研究(反省・まとめ)																			
8 消費行動への他者の影響																				
【テキスト】 プリント資料配布																				
【参考図書】 なし																				
【成績評価の方法】 コミュニケーションシート(10%)、実習参加(50%)、課題提出(40%)によって総合的に評価する。																				

11002, 11005

食料経済				原田節也
1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 食料の生産から流通・消費にいたる過程で生じている主要な食糧問題の本質を身近な経済問題として学ぶとともに、問題の解決に向けた経済学的な考え方の素養を身につける。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1 食料経済ガイダンス～食料経済学で何を学ぶの？ 2 わが国の主要食糧問題～食料輸入大国の悩みとは？ 3 食料経済学入門①～世の中を経済学的に見ると？ 4 食料経済学入門②～市場システムは人類の英知！ 5 経済発展と食料消費～経済発展は消費の形を変えた！ 6 家計と食料消費～家計の違いによってこんなにも違う！ 7 ブランド化と食料消費～人はブランドに弱い？ 8 食料生産をめぐる問題～わが国の農業が抱える問題は？ 9 食品加工をめぐる問題～わが国の食品製造業と小売業の実態は？ 10 流通をめぐる問題①～中央卸売市場の役割と変遷！ 11 流通をめぐる問題②～様変わりする食品小売業！ 12 流通をめぐる問題③～米の流通は大きく変わった！ 13 流通をめぐる問題④～輸入依存型の大豆、小麦の場合は？ 14 将来の食料の安定供給は可能か？～最近の動きをさぐる 15 課題演習～安定的な食料供給の実現に向けて！ 				
【テキスト】 主として、資料・プリントを利用				
【参考図書】 必要な場合は、講義内容に応じて示す。				
【成績評価の方法】 講義の受講態度、レポート内容等を総合的に判断して評価。				

音響学				加藤充美
1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 音楽は「音」の芸術である。音楽を实践する者にとっては素材となる「音」の知識・常識は重要であり、その「音」の知識・常識を修得することを目的とする。目標は、音の三要素、平均律の意味、身近な楽器の音響学的な特徴を他の人に説明できるようにすること。				
【授業内】 1 授業ガイダンス 2 音とはなにか？(音響学の歴史) 3 音の観察(音の聞こえと音の三要素) 4 倍音の話(音程と音律) 5 色々な音律 6 色々な音の現象 7 部屋の響き 8 音の放射 9 楽器の音響学Ⅰ(楽器の分類、ピアノ) 10 楽器の音響学Ⅱ(管楽器) 11 楽器の音響学Ⅲ(弦楽器) 12 歌声の音響学、打楽器の音響学 13 電気音響機器 14 コンピュータと音楽 15 まとめ				
【テキスト】 配布資料				
【参考図書】 楽器の音響学(音楽之友)、音の何でも小事典、図解雑学のしくみ				
【成績評価の方法】 日々的小テスト(50%)、レポート2題(50%)によって総合的に評価する。				

中国語Ⅰ				韓雲冬
1～4	1単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 1. 中国語の基本的な発音ができるようになること。 2. 中国語の簡体字を正しく理解し、書けること。 3. 中国語文法の基本的事項を理解し、活用できること。 4. 初歩的・日常的な中国語の会話表現ができること。 5. 短い中国語の文章を理解できること。				
【授業内容】 1 授業概要及び中国・中国語についての紹介 発音(声調、単母音) 2 発音(複母音、子音) 3 発音(鼻母音、そり舌母音、音節) 4 発音の小テスト 5 第1課 出会いー語彙と本文 6 第1課 出会いーポイントとドリル 7 第2課 ガールフレンドー語彙と本文 8 第2課 ガールフレンドーポイントとドリル 9 第3課 ランチャー語彙と本文 10 第3課 ランチャーポイントとドリル1 11 第3課 ランチャーポイントとドリル2 12 第4課 3人でー語彙と本文 13 第4課 3人でーポイントとドリル 14 総合練習ユニット2 15 授業のまとめ				
【テキスト】 相原茂 陳淑梅 飯田敦子 著『一年生のころ ビデオで学ぶ入門中国語』朝日出版				
【参考図書】 相原茂『中国語発音ビデオ 快音』朝日出版 遠藤光暁『映像シリーズ中国』朝日出版社				
【成績評価の方法】 定期試験と平常点による成績評価(配分点は5:5)。				

山陽学園大学

(シラバス)

授業科目名：看護学概論				担当教員氏名：石本 傳江	
履修年次：1～4年	1単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
専門職としての看護を理解するために、看護の重要概念を教授し、看護の役割について検討する。具体的には、看護の定義、健康の概念、保健・医療・福祉のシステム、対象理解、看護の方法論、看護の歴史、看護理論などについて概観し、現状と課題を理解する。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の構成要素を抽出し、全体像をイメージし、看護へのアプローチ法を知る。 2. 看護学の重要概念を整理し、看護の定義、目的、役割、方法などについてまとめる。 3. 医療の概念と医療のあり方について理解する。 4. 健康の概念について、定義、概念の変遷、ライフサイクルにおける変化などを学習する。 5. 看護の歴史と看護理論について概要を知る。 6. 保健・医療・福祉の施設や活動のシステムを理解し、チーム活動の必要性を知る。 7. 看護の法制度について、憲法、医療法を知る。 8. 保健師助産師看護師法の概要を学ぶ。 9. 看護の対象の基本的ニーズと、健康障害による心理的变化について学ぶ。 10. 看護の対象となる家族、地域社会、環境について、個人との関わりをとおして学ぶ。 11. 看護の機能・役割を対人関係を通して学ぶ。 12. 看護実践の方法として、看護展開方法、看護援助技術を知る。 13. 看護の歴史と発展について分担学習する。 14. 看護の歴史と発展について分担学習し、発表する。 15. 看護の組織化、看護教育・研究の発展過程などを概観し、今後の展望を検討する。 					
【テキスト】					
ライダー島崎玲子他『看護学概論』第2版 医歯薬出版株式会社 2009 ナイチンゲール：小林章夫他訳『看護覚書』うぶすな書院、2006					
【参考図書】					
ヘンダーソン：湯楨ます『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会、1998					
【成績評価の方法】					
期末試験の評価70% 課題レポート(ナイチンゲール看護論)15% 授業参加、分担学習、プレゼンテーション参加を15%で総合評価する。					

授業科目名：生涯発達心理学				担当教員氏名：高橋 功	
履修年次：1～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
生涯発達心理学は、人生という長期の視野で見たときの、人間の意識と行動の変化、あるいは人と人との関わりの変化を研究する分野であり、この授業はその入門的な講義です。基本的には教科書に沿って進めます。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義の進め方、第01章「生涯発達心理学の基礎」(1.1生涯発達の考え方、1.4発達臨床) 2. 第01章「生涯発達心理学の基礎」(1.2発達の規定因、1.3発達段階と発達課題) 3. ピアジェの認知発達論とエリクソンの心理社会的発達論 4. 第03章「胎児期・乳児期」 5. 第04章「幼児期」 6. 第05章「児童期」 7. 第06章「青年期前期」 8. 第07章「青年期中期」 9. 第08章「青年期後期」 10. 職業発達 11. 第09章「成人期前期」 12. 第10章「成人期中期」 13. 第11章「成人期後期」 14. 第02章「生涯発達心理学の研究法」(2.2発達心理学研究の特徴、2.3身近な発達研究) 15. 「生涯発達心理学の展望」、補足講義 					
【テキスト】					
二宮克美ら『ガイドライン生涯発達心理学』(ナカニシヤ出版)					
【参考図書】					
授業内に紹介します					
【成績評価の方法】					
期末試験6割、受講態度1割、課題提出3割で評価します。期末試験未受験者はG評価とします。欠席超過はF評価とします。そのほかの詳細は初回の授業で述べます。					

授業科目名：臨床心理学				担当教員氏名：石原 みちる	
履修年次：1～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 心理的な援助についての基本的姿勢と考え方について学ぶ。初めに、臨床心理学の基本的な考え方、心理学の中での位置づけについて学び、次に心理的援助を必要とする問題について学ぶ。また、心理の専門職についても知る機会を提供したい。各回に実習的な要素を含めるので、自分の心、他者の心に触れる中で、体験的に理解することも試みて欲しい。					
【授業内容】 1. 導入 授業のルールと進め方 臨床心理学となにか 臨床心理学の実践領域 2. 臨床心理学の歴史 3. 臨床心理学の理論的背景(1) 心理臨床の基礎となる心理学 4. " カウンセリング心理学 カウンセリングの技術 5. 臨床心理学の理論的背景(2) 精神医学 神経症と精神病 6. " 心身症(心とからだ) 7. 臨床心理アセスメントと心理療法 8. 心理療法(1) 精神分析的心理療法 9. 心理療法(2) ユング派の心理療法 10. 心理療法(3) クライアント中心療法 11. 心理療法(4) 行動療法 12. 心理療法(5) 認知療法 13. コミュニティ援助 14. 臨床心理専門職の資格、サイコセラピストをめざすとは 15. 臨床心理学のまとめ					
【テキスト】 改訂版 臨床心理学概説 馬場禮子 放送大学教育振興会					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 期末テスト(6割)・授業中の提出物(ワークシートなど:4割)・出席(2/3以上の出席者を評価対象とする。評価Aは8割以上の出席を条件とする。)					

授業科目名：感情心理学				担当教員氏名：松浦 美晴	
履修年次：1～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 我々は、「感情」と共に日常生活を送っている。感情の中には、欲求、気分、情動など、様々なものが含まれる。それらは知覚・認知・学習から生まれ、それぞれの機能を果たしている。本講義では、感情心理学の古典的な理論から、最近の研究までを取り上げ、それらが、我々の日常の感情経験をどのように説明するかを考える。					
【授業内容】 1. 感情とは何か 2. 環境への解釈が感情に及ぼす影響 3. 感情の喚起 4. 伝わる感情 5. 感情の発達 6. 感情の測定(1) さまざまな測定法 7. 感情の測定(2) 色で感情を測定できる？ 8. 食行動と感情(1) 食欲 9. 食行動と感情(2) 食行動異常 10. 情動と動機づけ 11. エンターテイメントと感情(1) 認知における体制化のはたらき 12. エンターテイメントと感情(2) 登場人物への感情移入 13. エンターテイメントと感情(3) 映像と音楽の効果 14. 映画鑑賞中の感情 15. 感情の古典的理論 及び まとめ					
【テキスト】 プリントを配布する。					
【参考図書】 授業中に指示する。					
【成績評価の方法】 学期末レポート(90%)に、受講態度(10%)を加えて評価を行う。					

授業科目名： 日本語教育概論				担当教員氏名： 山根 智恵	
履修年次：1～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
コース・デザイン、教材・教具、評価、教授法といった実践的な項目だけでなく、日本語教育の歴史についても触れ、21世紀の今日、日本語教育を行う意義を再考する。単に講義を聴くだけでなく、受講生同士がグループになって話し合いを行ったりすることで、受講生が積極的に関わっていく授業を目指したい。					
【授業内容】					
1. 授業内容の説明、日本語教師とは？ 日本語教育の現状(1)国内 2. 日本語教育の現状(2)海外 3. 日本語教育の歴史(1)江戸時代まで 4. 日本語教育の歴史(2)明治～現在 5. 授業観察(1) ビデオを見る 初級 6. 授業観察(2) ビデオを見る 中級 7. コース・デザイン 8. 教室活動(1)「話すこと」聞くことを教える 9. 教室活動(2)「読むこと」「書くこと」を教える 10. 教材・教具(1)教材・教具の知識 11. 教材・教具(2)教材を作る 12. 評価 13. 日本語教育と外国語教授法(1)オーディオリングル・メソッド他 14. 日本語教育と外国語教授法(2)サジェストベディア他 15. まとめ 日本語教育の将来					
【テキスト】					
小林ミナ『日本語教育能力検定試験に合格するための教授法』アルク					
【参考図書】					
日本語教育学会編『新版日本語教育事典』大修館					
【成績評価の方法】					
(1)授業態度(話し合いへの参加度など) 10点 (2)授業中に出される小課題 10点 (3)レポート①:授業風景を収めたビデオを一つ選び、その授業について学習者の背景、使用教材・教具、授業の流れ、授業についての感想をまとめたもの 40点 (4)レポート②:本講義で学習した重要ポイントをまとめたもの 40点 ①、② 合計2,000字以上					

授業科目名： 服飾デザイン論				担当教員氏名： 隈元 美貴子	
履修年次：1～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
デザインするとは、自分の考えを形に表すという事です。特に、被服は身体につけるものですから、内面をも含めた自分を、相手にどう表現していくかという事を考慮に入れて、デザインする必要があります。当然服を選ぶ時もそうです。この授業では、それらを念頭におきながら、デザインの基礎となる、点が線になり形になっていくという考え方や、色による見え方の違いなどを、演習をとおして理解していく事を目的とします。また、カラーセラピーやカラーアナライズがどのようなものか紹介をします。					
【授業内容】					
1. デザイン概論 2. デザインと服飾デザイン 3. 点と線と錯視 4. 点と線と形(実際に演習を行う) 5. 面と立体とシルエット 6. 流行とシルエット 7. 柄の基本(演習を含む) 8. 色彩の基礎 9. 色と心 10. トーンと配色の理論 11. 色彩と材質感 12. デザインをまとめる過程で必要な秩序の理論について(バランスとハーモニー) 13. デザインをまとめる過程で必要な秩序の理論について(バランスとシンメトリー) 14. リズムとプロポーションと色の使い方(演習を含む) 15. まとめ(演習を含む)					
【テキスト】					
ファッション&ビューティー(日本色彩研究所発行)					
【参考図書】					
服飾デザインと色彩、デザインの色彩					
【成績評価の方法】					
①授業への取り組み方 30点 ②授業中の課題 30点 ③定期試験 40点					

授業科目名： 精神保健				担当教員氏名： 上地 玲子	
履修年次：1～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】 現代社会における様々なストレス状況を理解し、精神保健に関する項目を身近なこととしてとらえ、精神的な問題に対応する方法を学ぶことを目的とする。					
【授業内容】 1. オリエンテーション 精神保健とは 2. 小児の成長・発達 3. 心理的問題 4. 心身症 5. 演習① 自分について考える 6. 統合失調症・うつ病 7. 慢性疾患 8. 発達障害 9. 障害児の療育 10. 障害児保育・教育 11. 妊産婦の精神保健 12. 児童虐待 13. 地域における子育て支援・児童福祉 14. 演習② 他者理解を深める 15. 演習の振り返り・まとめ					
【テキスト】 「精神保健 (保育・教育ネオシリーズ)」 柴崎 正行, 岸井 勇雄, 無藤 隆【監修】 同文書院					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 期末試験70点、授業ごとに課すミニレポートおよび授業態度30点により評価する。					

授業科目名： 現代中国論				担当教員氏名： 班 偉	
履修年次：2～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】 中国はここ20年、一党支配体制の下で高度成長を成し遂げ、2010年には遂に日本を追い抜いて世界第2位の経済大国になった。しかしその一方で、格差の拡大・環境破壊・官僚腐敗・民族紛争など様々な世紀末現象も表面化しつつある。この講義では、日々深刻化する中国の社会問題を取り上げて解説し、超大国・中国の行方や日本に与える影響などを分析する。					
【授業内容】 1. チャイナ・インパクト 2. 「世界の工場」の光と影 3. 超格差社会の出現 4. 深刻化する環境問題 5. チベット族の反乱 6. ウイグル族の暴動 7. 天安門事件と中国の人権問題 8. 太子党の登場と中国政治の危機 9. 大陸と台湾の愛憎関係 10. 中国の軍拡と海洋進出 11. 日米中の新三国志 12. 朝鮮半島の情勢と中国 13. ロシア・インド・ベトナムとの関係 14. 南シナ海の領有権を巡る紛糾 15. 中国の命運と前途					
【テキスト】 プリントを配布					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 授業態度・口頭発表・定期試験の成績を以って評価する。6回欠席した者は定期試験を受ける資格を失う。					

授業科目名： 日本文学講読				担当教員氏名： 佐藤 雅代	
履修年次：2～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 古典文学作品の多くは、写本や版本の形で現在に残されている。それらを写真によって複製したものを影印本という。また、写本や版本は、現代の仮名の字体とは異なる、変体仮名で書かれている。この授業では写本や版本のコピー、あるいは影印本などをテキストに用いて、変体仮名のもとになっている文字(字母)を覚え、一字一字読み解き、原本により近い形で文学作品を講読する。					
【授業内容】 1. 授業のガイダンス 2. 仮名文字の文学と変体仮名の歴史 3. 変体仮名の基礎1(字母と異体字) 4. 変体仮名の基礎2(繰り返し符号と連綿の文字) 5. 変体仮名の基礎3(連綿の文字に慣れる) 6. 変体仮名の応用1(文脈で読む) 7. 変体仮名の応用2(古今和歌集の仮名序を読む) 8. 伊勢物語(むかし男の一代記) 9. 伊勢物語(モテル男の悲劇) 10. 伊勢物語(去りゆく妻へ) 11. 伊勢物語(男同士の友情) 12. 源氏物語(桐壺巻の冒頭を読む) 13. 源氏物語(桐壺更衣の絶唱) 14. 源氏物語(紫上の登場) 15. 源氏物語(末摘花の造形)					
【テキスト】 プリントと『増補改訂 仮名変体集』伊地知鐵男 編(新典社)を使用する。					
【参考図書】 必要に応じて、その都度指示する。					
【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢 20%、提出物と小テスト 30%、期末試験 50% ※出席が10回に満たない場合は、期末試験の受験資格を失う。					

授業科目名： 英語圏文化A				担当教員氏名： ソーンリ サイモン	
履修年次：2～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】 This course uses English at an intermediate level to introduce many aspects of British culture. It is a four-skills course. Students will be encouraged to use knowledge from reading to weigh their opinions in simple discussions and finally to summarise their reactions in writing.					
【授業内容】 1. Course Orientation 2. British English 3. Etiquette 4. Traditional Culture 5. Festivals 6. Fairy Tales 7. Social Conventions 8. Social Institutions 9. Fashion 10. Food 11. Special Occasions 12. National Structure 13. Europe and Britain 14. Humour 15. Revision					
【テキスト】 Teacher will provide all material.					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 Class Participation Score 20%, Final Examination 30%, Homework / Classwork 50%					

授業科目名： 日本作家作品研究				担当教員氏名： 高嶋 哲夫	
履修年次：2～4年	2単位	集中8月	1コマ		
【授業の目的】 小説とメディアの将来的なコラボレーションについて、担当者自身の例などから考慮する。また、岡山県の文学についても紹介したい。					
【授業内容】 1. 自己紹介と小説家の仕事 2. 小説家の仕事 3. 映画と小説 4. 映画と小説 5. 漫画と小説 6. 小説の書き方 7. 「三部作」ができるまで 8. 吉備路文学館について 9. 吉備路文学館について 10. 15枚の小説について 11. テレビドラマと小説 12. テレビドラマと小説 13. 好きな小説 14. 何か書いてみよう 15. まとめ					
【テキスト】 なし					
【参考図書】 高嶋哲夫著『ミッドナイトイーグル』『イントゥルーダー』(文春文庫) 『ダーティユー』(光文社文庫)					
【成績評価の方法】 レポート提出により評価する。					

授業科目名： 流通小売業論				担当教員氏名： 神戸 康弘	
履修年次：3～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 この授業では、『現代商業学』(高嶋克善著)をサブテキストとして、流通小売業論の基本を学んだ後、現実のビジネス展開として、その都度ケーススタディを取り上げる。特に新たに登場した流通小売ビジネスの展開について着目する予定である。					
【授業内容】 1. イントロダクション 2. 商業とは何か―品揃えを形成する商業者 3. 小売商業の構造―小売店舗がどれだけ必要か 4. 卸売商業の構造―なぜ流通が多段階になるのか 5. 商業における信頼関係―商業者はなぜ信頼を重視するのか 6. 商業におけるパワー関係―いかにして取引を統制するか 7. 生産者による流通系列化―なぜ商業者を統制するのか 8. 商業における革新―商業はいかに変化するか 9. 変化する小売業―小売業態の革新 10. 変化する卸売業―卸売業態の革新 11. 小売業ケーススタディ―ユニクロ他 12. 小売業ケーススタディ―スターバックス他 13. 小売業ケーススタディ―イケア他 14. 小売業ケーススタディ―岡山の流通小売業 15. まとめ					
【テキスト】 特になし(プリント配布)					
【参考図書】 『現代商業学』(高嶋克善著) 有斐閣アルマ 『21世紀のチェーンストア―チェーンストア経営の目的と現状』(渥美俊一著) 実務教育出版					
【成績評価の方法】 学期末試験の得点に、受講態度を加味して評価を行う。					

就 実 大 学
(シ ラ バ ス)

生命機能のシステム				小野 浩重
1～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
からだの構造とそのはたらきについて理解を深め、毎日の健康維持と生活の質の向上に役立てるとともに、疾患や薬物治療を学ぶ上での基礎知識を身につけることを目的とする。本講義では解剖生理学をわかりやすく解説するため、イラストや図版を多く用いたテキストを使用するほか、随時ビデオ学習も取り入れる。講義の最初に前回の講義内容より小テストを行う。				
【授業内容】				
1 オリエンテーション、メタボリックシンドローム 2 細胞と組織 3 消化器系 4 血液、造血器、リンパ系 5 循環器系 6 呼吸器系 7 骨格系、筋肉系と運動機能 8 前半(第1回～第7回)の復習 9 内分泌系 10 神経系 11 感覚器系 12 免疫系 13 腎・尿路系 14 皮膚組織、体温調節 15 生殖器系、後半(第9回～第15回)の復習				
【テキスト】				
解剖生理学 人体の構造と機能(羊土社)				
【参考図書】				
解剖整理をおもしろく学ぶ(医学芸術社)				
【成績評価の方法】				
学期末試験の成績及び課題レポートへの取り組みにより総合的に評価する。				

古典文学研究1				岡部 由文
2～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
平安文学の到達と同時に世界文学としての評価の高い『源氏物語』の表現世界に講読という方法によって踏み込み、その豊かさや文化史的価値を理解する。本年度は、光源氏の栄華世界が一転して崩壊へと向かう契機を迎える第2部の始巻巻「若菜上」を対象として読みすすめる。				
【授業内容】				
1. 源氏物語総論①～構成と概要 2. 源氏物語総論②～第一部から第二部への展開 3. 源氏物語総論③～読む方法 4. 「若菜上」巻講読実践① 5. 「若菜上」巻講読実践② 6. 「若菜上」巻講読実践③ 7. 「若菜上」巻講読実践④ 8. 「若菜上」巻講読実践⑤ 9. 「若菜上」巻講読実践⑥ 10. 「若菜上」巻講読実践⑦ 11. 「若菜上」巻講読実践⑧ 12. 「若菜上」巻講読実践⑨ 13. 「若菜上」巻講読実践⑩ 14. 「若菜上」巻講読実践⑪ 15. 「若菜上」巻の表現と問題				
【テキスト】 授業で使用するテキストはeラーニングで配信するが、源氏物語全文を備える単行本を用意することが望ましい				
【参考図書】 必要に応じて授業時に指示する。				
【成績評価の方法】 課題レポート(70%)及び授業態度(30%)によって評価する。				

古典文学講義2				川崎 剛志
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 聖地の図像を、図像学・文学研究の成果に基づいて読み解く技能を身につけることを目標とする。				
【授業内容】 1. 聖地とは？ 2. 聖地の図像① 3. 聖地の図像② 4. 熊野概説 5. 本地仏曼荼羅① 6. 本地仏曼荼羅② 7. 本地仏曼荼羅③ 8. 垂跡神曼荼羅① 9. 垂跡神曼荼羅② 10. 垂跡神曼荼羅③ 11. 宮曼荼羅① 12. 宮曼荼羅② 13. 宮曼荼羅③ 14. 宮曼荼羅④ 15. まとめ				
【テキスト】 中野照男編、『日本の美術 465 山岳信仰の美術 熊野』至文堂 ISBN 4-7843-3465-3				
【参考図書】 授業時に指示				
【成績評価の方法】 受講態度(30%)、小テスト・小レポート(40%)、レポート(30%)				

古典文学研究3				井上 啓治
2～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 近世(江戸)後期文学の代表である八犬伝は、馬琴が理念でつくりあげた理想主義の稗史である。幕末尊王攘夷運動につながる理念と浪漫主義、深い人間観や歴史観、遼遠広大なる教養と精深なる知性を備えているといえよう。テキストを読解し、これらを探求することで、現代に直結する江戸期日本人の倫理と美意識を知ることが目的としたい。				
【授業内容】 1 授業の教材・進行形態等に関するガイダンスと、採りあげる論の概説 2 八犬伝第一部前半〈建国サーガ〉読解1、里見と貴種流離譚 3 読解2、里見と難題譚 4 読解3、里見と援助者 5 読解4、篡奪革命 6 読解5、里見の仁と知 7 読解6、里見の天命による革命と『封神演義』 8 八犬伝第一部後半〈伏姫伝奇〉読解1、伏姫像二様 9 読解2、伏姫と異類婚姻譚 10 読解3、日中の犬婿入り譚 11 八犬伝の犬婿入り譚と世界観・世界構造 12 八犬伝第二部列伝部〈親兵衛第一物語〉読解1、英雄譚 13 読解2、〈親兵衛第二物語〉初めての挫折、〈人を知り世を知る〉 14 読解3、〈親兵衛第三物語〉真の挫折 15 結論、馬琴の理想と願い 16 レポート				
【テキスト】 白井喬二訳『現代語訳南総里見八犬伝 上』(河出文庫)ISBN:978-43099407098 なお高田衛著『完本 八犬伝の世界』(ちくま学芸文庫)を全員に貸し出す				
【参考図書】 諏訪春雄・高田衛編『復興する八犬伝』(勉誠出版)				
【成績評価の方法】 受講態度40パーセント、レポート60パーセント。				

近現代文学講義1				加藤 美奈子
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 近代の歌人の生涯と作品、同時代の評論を読解することを通じて、従来の作品解釈に検討を加えます。一人の歌人(与謝野晶子)を予定しています)を中心として、生涯、同時代の詩人・歌人との影響関係、時代背景と作品について、資料を読解します。先行論文を検証する方法・姿勢を身に付けることを目標としています。				
【授業内容】 小テスト・用紙への記述・提出を毎時実施します。 1近代詩歌の成立と与謝野鉄幹・晶子1 2近代詩歌の成立と与謝野鉄幹・晶子2 3近代詩歌の成立と与謝野鉄幹・晶子3 4近代詩歌の成立と与謝野鉄幹・晶子4 5与謝野晶子『みだれ髪』をめぐって1 6与謝野晶子『みだれ髪』をめぐって2 7与謝野晶子『みだれ髪』をめぐって3 8与謝野晶子『みだれ髪』以降の作品1 9与謝野晶子『みだれ髪』以降の作品2 10与謝野晶子『みだれ髪』以降の作品3 11「明星」の歌人と作品1 12「明星」の歌人と作品2 13「明星」の歌人と作品3 14「明星」の歌人と作品4 15「明星」の歌人と作品5 【テキスト】 使用しません(必要に応じて資料を配布します)。				
【参考図書】 逸見久美『新みだれ髪全釈』(八木書店) 逸見久美編『与謝野晶子『みだれ髪』作品論集成』(大空社)				
【成績評価の方法】 平生点〔小テスト、提出用紙への記述(毎時)〕45% レポート:25% ※「ぶらぼ」からのデータ提出も予定しています。試験〔知識問題+論述問題〕:30%				

近現代文学講義3				松尾 直昭
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 いく種類かの近現代文学理論の理解をはかりたい。理論とは、言わば、作品を説明するときの「ものの見方」である。この「見方」の代表的なものを取り上げ、その見方に立てば、現実の諸面がどのように見えてくるのか、この問題を具体的作品に即して理解したい。				
【授業内容】 1 浪漫主義文学理論 ① ヨーロッパの精神的概観 2 浪漫主義文学理論 ② 神による調和 古典主義 3 浪漫主義文学理論 ③ バイロン「マンフレッド」と北村透谷「蓬莱曲」の文学特質 4 浪漫主義文学理論 ④ ゲーテ「若きウエルテルの悩み」とシラー「群盗」 5 浪漫主義文学理論 ⑤ 明治時代の時代状況 森鷗外の登場「舞姫」「青年」のテーマ 6 自然主義文学理論 ① ゴラとクロード・ベルナール 「実験小説論」の文学理論 7 自然主義文学理論 ② 日本の自然主義理論 長谷川天溪と田山花袋 8 自然主義文学理論 ③ 島崎藤村、田山花袋、永井荷風の文学特質 9 世紀末文学 ① 時代精神の理解 社会変化と貴族の没落 10 世紀末文学 ② ミュッセ「世紀児の告白」と ユイスマンス「さかしま」 11 世紀末文学 ③ ボードレーとベルレーヌ 象徴主義 12 世紀末文学 ④ 永井荷風の耽美と芥川龍之介の不安 13 意識の流れ ① W・ジェイムスと「意識の流れ」の発見 14 意識の流れ ② J・ジョイス「ユリシーズ」の意義 1 15 意識の流れ ③ 川端康成と横光利一の文学特質 【テキスト】 テキストはこちらで準備します 【参考図書】 必要に応じてそのつど指示をする				
【成績評価の方法】 講義内容の区切りのよいところでレポート提出または試験を実施する。この評価と、受講態度、それに加えて、最終試験から授業内容の理解度を判断し、総合的に評価を決定する。				

異文化理解1A				L.ダンテ
2~4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
Students will increase their understanding of the United States, particularly regarding Japanese immigration and the Japanese-American experience. Students will also gain a better understanding of differences between Japanese and American culture.				
【授業内容】				
1 An Introduction to American culture				
2 American socio-cultural history and immigration				
3 A Comparison between Japanese and American Culture				
4 A Comparison between Japanese and American Culture				
5 Picture Bride				
6 Picture Bride				
7 The Japanese-American Experience				
8 The Japanese-American Experience				
9 Come See the Paradise				
10 Come See the Paradise				
11 Post-War Relations				
12 Mr. Baseball				
13 Mr. Baseball				
14 Gung-Ho				
15 Gung-Ho				
16 Review				
【テキスト】				
アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 有斐閣アルマ (ISBN 4-641-12162-1)				
【参考図書】				
【成績評価の方法】				
Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20%				

異文化理解1B				J.スコット
2~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
Students will increase their understanding of Australia by focussing on 3 main themes: Aboriginal Australia, Multicultural Australia, including the Australia-Japan relationship, and Australian lifestyle and popular culture.				
【授業内容】				
1 Course overview, introduction				
2 Aboriginal Australia: Before European Settlement				
3 Aboriginal Australia: European Settlement and its Effects				
4 Multicultural Australia: Early Immigration				
5 Multicultural Australia: Post-war Immigration				
6 Multicultural Australia: Australia and Japan				
7 Multicultural Australia: Australia Now				
8 Lifestyle & Popular Culture: Education				
9 Lifestyle & Popular Culture: Sport				
10 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment				
11 Aboriginal Australia: The Stolen Generations				
12 Aboriginal Australia: Movie 'Rabbit-Proof Fence'				
13 Lifestyle & Popular Culture: Music, Movies, Books, Art				
14 Lifestyle & Popular Culture: What Makes Australia Australian?				
15 Review				
16 Report deadline				
【テキスト】				
No text - Class materials will be supplied				
【参考図書】				
【成績評価の方法】				
Weekly quizzes: 50%, Written reports: (25% + 25%) 50%				

異文化理解2A				J.コックス
2～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 Students will learn about New Zealand culture and history.				
【授業内容】 1. Introduction 2. History 1 3. History 2 4. Animals 5. Maori Culture 6. Sports 7. New Zealand English 8. Famous Events 9. Life in New Zealand 1 10. Life in New Zealand 2 11. Tourism – South Island 12. Tourism – North Island 13. Movies 1 14. Movies 2 15. New Zealand Icons				
【テキスト】 No textbook. Material will be provided by the teacher.				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 participation (20%), class tests (40%), and test (40%)				

異文化理解2B				A.スミス
2～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of the four countries that make up The United Kingdom. We will study both the historical and modern country and compare it with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important				
【授業内容】 1. Introduction & Geography (location, terrain & weather) 2.The UK – Flags, Languages & National Symbols (cultural differences within the UK) 3.The UK – The Historical British Empire (historical global influence) 4.The UK – The New British “Empire” (the globalization of British popular culture) 5. Wales – An Introduction 6. Wales – Castles and the Loss Of Independence (gradual union with England: unique buildings) 7. England – An Introduction. 8.England – London, a world class capital (ethnic minorities in the UK) 9. Scotland – An Introduction 10. Scotland – A Unique Culture (comparison of unique sports and music) 11.Northern Ireland – An Introduction 12.Northern Ireland – “The Troubles” and Sectarian Murals (comparison of unique art forms) 13. Famous British Men & Women (British people of international influence) 14. UK World Heritage Sites (comparison of famous places) 15. Famous Places – Design a Tour of the UK (extension and review)				
【テキスト】 NONE				
【参考図書】 English dictionary Japanese-English dictionary				
【成績評価の方法】 Class Participation 40 %Review Homeworks 10% Study Skills (notes) 10% Written test 40%				

イギリス文化研究1				渡辺 浩
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 文字に記録されているイギリスの歴史を見ても二千年以上にさかのぼる。ヨーロッパとアジアの違いはあるが、同じ島国としてイギリスと日本の文化を比べてみることも興味深い。16世紀以降20世紀にわたる世界への版図の拡大と、現在再びヨーロッパの端に位置しながら大きな影響力を保つ、イギリス独特の文化的特色を学び考察する。				
【授業内容】 1. Introduction 2. Stonehenge / Hadrian's Wall 3. The Arrival of the Anglo-Saxons / The Normans and the Doomsday Book3 4. The English Language 5. The Monarchy in Britain / The Government of Britain 6. Religion in Britain / Festivals in Britain 7. Education in Britain / The Universities in Britain 8. Newspapers in Britain / The British Museum 9. William Shakespeare 10. Sherlock Holmes and the Detective Story / The Culture of Children 11. Popular Music in Britain / The National Trust 12. The Stores / Britain and the Railways 13. Beer and Pubs / Tea and Food in Britain 14. Britain and Sports / Britain and the World 15. Conclusion				
【テキスト】 Adrian J. Pinnington On Britain (株)開文社出版 ISBN 978-4-87571-466-8				
【参考図書】 必要な資料等はその都度配布する。				
【成績評価の方法】 授業参加度(20%) 提出物等(20%) 試験(60%)				

イギリス文化研究2				進藤 秀彦
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 イギリスを舞台とした、あるいはイギリス人を描いたアメリカおよびイギリス政策の映画から英国的なものの捉え方、アメリカ的な人間観を考察する。				
【授業内容】 1 Introduction 2 How Green Was My Galley(「わが谷は緑なりき」1941年) 3 How Green Was My Valley(「わが谷は緑なりき」1941年) 4 Wuthering Heights(「嵐が丘」1939年) 5 Wuthering Heights(「嵐が丘」1939年) 6 My Fair Lady, 1956 7 A Room with a View(「眺めのいい部屋」1986年) 8 A Room with a View(「眺めのいい部屋」1986年) 9 The Queen(2006)とその周辺作品 10 Roman Holiday(「ローマの休日」1953年) 11 Notting Hill(「ノッティングヒルの恋人」1999年) 12 Notting Hill(「ノッティングヒルの恋人」1999年) 13 1959/60年代のミュージカル映画 14 1980年代のイギリス映画 15 新しい英王室関連映画				
【テキスト】 プリント配付				
【参考図書】 それぞれの映画のDVD				
【成績評価の方法】 評価は、マイカの授業への予習の度合い(各自のDVD鑑賞を含む)、提出課題の内容などの総合評価により行う。				

イギリス文化研究3				進藤 秀彦
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 英国ではNational Trust による景観保存や政府機関National Heritage の歴史的建造物の指定など、自然や歴史遺産を現代に保存し生かそうとする意識が強固に根付いている。そのありようを考察していきたい。				
【授業内容】 1 Edinburgh:Old Town と New Town 2 Edinburgh International Festival 3 Bath:美観都市 4 Bristol:造船と貿易の町 5 Stonehengeと世界遺産 6 Cotswoldsの村 7 York:城塞に囲まれた都市 8 York:城塞に囲まれた都市 9 Yorkshire Dales 10 Yorkshire Dales 11 Yorkshire Dales 12 Cambridge:Town(町)とGown(大学) 13 Cambridge:Town(町)とGown(大学) 14 National Trust 15 National Heritage				
【テキスト】 資料配布				
【参考図書】 授業第1回で提示する				
【成績評価の方法】 評価は、開会の授業への予習の度合い、提出課題の内容などの総合評価により行う。				

アメリカ文化研究1				有木 恭子
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 世界で最も影響力のあるアメリカ合衆国はどのようにして形成されたのか、また、アメリカの歴史は文化の形成にどのように関わっているかを理解する。 岡山の文化の発信に取り組む。				
【授業内容】 1. First Arrival 2. England Takes the Lead 3. The Pilgrims and new England 4. America Grows to Thirteen Colonies 5. Trouble with England 6. Revolution! 7. Shaping a New Government 8. Marching Westward 9. The Civil War 10. America Grows Up 11. World war I 12. The Great Depression 13. World War II-The Western Front 14. World War II-The Pacific Front 15. The Counterculture of the 1960s				
【テキスト】 染矢正一他 やさしく読めるアメリカ史 朝日出版社 ISBN 978-4-255-15323-0				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 予習課題・提出物・授業への参加度(60%)、試験(40%)				

アメリカ文化研究2				有木 恭子
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 アメリカの多様性に富む事象を知り、現在アメリカが直面している問題を理解する。 岡山の文化の発信に取り組む(後樂園)				
【授業内容】 1. American Immigrant Roots 2. The Trail of Tears 3. Jews and American Culture 4. The Illegal Immigration Problem 5. The American “Gun Society” 6. Barack Obama: Breaking through the Glass Ceiling 7. Envy, Greed and Financial Collapse 8. American Mega-Churches 9. Interracial Marriages—Then and Now 10. Fast Food vs. the Sustainable Food Movement 11. Helicopter parents 12. “Intellidating”—The Attraction of the Mind 13. The Same-Sex Marriage Battle 14. An American Who Refused to Quit 15. The Future of American Society				
【テキスト】 Gary Dendo/ Masako Dendo America in Motion 成美堂 ISBN 978-4-255-7919-3128-6				
【参考図書】 池田智・松本利秋 早わかりアメリカ				
【成績評価の方法】 予習課題・提出物・授業への参加度(60%)、試験(40%)				

アメリカ文化研究3				長瀬 恵美
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 アメリカ社会に通じている者ならばよく知っていることであるが、多くの日本にとっては普段イメージしているアメリカの姿とは異なっていると思われるアメリカの問題について知ることにより、現代のアメリカ事情をより深く知ることが目標とする。				
【授業内容】 1 Laughing Matters 2 A Spreading Problem 3 Juneteenth 4 Father’s Day 5 Watch Your Language 6 A New York State of Mind 7 Illegal 8 Living with Animals 9 Speaking of Facebook 10 What Men Want 11 Don’t Shoot! 12 Good Question 13 Making the Grade 14 And Justice for All 15 The U.S.A. at a Glance 16 試験				
【テキスト】 テキスト編著者名 Author / Editor Jim Knudsen 書名 Title U.S.A. Update 出版社 Publisher Nan’un-do ISBN 978-4-523-17693-0				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 授業への準備、参加度(20%)、課題(20%)、試験(60%)の総合評価による。				

日本史講義1A				曾根 正人
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 日本仏教とはかなり相違する仏教の源流(古代インド仏教)の様相と歴史的背景に光を当て、世界仏教の中における日本仏教の位相を確認せしめる。				
【授業内容】 1. 日本仏教は仏教か？ 2. シャカが生まれた世界 —古代インド世界— 3. シャカが生まれた時代 4. シャカの生涯 5. シャカの教え 6. シャカの時代の教団 7. シャカ入滅直後の教団 8. 上座部(小乗)仏教の成立 9. 上座部仏教の教え ① 10. 上座部仏教の教え ② 11. 大乘仏教の源流 12. 初期大乘仏教の思想 13. 中期大乘仏教の思想 14. 後期大乘仏教の思想 15. 日本仏教への道				
【テキスト】				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 学期中に提示される課題図書についての論評レポート(400字×12～15枚)の提出を成績評価の大前提とする(未提				

日本史講義2C				苅米 一志
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。各回とも近年の主要な研究テーマや専門用語にもとづいて立項し、時代順に並べて解説する。時代の範囲は摂関・院政期から戦国時代末期までとする。				
【授業内容】 1 鎌倉・室町という時代 2 東アジア世界の中で 3 治承・寿永の内乱 4 武家政権の本格的展開 5 権門体制論について 6 荘園制の形成と展開 7 顕密体制論について 8 鎌倉・室町の民衆生活① 9 鎌倉・室町の民衆生活② 10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱 11 室町幕府と足利氏 12 守護大名の台頭 13 室町時代の文化 14 戦国大名の登場 15 授業のまとめ				
【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。				
【参考図書】 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年)				
【成績評価の方法】 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。				

日本史講義3C				山田 芳則
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
ペリー来航以降の幕末期を対象として、開国のプロセスとその影響、公武合体と尊王攘夷運動、さらには討幕運動などの諸相を、具体的に考察することを目的とする。				
【授業内容】				
1 黒船の威圧と和親条約 2 阿部正弘の幕政改革 3 ハリスと通商条約 4 安政の大獄 5 和宮降嫁 6 開国の波紋 7 天誅の季節 8 一橋慶喜と松平慶永政権 9 下関と鹿児島 10 尊攘運動の敗退 11 長州征討と幕仏同盟 12 薩長同盟の成立 13 長州再征と幕府の敗退 14 討幕と大政奉還 15 まとめ				
【テキスト】				
プリント配布				
【参考図書】				
井上 清 『日本現代史 I』(東大出版) 石井 孝 『明治維新の国際的環境』(吉川弘文館) 井上 勲編 『開国と幕末の動乱』(吉川弘文館)				
【成績評価の方法】				
テストの成績に授業態度を加味する。				

ヨーロッパ・アメリカ史講義1C				福田 誠
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
ビザンツ帝国後期の歴史を詳しくたどりながら、ブルガリア、ハンガリー、セルビア、ロシアなど、周辺諸国の動向についても学び、東ヨーロッパの中世史を再認識したい。				
【授業内容】				
1. 8世紀までの歴史経過① 2. 8世紀までの歴史経過② 3. 聖画像禁止運動の終焉 4. マケドニア朝の成立 5. ビザンツ帝国の最盛期① 6. ビザンツ帝国の最盛期② 7. ビザンツ帝国の衰退と再建 8. 軍人貴族による支配① 9. 軍人貴族による支配② 10. 第4回十字軍 11. ラテン帝国と周辺勢力 12. ビザンツ帝国の復興① 13. ビザンツ帝国の復興② 14. オスマントルコの台頭 15. ビザンツ帝国の滅亡				
【テキスト】				
講義ノートと関連資料を印刷して配布する。				
【参考図書】				
オストロゴルスキー『ビザンツ帝国史』(恒文社, 2001年), カプラン『黄金のビザンティン帝国』(創元社, 1993年), 尚樹啓太郎『ビザンツ帝国史』(東海大学出版会, 1999年), ルメルル『ビザンツ帝国史』(白水社, 2003年)など				
【成績評価の方法】				
講義内容に関連したレポート(2400字前後)の成績と出席状況(欠席数, 受講態度など)を考慮して評価する。詳細は、授業中に伝達する。				

ヨーロッパ・アメリカ史講義2B				福田 誠
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 コロンブスを代表とする大航海時代の冒険者たちが共有した幻想的な世界地理観をめぐり、どのような経緯でそうした幻想的地理観念が形成されていったかを明らかにしたい。				
【授業内容】 1. 幻想的世界地理観の背景 2. 古典古代における探検と地理知識① 3. 古典古代における探検と地理知識② 4. 古典古代における探検と地理知識③ 5. 中世西ヨーロッパ人の探検と地理知識① 6. 中世西ヨーロッパ人の探検と地理知識② 7. プレスター・ジョン伝説の展開① 8. プレスター・ジョン伝説の展開② 9. プレスター・ジョン伝説の展開③ 10. モンゴル帝国との交渉① 11. モンゴル帝国との交渉② 12. モンゴル帝国との交渉③ 13. モンゴル帝国との交渉④ 14. 地中海から大西洋へ① 15. 地中海から大西洋へ②				
【テキスト】 講義ノートと関連資料を印刷して配布する。				
【参考図書】 織田武雄『地図の歴史』（講談社、1974年）、ボイス・ペンローズ『大航海時代』（筑摩書房、1985年）、福田誠「プレスター・ジョン伝説(1)～(3)」『就実女子大学史学論集』第3号、第4号、第6号(1988～1991年)など				
【成績評価の方法】 講義内容に関連したレポート(2400字前後)の成績と出席状況(欠席数、受講態度など)を考慮して評価する。詳細は、				

13022

アジア史講義1A				李 開元
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 近年以来、中国古代史を塗り替える発掘と発見が次々に出ており、中国古代史は全面的に書き直さなければならない局面に迫られることになった。				
【授業内容】 1. 授業の概略と説明 2. 馬王堆漢墓の発見と発掘 3. 貴婦人の遺体と豪華な副葬品 4. 馬王堆漢墓の主人について 5. 文献による軟侯家族のこと 6. 『史記』を調べる 7. 『漢書』を調べる 8. 軟侯の家系 9. 垓下の会戦 10. 皇帝の詔書 11. 軟侯家族と漢代社会 12. 軟侯の人物像 項羽の死 13. 始皇帝暗殺事件 14. 鴻門の会 15. 項羽の死				
【テキスト】				
【参考図書】 『馬王堆漢墓のすべて』何介鈞・張維明編著(田村正敬・福宿孝夫訳、中国書店、1992年) 李 開元『漢帝国の成立と劉邦集団一軍功受益階層研究一』、汲古書院、2000年				
【成績評価の方法】 レポートおよびテストにより評価する。				

アジア史講義2A				井上 あえか
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 南アジア近・現代史を論じる。現在の地域紛争と国際情勢を歴史的に理解し、戦争と平和を自分のことばで語れるようになることを目的とする。				
【授業内容】 1. アフガニスタンの復興と「タリバン化」問題 2. パキスタンの軍・政治・イスラーム 3. インドの民主主義 4. 現代のイスラーム 5. デリー・スルタン朝とムガル帝国 6. ムガルの建築物 7. ムガルの細密画 8. イギリス東インド会社と英領インド 9. インド大反乱と独立運動 10. ヒンドゥー・ムスリム対立の起源 11. 独立運動とインド・パキスタンの分離(AV教材) 12. バングラデシュの独立 13. スリランカの民族紛争 14. 帰還兵から見た戦争(AV教材) 15. 平和主義の未来に向けて				
【テキスト】 とくに指定しない。				
【参考図書】 教室で適宜指示する。				
【成績評価の方法】 学期末に課すレポートで評価する。				

歴史遺産講義1C				賈 鍾壽
3～4年	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 歴史遺産を中心に取り上げ、日本と朝鮮半島の交流史の理解を深める				
【授業内容】 1. オリエンテーション 2. 日韓の交流史(弥生時代の交流) 3. 日韓の交流史(古墳時代) 4. 日韓の交流史(伽耶) 5. 仏教伝来と朝鮮半島 6. 日韓の交流史(高句麗) 7. 日韓の交流史(百濟) 8. 日韓の交流史(新羅) 9. 日韓の交流史(統一新羅) 10. 日韓の交流史(高麗) 11. 日韓の交流史(朝鮮) 12. 吉備と朝鮮半島 13. 日韓の交流の2000年の歴史(1) 14. 日韓の交流の2000年の歴史(2) 15. 日韓の交流の2000年の歴史(3)				
【テキスト】 授業中、適宜資料を配布する				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 講義内容の中から1つのテーマを選んでレポートをまとめる。(3000字以上)				

歴史遺産講義2C				U本 勇
3～4年	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 観光の歴史やそれらを取り巻く観光産業を概観し、歴史や文化を感じる観光地との結びつきを考察する。				
【授業内容】 1. 最新の観光事情の概要 2. 観光産業の歴史 1 3. 観光産業の歴史 2 4. 観光関連産業と経済効果 5. 観光資源と地域の文化資源 1 6. 観光資源と地域の文化資源 2 7. 観光メディアの多様化 8. 主要観光施設の概要 1 9. 主要観光施設の概要 2 10. 日本の観光資源の概要 1 11. 日本の観光資源の概要 2 12. 歴史・文化を中心とした観光地の取り組み 1 13. 歴史・文化を中心とした観光地の取り組み 2 14. 持続可能な観光地づくり 15. まとめ				
【テキスト】 井口 貢編著 観光学への扉 学芸出版社 ISBN978-4-7615-2446-3				
【参考図書】 関連する書籍、文献を各自で参照すること。				
【成績評価の方法】 受講態度やレポートによる評価。				

薬学海外研修				須藤鎮世
薬学科在籍の5年	2単位	前期	1コマ	(最低催行人員は約10名である)
【授業の目的】 1. 海外文化に触れ、グローバルな視点を養う。2. 読む、書く、聞く、話すという薬学英语を修得する。 3. 海外の病院、薬局、薬学部を見学し、日本との異同を認識する。4. 海外の医療制度、健康保険制度を知る。5. ホームステイをし、海外生活を体験する。6. 英語が話せる薬剤師をめざし、生涯教育の契機とする。				
【授業内容】 1 事前学習1 海外研修の概要、書式整備 2 事前学習2 ホームステイと基礎英会話 3 事前学習3 薬学英语の基礎 4 海外研修一薬学英语の基本用語 5 海外研修一薬学英语を話す技術 6 海外研修一薬学英语を読む技術 7 海外研修一薬学英语を聞く技術 8 海外研修一薬学英语を書く技術 9 海外研修一薬学英语を利用したロールプレイ 10 海外研修一オーストラリアにおける薬剤師教育制度 11 海外研修一オーストラリアにおける薬剤師職能論 12 海外研修一オーストラリアの医療および保険制度 13 海外研修一病院訪問 14 海外研修一薬局訪問 15 海外研修一クイーンズランド大学薬学部訪問				
【テキスト】 Handbook for Overseas Study (株)アイネッツ国際教育 (非売品)				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 事前学習、研修における授業評価、帰朝報告書等で総合的に評価する。				

中国学園大学
(シラバス)

授業科目名		生物学			担当教員氏名	金澤 浩
履修年次	単位数	開講期	コマ数	(留意事項がある場合は記入)		
1年	2単位	前期	1コマ			
【授業の目的】						
地球は太陽系の生命がすむただ一つの天体である。地球に存在する多量の水の中に生まれた生命は長い年月を費やしてヒトという素晴らしい生命体に進化してきた。ヒトを含めた生命体は特有な物質の化学反応によって支えられている。本講義では、30億年の歳月の中で生物が獲得してきた生物の生きる仕組みを理解していくことを目的にする。生命を支えている物質、即ちタンパク質、糖質、脂質、核酸などが、分子のレベルで生命現象にどのように関わり合っているかを理解し、これらの物質の食物連鎖の過程での連続性や酸素、窒素、炭素、水素等の原子の循環、生命を支える水の循環の仕組みを学び、管理栄養士としてより広範で基本的な素養を培っていく。						
【授業内容】						
1地球の誕生 2生命の誕生と進化 3生命体の社会:細胞の社会 4酵素, ビタミン, ホルモン, 補酵素 5エネルギー代謝:発酵と有気呼吸遺伝子の働き 6呼吸:外呼吸と内呼吸 7生体の恒常性:循環器官と排泄器官 8消化と自律神経系 9栄養の摂取と消化器官 10代謝とビタミン 11物質代謝とホルモン 12生活環境と栄養源 13環境汚染と食物 14人間と地球環境 15まとめ						
【テキスト】						
『「生物学」ヒトの環境と生命科学』, 川崎祥二・古庄 律 編著, 建帛社 『ヒューマン バイオロジー 人体と生命』, 坂井健雄・岡田隆夫, 医学書院						
【参考図書】						
『好きになる生物学』, 吉田邦久, 講談社サイエンスブック 『ゆかいな生物学』, F. ヘブナー 著(黒田玲子 訳), 朝倉書店						
【成績評価の方法】						
講義中に行う小試験と期末に行う試験及び講義の学習態度などから総合評価する。						

授業科目名		基礎化学			担当教員氏名	中尾 安男
履修年次	単位数	開講期	コマ数	(留意事項がある場合は記入)		
1年	2単位	前期	1コマ			
【授業の目的】						
食品, 栄養などの関連する専門科目の授業を理解するために必要な化学の基礎知識・基本概念について取り上げる。日常生活に関連する題材を取り上げるなかで, 原子・イオン・分子・酸と塩基・酸化と還元・溶液の濃度などに関する基本に触れる。それによって, 化学の基礎知識を身につけ, 演習問題を解けるようにすること。						
【授業内容】						
1化学と人類のかかわり 2原子の電子配置 3元素の分類(周期表) 4物質の存在状態(化学結合 I) 5物質の存在状態(化学結合 II) 6物質と濃度(モル濃度) 7物質と濃度(質量%, 規定濃度) 8酸・塩基(1)(定義, 中和) 9酸・塩基(2) 中和の計算演習, pH 10酸化・還元(1)(定義と実例) 11酸化・還元(2)(演習) 12化学反応(1)(化学反応の基礎) 13化学反応(2)(触媒, 酵素) 14まとめ(1) 15まとめ(2)						
【テキスト】						
『これからはじめる化学』, 安藤達彦 著, 三共出版						
【参考図書】						
【成績評価の方法】						
受講態度, 期末試験の成績, レポート, 小テスト, などにより評価						

授業科目名		微生物学			担当教員氏名	岡部 昭延
履修年次	単位数	開講期	コマ数	(留意事項がある場合は記入)		
2年	2単位	前期	1コマ			
【授業の目的】						
目には見えない生き物＝微生物が、私たちの生活や生命活動にどのように関わりあい、影響しあっているか、その概要を知り実生活に活用する知識と技術を学ぶ。これにより、食品の生産・腐敗・中毒を起こすもの、感染症をおこすもの、環境の浄化・維持に関わる微生物等の特徴を明瞭に述べることができ、その安全な取り扱い方を説明し、実行することができる。						
【授業内容】						
1微生物の発見から先端的バイオテクノロジーの発展まで 2微生物の種類と分類、微生物の発生・進化、細菌、ウイルス、真菌、原虫 3微生物が生きる方法、物質代謝の基礎、微生物の発育と培養 栄養素と環境条件 4微生物の遺伝子の構造、転写・翻訳の機構、変異と水平伝播の機構、組み換え操作 5微生物はどんな方略で宿主へ感染するか、共生・寄生・感染、常在細菌叢 6感染免疫のしくみ、宿主の感染防御のしくみ、自然免疫、獲得免疫、アレルギー 7感染症の病態、病原体、伝播経路、症状、経過、感染症の管理・指導、感染症と栄養 8急性、慢性、遷延感染症の病態・経過の特徴、感染症に関わる法律、国際感染症 9微生物制御法と安全取扱い、滅菌・消毒の原理と方法、無菌操作バイオハザード 10食べ物による感染症と過敏症：食中毒原因病原微生物、水系感染症、肝炎など 11微生物による健康維持・感染防御、プレバイオティックス、プロバイオティックス 12環境微生物と環境感染、環境を浄化する微生物、環境感染、院内感染・日和見感染 13食品の安全管理に関わる微生物、食品付着微生物、汚染指標微生物、HACCPの概念 14微生物を利用する食品製造・加工(食品微生物工学)、細菌、真菌(糸状菌、酵母) 15微生物の産業利用、抗生物質の生産、酵素資源、化学物質の生産、生物活性物質						
【テキスト】						
『微生物学』林 英生・松井徳光 編著、建帛社						
【参考図書】						
『ブラック微生物学』、林・岩本・神谷・高橋 監訳、丸善 『感染症半世紀』、竹田美文、アイカム 『戸田新細菌学』、吉田・柳 編						
【成績評価の方法】						
授業時間内に行う授業課題について時間内に10～20分のクイズを実施する。 期末に実施する定期試験。						

授業科目名		食品学Ⅰ			担当教員氏名	太田 義雄
履修年次	単位数	開講期	コマ数	(留意事項がある場合は記入)		
1年	2単位	後期	1コマ			
【授業の目的】						
食生活について食物の歴史、健康、環境などの観点から解説するとともに食品の5大栄養素についての化学と特性について学ぶ。また、食品の化学的な変化と食品成分の特性についても学ぶ。さらに、食品の機能性成分および保健機能食品の法令等についても学び、食品に関する総合的な基礎知識について習得する。						
【授業内容】						
1人間と食物、食品の分類 2食品成分の化学(水分) 3食品成分の化学(炭水化物) 4食品成分の化学(脂質) 5食品成分の化学(アミノ酸、ペプチド、たんぱく質) 6食品成分の化学(たんぱく質の構造、性質) 7食品成分の化学(ミネラル、ビタミン) 8非栄養成分、呈味成分 9～12食品成分の変化と栄養 13～14食品機能と保健機能食品 15まとめ						
【テキスト】						
『わかりやすい食物と健康①(食品とその成分)』、吉田 勉 監修、三共出版						
【参考図書】						
『食品学総論』、森田潤司・成田宏史 編、化学同人						
【成績評価の方法】						
中間テスト、小テスト、期末テストの成績により評価する。						

授業科目名		衛生学			担当教員氏名	嶋田 義弘
履修年次	単位数	開講期	コマ数	(留意事項がある場合は記入)		
3年	2単位	前期	1コマ			
【授業の目的】						
健康で幸せな生活を営むためには日常的に清潔な環境の維持が大切である。特に、食物を扱う者にとっては衛生的知識に基づく十分な配慮が不可欠である。本講では、生活環境を中心とする衛生的知識を科学的な見地から系統的に学習する。それにより、社会あるいは家庭において、人びとの健康を維持増進していくための基礎知識を身につける。また、管理栄養士国家試験の「社会・環境と健康」の分野での十分な実力を身につける。						
【授業内容】						
1環境と健康 2環境衛生－大気 3環境衛生－水 4環境衛生－放射線 5環境保全－大気汚染と健康 6環境保全－水質汚濁と健康 7国家試験問題の演習 8産業保健－現状と対策 9産業保健－職業病 10学校保健 11社会保障 12社会保障 13高齢者保健 14国家試験問題の演習 15まとめ						
【テキスト】						
『社会・環境と健康』、田中平三・辻一郎・吉池信男 編、南江堂						
【参考図書】						
『基礎衛生・公衆衛生学』、緒方正名 編、朝倉書店 『国民衛生の動向』、厚生統計協会						
【成績評価の方法】						
試験、授業態度(小テストを含む)の総合点で行う。						

授業科目名		栄養教育論Ⅰ			担当教員氏名	村上 淳
履修年次	単位数	開講期	コマ数	(留意事項がある場合は記入)		
2年	2単位	後期	1コマ			
【授業の目的】						
栄養教育論では、栄養学に関する知識を駆使し、食事を通して健康管理に関するサービスを提供していくために必要となる実践手法の理論を学ぶ。この栄養教育論Ⅰでは、栄養教育に関する総論的な内容をはじめ管理栄養士と栄養士の違い、栄養教育の現代の流れについて学び、現代の食生活を把握し、栄養教育の総論的内容について講義を行うことで、管理栄養士と栄養教育についての知識を習得する。						
【授業内容】						
1栄養教育の概念① 栄養教育の定義とその目的(食と関連問題の俯瞰) 2栄養教育の概念② 管理栄養士と栄養士の役割と制度 3栄養改善と栄養教育(栄養指導)の歴史① 4栄養改善と栄養教育(栄養指導)の歴史② 5管理栄養士と栄養士① 6管理栄養士と栄養士② 7前半部まとめ 8栄養教育の今①(食環境づくりと栄養教育) 9栄養教育の今②(近年の動向、国際的内容も含む) 10栄養教育と栄養に関する情報①(栄養情報収集とその情報源、現代の食生活と栄養教育) 11栄養教育と栄養に関する情報②(食生活・栄養に関する調査) 12栄養教育と計画①(栄養教育計画の基本的考え方など) 13栄養教育と計画②(栄養記録と媒体の活用) 14まとめ①(履修内容の質問とまとめ) 15まとめ						
【テキスト】						
『エキスパート 栄養教育論』、川田智恵子・村上 淳 編著、化学同人						
【参考図書】						
その他 その都度提示する。						
【成績評価の方法】						
定期試験の成績、受講態度(提出物等も含む)を総合して評価する。						

ノートルダム清心女子大学

(シ ラ バ ス)

キリスト教学Ⅱ				山根 道公																
履修年次:1～4年	2単位	第1期	1コマ	授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに毎回、意見・質問等を書いてもらう。受講生は主体的に授業に臨むこと。																
【授業の目的】 死にたいと思うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望を見出し、その喜びを文学作品に表した人たちがいる。そうした作品にも触れながら、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのようなものなのかを考察する。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を学ぶ。 キリスト教の原点であるイエスの生涯とその福音について理解し、またそのために必要なキリスト教の基礎知識を習得する。																				
【授業内容】																				
<table border="0"> <tr> <td>1 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち</td> <td>9 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告</td> </tr> <tr> <td>2 『新約聖書』の構成・風土的背景</td> <td>10 死を覚悟したエルサレムへの旅</td> </tr> <tr> <td>3 イエスの生誕、クリスマスの意味</td> <td>11 エルサレム入城と最後の晩餐</td> </tr> <tr> <td>4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム</td> <td>12 イエスの受難と十字架の死</td> </tr> <tr> <td>5 神の国の福音宣教、公生活の開始</td> <td>13 イエスの復活顕現物語</td> </tr> <tr> <td>6 奇跡物語と慰め物語</td> <td>14 現代人とイエスの福音</td> </tr> <tr> <td>7 イエスの祈り</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争</td> <td>期末試験</td> </tr> </table>					1 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち	9 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告	2 『新約聖書』の構成・風土的背景	10 死を覚悟したエルサレムへの旅	3 イエスの生誕、クリスマスの意味	11 エルサレム入城と最後の晩餐	4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム	12 イエスの受難と十字架の死	5 神の国の福音宣教、公生活の開始	13 イエスの復活顕現物語	6 奇跡物語と慰め物語	14 現代人とイエスの福音	7 イエスの祈り	15 まとめ	8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争	期末試験
1 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち	9 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告																			
2 『新約聖書』の構成・風土的背景	10 死を覚悟したエルサレムへの旅																			
3 イエスの生誕、クリスマスの意味	11 エルサレム入城と最後の晩餐																			
4 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム	12 イエスの受難と十字架の死																			
5 神の国の福音宣教、公生活の開始	13 イエスの復活顕現物語																			
6 奇跡物語と慰め物語	14 現代人とイエスの福音																			
7 イエスの祈り	15 まとめ																			
8 ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争	期末試験																			
【テキスト】 遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)																				
【参考図書】 『聖書』																				
【成績評価の方法】 受講態度・毎回課スリアクイションペーパー:30%, 期末試験:70%																				

キリスト教学Ⅲ				山根 道公																
履修年次:1～4年	2単位	第2期	1コマ	授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに毎回、意見・質問等を書いてもらう。受講生は主体的に授業に臨むこと。																
【授業の目的】 新約聖書の中の使徒言行録とパウロの書簡を中心に読む。イエスの死後、イエスを見捨てて逃げた弱い弟子たちが、イエスをキリスト(救い主)と呼び、信念を持った使徒となり、原始キリスト教が成立し、さらにキリスト教徒を迫害していたパウロが回心して異邦人伝道の使徒となることでキリスト教がヘレニズム世界に広がる。そうした歴史的展開を学びながら、弱かった弟子たちが、何故に強い信念の使徒に変貌できたのかを考察する。また、そうした伝道の苦難の中で書かれたパウロの書簡からキリスト教の本質に触れる言葉を学ぶ。 キリスト教が成立し、ヘレニズム世界に広がる歴史的展開について理解し、またパウロの書簡の言葉を学び、キリスト教についての基礎知識を習得する。																				
【授業内容】																				
<table border="0"> <tr> <td>1 導入:現代人とパウロの言葉</td> <td>9 パウロの第3次伝道旅行とローマへの旅</td> </tr> <tr> <td>2 『新約聖書』の使徒言行録と書簡の概説・風土的背景</td> <td>10 ベトロの殉教、パウロの殉教</td> </tr> <tr> <td>3 原始キリスト教の出発</td> <td>11 ユダヤ戦争と原始キリスト教</td> </tr> <tr> <td>4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノの殉教</td> <td>12 原始キリスト教の発展</td> </tr> <tr> <td>5 迫害者パウロの回心</td> <td>13 原始キリスト教と福音宣教</td> </tr> <tr> <td>6 原始キリスト教におけるエルサレムとアンティオキア</td> <td>14 パウロの書簡より、愛の賛歌、苦しみの連帯</td> </tr> <tr> <td>7 パウロの第1次伝道旅行</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 パウロの第2次伝道旅行</td> <td>期末試験</td> </tr> </table>					1 導入:現代人とパウロの言葉	9 パウロの第3次伝道旅行とローマへの旅	2 『新約聖書』の使徒言行録と書簡の概説・風土的背景	10 ベトロの殉教、パウロの殉教	3 原始キリスト教の出発	11 ユダヤ戦争と原始キリスト教	4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノの殉教	12 原始キリスト教の発展	5 迫害者パウロの回心	13 原始キリスト教と福音宣教	6 原始キリスト教におけるエルサレムとアンティオキア	14 パウロの書簡より、愛の賛歌、苦しみの連帯	7 パウロの第1次伝道旅行	15 まとめ	8 パウロの第2次伝道旅行	期末試験
1 導入:現代人とパウロの言葉	9 パウロの第3次伝道旅行とローマへの旅																			
2 『新約聖書』の使徒言行録と書簡の概説・風土的背景	10 ベトロの殉教、パウロの殉教																			
3 原始キリスト教の出発	11 ユダヤ戦争と原始キリスト教																			
4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノの殉教	12 原始キリスト教の発展																			
5 迫害者パウロの回心	13 原始キリスト教と福音宣教																			
6 原始キリスト教におけるエルサレムとアンティオキア	14 パウロの書簡より、愛の賛歌、苦しみの連帯																			
7 パウロの第1次伝道旅行	15 まとめ																			
8 パウロの第2次伝道旅行	期末試験																			
【テキスト】 遠藤周作『キリストの誕生』(新潮文庫)																				
【参考図書】 『聖書』																				
【成績評価の方法】 受講態度・リアクイションペーパー:30%, 期末試験:70%																				

キリスト教学Ⅶ				原田 豊己
履修年次:1～4年	2単位	第2期	1コマ	旧・新約聖書を持参すること。
【授業の目的】				
新約聖書のギリシア語原文に挑戦する。原文からの批判的口語訳を行う。また、写本学の入門的なことを解説する。ギリシア語の発音が出来る。				
【授業内容】				
マタイ福音書 6章9—13節 「主の祈り」				
1 オリエンテーション				9「主の祈り」の逐語訳 12-13節
2 ギリシア語アルファベット				10「主の祈り」の構造分析
3 ギリシア語発音				11「主の祈り」の神学 ① なぜ「天」が複数形か
4 「主の祈り」の原典発音				12「主の祈り」の神学 ② 「国」か「支配」か
5 「主の祈り」の品詞 9-10節				13「主の祈り」の神学 ③ 「負債」の連鎖
6 「主の祈り」の品詞 11-12節				14「主の祈り」の神学 ④ 「主の祈り」の意義
7 「主の祈り」の品詞 13節				15 写本学の基礎
8 「主の祈り」の逐語訳 9-11節				16 定期試験
【テキスト】				
旧・新約聖書(手持ちのもので可)。				
【参考図書】				
プリントを配布します。その他授業で指示します。				
【成績評価の方法】				
授業への参加度:30%, 定期試験:70%				

身体科学				保江 邦夫他1名
履修年次:1～4年	2単位	第2期	1コマ	毎回座学の外に演習も行うので、受講者は運動着または床面での運動が可能な衣服で出席すること。
【授業の目的】				
身体運動の科学について、静力学・並進動力学・回転動力学等の物理的観点、並びに日本武道や少林寺拳法に伝わる精神技法的観点から論じ、現代社会におけるコミュニケーション技法のひとつとしてのボディーバランスコミュニケーション技法にまで進む。単なる座学としての理解ではなく、各自が日々実践することができるレベルまでの本質的理解を目指す。				
【授業内容】				
1 武道における身体運動				9 BBC第四課
2 身体運動制御と力学				10 BBC第五課
3 身体運動制御と精神				11 BBC第六課
4 身体と精神				12 BBC技法体系
5 ボディーバランスコミュニケーション(BBC)とは？				13 社会コミュニケーションと身体運動
6 BBC第一課				14 自者と他者から自他融合へ
7 BBC第二課				15 まとめ
8 BBC第三課				16 定期試験
【テキスト】				
なし				
【参考図書】				
宋監修・山崎／治部／保江共著『ボディーバランスコミュニケーション』(海鳴社)				
【成績評価の方法】				
毎回の演習課題テスト:30%, 取り組みの態度:40%, 定期試験:30%				

英語学概論 I				山部 順治
履修年次:1~4年	2単位	第1期	1コマ	英和辞典を持参のこと。電子辞書は厳禁。
【授業の目的】 言語学の入門。 我々が普段話していることばには、いろいろな「興味深い」特徴が隠れている。この授業では、どのような事実がどのように「興味深い」のか、また、その事実をどんな方法で発掘していくのか、解説する。取り扱う言語は、英語と日本語。言語学は、高校の英文法学習とは大きく異なることを実感してほしい。 ことばを研究するとはどんなことかを理解する。また、自分が理解したことを分かりやすく他人に伝える姿勢を身に付ける。				
【授業内容】 1—4. 音声学・音韻論 —言葉の音について— 1. 同じ音に感じられるが物理的には違う音 2. 違う音に感じられるが物理的には同じ音 3. 音節 4. アクセント 5,6. 復習 5. 筆記試験(中間試験), ほか 6. 試験の答え合わせ 7—10. 形態論 —単語について— 7. 派生語 8. uncoverable (こは意味が2つある) 9. 複合語 10. cat food supplierには意味が2つある 11—14. 方言学・社会言語学 11. 方言とは何か; 語彙に関する変異 12. 発音・活用に関する変異 13. 文法に関する変異 14. 世代差と現在進行中の変化 15,16 復習 15. 筆記試験(期末試験), ほか 16. 試験の答え合わせ				
【テキスト】 毎回ハンドアウト(印刷物)を配布する。教科書はない。				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 ○ 配点 筆記試験 中間試験(第6回授業):25%, 期末試験(第15回授業):35%, 提出物:40% ○遅刻が3回以上ある場合、第1回分から欠席として数える。				

日本語文法論 I				星野 佳之
履修年次:1~4年	2単位	第1期	1コマ	授業の内容上、講義はいわゆる学校文法の理解の上に成り立つ。学校文法を授業中に復習・確認することは最低限に抑えたいので、履修する場合は、高校までに学習した文法をなるべく早い時点で復習することが必要となる。
【授業の目的】 日本語の文法について、概説する(現代語)。 文法とは言語のどういう範疇であるかを理解する。 今まで学習してきた文法体系(いわゆる学校文法)を相対化する目を養う。 日本語の文法をどう把握すべきか、大まかなりとも各自のイメージを持ってもらいたい。				
【授業内容】 1 イントロダクション 「文法を考える」ということ 2 「品詞」とは何か 3 連用機能、連用形、連用副詞 4 連体機能、連体形、連体副詞 5 「用言」とは何か 6 「助動詞」とは何か 7 助動詞 各論1 8 助動詞 各論2 9 助動詞 各論3 10 「格」について 11 「格」関係と「副助詞」 12 連用副詞といわゆる「陳述副詞」 13 副詞の層と述語層の対応関係 14 いわゆる「感動詞」について 15 まとめ 16 定期試験				
【テキスト】 特になし。				
【参考図書】 高校までに使っていた文法の便覧類を持参すること。持っていない場合は購入すること(任意のものでよい)。 授業中使用するプリントの配布はマナバフォリオを通じて行う。受講生は、初回までにマナバフォリオのリマインダー機能を使用可能な状況にしておくこと。 プリントの掲載があった場合は、次回までに各自ダウンロード・プリントアウトして講義に臨むこと。				
【成績評価の方法】 期末に試験を行う。これに100点を配当する。 授業回数の三分の二に出席が満たない場合には単位認定の資格を与えないが、出席が評価の対象になることはない。				

古代文学特講Ⅲ				新美 哲彦
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	
【授業の目的】 平安時代には仮名によってさまざまな散文作品が作成されており、これらの作品がその後の日本語表現の基礎となっている。その中でも『源氏物語』は、一つの到達点を示している。本授業では、『源氏物語』の巻々を、原文で読み進めることによって、『源氏物語』の表現を細かく見ていきたい。また、変体仮名を不自由なく読めるようにしたい。 『源氏物語』についての基礎知識を養い、巻々の内容や表現について考える。変体仮名を習得する。				
【授業内容】				
1 『源氏物語』の基礎知識			9 少女(四)	
2 朝顔(一)			10 少女(五)	
3 朝顔(二)			11 玉髪(一)	
4 朝顔(三)			12 玉髪(二)	
5 朝顔(四)			13 玉髪(三)	
6 少女(一)			14 玉髪(四)	
7 少女(二)			15 玉髪(五)	
8 少女(三)			16 定期試験	
【テキスト】 適宜プリントを配布。参考図書については講義中に指示する。				
【参考図書】 授業中に指示します。				
【成績評価の方法】 定期試験:100%				

古代文学特講Ⅳ				新美 哲彦
履修年次:2~4年	2単位	第2期	1コマ	
【授業の目的】 平安時代には仮名によってさまざまな散文作品が作成されており、これらの作品がその後の日本語表現の基礎となっている。その中でも『源氏物語』は、一つの到達点を示している。本授業では、『源氏物語』の巻々を、原文で読み進めることによって、『源氏物語』の表現を細かく見ていきたい。また、変体仮名を不自由なく読めるようにしたい。 『源氏物語』についての基礎知識を養い、巻々の内容や表現について考える。変体仮名を習得する。				
【授業内容】				
1 『源氏物語』の基礎知識			9 蛭(二)	
2 初音(一)			10 蛭(三)	
3 初音(二)			11 蛭(四)	
4 胡蝶(一)			12 常夏(一)	
5 胡蝶(二)			13 常夏(二)	
6 胡蝶(三)			14 常夏(三)	
7 胡蝶(四)			15 常夏(四)	
8 蛭(一)			16 定期試験	
【テキスト】 適宜プリントを配布。				
【参考図書】 授業中に指示します。				
【成績評価の方法】 定期試験:100%				

近世文学特講 I				藤川 玲満
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	
【授業の目的】 近世の小説のうち仮名草子を取りあげ、作者と作品について学んでいく。また、これらの文学が近世の特質である出版文化のなかで形成され、流布していく様相についても跡付ける。 近世文学の特色を理解する。				
【授業内容】				
1 江戸時代の社会と文学 1			9 仮名草子の諸作品と特質 6	
2 江戸時代の社会と文学 2			10 仮名草子の諸作品と特質 7	
3 江戸時代の社会と文学 3			11 仮名草子作者・浅井了意 1	
4 仮名草子の諸作品と特質 1			12 仮名草子作者・浅井了意 2	
5 仮名草子の諸作品と特質 2			13 近世初期の出版文化 1	
6 仮名草子の諸作品と特質 3			14 近世初期の出版文化 2	
7 仮名草子の諸作品と特質 4			15 近世初期の出版文化 3	
8 仮名草子の諸作品と特質 5			16 定期試験	
【テキスト】 なし(適宜プリントを配布する。)				
【参考図書】 講義中に指示する。				
【成績評価の方法】 期末試験:80%, 授業時の課題:20%				

近代文学特講 I				山根 知子
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。 講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。
【授業の目的】 作家坪田譲治を取りあげ、その作品を読み深め、作家の特質を考える。その際、時代背景と風土の問題および作家の作風との関係を考察する。 言語表現の特質を敏感に捉え、読解力を深める。 感性と言語感覚を磨き、その体験を作家の作品研究を深めてゆく思考へとつなげる。 同時代資料を使って、受講者自身が新見を論じられるようになること。				
【授業内容】				
1 イントロダクション			9 坪田譲治の作品を読む(4)	
2 坪田譲治年譜による作家理解(1)			10 坪田譲治の作品を読む(5)	
3 坪田譲治年譜による作家理解(2)			11 同時代資料を使った作品読解(1)	
4 作家と時代について			12 同時代資料を使った作品読解(2)	
5 作家と風土について			13 同時代資料を使った作品読解(3)	
6 坪田譲治の作品を読む(1)			14 同時代資料を使った作品読解(4)	
7 坪田譲治の作品を読む(2)			15 同時代資料を使った作品読解(5)	
8 坪田譲治の作品を読む(3)			定期試験(レポート)	
【テキスト】 プリント配布。				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 授業中の課題と発言:30%, レポート(1回):70%				

近代文学特講Ⅲ				綾目 広治
履修年次:2～4年	2単位	第1期	1コマ	講義で扱う小説論をなるべく多く読むこと。
【授業の目的】 戦前昭和の代表的な小説論を読むことで、小説についての文学者たちの考え、さらには現代文学史や思想史に「おける諸問題を考察する。				
【授業内容】				
1 導入				9 石川淳の小説論2
2 導入2				10 谷崎潤一郎の小説論1
3 広津和郎の小説論				11 谷崎潤一郎の小説論2
4 プロレタリア文学者の小説論1				12 川端康成の小説論
5 プロレタリア文学者の小説論2				13 高見順の小説論1
6 横光利一の小説論				14 高見順の小説論2
7 小林秀雄の小説論				15 まとめ
8 石川淳の小説論1				16 定期試験
【テキスト】 プリント				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 小テスト:20点, 筆記試験:80点				

近代文学特講Ⅳ				綾目 広治
履修年次:2～4年	2単位	第2期	1コマ	講義で扱う小説論をなるべく多く読むこと。
【授業の目的】 昭和の戦後以後の小説論を読むことで、文学の批評や思想において何が重要な問題とされていたのか、また今日から考えても何が重要な問題であると言えるのかを考察し、現代文学及び思想への眺望を得る。				
【授業内容】				
1 導入				9 江藤淳の小説論
2 伊藤整の小説論1				10 吉本隆明の小説論1
3 伊東製の小説論2				11 吉本隆明の小説論2
4 平野謙の小説論				12 高橋和巳の小説論
5 福田恒存の小説論				13 蓮実重彦の小説論
6 埴谷雄高の小説論				14 柄谷行人の小説論
7 野間宏の小説論				15 まとめ
8 桑原武夫の小説論				16 定期試験
【テキスト】 プリント。				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 小レポート:20点, 試験:80点				

日本語学特講Ⅱ				尾崎 喜光																
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	<p>情報伝達にウェイトを置く講義形式により授業を進めるためインタラクティブな場面は少ないが、立ち止まって考える時間を随所に挟む予定である。そのときは特に思考を集中させ、自分の言葉や意識を内省したりこれまでの観察を振り返るようにしてほしい。</p> <p>なお、本講義はビジネスマナーとしての敬語を論じるわけではないが、受講の副産物としてそうした基礎知識を身につけることは期待できる。</p>																
<p>【授業の目的】 日本語の特徴の一つである「敬語」について、その基本的なしくみを講義する。また、方言や外国語の敬語、「敬語」に連続する「敬意表現」(配慮表現)についても言及する。 日本語の敬語の基本的なしくみを確実に理解するとともに、さまざまな動詞をさまざまな敬語の形に正しく変換する応用力を身につける。また、敬語の多様性や広がりについても理解する。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 ガイダンス、敬語を学ぶ必要性</td> <td>9 授受表現(3)</td> </tr> <tr> <td>2 丁寧語</td> <td>10 敬語の誤り・概説</td> </tr> <tr> <td>3 尊敬語</td> <td>11 敬語の誤り・各論(1)</td> </tr> <tr> <td>4 謙譲語Ⅰ</td> <td>12 敬語の誤り・各論(2)</td> </tr> <tr> <td>5 謙譲語Ⅱ(丁重語)</td> <td>13 方言の敬語</td> </tr> <tr> <td>6 美化語</td> <td>14 外国語の敬語</td> </tr> <tr> <td>7 授受表現(1)</td> <td>15 日本語の敬意表現</td> </tr> <tr> <td>8 授受表現(2)</td> <td>16 定期試験</td> </tr> </table>					1 ガイダンス、敬語を学ぶ必要性	9 授受表現(3)	2 丁寧語	10 敬語の誤り・概説	3 尊敬語	11 敬語の誤り・各論(1)	4 謙譲語Ⅰ	12 敬語の誤り・各論(2)	5 謙譲語Ⅱ(丁重語)	13 方言の敬語	6 美化語	14 外国語の敬語	7 授受表現(1)	15 日本語の敬意表現	8 授受表現(2)	16 定期試験
1 ガイダンス、敬語を学ぶ必要性	9 授受表現(3)																			
2 丁寧語	10 敬語の誤り・概説																			
3 尊敬語	11 敬語の誤り・各論(1)																			
4 謙譲語Ⅰ	12 敬語の誤り・各論(2)																			
5 謙譲語Ⅱ(丁重語)	13 方言の敬語																			
6 美化語	14 外国語の敬語																			
7 授受表現(1)	15 日本語の敬意表現																			
8 授受表現(2)	16 定期試験																			
<p>【テキスト】 尾崎喜光『しくみで学ぶ！正しい敬語』(ぎょうせい)定価1,857円＋税, 国立国語研究所編『新「ことば」シリーズ21 私たちと敬語』(ぎょうせい)定価476円＋税</p>																				
<p>【参考図書】 国立国語研究所編『国立国語研究所報告123 言語行動における「配慮」の諸相』(くろしお出版)定価2,500円＋税</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への参加姿勢:30%, 試験:70%</p>																				

日本語表現法Ⅰ				大滝 一登																
履修年次:3~4年	2単位	第1期	1コマ	課題は期限を厳守し、必ず提出してください。																
<p>【授業の目的】 本授業のねらいは、コンポジション理論をベースとして、達意の文章を書くための知識と方法原理を学び、各種の文章を実作するとともに、音声言語による表現法と比較し、その共通点と相違点を理解することである。 大学生として、社会人として、さらに中学・高校国語科教諭や日本語教師として求められる文章表現力及び音声言語活用能力の向上を図る。また、その指導法についても理解を深める。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 オリエンテーション</td> <td>9 随筆を書く(1)</td> </tr> <tr> <td>2 文章作成の基本(発想と構想)</td> <td>10 随筆を書く(2)</td> </tr> <tr> <td>3 描写文を書く</td> <td>11 新聞記事に学ぶ</td> </tr> <tr> <td>4 説明文を書く(1)</td> <td>12 編集会議(1)</td> </tr> <tr> <td>5 説明文を書く(2)</td> <td>13 伝えるための記事原稿とレイアウトの工夫 - 新聞記者に</td> </tr> <tr> <td>6 報道文を書く</td> <td>14 編集会議(2)</td> </tr> <tr> <td>7 手紙を書く(1)</td> <td>15 記事文集の作成</td> </tr> <tr> <td>8 手紙を書く(2)</td> <td>16 学習のまとめ</td> </tr> </table>					1 オリエンテーション	9 随筆を書く(1)	2 文章作成の基本(発想と構想)	10 随筆を書く(2)	3 描写文を書く	11 新聞記事に学ぶ	4 説明文を書く(1)	12 編集会議(1)	5 説明文を書く(2)	13 伝えるための記事原稿とレイアウトの工夫 - 新聞記者に	6 報道文を書く	14 編集会議(2)	7 手紙を書く(1)	15 記事文集の作成	8 手紙を書く(2)	16 学習のまとめ
1 オリエンテーション	9 随筆を書く(1)																			
2 文章作成の基本(発想と構想)	10 随筆を書く(2)																			
3 描写文を書く	11 新聞記事に学ぶ																			
4 説明文を書く(1)	12 編集会議(1)																			
5 説明文を書く(2)	13 伝えるための記事原稿とレイアウトの工夫 - 新聞記者に																			
6 報道文を書く	14 編集会議(2)																			
7 手紙を書く(1)	15 記事文集の作成																			
8 手紙を書く(2)	16 学習のまとめ																			
<p>【テキスト】 速水博司『大学生のための文章表現入門』(蒼丘書林)(必携書)</p>																				
<p>【参考図書】 担当者から別途指示する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への参加姿勢(発表含む):20%, ほぼ毎時間宿題として課される表現課題の達成度:60%, 学期末における学習記録の提出:20%</p>																				

社会心理学				中山 ちなみ
履修年次:2～4年	2単位	第1期	1コマ	授業で紹介した概念や研究成果をただ覚えるのではなく、それらの概念を用いることによって、身の周りのどのような問題が分析・説明できるのかということを考えながら、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。
【授業の目的】 社会心理学における基礎概念や重要研究を解説・紹介し、具体的な事例と関連させながら、人間関係や社会事象について考察してゆく。 「社会的存在」としての人間の意識や行動が、どのように形成され、どのような社会的現象となって現れるのか、そのメカニズムを理解し、人間と社会への洞察を深める。				
【授業内容】				
1 イントロダクション				9 対人魅力
2 社会の中の「私」				10 援助行動
3 自我の二側面				11 リーダーシップ
4 行為と意識				12 同調行動と逸脱行動
5 行為の意図せざる帰結(1)				13 権力と服従
6 行為の意図せざる帰結(2)				14 社会的ジレンマ
7 欲求				15 まとめ
8 態度の一貫性				16 定期試験
【テキスト】 テキストは指定しない。ほぼ毎回プリントを配布する。				
【参考図書】 講義時間中に随時紹介する。				
【成績評価の方法】 定期試験:90%, 授業への取り組み度:10%				

社会集団・組織論				濱西 栄司
履修年次:2～4年	2単位	第1期	1コマ	
【授業の目的】 本講義の主な目的は、社会学的研究の基礎理論の一つとして、社会集団/組織論の方法・成果について理解し、またその観点から現代社会の分析を行う技能を修得することにある。前半(2-7回)では、経済・政治・文化をめぐる集団・組織について説明し、後半(8-15回)では、それらの集団・組織を社会学的に分析する技能を習得する。				
【授業内容】				
1 オリエンテーション				9 統合と集合行動論(2)
2 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(1)				10 戦略と集合行為論(1)
3 経済:市場・雇用をめぐる集団・組織(2)				11 戦略と集合行為論(2)
4 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(1)				12 構造と社会紛争(1)
5 政治:法律やルールをめぐる集団・組織(2)				13 構造と社会紛争(2)
6 文化:価値観や創造性をめぐる集団・組織(1)				14 現代社会との関係性(1)
7 文化:価値観や創造性をめぐる集団・組織(2)				15 現代社会との関係性(2)
8 統合と集合行動論(1)				期末レポート提出
【テキスト】 なし				
【参考図書】 フランソワ・デュベ、2011『経験の社会学』新泉社 / 碓井・丸山・大野・橋本編、2000『社会学の理論』有斐閣				
【成績評価の方法】 授業への取組:10%, 毎回のリフレクションシート:30%, 期末レポート:60%				

地域社会学				二階堂 裕子
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	日頃から新聞をよく読み、地域社会の動向に関心をもつこと。
【授業の目的】 この授業では、まず、私たちが日常生活を営む地域社会というものの捉え方やその成り立ちについて説明する。その上で、戦後の高度成長期を経て、日本の地域社会がどのような問題に直面するようになったのかを述べる。さらに、少子高齢化、急激な景気悪化、グローバル化などの社会変動が今日の地域社会にどのような影響を与えているのかについて考察する。 以上を通して、学生が地域社会の諸問題に対する理解と関心を深めることが本授業のねらいである。これに加えて、自らを地域社会の一員として認識し、今後どのような地域貢献が求められるかを考え、それを実行しようとする姿勢を養いたい。				
【授業内容】 1 地域社会とコミュニティ 2 コミュニティ問題の登場 3 都市化と地域社会における変容 4 町内会とコミュニティ形成 5 コミュニティ活動における自治体・住民・NPOの関係 6 コミュニティ・センター 7 コミュニティ活動 8 子育てと地域社会 9 高齢化と地域社会 10 中山間地域における過疎化 11 インナーシティ問題の発生 12 安全・安心な生活と地域社会 13 グローバル化と地域社会 14 多民族・多文化化とコミュニティ形成(1) 15 多民族・多文化化とコミュニティ形成(2) 16 期末試験				
【テキスト】 特に使用しない。				
【参考図書】 講義中に適宜資料を配布するほか、参考書なども紹介する。				
【成績評価の方法】 リアクションペーパー(講義で学んだことや意見):30%, 期末試験:70%				

ジェンダー論				山下 美紀
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	内容に即して、外部講師による特別講義を行うことがある。講義中心であるが、グループ討議や発表もありうる。
【授業の目的】 本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識を、いまいちど検討しなおしていく。 ジェンダー問題を自分にひきつけて考えていく力を身につけてもらいたい。日常生活にあふれているさまざまなジェンダー秩序に気づき、そこに含まれている問題点を整理し、解決の方策を考える、といった力の習得を目指す。				
【授業内容】 1 「ジェンダー」学問領域の誕生と発展 2 ジェンダー論の基礎① フェミニズムの歴史 3 ジェンダー論の基礎② 性の二分法 4 ジェンダー論の基礎③ ジェンダーをめぐる身体 5 ジェンダーの社会的構築 6 ジェンダー秩序とジェンダー体制 7 ジェンダーの再生産過程 8 家族間葛藤とジェンダー 9 女性の労働と職場環境 10 教育におけるジェンダートラック 11 メディアとジェンダー 12 アジアの女性問題 13 ジェンダー研究の紹介① 14 ジェンダー研究の紹介② 15 現代社会とジェンダー 16 期末筆記試験				
【テキスト】 なし				
【参考図書】 参考文献・資料等については講義中に指示する。				
【成績評価の方法】 出席状況および受講態度はもちろんのこと、複数回の課題提出を求め、成績に反映させる。期末時には筆記試験を行う。 受講態度・課題提出:15%, 中間試験:15%, 期末筆記試験:70%				

アジア社会史Ⅰ				鈴木 真
履修年次:2～4年	2単位	第1期	1コマ	学期中にレポートを課す場合がある。
【授業の目的】 前近代の中国社会・文化の特徴について、漢人知識人や商人の世界を中心に講義する。 前近代の中国に生きた人々が、どのような社会の中で、どのような文化を営んでいたのかを理解する。				
【授業内容】				
1 中国社会における民衆と「叛乱」				9 中国における官僚登用の歴史と科挙(2)宋～清
2 世界史における塩と塩商人				10 知識人の世界
3 中国史における塩と塩商人				11 宗族とは何か
4 唐代の社会と黄巢の乱				12 近世中国における宗族の発達
5 唐宋時代の社会変容				13 近世中国の徽州商人
6 宋代における民衆文化				14 近世中国の山西商人
7 水滸伝の舞台				15 まとめ
8 中国における官僚登用の歴史と科挙(1)漢～唐				16 期末試験
【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。				
【参考図書】 参考文献は講義中に適宜紹介する。				
【成績評価の方法】 レポートもしくは小テスト:10%, 期末試験:90%				

ヨーロッパ社会史Ⅱ				轟木 広太郎
履修年次:2～4年	2単位	第2期	1コマ	講義中に紹介する参考文献を積極的に読んでほしい。
【授業の目的】 社会史の実例として、ヨーロッパ社会の「罪と罰」を取り上げ、中世から現代までの概観する。前半は、世俗社会の犯罪と刑罰を、後半は、宗教上の罪と罰を扱う。その歴史を通じて、ヨーロッパ人の正義と悪に対する態度がどのように変化してきたかを多面的に理解する。				
【授業内容】				
1 イントロダクション				9 神判1
2 贖罪1;キリスト教初期				10 神判2
3 贖罪2;中世前期				11 身体刑1
4 贖罪3;中世後期以降				12 身体刑2
5 あの世の刑罰1				13 18世紀の刑法改革
6 あの世の刑罰2				14 監獄刑1
7 異端審問1				15 監獄刑2
8 異端審問2				16 試験
【テキスト】 なし				
【参考図書】 毎回の授業でプリントを配布する。				
【成績評価の方法】 平常点(30%)と試験(70%)による。受講者が少ない場合は、試験はレポートに変更する可能性もある。				

考古学 I				紺谷 亮一
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	国内外の考古学のニュース・文献等に関心を持つよう心がけること。
【授業の目的】 考古学の方法論についての基礎的知識の習得を図る。 考古学についての基本的な方法論を理解し、そのための知識を習得する。				
【授業内容】				
1 講義概要				9 世界を変えた考古学者1(ハインリッヒ・シュリーマン)
2 考古資料とは				10 世界を変えた考古学者2(マンフレッド・コルフマン)
3 考古資料の評価				11 世界を変えた考古学者3(タフシイン・オズギュッチ)
4 考古学の年代				12 発掘調査とは
5 分布論				13 発掘調査の方法と意義
6 考古学と民族学・民俗学				14 考古学と現代
7 文献資料と考古資料				15 総括
8 日本近代考古学の始まるころ				16 定期試験
【テキスト】 教科書として、佐原真著『考古学への案内』(岩波書店, 2005年)を使用する。				
【参考図書】 特になし。				
【成績評価の方法】 発表:25%, 授業への取り組み態度:25%, 定期試験:50%				

民俗学 I				小嶋 博巳
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	成績評価は厳格に行うので、そのつもりで受講すること。
【授業の目的】 日本民俗学の重要なテーマである民俗宗教(民間信仰)について、各地の具体的な事象を取りあげながら、その基本的な性格を考察する。霊魂観・他界観・神観念の問題を中心に扱う。				
【授業内容】				
1 民俗宗教という概念				9 盆と正月
2 霊魂の観念				10 一年両分性説
3 「他界」というイメージ				11 祖霊信仰論批判
4 山の他界				12 「浮かばれない」死者たち—御霊信仰論—
5 海の他界				13 日本史上の御霊信仰
6 訪れる神たち				14 民俗社会の御霊信仰
7 民俗的他界観と仏教思想				15 まとめ—日本人の神観念—
8 ホトケからカミへ—祖霊信仰論—				定期試験
【テキスト】 教科書は使用しない。しばしば資料プリントを配布する。				
【参考図書】 必要に応じて講義中に紹介する。				
【成績評価の方法】 小テスト:20%, 期末試験:80%, 小テストは予告なく行う。				

社会史特講 I				八重樫 直比古
履修年次:2~4年	2単位	第2期	1コマ	授業と平行して、『続日本紀』や宣命、そして孝謙(称徳)天皇に関する研究書、研究論文を読むこと。またそれらの著者の解釈などと授業との異同を自分で確かめること。
【授業の目的】 『続日本紀』の宣命を史料として取り上げ、これまで発表してきた論文をもとにして、考えるところを述べてみたい。古代最後の女帝孝謙(重祚して称徳)の数多くの宣命は、その肉声に近いものを聞き取れる点において貴重な史料である。そこに女帝と仏教、政治と宗教の関わり合いの実態を探ってみる。 史料を通して、史料を残した人の心の中に入り込むことの重要性、また面白さを知る。またそのために必要な手続きを知ること。政治と宗教の融合といっても様々な形がある。その一例を知り、現代と前近代社会の相違を実体験する。				
【授業内容】 1 本年度の予定 2 『続日本紀』とはどんな歴史書か、概要の説明 3 宣命とは何か、概要の説明 4 孝謙(称徳)天皇一代記(1) 5 孝謙(称徳)天皇一代記(2) 6 孝謙(称徳)天皇一代記(3) 7 父、聖武天皇の宣命 8 孝謙天皇の宣命 9 孝謙太上天皇の宣命 10 称徳天皇の宣命 11 道教事件 12 道教事件の新解釈(1) 13 道教事件の新解釈(2) 14 『続日本紀』の「筆法」 15 本年度のまとめ				
【テキスト】 授業で使用する史料はプリントして配布する。また参考文献や史料を随時紹介する。				
【参考図書】 特に指定するものはない。				
【成績評価の方法】 レポート(70%)に毎回の授業の理解度(30%)を総合して評価する。				

社会史特講 II				藤實 久美子
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	ただ聞くというのではなく、考えながら聞くという姿勢で、授業に参加するようにしてほしい。また授業中に示す参考文献を積極的に読み進めてもらいたい。
【授業の目的】 本授業の前半では、日本近世(豊臣政権期および徳川政権期)における書籍文化の特徴と展開について多角的に論じる。本授業の後半では、武家の名鑑であった武鑑の分析を中心に据えながら、江戸中後期の社会状況の変化と出版文化の展開について考える。 アジアの紙・印刷術、漢字と印刷術、国家・宗教と出版事業、商業出版と自立的な本屋仲間の活動、書籍作成に関わった人々の技術・活力など、多くの視点を獲得する。また実際に板本に触れる機会を設けて、原史料から得られる諸情報について理解を深める。				
【授業内容】 1. 書籍文化研究の流れと可能性 2. 西洋の印刷技術の日本への伝播—キリスト教布教と印刷— 3. 朝鮮の印刷技術の日本への伝播—権力者の文化志向— 4. 嵯峨本と町衆文化—芸術品としての書籍— 5. 情報・写本が板本化・商品化される諸過程 6. 海賊版の横行と本屋仲間の結成—元禄の上方— 7. 小括とテスト(1) 8. 幕府統制とその影響(1)—享保の書籍統制令— 9. 書籍統制とその影響(2)—新たな特権商人— 10. 書籍統制とその影響(3)—新たな出版手続き— 11. 板権の実効性—江戸本屋仲間の構造— 12. 板権の分割所有と争論 13. 板元と顧客の関係—武鑑編集のための情報源— 14. 小括とテスト(2) 15. 本屋・出版工房にとっての明治				
【テキスト】 なし、プリントを配布する。				
【参考図書】 藤實久美子『江戸の武家名鑑』吉川弘文館、2008年				
【成績評価の方法】 授業の終わりにリアクション・ペーパーを書いてもらう。リアクション・ペーパーは講義内容の理解度を判断する材料とする。成績はリアクション・ペーパー(10%)、2回のテスト(60%)、レポート(30%)によって総合的に評価する。				

文化と人間形成 I				小林 修典
履修年次:2~4年	2単位	第1期	1コマ	文献(英語文献含む)の分析に重点を置くので、毎回の予習が求められる。
【授業の目的】 文化と人間の成長とのかかわりに関する、人間形成の諸理論と主要な研究テーマを取り上げる。 1) 通文化的な、人類に普遍的な人間発達と、2) 文化固有の人間形成のパターンについて理解を深める。それにより、グローバル化、共生の時代に求められる、普遍的な価値観及び文化の多様性の認識と尊重、そして自国文化の伝統について考える機会を得ることが期待される。授業では、文献講読を通じて、文献の正確かつ批評的な分析力を養う。				
【授業内容】				
1 イントロダクション				9 コミュニケーション能力の習得(1)
2 人の成長の普遍性と多様性(1)				10 コミュニケーション能力の習得(2)
3 人の成長の普遍性と多様性(2)				11 コミュニケーション能力の習得(3)
4 子どもの生存と養育(1)				12 学びの文化的価値(1)
5 子どもの生存と養育(2)				13 学びの文化的価値(2)
6 対人関係—依存と自立(1)				14 性役割と文化
7 対人関係—依存と自立(2)				15 まとめ
8 対人関係—依存と自立(3)				16 試験
【テキスト】 なし				
【参考図書】 その都度指示する。				
【成績評価の方法】 期末レポート:30%, 小レポート:20%, 期末試験:50%				

地誌学Ⅱ				河合 保生
履修年次:1~4年	2単位	第2期	1コマ	
【授業の目的】 地誌学は地域地理学とも称され、系統地理学とともに地理学の両論をなしている。地誌学の本質と研究方法を明確にした後、世界地誌を中心に具体的な地域事例をとおして解説する。各地域と日本の関わりについても留意する。高校での地理履修の有無は問わない。なお、改訂された中学校学習指導要領社会科地理的分野への対応に配慮した内容とする。 世界の諸地域について、地理的に最も特色あることの把握の仕方を習得する。地理的見方・考え方を通して、中学校社会科・高等学校地理歴史科の指導だけでなく、社会人として不可欠な地域理解のための手法を身につける				
【授業内容】				
1 地誌学の本質と研究方法				9 ヨーロッパ(2)
2 東アジア				10 ヨーロッパ(3)
3 東南アジア				11 北アメリカ(アングロアメリカ)
4 南アジア				12 中南アメリカ(ラテンアメリカ)
5 西アジアと北アフリカ				13 オセアニア(1)
6 中南アフリカ				14 オセアニア(2)・南極
7 北ユーラシア(ロシア連邦とその近隣)				15 地誌学の諸問題
8 ヨーロッパ(1)				16 学期末試験
【テキスト】 川上 税・田村俊和編著『日本からみた世界の諸地域 新版』(原書房), 帝国書院編集部『新詳高等地図 初訂版』(帝国書院)等の地図帳(高校で使用したものでよい)				
【参考図書】 ・講義中に資料及び課題プリントを配付する。				
【成績評価の方法】 授業への参加姿勢:20%, 課題レポート:30%, 学期末試験:50%				

社会倫理学 I				葛生 栄二郎
履修年次:1～4年	2単位	第2期	1コマ	
【授業の目的】 「いのち」をめぐる争われる様々な問題を、法学的な視点、倫理的な視点の双方から検討する。I では、ことに、生命の誕生を問題とする。 現在の生命科学・生命倫理の最新状況を把握すること。法的な視点と倫理的な視点との違いを理解すること。				
【授業内容】 I. イントロダクション ①今、なぜ「いのち」の倫理が問われるのか ②様々な生命観(1)-西洋的生命観と東洋的生命観 ③様々な生命観(2) -宗教的生命観と功利主義的生命観 II. 人工生殖 1. ④人工授精の倫理問題 2. ⑤人工授精の法律問題 3. ⑥体外受精 4. ⑦代理母契約 5. ⑧クローン生殖 III. 人工妊娠中絶 1. ⑨中絶の倫理(1)-Pro-LifeとPro-Choice ⑩中絶の倫理(2)-中絶をめぐる倫理思想史 2. ⑪各国の中絶法 3. ⑫母体保護法と堕胎罪 4. ⑬パーソン論 IV. 子殺し 1. ⑭間引きと嬰兒殺 V. テスト ⑮テスト ⑯問題解説と総括				
【テキスト】 葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子『新・いのちの法と倫理』法律文化社				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 受講態度:30点, テスト:70点				

社会倫理学 II				葛生 栄二郎
履修年次:2～4年	2単位	第1期	1コマ	
【授業の目的】 「いのち」をめぐる争われる様々な問題を、法学的な視点、倫理的な視点の双方から検討する。II では、ことに、生命の終焉を問題とする。 現在の生命科学・生命倫理の最新状況を把握すること。法的な視点と倫理的な視点との違いを理解すること。				
【授業内容】 I. 死刑制度 1. ①死刑の実態 2. ②死刑は許されるのか II. 自殺 1. ③自殺という現象 2. ④自殺の倫理問題 3. ⑤自殺の法律問題 III. 安楽死・尊厳死 1. ⑥安楽死の種類 2. ⑦安楽死と尊厳死 3. ⑧安楽死の倫理 4. ⑨安楽死・尊厳死判例 5. ⑩安楽死法 IV. 脳死と臓器移植 1. ⑪「死ぬ」ということ 2. ⑫脳死の定義 3. ⑬臓器移植法 4. ⑭脳死移植と生命観 V. テスト 1. ⑮テスト 2. ⑯問題解説と総括				
【テキスト】 葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子『新・いのちの法と倫理』法律文化社				
【参考図書】 なし				
【成績評価の方法】 受講態度:30点, テスト:70点				

生活文化史Ⅰ				横山 學
履修年次:1~4年	2単位	第1期	1コマ	本授業では、必要に応じて、資料を配布もしくは表示画面に提示する。座席は指定しないが、自分の条件に合った場所に座して、積極的に授業に取り組みたい。毎授業の終了時には、「質問・意見」メモを回収する。
【授業の目的】 近世から近代にかけての日常生活の事象から問題を発展させた「文化」の問題を講義する。本年度は「書物文化Ⅰ」とする。歴史的に物事を考えることを身に付け、関連領域を専門的に探り、資料を読む力を養う。関係文献を読解し、正しく評価できる力を養う。				
【授業内容】 1 書物にかかわる文化の歴史 2 書物と生活 3 本とは何か 4 書物の美しさ・愉しさ・哀しさ 5 和紙について 6 紙の歴史 7 紙の原料 8 紙の製法 9 和紙の魅力 10 書物に魅せられた人 青春の蹉跌 11 書物に魅せられた人 なまみこ物語とチェンブレン 12 書物に魅せられた人 火野葦平とフランク・ホーレー 13 まとめ(1) 14 まとめ(2) 15 まとめ(3) 16 期末試験				
【テキスト】 なし				
【参考図書】 随時、指定する。				
【成績評価の方法】 取組度:50点, レポート:10点, 期末試験:40点				

生活文化史Ⅱ				横山 學
履修年次:1~4年	2単位	第2期	1コマ	本授業では、必要に応じて、資料を配布もしくは表示画面に提示する。座席は指定しないが、自分の条件に合った場所に座して、積極的に授業に取り組みたい。毎授業の終了時には、「質問・意見」メモを回収する。
【授業の目的】 失われつつある「らしさ」。自らも求め、社会からも求められる「らしさ」「らしく」について、歴史的に考えてゆく。歴史的に物事を考えることを身に付け、関連領域を専門的に探り、資料を読む力を養う。関係文献を読解し、正しく評価できる力を養う。				
【授業内容】 「らしさ」「らしく」の文化史 1 「らしさ」「らしく」とは 2 近世社会の前提としての文化 3 武家社会 4 町人社会 5 女子教育 6 しつけと礼儀 7 社会慣習について 8 近代社会における「らしさ」 9 エチケツトマナー 10 現代社会の「らしさ」 11 求められる「らしさ」 12 拒否される「らしさ」 13 まとめ(1) 14 まとめ(2) 15 まとめ(3) 16 期末試験				
【テキスト】 なし				
【参考図書】 随時、指定する。				
【成績評価の方法】 取組度:50点, レポート:10点, 期末試験:40点				

美作大学
(シラバス)

授業科目名:心理学概論Ⅰ				担当教員氏名:妻藤 真彦
1~4年次	2単位	前期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
【授業の目的】				
心理学の基礎的内容。基礎科目として、専門での心理学の理解を助け、関連の書籍を読むのに必要な用語や理論的概念を解説する。ただし性格や社会心理は後期の心理学概論Ⅱで扱うので、ⅠとⅡを合わせて概論となる。また専門科目で扱うものは、概観程度にとどめる(学習や発達、児童教育心理学や児童心理学概論等があるので、ここでは簡単にしか触れない;また発達は以下の各テーマの中で各々触れるので、特に「発達」という項目は立てない)。				
【授業内容】				
1 感情1[基礎理論, 原因帰属, 複合感情, 日常的事例(恋愛, 痛み, 罪悪感など)]				
2 感情2[実験的研究と事例の続き]				
3 感情3[情動の発生と維持(情動が強く維持される条件, 失恋後の感情など)]				
4 感情4[情動の強化と二者関係(恋愛と夫婦間の感情の違い, 家族同士が持つ感情と家族心理療法)]				
5 感情5[情動とストレスの理論]				
6 感情6[ストレスへの対処]				
7 原因帰属1[学習性無気力など]				
8 原因帰属2[楽観的・悲観的原因帰属(学力, 人間関係などへの影響)]				
9 原因帰属3[自尊心, 自己愛と帰属スタイル]				
10 認知の歪み1[不適応を導く認知の歪みと認知・行動療法:過度の一般化・2分割思考など]				
11 認知の歪み2[続き:べきである思考・情緒的理由づけなど]				
12 思考と信念1[信じ込みを引き起こす要因:ランダム性の認知・代表性など]				
13 思考と信念2[続き:記憶要因など]				
14 思考と信念3[続き:少ない事実からの推論など]				
15 学習と記憶[勉強法を含む]				
【テキスト】				
随時指示				
【参考図書】				
【成績評価の方法】				
試験				

授業科目名:心理学概論Ⅱ				担当教員氏名:妻藤 真彦
1~4年次	2単位	後期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
【授業の目的】				
心理学の基礎的内容。基礎科目として、専門での心理学の理解を助け、関連の書籍を読むのに必要な用語や理論的概念を解説する。ただし心理学概論Ⅰで扱ったものは除き、ここでは性格や社会心理が中心になる。また専門科目で扱うものは、概観程度にとどめる(学習や発達、児童教育心理学や発達心理学等があるので、ここでは簡単にしか触れない;また発達は以下の各テーマの中で各々触れるので、特に「発達」という項目は立てない)。				
【授業内容】				
1 学習と記憶[エピソード記憶・意味記憶・手続き記憶, 認知9 個人差その他[クロニンジャーの性格・気質7因子説]				
2 学習と記憶2[エピソード記憶の変容, 虚記憶など] 10 発達[人の一生の変化]				
3 動因[ホメオスタシス性・非ホメオスタシス性動因と, それら 11 心理療法[個別・集団面接, 家族心理療法, 精神分析]				
4 個人差1[人格心理学の概要と問題点・立場, 測定と診断 12 特定学派1[防衛機制など]				
5 個人差2[基本的感情パターン:乳幼児の気質研究など] 13 特定学派2[行動分析, 行動の自由度, 行動療法など]				
6 個人差3[基本的感情パターン:古典的理論] 14 社会的要因1[返報性ルールなど]				
7 個人差4[人格の5要因説:概要など] 15 社会的要因2[認知的不協和(説得, セールス, マインド)				
8 個人差5[続き:因子の説明など]				
【テキスト】				
随時指示				
【参考図書】				
【成績評価の方法】				
試験				

授業科目名:家族心理学				担当教員氏名:渡邊 義雄																
1~4年次	2単位	前期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)																
【授業の目的】 家族は人間社会の基本的単位であり, 人間形成の基礎的条件を提供する最も重要な社会集団である。霊長類の社会から家族の起源について説明する。近代社会の成立とともに起こった核家族化の中で, 親子・夫婦などの家族成員相互の関係について考察する。 家族の基本的事項を説明できること、家族の問題を心理学的視点で考察できることを目標とする。																				
【授業内容】 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1 家族心理学について</td> <td style="width:50%;">9 夫婦の役割</td> </tr> <tr> <td>2 家族形態の系統発生的検討</td> <td>10 女性の自立</td> </tr> <tr> <td>3 霊長類社会の進化</td> <td>11 親子の問題</td> </tr> <tr> <td>4 家族の起源</td> <td>12 家族の機能</td> </tr> <tr> <td>5 現代家族の問題</td> <td>13 親としての発達</td> </tr> <tr> <td>6 女性の生きがい</td> <td>14 核家族の心理</td> </tr> <tr> <td>7 少子化の心理的要因</td> <td>15 家族のこれから</td> </tr> <tr> <td>8 少子化の社会的背景</td> <td></td> </tr> </table>					1 家族心理学について	9 夫婦の役割	2 家族形態の系統発生的検討	10 女性の自立	3 霊長類社会の進化	11 親子の問題	4 家族の起源	12 家族の機能	5 現代家族の問題	13 親としての発達	6 女性の生きがい	14 核家族の心理	7 少子化の心理的要因	15 家族のこれから	8 少子化の社会的背景	
1 家族心理学について	9 夫婦の役割																			
2 家族形態の系統発生的検討	10 女性の自立																			
3 霊長類社会の進化	11 親子の問題																			
4 家族の起源	12 家族の機能																			
5 現代家族の問題	13 親としての発達																			
6 女性の生きがい	14 核家族の心理																			
7 少子化の心理的要因	15 家族のこれから																			
8 少子化の社会的背景																				
【テキスト】 e-Learningサーバ(https://ceas.mimasaka.ac.jp/)にて資料を配信。																				
【参考図書】 家族心理学への招待 ミネルヴァ書房 2006																				
【成績評価の方法】 毎回提出の出席ペーパー(20%) 論述式の試験(80%)																				

コーディネート科目
(シラバス)

授業科目名 ちゅうぎん『金融知力』講座			担当コーディネーター 三浦 孝仁教授 非常勤講師(メンター): 太田 英利、川口 哲生、武田 真美、井上 智美、中島 亮※、田村 道明※	
履修年次: 全	単位数: 2	開講期: 後期	コマ数: 1	連絡先: 中国銀行広報CSRセンター TEL : 086-223-3111 Eメール: pj209wpt@cc.okayama-u.ac.jp
【授業の概要】 毎回各テーマの専門家を迎え1回完結の講義を15回実施します。講義内容は社会生活に必要な基礎知識で構成し、「国家財政や公的年金制度の現状と今後の計画を知る」「悪徳金融の手口を知り、引っかけられない知恵を持つ」「さまざまな金融サービスの利便性と注意点を知る」といったテーマを扱います。講義以外の質問や相談は非常勤講師(メンター)がサポートします。				
【到達目標】 収入や財産は人それぞれ違うため、「大きな買い物をする」「将来のために貯蓄をする」といったことは、一人ひとりが自分の状況に応じて計画を立てる必要があります。この講座では、そういった人生計画に必要な知識を提供することで、受講者がお金をコントロールする知力(知識と活用能力)を修得することを到達目標とします。				
【授業計画】				
1	24.10.09.火	はじめに	・「オリエンテーション」: 中国銀行 総合企画部 広報CSRセンター ・「就職活動の最新事情と会社員の金銭事情」ゲストスピーカー: 中国銀行 人事部	
2	24.10.16.火	パートⅠ: 現実認識	・「最近の経済・財政・金融情勢について」 特別講演: 財務省 岡山財務事務所長	
3	24.10.23.火	パートⅠ: 現実認識	・「社会人基礎力」 ゲストスピーカー: 岡山経済研究所	
4	24.10.30.火	パートⅠ: 現実認識	・「大学生と公的年金制度」 ゲストスピーカー: 岡山県金融広報委員会金融広報アドバイザー 社会保険労務士	
5	24.11.06.火	パートⅠ: 現実認識	・「悪徳商法への対処と相談方法」 ゲストスピーカー: 岡山県金融広報委員会金融広報アドバイザー	
6	24.11.13.火	パートⅠ: 現実認識	・「多重債務問題と金融経済教育」 特別講演: 財務省 岡山財務事務所 総務課長	
7	24.11.20.火	パートⅡ: 金融解説	・「クレジットカードの利用方法と注意点」 ゲストスピーカー: 中国銀行 営業企画部 クレジットカードセンター	
8	24.11.27.火	パートⅡ: 金融解説	・「住宅取得と住宅ローン」 ゲストスピーカー: 中国銀行 営業支援部	
9	24.12.04.火	パートⅡ: 金融解説	・「直接金融と間接金融、預金・個人向け国債・ミニ公募債について」 ゲストスピーカー: 中国銀行 金融営業部	
10	24.12.11.火	パートⅡ: 金融解説	・「貯蓄と投資の違い、株式投資の解説」 ゲストスピーカー: 中国銀行 金融営業部	
11	24.12.18.火	パートⅡ: 金融解説	・「為替相場と、外貨預金・外国債券について」 ゲストスピーカー: 中国銀行 金融営業部	
12	25.01.08.火	パートⅡ: 金融解説	・「投資信託のしくみと具体的商品の解説」 ゲストスピーカー: 中国銀行 金融営業部	
13	25.01.15.火	パートⅡ: 金融解説	・「就職するとすぐ勧誘される生命保険の話」 ゲストスピーカー: 中国銀行 金融営業部	
14	25.01.22.火	パートⅡ: 金融解説	・「ネットバンキングの利用法と注意点」 ゲストスピーカー: 中国銀行 営業企画部	
15	25.01.29.火	まとめ	・「学生による授業評価アンケート」 ・「中国銀行役員による特別授業」	
【テキスト】 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメを使用します。(テキスト・教材費無料)				
【参考図書】 過去の講義模様を大学コンソーシアム岡山のホームページよりインターネット動画配信で見ることができます。				
【講義会場等】 ちゅうぎん駅前ビル4階会議室(JR岡山駅東口より桃太郎大通り右側徒歩5分。中国銀行岡山駅前支店の建物。)駐車場、駐輪場はありません。会場建物内での飲食・喫煙はできません。開催日・講義時刻は毎週火曜日17:30~19:00(祝日冬休みを除く)ですが、冬休みの設定は各大学の講義カレンダーと違う独自設定ですのでご注意ください。はしか・インフルエンザ等の感染拡大を防ぐため、感染者および学級閉鎖となった大学の学生に対して強制的に欠席を指示する可能性があります。本講義では受講者との連絡手段としてEメールを利用します。				
【成績評価の方法】 出席点60%、レポート40%、受講態度・勉強意欲(±α)。公休および常習的な遅刻は出席日数には数えませんが成績を減点します。欠席6回以上は単位を付与しません。公休認定は、個別に判断します。出席はシヤトルカードの提出によりカウントします。 レポートは簡易な複数のテーマから1つを選びA4サイズで1枚1200字(40行)前後とします。一見簡単そうですが、書きたいだけの文章量で持論を述べるより、指定された短い文章内で主張の核心を述べることを求められることが社会では多く、またその方が難しいことを体験していただきます。 なお、極端に短いレポートは減点します。また、他講座の内容・有名人の持論や出版物・インターネットからの引用中心のものは低く評価し、多少の用語の誤用があっても「自分の言葉」で自分の意見を展開しているものを高く評価します。 レポートは、Eメールに添付するかたちで、提出していただきます。				
【注意事項】 本講座の岡山大学での正式講座名は「キャリア形成基礎講座Ⅲ(ちゅうぎん「金融知力」講座)」です。 ※は金融知力普及協会認定インストラクターです。				

各大学の施設利用と案内図

各大学の施設の利用について

受入大学	利 用 案 内
岡山大学	1. 岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。 2. 以下の印刷物を配付します。(学務部学務企画課) ①キャンパスマップ ②学生証(単位互換履修生証) ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ) (配付開始日:前期4月9日～後期10月1日～) 3. 自動車通学を希望する場合,申請して許可を受ける必要があります。また,駐車料金は有料です。
岡山県立大学	1. 岡山県立大学在学の学生と同じ扱いとします。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①履修案内 (教学課教務班) ②シラバス(該当科目) (教学課教務班) ③授業時間割表 (教学課教務班) ④学生便覧 (教学課学生支援班)
岡山学院大学	1. 岡山学院大学在学の学生と同じ扱いとします。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①シラバス(該当科目) (学務課)
岡山商科大学	1. 岡山商科大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学生便覧(履修のてびき・時間割) (教務課) ②講義案内システムパスワード (教務課) ③学生証(単位互換履修生証) (学生課) ④学生手帳 (学生課) ⑤図書館利用案内 (図書課)
岡山理科大学	1. 岡山理科大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①時間割 (教務課) ②身分証明書 (学生課)

受入大学	利 用 案 内
川崎医科大学	1. 川崎医科大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学習の手引き (学務課教務係) ②シラバス (学務課教務係) ③大学案内 (学務課教務係) ④教育と研究 (学生課) ⑤学生証(単位互換履修生証) (学生課)
川崎医療福祉大学	1. 川崎医療福祉大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学生便覧 (教務課) ②シラバス (該当科目) (教務課) ③名札・学生証 (学生課)
環太平洋大学	1. 環太平洋大学在学の学生と同じ扱いとします。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学生便覧 (教務課) ②授業時間割表 (教務課) ③シラバス (教務課) ④UNIVERSAL PASSPORTのID&PW (教務課) ⑤学生証 (単位互換履修生) (学生課)
吉備国際大学	1. 吉備国際大学在学の学生と同じ扱いとします。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学生便覧 (教務課) ②キャンパスガイド (入試広報室) ③授業時間割 (教務課) ④シラバス (該当科目) (教務課) ⑤図書館案内 (図書館) ⑥身分証明書 (学生課)
倉敷芸術科学大学	1. 倉敷芸術科学大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①身分証明書 (教務課)

受入大学	利 用 案 内
くらしき作陽大学	1. くらしき作陽大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ① 学生便覧 (教育支援室) ② 図書館案内 (教育支援室) ③ 学生証 (単位互換履修生証) (教育支援室)
山陽学園大学	1. 山陽学園大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①履修ガイド (教務部) ②学生生活ガイド (教務部) ③授業時間割表 (教務部) ④シラバス (該当科目) (教務部) ⑤単位互換履修生証 (教務部) ⑥図書館利用案内 (教務部) ⑦駐車許可証 (必要な方のみ) (教務部)
就実大学	1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①履修要覧 (学生支援課) ②シラバス (学生支援課) ③時間割表 (学生支援課) ④単位互換履修生証 (学生支援課) ⑤キャンパスガイド (学生支援課)
中国学園大学	1. 中国学園大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学生便覧 (教務課) ②授業時間割表 (教務課) ③シラバス (該当科目) (教務課) ④学生証 (単位互換履修生証) (教務課) ⑤図書館案内 (図書館)
ノートルダム清心女子大学	1. ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学生便覧 (学務部教務係) ②授業案内 (SYLLABUS) (学務部教務係) ③NDSUライフ (学務部学生係) ④学内案内図 (学務部学生係) ⑤身分証 (学務部学生係) ⑥図書館利用案内 (附属図書館)
美作大学	1. 美作大学在学の学生と同じ扱いとする。 2. 以下の印刷物を配付します。 ①学生便覧 (教務課) ②シラバス (該当科目) (教務課) ③授業時間割表 (教務課) ④行事予定表 (教務課) ⑤学生証 (総務課) ⑥キャンパスガイド (学生課) ⑦駐車許可証 (該当者) (総務課または学生課) ⑧図書館案内利用の手引き (図書館)

- 岡山駅東口バスターミナル 5 番乗り場から【22】系統「市役所経由 労災病院」行き、【52】系統「(市役所経由)大東」行きに乗車
- 岡山駅東口バスターミナル 6 番乗り場から【12】「岡南営業所」行きに乗車

▼
「大学病院前」で下車 ※所要時間約 10 分

JR岡山駅→路面電車

- 岡山駅前の電車乗場から「清輝橋」行に乗車

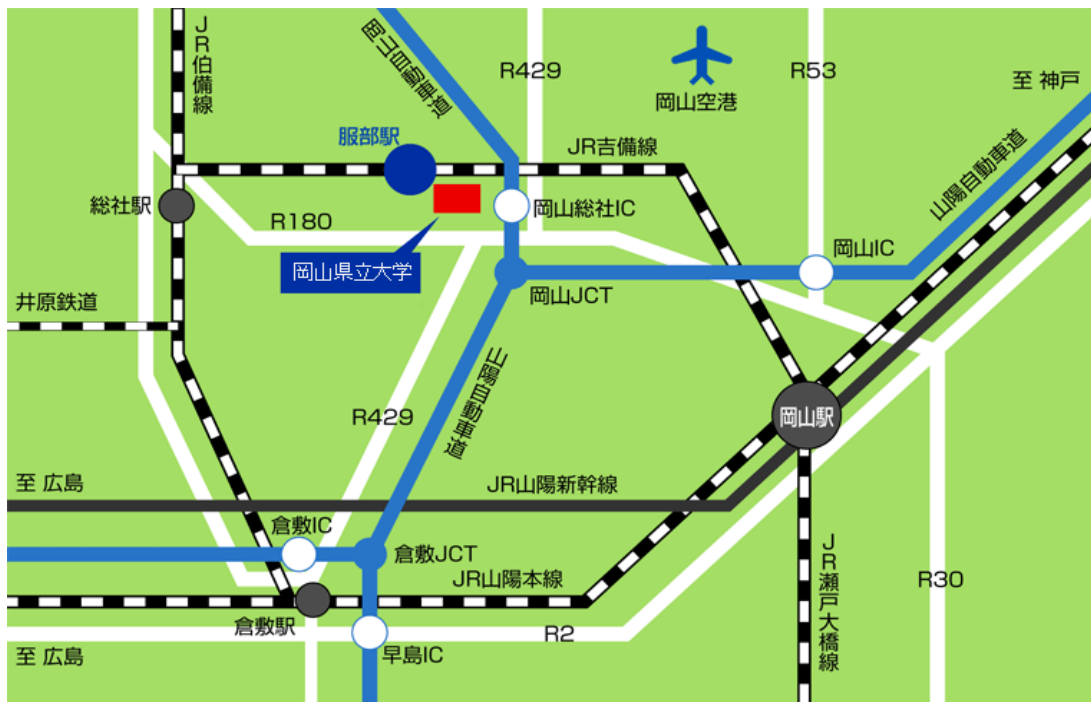
▼
終点「清輝橋」下車→大学まで徒歩 ※所要時間 電車約 10 分 徒歩約 8 分

岡山市内キャンパス等位置図



岡山大学公式HP「交通アクセス」 (<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

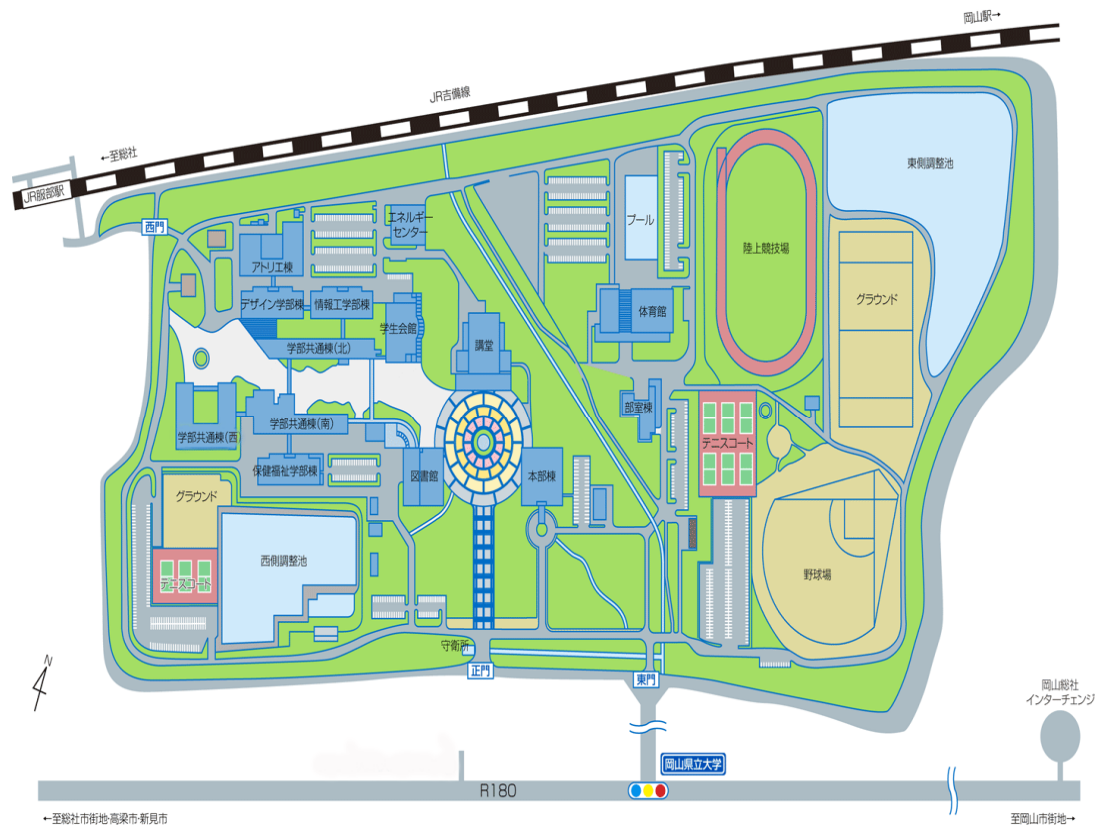
岡山県立大学へのアクセス



【交通のご案内】

- JR吉備線・服部駅（JR岡山駅から25分）から徒歩5分。
- 岡山自動車道・総社岡山西ICから車で5分。

キャンパスマップ



岡山商科大学 案内図



【所在地】

〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1

TEL : (086) 252-0642(代表) FAX : (086) 255-6947(代表) URL : <http://www.osu.ac.jp/>

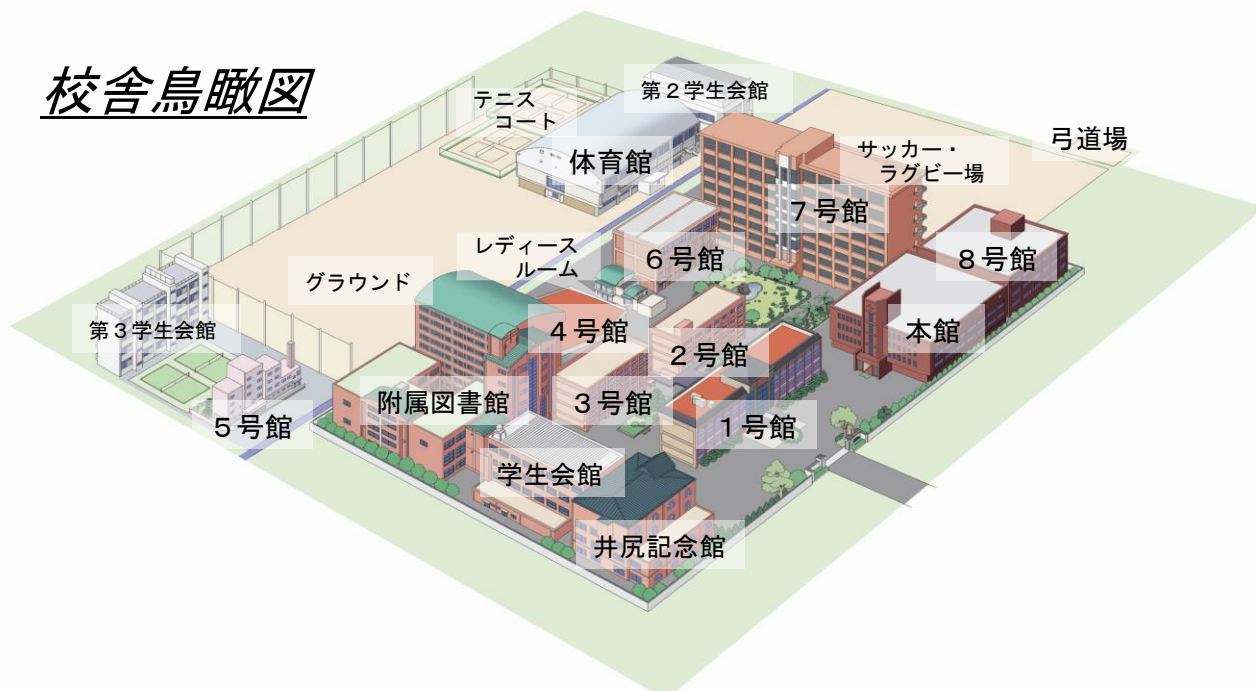
【交通アクセス】

◎JR岡山駅よりバス利用 所要時間 15分, バス便多数あり

対象路線: 国立病院線, 免許センター線, 辛香線, 半田山ハイツ・津高台団地線

◎山陽自動車道 岡山 I.C. より車で5分

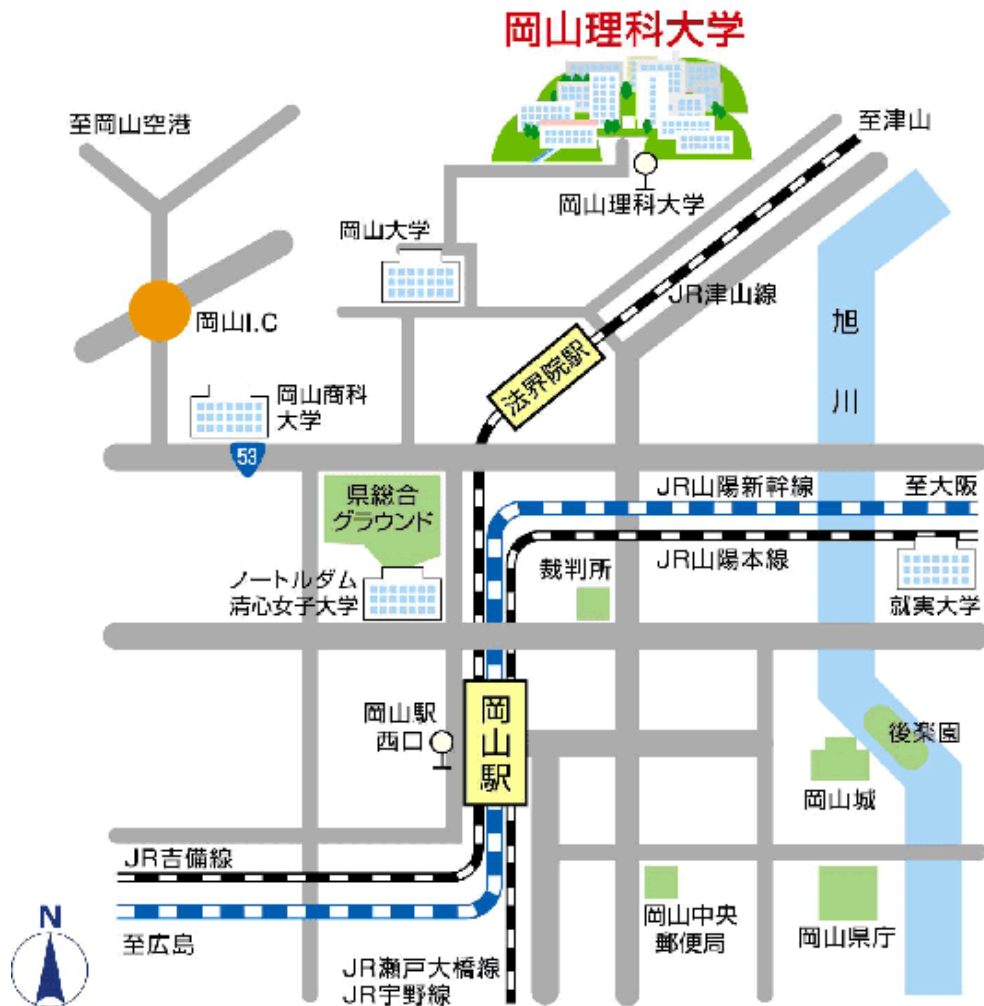
校舎鳥瞰図



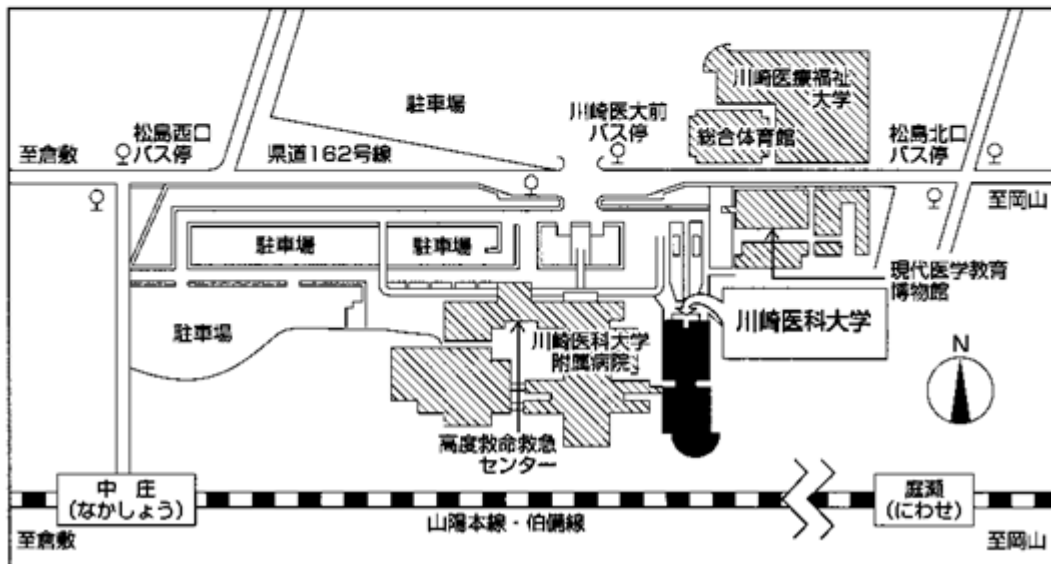
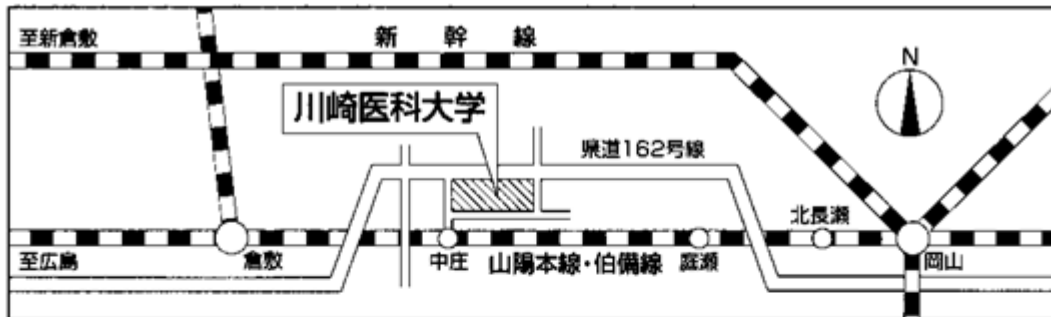
岡山理科大学へのアクセス・周辺マップ

交通手段	出発場所	路線	下車場所	所要時間
岡電バス	JR岡山駅西口	岡山理科大学行	岡山理科大学バス停 岡山理科大学東門バス停	バス20分、徒歩0分、片道200円
岡電バス	JR岡山駅東口	理大東門行	岡山理科大学東門バス停	バス30分、徒歩0分、片道200円
JR タクシー	JR岡山駅 JR岡山駅西口	JR津山線 岡山理科大学	法界院駅 岡山理科大学	JR4分、徒歩25分 タクシー15分、徒歩0分

(住所) 〒700—0005 岡山市北区理大町1-1 (電話番号) 086—252—3161(代表)



川崎医科大学へのアクセス



- ・JR 山陽本線、伯備線の場合は、中庄駅下車、1 km徒歩で約 10 分。
- ・タクシーは、岡山駅から約 30 分、倉敷駅から約 15 分。

環太平洋大学へのアクセス

アクセス

第1キャンパス

〒709-0863

岡山市瀬戸町観音寺721番地

▶ MAP

第2キャンパス

〒703-8211

岡山市矢津2050番地13

▶ MAP

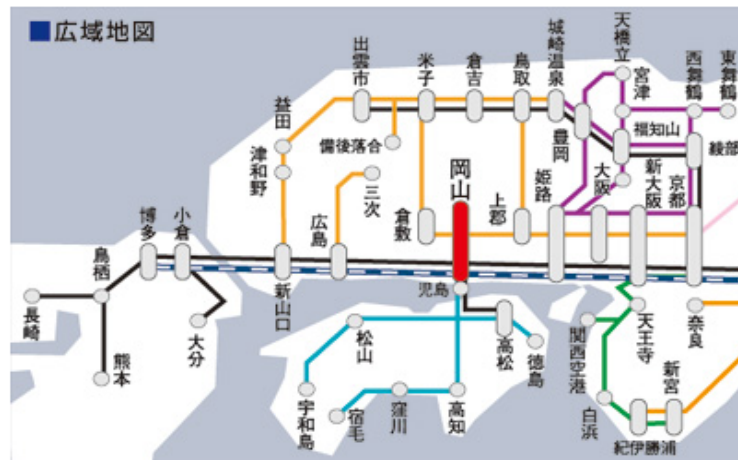


交通手段

■JR山陽本線 瀬戸駅より
第1キャンパス…車で10分

■JR山陽本線 東岡山駅
(岡山駅から3駅:9分)より
第1キャンパス…車で10分
第2キャンパス…車で5分

※シャトルバス運行中



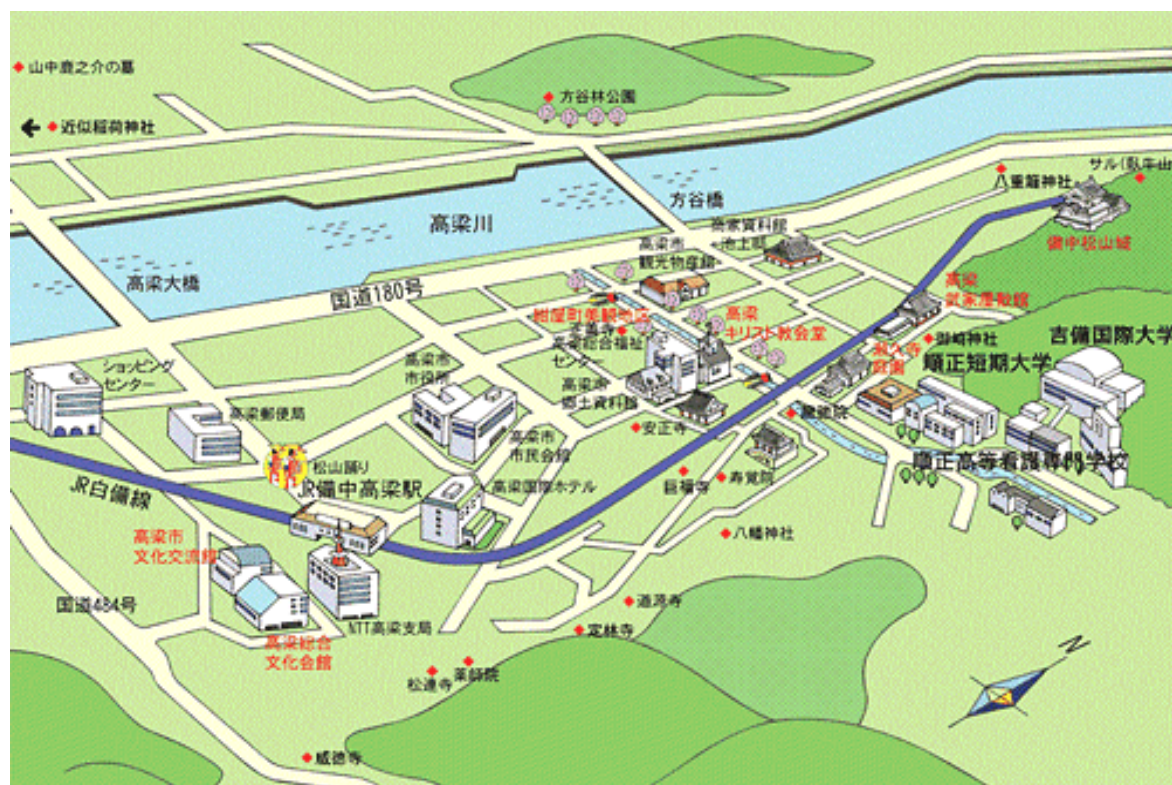
事務局

パシフィックに行こう
0120-849215
TEL.086-958-0200 (代表)

ホームページから
のお問い合わせは

▶ [こちら](#)

吉備国際大学へのアクセス



学校法人順正学園 吉備国際大学
スチューデントサポートセンター 教務部

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8
TEL 0866-22-7404 (センター直通)
FAX 0866-22-8746 (センター専用)

倉敷芸術科学大学までのアクセス



交通機関

【JR(新幹線・山陽本線 新倉敷駅)】

大学の最寄り駅は JR 新倉敷駅です。

JR 岡山駅からは山陽本線で新倉敷駅まで 約 20 分です。

【バス・タクシー(新倉敷駅～大学)】

新倉敷駅から大学までは 定期バスが運行されています。

倉敷駅からもバスは運行されています。なお、タクシー利用の場合、新倉敷駅から約 15 分です。

くらしき作陽大学へのアクセス



- 電車でのアクセス

JR 山陽本線岡山駅から新倉敷駅まで 35 分

JR 山陽本線・山陽新幹線 新倉敷駅下車北口より徒歩 15 分

- 自動車でのアクセス

山陽自動車道 玉島インターより 5 分

〒710-0292

岡山県倉敷市玉島長尾 3515

TEL. 086-523-0888 (代表)

FAX. 086-523-0811

山陽学園大学へのアクセス

【所在地】〒703-8501 岡山市中区平井1丁目14-1

【問い合わせ先】TEL : (086)272-6254(代表) (086)901-0503(教務部直通)

FAX : (086)273-3226

E-mail : kyoumu@sguc.ac.jp



【所要時間】直行バス：JR岡山駅から約20分です。

路線バス：JR岡山駅から約25分、天満屋バスステーションから約15分です。

※お車での来学も可能です。（駐車場あり）

就実大学

〒703-8516岡山市中区西川原1-6-1

TEL. (086) 271-8120 (学生支援課直通)

FAX. (086) 271-8119

E-mail kyoumu@shujitsu.ac.jp

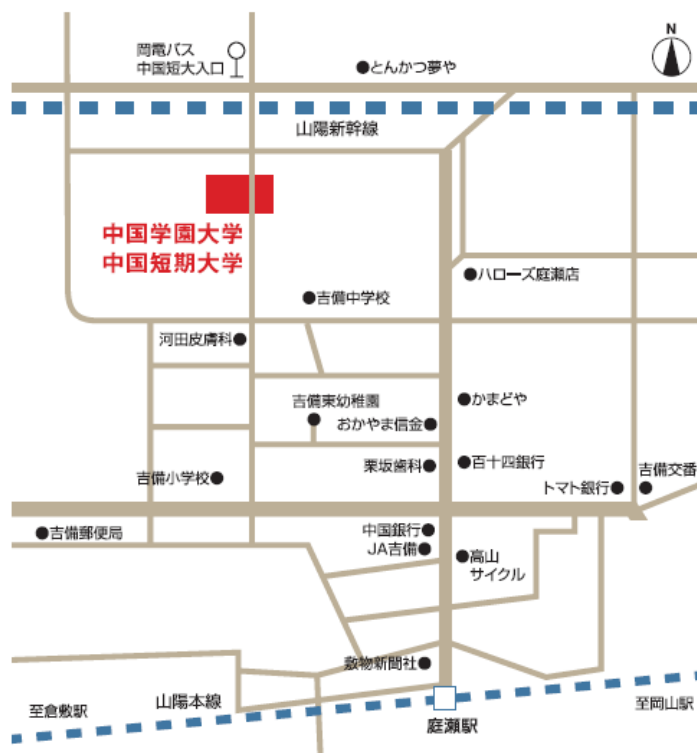
就実大学へのアクセス

交通アクセス



- JR山陽本線 「西川原・就実駅」 下車すぐ
- JR岡山駅バスターミナル⑪のりば 宇野バス 東岡山行き乗車 (約10分)
就実大学・短大前 下車

中国学園大学 ACCESS



●JR庭瀬駅まで

- JR岡山駅より山陽本線で約6分
- JR倉敷駅より山陽本線で約9分
- JR福山駅より山陽本線で約50分
- 庭瀬駅より徒歩約13分

●JR岡山駅まで

- JR津山駅より津山線で約70分
- JR姫路駅より山陽新幹線で約25分
- JR高松駅より瀬戸大橋線で約60分
- JR米子駅より伯備線で約120分

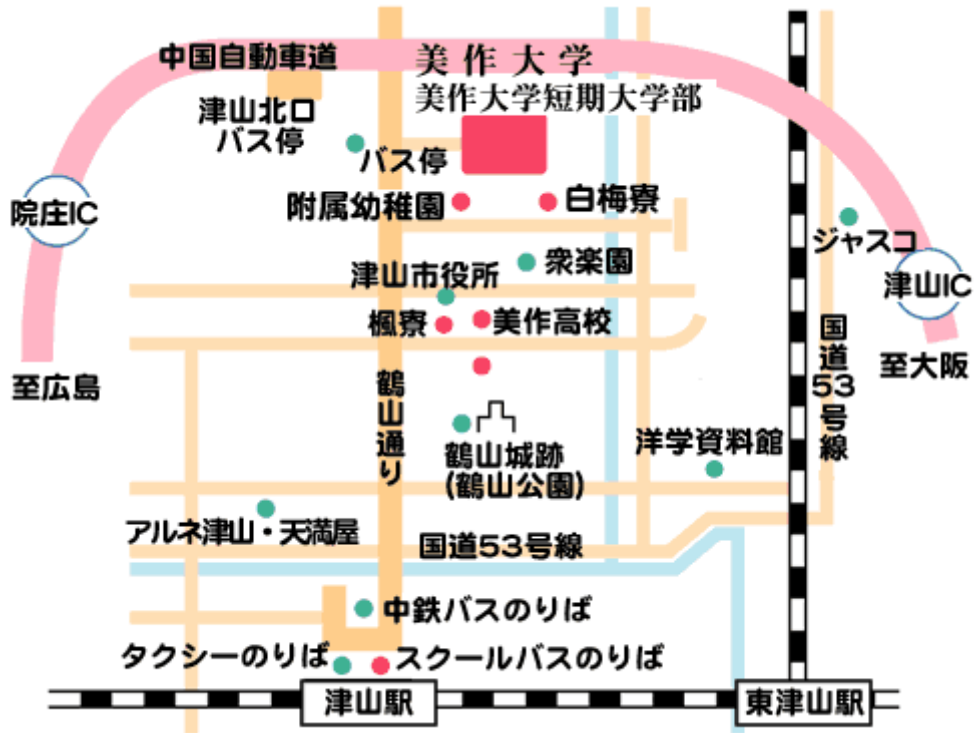
ノートルダム清心女子大学までのアクセス

- 岡山駅から北へ徒歩 15 分
- 岡電バス（万成、津高営業所方面行等）又は中鉄バスのいずれかで「済生会病院前」下車

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



美作大学へのアクセス



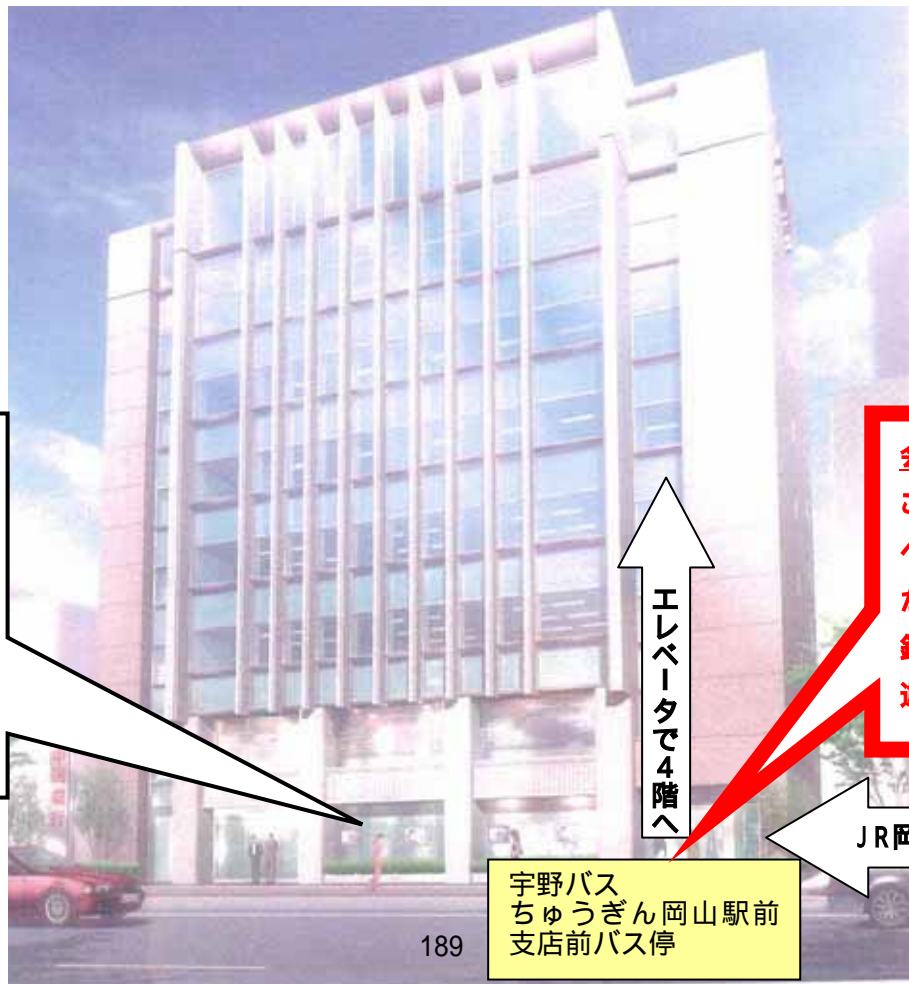
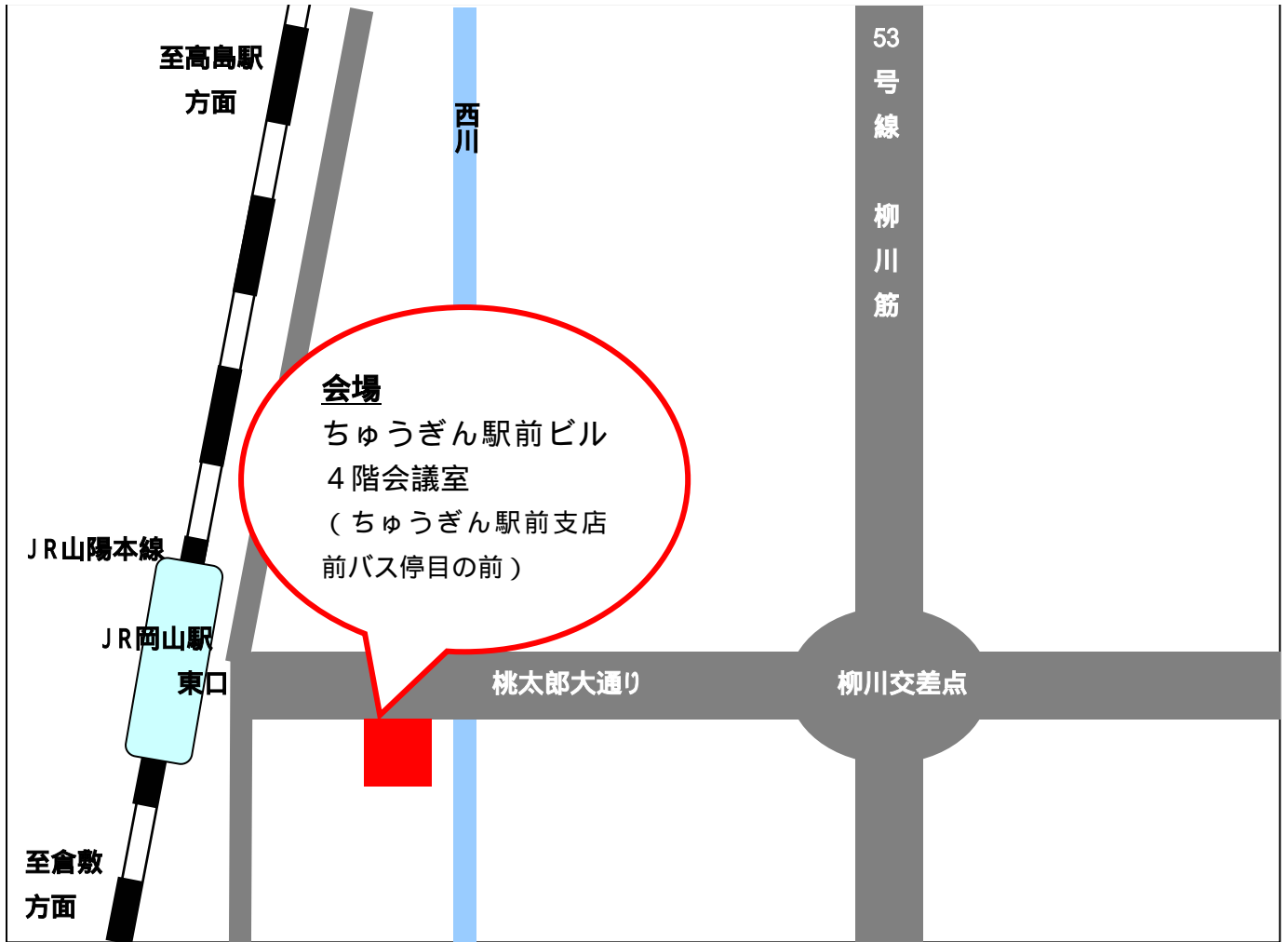
美作大学教務課

〒708-8511 岡山県津山市北園町 50

TEL 0868-22-7310 (教務課直通)

FAX 0868-23-6936

ちゅうぎん金融知力講座会場地図



銀行入り口

ここからは、講義会場
に入れない！

中銀岡山駅前支店の
行員に問い合わせし
ても講義のことは判
りません。

会場入り口

このテナント用エレ
ベーターから4階に上
がる。
銀行窓口入り口とは
違うので注意！

単位互換科目履修願

* 各大学の「履修願」をコピーして、使用してください。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学				
学部・学科・学年	学部	学科	年	
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年
			昭和・平成	年 月 日
現住所	〒 ————— Tel () —			

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
01001	自尊感情の心理学	井上 祥治	2	後期	1～4				木 2
01002	日本語の歴史	江口泰生	2	前期	1～4				木 2
01003	岡山関係の文学(1)	山本秀樹	2	前期	1～4				金 2
01004	生命科学入門	村田 芳行 他	2	前期	1～4				木 2
01005	環境問題とその解決のための 化学技術	木村 幸敬, 加藤 嘉英	2	前期	1～4	若干名			木 2
01006	痛みの科学	北山 滋雄 他	2	前期	1～4				月 1
01007	スポーツ実習B(正しいスノー ケリングと体験ダイビング)	三浦 孝仁	1	前期集中	1～4				集 中
01008	キャリア形成<総合演習> Ⅲ 専門スキルを身につける ① 初級	三浦孝仁 他	2	前期集中	1～4				集 中
01009	キャリア形成<総合演習> Ⅲ 専門スキルを身につける ② 中級	片山 敬子 他	2	前期集中	1～4				集 中
01010	スポーツ実習B「スノーボー ド」	山口 立雄,杉 山 貴義	1	後期集中	1～4				集 中
01011	健康・スポーツ科学	鈴木 久雄	2	通年	1～4				水 18時半～
01012	韓国語中級	陳南澤	2	前期	1～4	定員各10名(履修 願に韓国語学習歴 を記載した文書を 添えて提出してくだ さい)			水 3
01013	韓国語中級	陳南澤	2	後期	1～4				水 3
01014	先進科学体験	大嶋 孝吉 他	1	通年	1～4				夏期集中
01015	セルビア・クロアチア語①	鐸木 道剛	2	前期	1～4				木 4

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
01016	セルビア・クロアチア語②	鐸木 道剛	2	前期	1～4				木 5
01017	英語科教育(第二言語習得研究)	高塚 成信	2	前期	2～4				金 5
01018	中等英語科指導法A	高橋 幸子	2	後期	1～4				金 5
01019	気象学	加藤 内蔵進	2	後期	2～4				月 5
01020	アジア法	張 紅	2	前期	3～4	文化系定員10名			火 6
01021	比較政治 I	成廣 孝	2	後期	3～4	文化系定員10名			水 6
01022	現代数学要論 I	中村 博昭	2	前期	1～4	定員10名程度			金 5
01023	基礎物理学 I	村岡 祐治	2	前期	1～4	定員10名程度			月 2
01024	基礎有機化学	西原 康師	2	前期	1～4	定員10名程度			水 3
01025	基礎生物学 I	富岡 憲治	2	前期	1～4	定員10名程度			月 1
01026	基礎地球科学A	山川 純次	2	前期	1～4	定員10名程度			金 4
01027	環境と健康	山岡 聖典 他	2	前期	1～4	若干名(場所:一般教育棟)			木 2
01028	保健科学入門	景山 甚郷 他	2	前期	1～4	若干名(場所:臨床第1講義室)			火 1
01029	細胞生物学	杉本 朋貞 他	2	後期	1～4	5名以内			火 5
01030	生体材料学1	松本 卓也 他	1	前期前半	1～4	5名以内			火 3
01031	生体材料学2	松本 卓也 他	1	後期前半	1～4	5名以内			火 4
01032	口腔感染防御論	高柴 正悟	1	後期前半	1～4	5名以内			火 3
01033	口腔内科学	高柴 正悟	1	前期後半	1～4	5名以内			木 2
01034	有機化学I	竹内 靖雄	2	前期	1～4	定員10名, 理工科系・生命科学系学生用			木 5
01035	機械システム系概論	瀬沼, 鈴木 他	1	前期前半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			火 1
01036	機械システム系概論	瀬沼, 鈴木 他	1	前期前半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			木 1
01037	電気通信系概論	船曳, 塚田 他	1	前期後半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			火 1
01038	電気通信系概論	船曳, 塚田 他	1	前期後半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			木 1
01039	情報系概論	名古屋 他	1	前期前半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			火 1
01040	情報系概論	名古屋 他	1	前期前半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			木 1
01041	化学生命系概論	妹尾, 高井 他	1	前期後半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			火 1
01042	化学生命系概論	妹尾, 高井 他	1	前期後半	1～4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			木 1
01043	特殊加工学	岡田 晃	2	前期	3～4	定員20名, 理工系学生用			水 1
01044	コンピュータグラフィクス	金谷健一, 新妻 弘崇	2	後期	3～4				月 2
01045	計算統計学 I	垂水 共之	2	後期	3～4	定員10名 統計の基礎知識を有すること。			火 2
01046	循環型社会システム	河原 長美, 河村 雄行, 松井 康弘	2	前期	2～4	定員10名			水 2
01047	基礎地球科学	赤江 剛夫, 西村 伸一	2	後期	1～4	定員10名			月 5
01048	環境生物学	田中丸 重美, 中田 和義	2	後期	2～4	定員10名			木 5
01049	環境と物質	高口 豊, 難波 徳郎	2	前期	1～4	定員10名			火 2

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
01050	食品生化学	中村 宜督	2	前期	3～4	若干名			木 1
01051	農業協同組合論	小松 泰信	2	後期	3～4	若干名			火 1
01052	食料政策学	小松 泰信	2	後期	3～4	若干名			水 1
01053	農業経営学	小松 泰信	2	前期	2～4	若干名			水 1
01054	栄養生化学	坂口 英, 宮本 拓	2	前期	2～4	若干名			木 5
01055	農場体験実習	齊藤 邦行	1	前期集中	1～4	若干名			集 中
01056	基礎遺伝学	田原 誠, 国枝 哲夫, 加藤 鎌司	2	後期	1～4	若干名			木 3
01057	応用微生物学 I	稲垣 賢二	2	前期	2～4	若干名			火 2
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

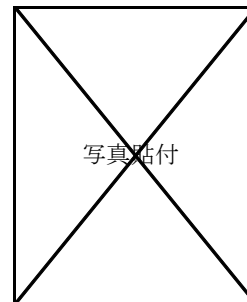
所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

提出日 年 月 日

岡山県立大学長 殿

ふりがな
氏 名

印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

* 学生は太枠内のみ記入

所属大学			
学部・学科・学年	学部	学科	年
学生番号			
ふりがな		性別	西暦 年
氏 名		男・女	生年月日 昭和 年 月 日
現住所	〒 - Tel () -		

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授業科目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	評価	履修希望	曜日・時限
02001	比較文化	桂 宥子	2	前期	1~4				水・5
02002	現代の思想	子野日 俊夫	2	後期	1~4				金・2
02003	音楽の鑑賞	岡崎 順子	2	後期	1~4				水・1
02004	ヨーロッパ文学	長谷川 弘基	2	後期	1~4				水・5
02005	造形文化論 I (美学)	子野日 俊夫	2	後期	1~4				水・1
02006	造形文化論 II (近代美術)	瀧本 雅志	2	前期	1~4				水・5
履修希望単位数計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山学院大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
03001	栄養学入門	竹原良記	2	前期	1年次	定員10名			土・2
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山商科大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学				
学部・学科・学年	学部	学科	年	
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年
			昭和・平成	年 月 日
現住所	〒 ————— Tel () —			

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
04001	行政法Ⅰ	伊藤 治彦	2	前期	2～4	定員20名			木3
04002	行政法Ⅱ	伊藤 治彦	2	後期	2～4	定員20名			木3
04003	行政法Ⅲ	伊藤 治彦	2	前期	2～4	定員20名			木2
04004	行政法Ⅳ	伊藤 治彦	2	後期	2～4	定員20名			木2
04005	法哲学Ⅰ	青井 秀夫	2	前期	2～4	定員20名			木1
04006	法哲学Ⅱ	青井 秀夫	2	後期	2～4	定員20名			木1
04007	雇用社会と法Ⅰ	香山 忠志	2	前期	2～4	定員20名			木1
04008	雇用社会と法Ⅱ	香山 忠志	2	後期	2～4	定員20名			木1
04009	民法概説	倉持 弘	2	後期	1～4	定員20名			月4
04010	民法総則	倉持 弘	2	後期	1～4	定員20名			金3
04011	債権総論	倉持 弘	2	前期	2～4	定員20名			金3
04012	物権総論	下田 大介	2	前期	2～4	定員20名			水2
04013	契約法	下田 大介	2	前期	2～4	定員20名			木3
04014	不法行為法	下田 大介	2	後期	2～4	定員20名			木3
04015	労働経済学Ⅰ	有利 隆一	2	前期	2～4	定員15名			月4
04016	労働経済学Ⅱ	有利 隆一	2	後期	2～4	定員15名			月4
04017	マクロ経済学	山下 賢二	2	前期	2～4	定員15名			火1

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
04018	中級マクロ経済学	山下 賢二	2	後期	2～4	定員15名			火1
04019	経済政策 I	喜田 栄次郎	2	前期	2～4	定員15名			水1
04020	経済政策 II	喜田 栄次郎	2	後期	2～4	定員15名			水1
04021	ミクロ経済学	福田 亘	2	前期	2～4	定員15名			金2
04022	中級ミクロ経済学	福田 亘	2	後期	2～4	定員15名			金2
04023	地方財政論 I	多田 憲一郎	2	前期	3～4	定員15名			火2
04024	地方財政論 II	多田 憲一郎	2	後期	3～4	定員15名			火2
04025	市場調査論	佐井 至道	2	前期	2～4	定員15名			金2
04026	社会保障論 I	山下 隆資	2	前期	2～4	定員15名			月3
04027	社会保障論 II	山下 隆資	2	後期	2～4	定員15名			月3
04028	国際経済学 I	山下 賢二	2	前期	2～4	定員15名			木1
04029	国際経済学 II	山下 賢二	2	後期	2～4	定員15名			木1
04030	経営統計学 I	西 敏明	2	前期	2～4	定員15名			火4
04031	応用情報処理 I	西 敏明	2	前期	1～4	定員15名			月1
04032	経営学特殊講義 I	大崎 紘一	2	前期	2～4	定員15名			月4
04033	経営学特殊講義 II	大崎 紘一	2	後期	2～4	定員15名			月4
04034	ビジネス概論 I	大城 裕二	2	前期	1～4	定員15名			火3
04035	ビジネス概論 II	大城 裕二	2	後期	1～4	定員15名			火3
04036	簿記論 I	長谷川 博史	2	前期	1～4	定員15名			水2
04037	簿記論 II	長谷川 博史	2	後期	1～4	定員15名			水2
04038	情報処理概論 II	島田 伸夫	2	後期	1～4	定員15名			水3
04039	社会調査実践	田中 潔	4	通年	3～4	定員5名			月4
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山理科大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦 年 月 日		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授業科目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	評価	履修希望	曜日・時限
05001	キャリア形成講座	飯田 哲司 他	2	前期	1~4	定員10名			木 7・8
05002	キャリア形成講座	飯田 哲司 他	2	後期	1~4	定員10名			木 7・8
05003	情報数学 I	澤江 隆一	2	前期	3~4	定員10名			火 7・8
05004	情報数学 II	澤江 隆一	2	後期	3~4	定員10名			火 7・8
05005	安全化学	豊田 真司	2	前期	3~4	定員10名			水 3・4
05006	物理学入門	中川 益生	2	前期	1~4	定員10名			水 1・2
05007	科学・工作ボランティア入門	高原 周一 他	2	前期集中	1~4	若干名			前期集中
05008	科学技術と人間	若村 国夫	2	後期	1~4	定員10名			金 7・8
05009	地球科学 I	山口 一裕	2	前期	1~4	定員10名			木 3・4
05010	地学基礎論 I	小林 祥一	2	前期	1~4	定員10名			月 5・6
05011	地学基礎論 II	小林 祥一	2	後期	1~4	定員10名			月 5・6
05012	分子遺伝学 I	池田 正五	2	前期	2~4	定員10名			金 3・4
05013	環境生物化学	野上 祐作	2	後期	2~4	定員10名			月 5・6
05014	食薬学	松浦 信康	2	後期	3~4	定員10名			金 1・2
05015	解剖学	由谷 親夫	2	前期	2~4	定員10名			水 5・6
05016	健康管理概論	橋川 成美	2	後期	3~4	定員10名			月 1・2
05017	集団遺伝学	浅田 伸彦	2	前期	3~4	定員10名			火 3・4

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
05018	ナノサイエンス	富永 敏弘	2	後期	3～4	定員10名			木 1・2
05019	応用酵素学	永谷 尚紀	2	後期	2～4	定員10名			月 5・6
05020	生化学 I	滝澤 昇	2	前期	2～4	定員10名			金 3・4
05021	CAD/CAM	田中 雅次	2	後期	3～4	定員10名			水 7・8
05022	高速ビークル	金枝 敏明	2	後期	3～4	定員10名			木 3・4
05023	センサ工学	河村 実生	2	後期	2～4	定員10名			木 5・6
05024	ロボット工学	クルモフ パレリー	2	後期	3～4	定員10名			月 5・6
05025	コンピュータネットワーク	信吉 輝己	2	後期	3～4	定員10名			木 3・4
05026	画像処理とCG	島田 英之	2	後期	2～4	定員10名			水 1・2
05027	並列処理	上嶋 明	2	後期	3～4	定員10名			水 5・6
05028	人間工学	久野 弘明	2	前期	1～4	定員10名			金 3・4
05029	アミューズメント工学	山田 訓	2	前期	3～4	定員10名			月 3・4
05030	アクチュエータ機構学	堂田 周治郎	2	後期	3～4	定員10名			水 5・6
05031	ユニバーサルデザインⅡ (隔週)	神谷 茂保	2	後期	3～4	定員10名			月 7・8
05032	アミューズメントコントローラ	赤木 徹也	2	後期	3～4	定員10名			水 3・4
05033	データベース	北川 文夫	2	前期	2～4	定員10名			火 7・8
05034	エコツーリズム技法	西村 直樹 他	2	通期	1～4	若干名			夏期集中
05035	東アジア考古学	亀田 修一	2	後期	3～4	定員10名			水 3・4
05036	応用地質学	能美 洋介	2	前期	3～4	定員10名			水 3・4
05037	経営戦略	山口 隆久	2	後期	2～4	定員10名			金 5・6
05038	マスメディア論	木村 邦彦	2	前期	1～4	定員10名			金 5・6
05039	マスメディア論	木村 邦彦	2	後期	1～4	定員10名			金 5・6
05040	東アジアの歴史	志野 敏夫	2	前期	1～4	定員10名			月 7・8
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

川崎医科大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
06001	生命科学	伏谷 建造	2.5	1~2学期	1~2年	若干名			シラバスを 確認
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

川崎医療福祉大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学 生 番 号	性 別 男・女	生年月日	西 曆 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現 住 所	〒 ————— Tel () —————				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
07001	加齢と機能	熊倉 勇美	2	前期	1~4	定員15名			水・2
07002	ヒューマンセクシャリティー論	池田 理恵	2	前期	1~4	定員15名			水・2
07003	環境と社会	近藤 芳朗	2	前期	1~4	定員15名			水・2
07004	睡眠学	保野 孝弘	2	後期	1~4	定員15名			水・2
07005	健康と音楽	田中 順子	2	後期	1~4	定員15名			水・2
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

環太平洋大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授業科目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	評価	履修希望	曜日・時限
08001	家庭・地域間コミュニケーション論	村田 久	2	前期	3~4	若干名			木2
08002	子どもの心を開くコミュニケーションスキル	住本 克彦	1	後期	1~4	若干名			木2
08003	体育社会学	山本 孔一	2	前期	2~4	若干名			火1
履修希望単位数計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

吉備国際大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
09001	水質環境論	村本茂樹	2	春学期	2				火・4
09002	土壌環境論	村本茂樹	2	秋学期	2				火・2
09003	文化財科学分析基礎Ⅰ	高木秀明	2	春学期	2				金・1
09004	文化財科学分析基礎Ⅱ	高木秀明	2	秋学期	2				金・1
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

提出日 年 月 日

倉敷芸術科学大学長 殿

ふりがな
氏 名

印

写真貼付

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

* 学生は太枠内のみ記入

所属大学			
学部・学科・学年	学部	学科	年
学生番号			
ふりがな		性別	西暦 年
氏 名		男・女	生年月日 昭和・平成 年 月 日
現住所	〒 ー Tel () ー		

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
10001	西洋美術史Ⅰ	神原 正明	2	前期	1～4	定員10名			水・3
10002	西洋美術史Ⅱ	松岡 智子	2	後期	1～4	定員10名			水・3
10003	デザイン史	近藤 研二	2	前期	1～4	定員10名			月・1
10004	美学・芸術学概論Ⅰ	森田 亜紀	2	前期	1～4	定員10名			金・1
10005	美学・芸術学概論Ⅱ	森田 亜紀	2	後期	1～4	定員10名			金・1
10006	オリエント美術史	鈴木 まどか	2	前期	2～4	定員10名			火・3
10007	水族栄養学	大塚 雅広	2	後期	2～4	定員10名			月・1
10008	環境保健科学	浅川 富美雪	2	前期	2～4	定員10名			木・3
10009	バイオメカニクス	枝松 千尋	2	前期	3～4	定員10名			水・2
10010	生命関連法規	神田 鉄平	2	後期	1～4	定員10名			月・4
10011	生命倫理	古川 敏紀	2	前期	1～4	定員10名			火・3
10012	岡山ビジネス研究	塩飽直紀・ 岡野喜良	2	後期	2～4	定員10名			木・4
10013	おかやま倉敷学	濱家 輝雄	2	前期	1～4	定員10名			木・3
10014	臨床細胞学総論Ⅰ	大野 英治 他	2	後期	1～4	定員10名			月・2
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

くらしき作陽大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
11001	消費者心理学	河村敦	2	後期	3~4				月 4
11002	食料経済	原田節也	2	後期	1~4	内容は同一(どちらか一方を選んで履修すること)			水 5
11005	食料経済	原田節也	2	後期	1~4				木 1
11003	音響学	加藤充美	2	後期	1~4				木 1
11004	中国語 I	韓雲冬	2	前期	1~4				木 3
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

山陽学園大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 ————— Tel () —————				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
12001	看護学概論	石本 傳江	1	前期	1～4				月・2
12002	生涯発達心理学	高橋 功	2	前期	1～4				金・2
12003	臨床心理学	石原 みちる	2	後期	1～4				水・3
12004	感情心理学	松浦 美晴	2	後期	1～4				木・4
12005	日本語教育概論	山根 智恵	2	前期	1～4				月・5
12006	服飾デザイン論	隈元 美貴子	2	後期	1～4				月・2
12007	精神保健	上地 玲子	2	前期	1～4				水・1
12008	現代中国論	班 偉	2	前期	2～4				月・1
12009	日本文学講読	佐藤 雅代	2	後期	2～4				火・2
12010	英語圏文化A	ソーンリ サイモン	2	前期	2～4				火・2
12011	日本作家作品研究	高嶋 哲夫	2	前期	2～4				集中8月
12012	流通小売業論	神戸 康弘	2	後期	3～4				木・3
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

提出日 年 月 日

就実大学長 殿

ふりがな
氏 名

印

写真貼付

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

* 学生は太枠内のみ記入

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号					
ふりがな		性別	生年月日	西暦	年
氏名		男・女		昭和	年 月 日
現住所	〒 - Tel () -				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
13001	生命機能のシステム	小野 浩重	2	前期	1～4				火1
13002	古典文学研究1	岡部 由文	2	前期	2～4				火2
13003	古典文学講義2	川崎 剛志	2	後期	3～4				木2
13004	古典文学研究3	井上 啓治	2	後期	2～4				木4
13005	近現代文学講義1	加藤 美奈子	2	後期	3～4				金3
13006	近現代文学講義3	松尾 直昭	2	前期	3～4				火3
13007	異文化理解1A	L. ダンテ	2	前期	2～4				木1
13008	異文化理解1B	J. スコット	2	前期	2～4				月2
13009	異文化理解2A	J. コックス	2	後期	2～4				月2
13010	異文化理解2B	A. スミス	2	後期	2～4				木1
13011	イギリス文化研究1	渡辺 浩	2	前期	3～4				木2
13012	イギリス文化研究2	進藤 秀彦	2	前期	3～4				火2
13013	イギリス文化研究3	進藤 秀彦	2	後期	3～4				火2
13014	アメリカ文化研究1	有木 恭子	2	前期	3～4				火2
13015	アメリカ文化研究2	有木 恭子	2	後期	3～4				火2
13016	アメリカ文化研究3	長瀬 恵美	2	前期	3～4				木2
13017	日本史講義1A	曾根 正人	2	後期	3～4				火4

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
13018	日本史講義 2C	苅米 一志	2	前期	3～4				木 4
13019	日本史講義 3C	山田 芳則	2	前期	3～4				火 4
13020	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	福田 誠	2	前期	3～4				月 4
13021	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2B	福田 誠	2	後期	3～4				月 4
13022	アジア史講義 1A	李 開元	2	後期	3～4				木 2
13023	アジア史講義 2A	井上 あえか	2	前期	3～4				火 4
13024	歴史遺産講義 1C	賈 鍾壽	2	前期	3～4				水 2
13025	歴史遺産講義 2C	U本 勇	2	後期	3～4				水 2
13026	薬学海外研修	須藤 鎮世	2	前期	5～6				集中
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

中国学園大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所 属 大 学					
学部・学科・学年	学 部		学 科		年
学 生 番 号	性 別 男・女	生年月日	西 曆 年		
			昭和・平成	年	月 日
現 住 所	〒 ()				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単 位	開講期	配当学年	備 考	評 価	履修希望	曜日・時限
14001	生物学	金澤 浩	2	前期	1~4	定員10名			木・3
14002	基礎化学	中尾 安男	2	前期	1~4	定員10名			木・2
14003	微生物学	岡部 昭延	2	前期	2~4	定員10名			月・3
14004	食品学 I	太田 義雄	2	後期	1~4	定員10名			木・3
14005	衛生学	嶋田 義弘	2	前期	3~4	定員10名			金・1
14006	栄養教育論 I	村上 淳	2	後期	2~4	定員10名			金・3
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

ノートルダム清心女子大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別	生年月日	西暦	年	
	男・女		昭和・平成	年	月
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
1	キリスト教学Ⅱ	山根 道公	2	第1期	1～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	水 5・6
2	キリスト教学Ⅲ	山根 道公	2	第2期	1～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	水 5・6
3	キリスト教学Ⅶ	原田 豊己	2	第2期	1～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	木 5・6
4	身体科学	保江 邦夫他1名	2	第2期	1～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	木 7・8
5	英語学概論Ⅰ	山部 順治	2	第1期	1～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	火 3・4
6	日本語文法論Ⅰ	星野 佳之	2	第1期	1～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	火 7・8
7	古代文学特講Ⅲ	新美 哲彦	2	第1期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	火 5・6
8	古代文学特講Ⅳ	新美 哲彦	2	第2期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	火 5・6
9	近世文学特講Ⅰ	藤川 玲満	2	第1期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	火 7・8
10	近代文学特講Ⅰ	山根 知子	2	第1期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	水 5・6
11	近代文学特講Ⅲ	綾目 広治	2	第1期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	水 5・6
12	近代文学特講Ⅳ	綾目 広治	2	第2期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	水 5・6
13	日本語学特講Ⅱ	尾崎 喜光	2	第1期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	火 9・10
14	日本語表現法Ⅰ	大滝 一登	2	第1期	3～4	女子のみ。但し、受け入れ人数を若干名とする。		<input type="checkbox"/>	火 7・8
15	社会心理学	中山 ちなみ	2	第1期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	水 1・2
16	社会集団・組織論	濱西 栄司	2	第1期	2～4	女子のみ		<input type="checkbox"/>	木 7・8

No	授 業 科 目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備 考	評価	履修希望	曜日・時限
17	地域社会学	二階堂 裕子	2	第1期	2～4	女子のみ			木 1・2
18	ジェンダー論	山下 美紀	2	第1期	2～4	女子のみ			金 5・6
19	アジア社会史 I	鈴木 真	2	第1期	2～4	女子のみ			水 1・2
20	ヨーロッパ社会史 II	轟木 広太郎	2	第2期	2～4	女子のみ			木 5・6
21	考古学 I	紺谷 亮一	2	第1期	2～4	女子のみ			火 5・6
22	民俗学 I	小嶋 博巳	2	第1期	2～4	女子のみ			木 9・10
23	社会史特講 I	八重樫 直比古	2	第2期	2～4	女子のみ			金 5・6
24	社会史特講 II	藤實 久美子	2	第1期	2～4	女子のみ			月 5・6
25	文化と人間形成 I	小林 修典	2	第1期	2～4	女子のみ			月 7・8
26	地誌学 II	河合 保生	2	第2期	1～4	女子のみ			水 3・4
27	社会倫理学 I	葛生 栄二郎	2	第2期	1～4	女子のみ			月 7・8
28	社会倫理学 II	葛生 栄二郎	2	第1期	2～4	女子のみ			月 7・8
29	生活文化史 I	横山 學	2	第1期	1～4	女子のみ			月 5・6
30	生活文化史 II	横山 學	2	第2期	1～4	女子のみ			月 5・6
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

美作大学長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別 男・女	生年月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 ————— Tel () —————				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授業科目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	評価	履修希望	曜日・時限
16001	心理学概論Ⅰ	妻藤 真彦	2	前期	1~4年				水・5
16002	心理学概論Ⅱ	妻藤 真彦	2	後期	1~4年				水・5
16003	家族心理学	渡邊 義雄	2	前期	1~4年				金・4
履修希望単位数計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。

大学コンソーシアム岡山 単位互換科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡 山 大 学 長 殿

提出日	年	月	日	写真貼付
ふりがな 氏 名				

*学生は太枠内のみ記入

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別	生年月日	西暦	年	
	男・女		昭和・平成	年	月
現住所	〒 ————— Tel () —				

(右の履修希望欄に○印を記入してください。)

No	授業科目	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	評価	履修希望	曜日・時限
20001	ちゅうぎん『金融知力』 講座	コーディネータ 三浦 孝 仁	2	後期	1～4	ちゅうぎん岡山駅前ビル			火 17:30～ 19:00
履 修 希 望 単 位 数 計									

※ この履修願に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。